

横浜市子ども・若者実態調査の 実施結果について

調査の実施概要

調査の趣旨

子ども・若者の生活状態及び困難を抱える若者等のニーズや課題を把握、分析し、今後の子ども・若者支援施策及びひきこもり支援施策等に反映する基礎資料とするため実施した。

調査対象

横浜市内に居住する満15歳以上39歳以下の個人 3,000人
※ 住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法

配付方法：郵送(配付日:令和4年7月11日(月))
回答方法：郵送またはWeb

調査の実施概要

有効回答数及び有効回答率

有効回答数：1,102件(うち郵送回答390件、Web回答712件)
有効回答率：36.7%

調査内容

回答者の基本情報、就労・生活状況、家族・他者関係、悩みごとや公的機関への相談に関する状況等

調査における定義

ひきこもり群

平成30年度内閣府の「生活状況に関する調査」の定義を基に、「ほとんど家から出ない状態が6か月以上継続し、かつ、身体的な病気・障害等をその理由としない者」とした。

なお、本市前回調査からの主な変更点としては、「専業主婦・主夫や家事・育児を行っている者等で、家族以外の人との会話頻度が低い者」をひきこもり群に含めたこと及び就労している者をひきこもり群から除外した。

若年無業者

平成22年度 内閣府「若年無業者(15～39歳)数及び割合～就業構造基本調査(平成19年)の再集計結果～」の定義を基に、「15歳から39歳の無業者のうち、就職を希望しているものの求職活動をしていない者及び就職を希望していない者」とした。

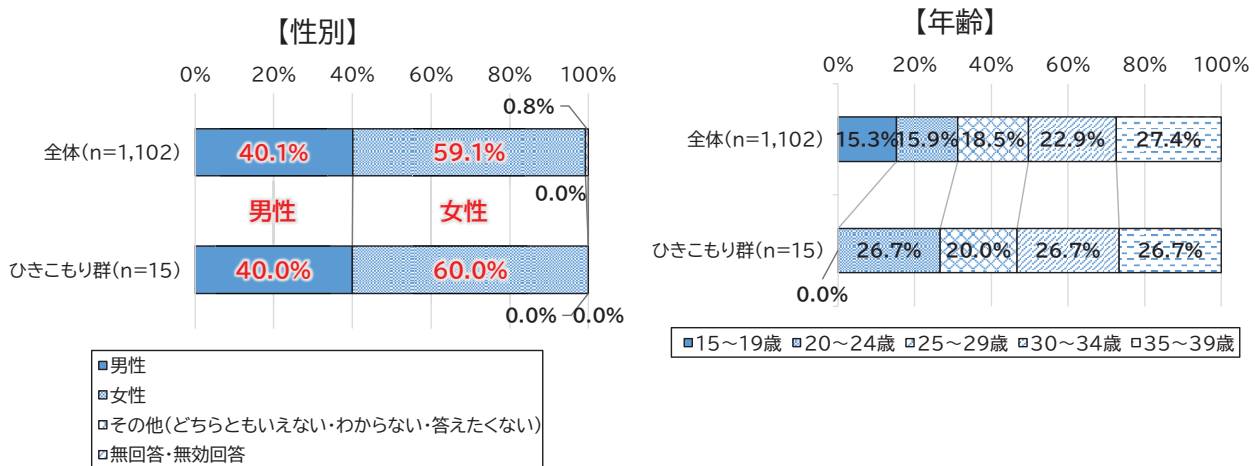
①ひきこもり群の状況について

市内のひきこもり状態にある子ども・若者の推計人数は、約13,000人

	横浜市			内閣府(全国)
調査実施年度	H24年度	H29年度	R4年度	H27年度
標本サイズ	3,000件	3,000件	3,000件	5,000件
有効回答率	46.2%	33.5%	36.7%	62.3%
ひきこもり群の出現率	0.72%	1.39%	1.36%	1.57%
対象年齢の推計人口	約1,136千人	約1,046千人	約983千人	約3,445万人
ひきこもり状態にある者の推計人数	約8,000人	約15,000人	約13,000人	約54.1万人

①ひきこもり群の状況について

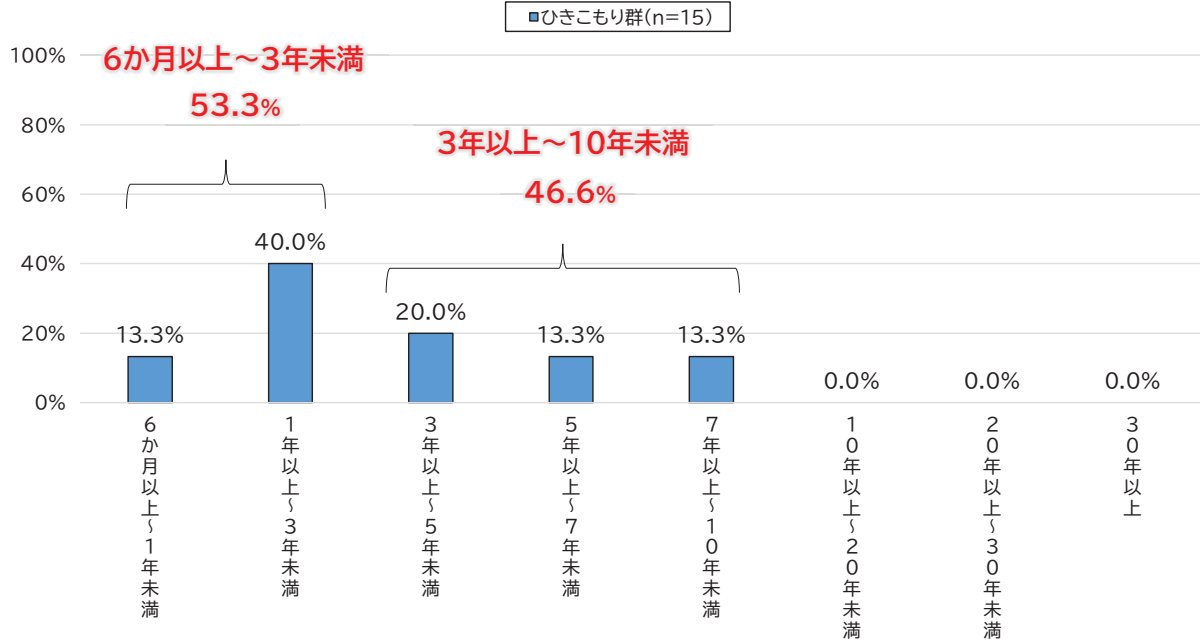
回答者全体で、性別は「女性」が約6割、「男性」が約4割であり、その割合はひきこもり群においても同様であった。また、年齢の分布についても、大きな差異は見られなかった。



①ひきこもり群の状況について

ひきこもり状態になってからの期間は、「6か月以上～3年未満」が約5割、「3年以上～10年未満」が約5割であった。「10年以上」は該当者がいなかった。

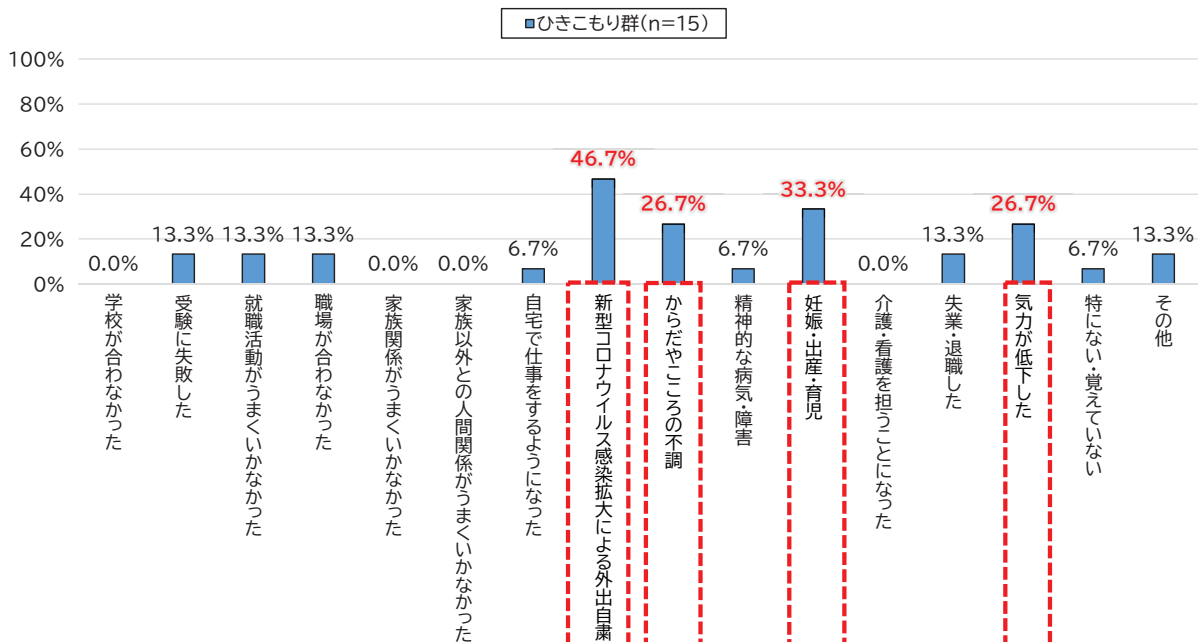
【現在の状態となってからの期間】



①ひきこもり群の状況について

ひきこもり状態になったきっかけは「新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛」や「妊娠・出産・育児」、「からだやこころの不調」、「気力が低下した」を挙げる方が多かった。

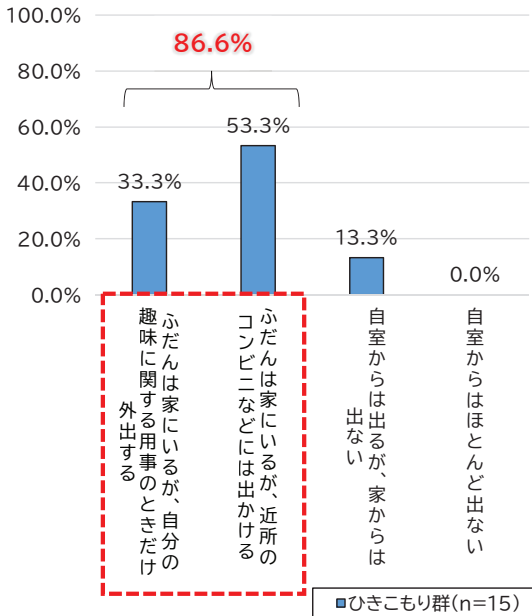
【現在の状態となったきっかけ(複数回答)】



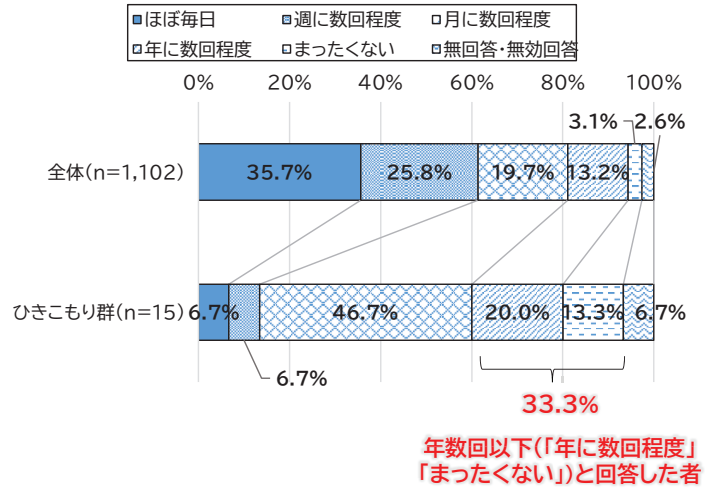
①ひきこもり群の状況について

ひきこもり群においても外出の場面があることがわかった。一方、非同居人と直接会って話す頻度を「年数回以下」と回答した者が約3割おり、非同居人との対面でのコミュニケーション頻度は低い。

【外出頻度】



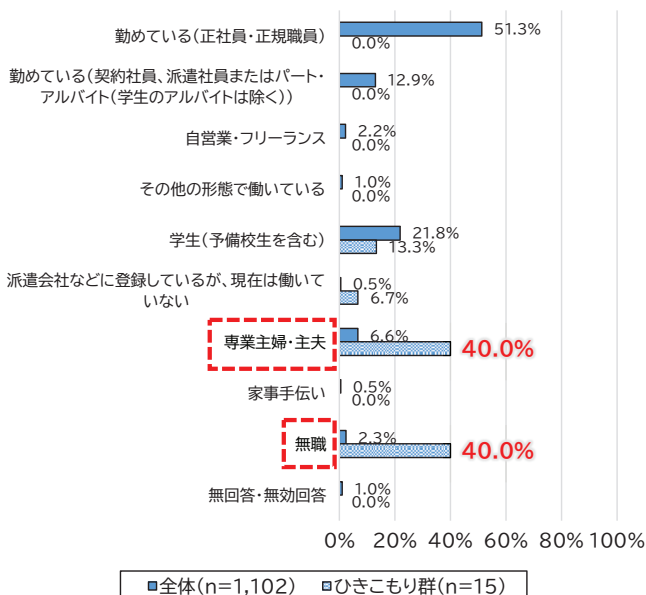
【非同居人と直接会って話す頻度】



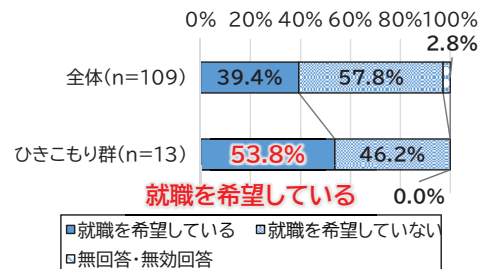
①ひきこもり群の状況について

ひきこもり群の現在の就労・就学等の状況について、「専業主婦・主夫」、「無職」がそれぞれ約4割であった。また、ひきこもり群の約5割が就職を希望しているが、実際に就職活動をしているのは約1割であった。

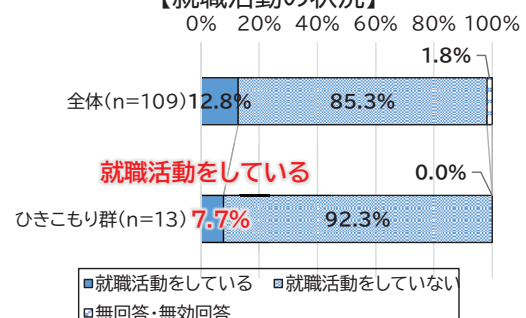
【現在の就労・就学等の状況】



【就職希望の有無】



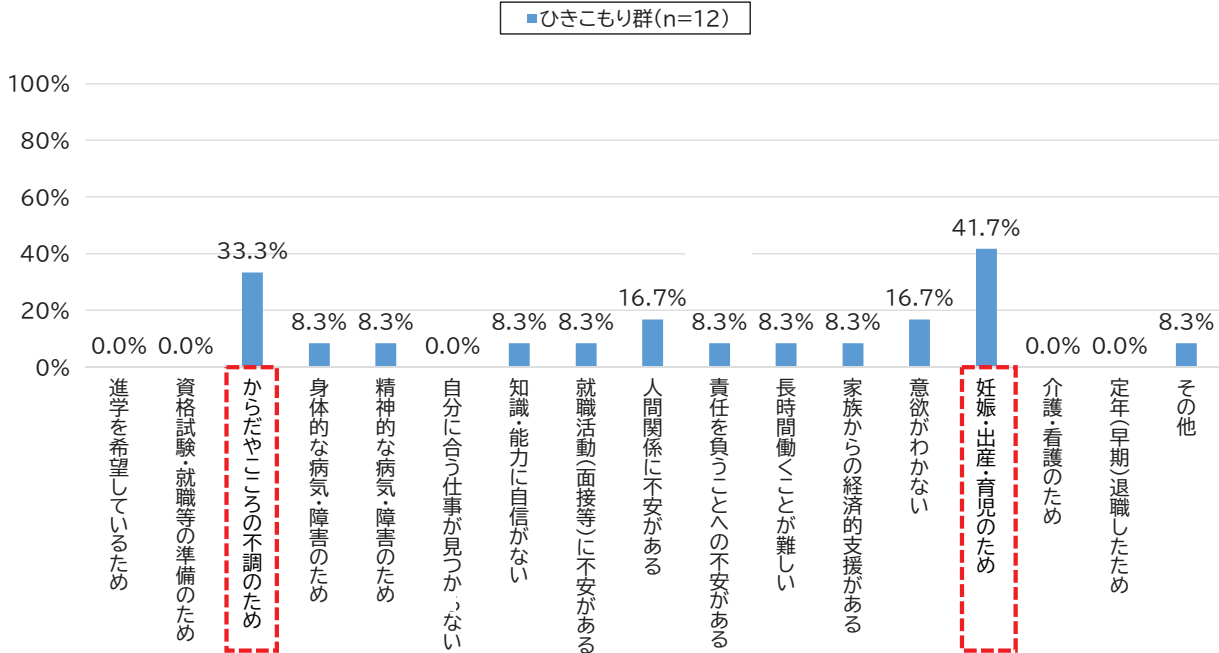
【就職活動の状況】



①ひきこもり群の状況について

ひきこもり群において、就職活動をしていない理由としては、「妊娠・出産・育児のため」、「からだやこころの不調のため」を挙げる方が多かった。

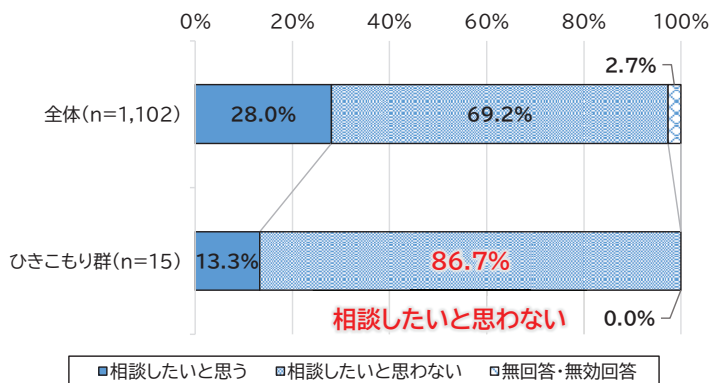
【就職活動をしていない理由(複数回答)】



①ひきこもり群の状況について

ひきこもり群の約9割が、公的機関に「相談したいと思わない」と回答している。

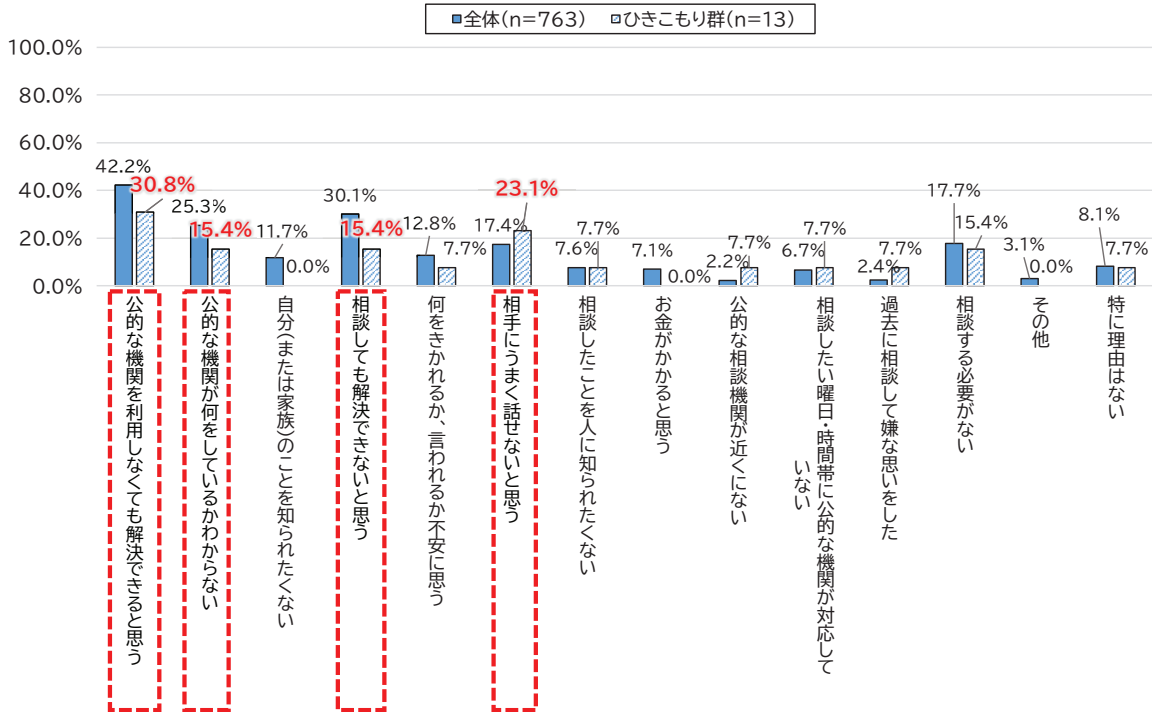
【公的な相談機関・専門機関の利用意向】



①ひきこもり群の状況について

ひきこもり群において、相談したいと思わない理由は、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」や「相手にうまく話せないと思う」、「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談しても解決できないと思う」を挙げる方が多かった。

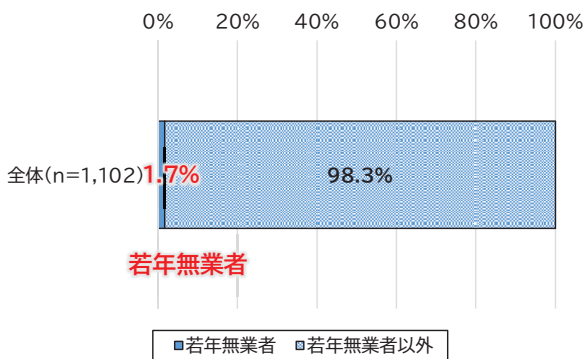
【公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由(複数回答)】



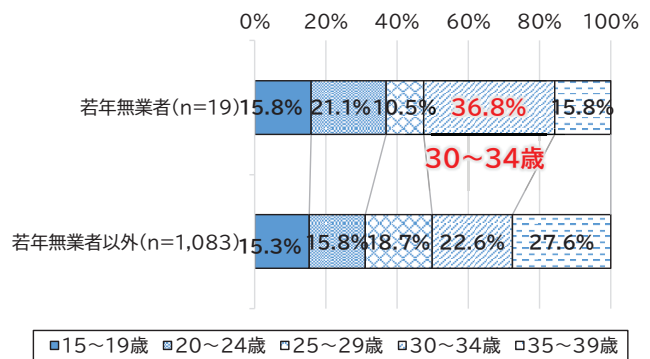
②若年無業者の状況について

市内の若年無業者の出現率は1.7%であり、対象年齢の推計人口に乗じた推計人数は、約17,000人であった。年齢は「30～34歳」が最も多かった。

【若年無業者の分布】



【年齢】



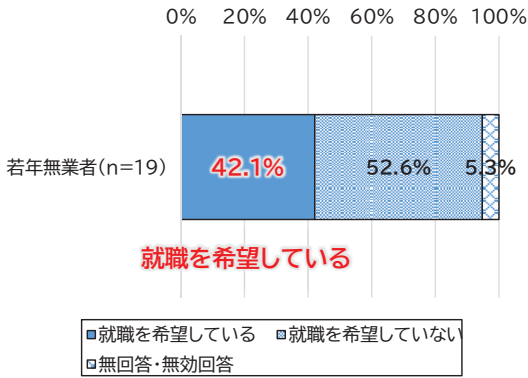
<対象年齢の推計人口>

●約983千人

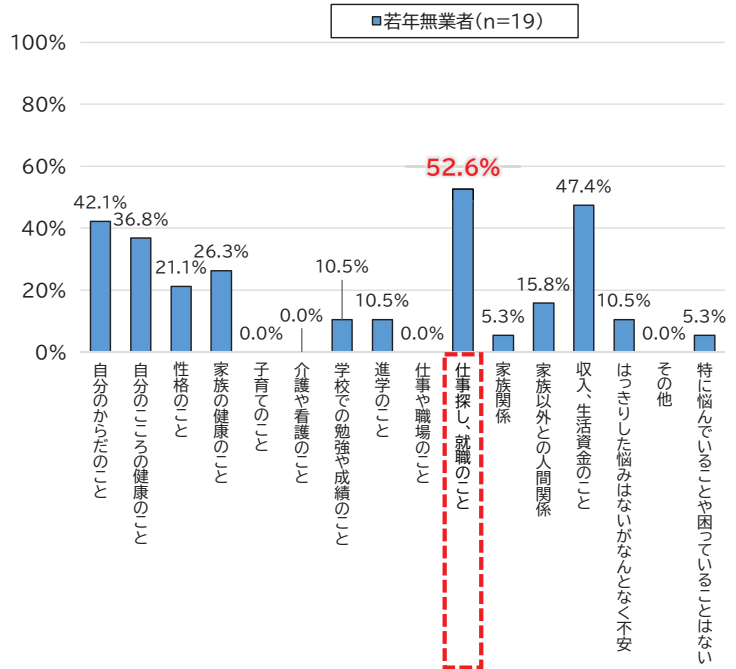
②若年無業者の状況について

若年無業者の約4割が就職を希望している。また、約5割が「仕事探し、就職のこと」で悩んでいる。

【就職希望の有無】



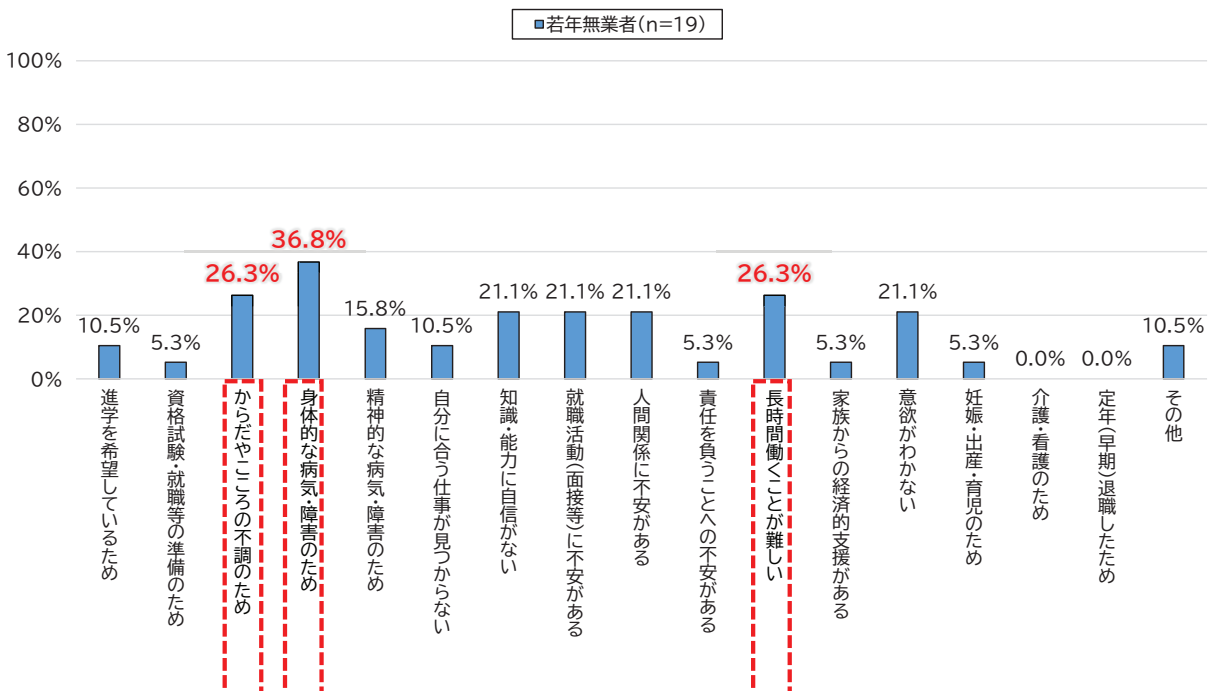
【悩んでいることや困っていること(複数回答)】



②若年無業者の状況について

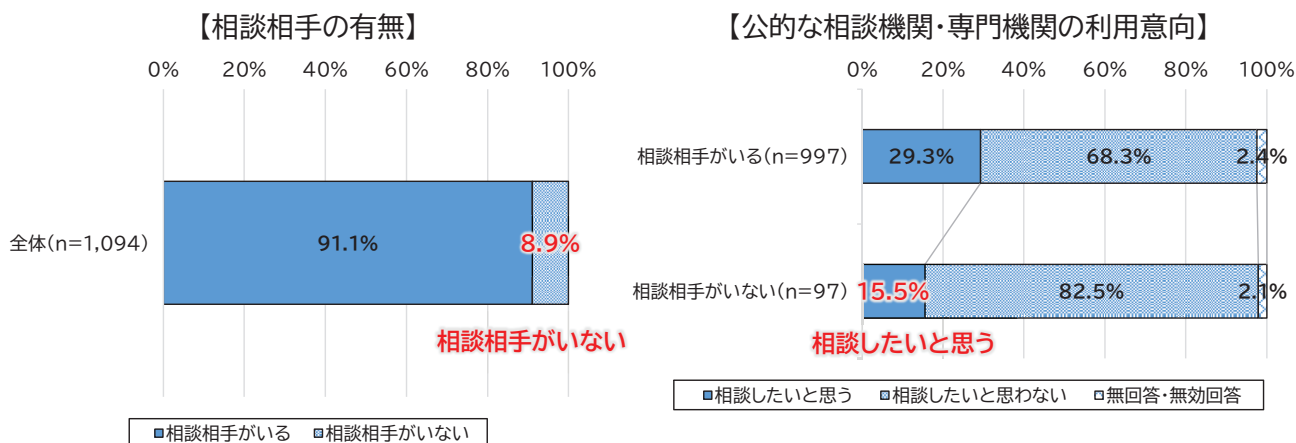
若年無業者の就職活動をしていない理由として、「身体的な病気・障害のため」や「からだやこころの不調のため」、「長時間働くことが難しい」を挙げる者が多かった。

【就職活動をしていない理由(複数回答)】



③相談相手がいない者への支援について

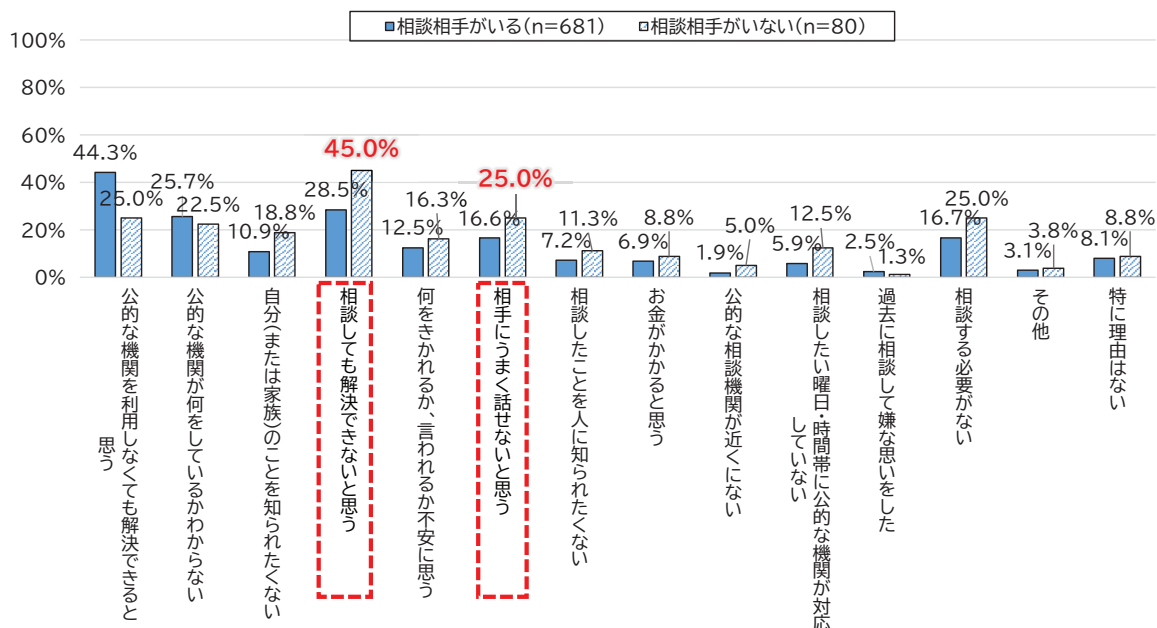
回答者全体のうち、悩みごとや困りごとを相談する相手がいない者は約1割であった。また、相談相手がいない者では、公的機関への相談意向が低いことが分かった。



③相談相手がいない者への支援について

相談相手がいない者では、公的機関に相談したいと思わない理由として、約5割が「相談しても解決できないと思う」、約3割が「相手にうまく話せないと思う」と回答している。

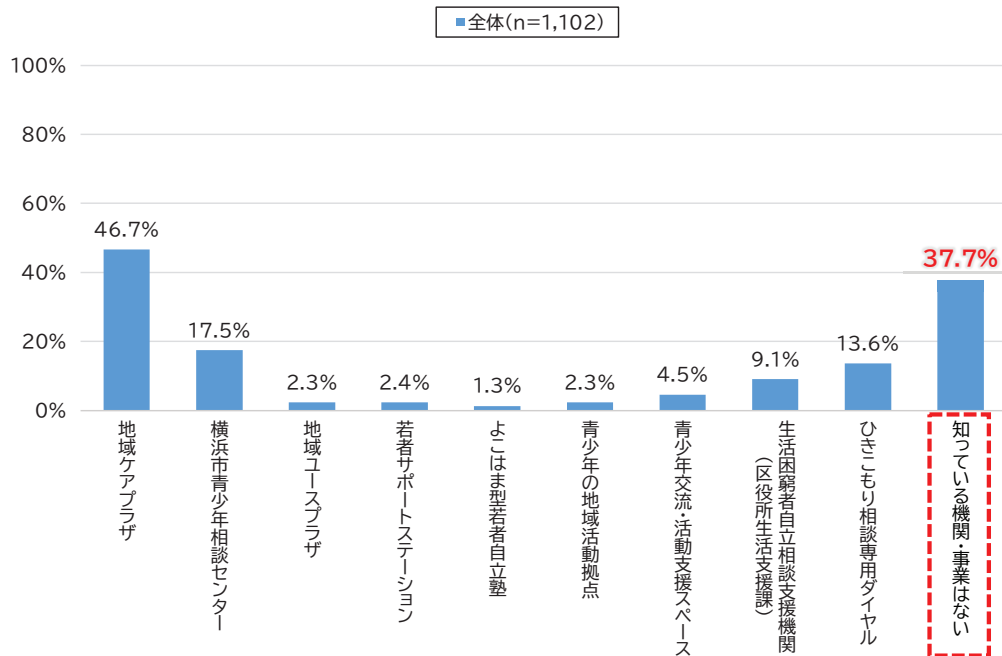
【公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由(複数回答)】



④支援の普及・啓発について

本市の9つの機関や事業について認知状況を尋ねた設問において、回答者全体の約4割が、「知っている機関・事業はない」と回答している。

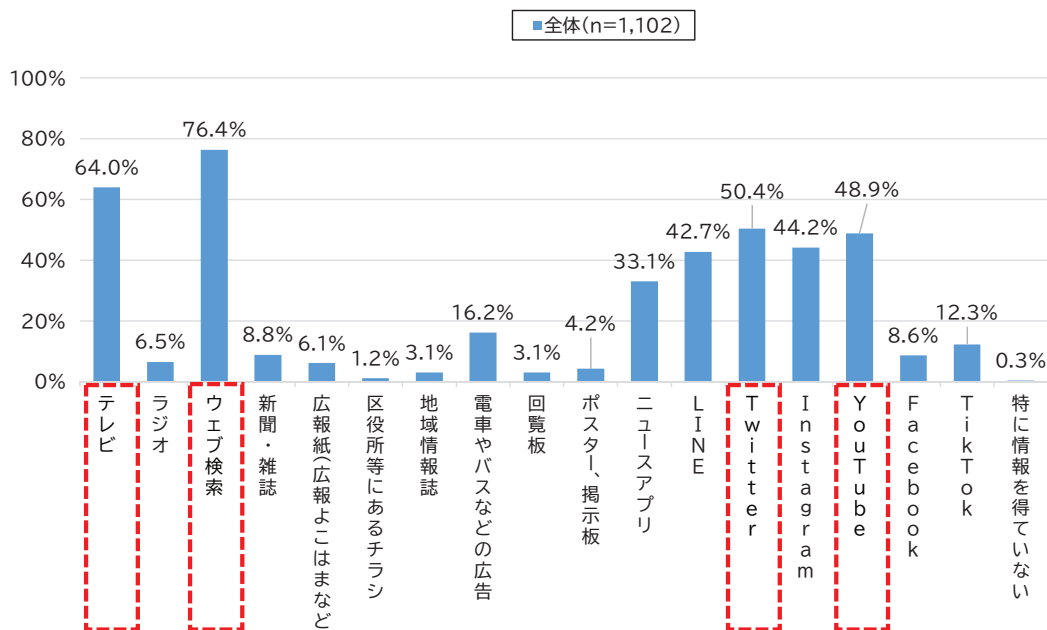
【横浜市の公的機関・事業の認知度(複数回答)】



④支援の普及・啓発について

回答者全体の情報の入手先として「テレビ」や「ウェブ検索」の割合が高く、また、「Twitter」や「YouTube」から情報を得ている者が多い。

【情報の入手先(複数回答)】



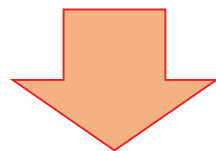
調査結果から見た若者の実態

- ① ひきこもり群は、男性よりも女性の割合が高い。
- ② ひきこもり群においては、就職を希望しているが、実際に就職活動している者は少ない。
- ③ 若年無業者においては、就労支援機関等の認知度が低く、また、就職を希望しているが、就職活動に踏み切れていない者がおり、かつ支援機関につながっていない。
- ④ 回答者全体でも、公的な相談機関等の利用意向が低いが、ひきこもり群や相談相手がいない者においては、さらに低い傾向にあった。また、公的な相談機関等での相談に有用性を感じている者が少ない。
- ⑤ 前回調査から若者自立支援機関等の認知度は上昇したが、依然として機関そのものや支援内容の認知度は低い。

調査結果から見た課題と対応

これまでの取組において、公的な相談機関につながった若者からは、相談機関が有用であることや、利用しての満足度が高いことが分かっている。

一方、本調査結果からは、公的な相談機関等につながっていない若者がいることや公的な相談機関等の認知度の低さ、相談機関の有用性が伝わっていないことが明らかになった。

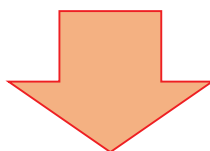


- ① 相談しやすい環境づくり
- ② 公的機関・事業の広報

調査結果から見えた課題と対応

① 相談しやすい環境づくり

相談支援においては、対面や電話以外での相談機会を提供したりするなど、誰もが相談しやすく、相談のハードルを下げるための施策が求められています。

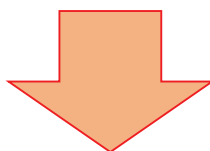


来所や電話相談につながりにくいひきこもり等困難を抱える若者からの相談を受け付けるため、**身近なツールとして使用しているSNSを活用した相談窓口を開設**します。

調査結果から見えた課題と対応

② 公的機関・事業の広報

公的機関や事業等について、市民全体に向けた継続的な広報が必要であると考えられます。さらに広報の方法については、本調査結果を踏まえた検討が必要です。



公的機関の支援や事業等が本人やその家族等に効果的に届くよう、従来の紙媒体等での広報に加え、**SNS等を活用した広報を一層推進**し、ひきこもり等困難を抱える若者が支援機関等につながりやすい環境づくりを進めていきます。

**横浜市子ども・若者実態調査
市民生活実態調査**

報告書

令和5年1月

横浜市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の趣旨	1
2 調査の概要・枠組み等	1
(1) 調査実施概要	1
(2) ひきこもり群について	2
(3) 若年無業者について	6
3 調査結果のまとめ	8
(1) ひきこもり群の状況について	8
(2) 若年無業者の状況について	12
(3) 相談相手がない者への支援について	13
(4) 支援の普及・啓発について	14
第2章 アンケート回答結果	15
1 集計結果の表示方法・留意事項	15
2 単純集計及びひきこもり群に関する集計	16
2-1 単純集計及びひきこもり群別の集計	16
(1) 調査対象者や家族のことについて	16
(2) 就労・就学等の状況について	27
(3) ふだんの生活の状況について	43
(4) 周囲の人とのかかわり方について	68
(5) あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について	80
2-2 ひきこもり群における年齢層別の集計	115
(1) 調査対象者や家族のことについて	115
(2) ふだんの生活の状況について	118
(3) 周囲の人とのかかわり方について	123
(4) あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について	124
3 若年無業者及び相談相手の有無等に関する集計	127
3-1 若年無業者の状況	127
(1) 調査対象者や家族のことについて	127
(2) 就労・就学等の状況について	130
(3) ふだんの生活の状況について	133
(4) あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について	138

3-2	相談相手の有無や同居人の有無に関する状況.....	144
(1)	相談相手の有無や同居人の有無の定義.....	144
(2)	周囲の人とのかかわり方について.....	147
(3)	あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について.....	152
3-3	公的な相談機関の認知や相談意向等に関する状況.....	167
(1)	横浜市の公的機関・事業の認知に関する状況.....	167
(2)	公的機関の利用経験別の相談意向等に関する状況.....	175

参考資料 179

1	横浜市及び内閣府過年度調査におけるひきこもり群の定義.....	179
(1)	横浜市平成 24 年度調査におけるひきこもり群の定義.....	179
(2)	横浜市平成 29 年度調査におけるひきこもり群の定義.....	180
(3)	内閣府平成 21 年度調査におけるひきこもり群の定義.....	181
(4)	内閣府平成 27 年度調査におけるひきこもり群の定義.....	182
(5)	内閣府平成 30 年度調査におけるひきこもり群の定義.....	183
2	調査票.....	185
3	集計表.....	195
3-1	子ども・若者実態調査(15～39 歳)における集計表.....	195
3-2	市民生活実態調査(40～64 歳)における集計表.....	210

第1章 調査の概要

1 調査の趣旨

子ども・若者をはじめ、市民の生活状態及び困難を抱える若者等のニーズや課題を把握、分析し、今後の子ども・若者育成支援施策及びひきこもり支援施策等に反映する基礎資料とするため、「横浜市子ども・若者実態調査」及び「市民生活実態調査」を実施した。

「横浜市子ども・若者実態調査」は、平成24年度以来3回目の調査となり、「市民生活実態調査」は平成29年度以来2回目の調査となる。

2 調査の概要・枠組み等

(1) 調査実施概要

ア 調査の対象

横浜市内に居住する満15歳以上39歳以下の個人 3,000人（子ども・若者実態調査）
横浜市内に居住する満40歳以上64歳以下の個人 3,000人（市民生活実態調査）

イ 抽出方法

住民基本台帳からの無作為抽出

ウ 調査方法

配付方法：郵送

回答方法：郵送又はWeb

エ 調査時期

配付日：令和4年7月11日（月）

回答期限：郵送回答 令和4年7月29日（金）／Web回答 令和4年8月7日（日）

オ 有効回答数及び有効回答率

子ども・若者実態調査：1,102件（36.7%）¹ うち郵送回答390件、Web回答712件
市民生活実態調査：1,435件（47.8%）² うち郵送回答757件、Web回答678件

¹ 配付した3,000件のうち、あて先の住所に受取人が居住していなかったため、15件が返還された。

² 配付した3,000件のうち、あて先の住所に受取人が居住していなかったため、8件が返還された。

カ 調査内容

回答者の基本情報、就労・生活状況、家族・他者関係、悩みごとや公的機関への相談に関する状況等

(2) ひきこもり群について

ア ひきこもり群の定義

平成30年度 内閣府「生活状況に関する調査」の定義を基に、以下のようにひきこもり群を定義した。

「Q11 あなたはふだんのくらい外出しますか。」で、次の5～8のいずれかを選択した者

5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からはほとんど出ない

かつ

「Q11-1 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。」で、6か月以上と回答した者であって、次の3種類のいずれにも該当しない者。

①

「Q11-3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、

- ① 「身体的な病気・障害（病名等： ）」を選択した者
- ② 「精神的な病気・障害（病名等： ）」を選択し、病名等に統合失調症と回答した者

②

「Q11-3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、
「妊娠・出産・育児」または「介護・看護を担うことになった」を選択した者

「Q7 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、
「専業主婦・主夫」または「家事手伝い」を選択した者

または

「Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」で、
「家事をする」、「育児をする」または「介護・看護をする」を選択した者

のいずれかで、かつ、

「Q11-2 最近6か月間に家族以外の人と会話しましたか。」で、
「よく会話した」または「ときどき会話した」を選択した者

③

「Q11-3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、
「自宅で仕事をするようになった」を選択した者

「Q7 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、
「勤めている」または「自営業・フリーランス」または「その他の形態で働いている」を
選択した者

または

「Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」で、
「仕事をする」を選択した者

※上記③の条件については、一律に除かず、その他の設問の回答状況も踏まえて判断した。

イ 子ども・若者実態調査（15～39歳）におけるひきこもり群の出現率および推計結果

子ども・若者実態調査の有効回答数 1,102 件のうち、ひきこもり群の定義に該当したのは 15 件であった。ひきこもり群の出現率は、1.36%³であり、令和4年1月1日現在における横浜市の15～39歳推計人口は約983,000人⁴であるため、市内の当該年齢層におけるひきこもり群の推計値は、約13,000人となる。

【参考】 前回本市調査及び内閣府調査

調査実施年度	横浜市			内閣府	
	平成24年度	平成29年度	令和4年度 (※1)	平成21年度 (※2)	平成27年度 (※3)
標本サイズ	3,000件	3,000件	3,000件	5,000件	5,000件
有効回答率	46.2%	33.5%	36.7%	65.7%	62.3%
ひきこもり群の出現率	0.72%	1.39%	1.36%	1.79%	1.57%
15～39歳推計人口	約1,136千人	約1,046千人	約983千人	約3,880万人	約3,445万人
ひきこもり群の推計値	約8,000人	約15,000人	約13,000人	約69.6万人	約54.1万人

※1)本市令和4年度調査におけるひきこもり群の定義は、本市過年度調査、内閣府平成21年度及び平成27年度調査と異なるため、比較する際には留意が必要である。

主な変更点としては、専業主婦・主夫や家事・育児を行っている者等で、家族以外の人との会話頻度が低い者をひきこもり群に含めたことが挙げられる。各調査のひきこもり群の定義については、参考資料を参照。

※2)内閣府 平成21年度 若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査)

※3)内閣府 平成27年度 若者の生活に関する調査

³ 95%信頼区間（95%の確率で全数調査の場合の集計結果が含まれる範囲）は、0.68%～2.05%。

⁴ 出所：横浜市統計書

ウ 市民生活実態調査（40～64歳）におけるひきこもり群の出現率および推計結果

市民生活実態調査の有効回答数 1,435 件のうち、ひきこもり群の定義に該当したのは 22 件であった。ひきこもり群の出現率は、1.53%⁵であり、令和4年1月1日現在における横浜市の40～64歳推計人口は約 1,330,000 人⁶であるため、市内の当該年齢層におけるひきこもり群の推計値は、約 20,000 人となる。

【参考】 前回本市調査及び内閣府調査

調査実施年度	横浜市		内閣府
	平成 29 年度 (※1)	令和 4 年度	平成 30 年度 (※2)
標本サイズ	3,000 件	3,000 件	5,000 件
有効回答率	44.2%	47.8%	65.0%
ひきこもり群の出現率	0.90%	1.53%	1.45%
40～64歳推計人口	約 1,311 千人	約 1,330 千人	約 4,235 万人
ひきこもり群の推計値	約 12,000 人	約 20,000 人	約 61.3 万人

※1)本市令和4年度調査および内閣府平成30年度調査は、本市平成29年度調査におけるひきこもり群の定義と異なるため、比較するには留意が必要である。

主な変更点としては、専業主婦・主夫や家事・育児を行っている者等で、家族以外の人との会話頻度が低い者をひきこもり群に含めたことが挙げられる。本市平成29年度のひきこもり群の定義については、参考資料を参照。

なお、本市令和4年度調査の定義は、内閣府平成30年度調査の定義に概ね沿っているが、設問の選択肢等が一部異なっている点に留意が必要である。

※2)内閣府 平成30年度 生活状況に関する調査

⁵ 95%信頼区間（95%の確率で全数調査の場合の集計結果が含まれる範囲）は、0.90%～2.17%。

⁶ 出所：横浜市統計書

(3) 若年無業者について

ア 若年無業者の定義

平成 22 年度 内閣府「若年無業者（15～39 歳）数及び割合～就業構造基本調査（平成 19 年）の再集計結果～」⁷の定義を基に、15～39 歳の者について、以下のように若年無業者を定義した⁸。

「Q7 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、
「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」または「無職」を選択した者

であって、次の 2 類型のいずれかに該当する者。

①

「Q7-2 あなたは現在、就職を希望していますか。」で、
「就職を希望している」を選択し、

かつ

「Q7-3 あなたは現在、就職活動をしていますか。」で、
「就職活動をしていない」を選択した者⁹

②

「Q7-2 あなたは現在、就職を希望していますか。」で、
「就職を希望していない」を選択した者¹⁰

※ 本調査と就業構造基本調査では、設問や選択肢の文言が異なるため、留意が必要である。なお、内閣府平成 22 年度集計における若年無業者の定義は、以下のようになっている。

若年無業者とは、15～39 歳で家事も通学もしていない無業者のうち、以下の者を指しています。

1. 就業を希望している者のうち、求職活動をしていない者(非求職者)
2. 就業を希望していない者(非就業希望者)

⁷ 内閣府，平成 22 年 9 月，若年無業者（15～39 歳）数及び割合～就業構造基本調査（平成 19 年）の再集計結果～，<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/shugyou/index.html>

⁸ 若年無業者には、専業主婦・主夫等のため就業していない者は含まれないことに留意が必要である。

⁹ 若年無業者には、「Q7-2 あなたは現在、就職を希望していますか。」に無回答で、かつ「Q7-3 あなたは現在、就職活動をしていますか。」で、「就職活動をしていない」を選択した者も含まれている。

¹⁰ 15～39 歳で、「Q7-2 あなたは現在、就職を希望していますか。」で、「就職を希望していない」を選択し、かつ「Q7-3 あなたは現在、就職活動をしていますか。」で、「就職活動をしている」を選択した者はいなかった。

イ 子ども・若者実態調査（15～39歳）における若年無業者の出現率および推計結果

子ども・若者実態調査の有効回答数 1,102 件のうち、若年無業者の定義に該当したのは 19 件であった。若年無業者の出現率は、1.72%¹¹であり、令和4年1月1日現在における横浜市の 15～39 歳推計人口は約 983,000 人¹²であるため、市内の当該年齢層における若年無業者の推計値は、約 17,000 人となる。

¹¹ 95%信頼区間（95%の確率で全数調査の場合の集計結果が含まれる範囲）は、0.96%～2.49%

¹² 出所：横浜市統計書

3 調査結果のまとめ

※ 本項では、15～39歳を若年、40～64歳を中高年と記載する。

(1) ひきこもり群の状況について

○ 市内のひきこもり群の推計値は、若年で約13,000人、中高年で約20,000人

本調査におけるひきこもり群の出現率は、若年で1.36% (1,102件中15件)、中高年で1.53% (1,435件中22件) である。令和4年1月1日現在の横浜市の各年齢層における推計人口を乗じたひきこもり群の推計値は、若年では約13,000人、中高年では約20,000人である。

なお、本市平成29年度調査（以下、前回調査）におけるひきこもり群の出現率は、若年で1.39% (1,004件中14件)、中高年で0.90% (1,327件中12件) であった。また、前回調査におけるひきこもり群の推計値は、若年では約15,000人、中高年では約12,000人であった。

本調査におけるひきこもり群の定義は、平成30年度内閣府調査の定義を基に、前回調査から変更しており、推計値の単純な比較はできないことに留意する必要がある。主な変更点として、「専業主婦・主夫や家事・育児を行っている者等で、家族以外の人との会話頻度が低い者¹³」をひきこもり群に含めたことが挙げられる¹⁴。本調査においてこの定義変更部分に該当する者は、若年のひきこもり群のうち9件、中高年のひきこもり群のうち9件であった。¹⁵

○ ひきこもり群とひきこもり群以外で、性別や年齢分布に大きな差異は見られなかった

回答者全体で、性別は「女性」が約6割、「男性」が約4割であり、その割合はひきこもり群においても同様であった（→P16）。また、年齢の分布についても、大きな差異は見られなかった（→P18）。

若年のひきこもり群では、同居人のいる世帯¹⁶が約9割で、単身世帯が約1割であった。中高年のひきこもり群では、同居人のいる世帯が約8割で、単身世帯が約2割であった（→P20、P21）。

¹³ 「Q11-2 最近6か月間に家族以外の人と会話しましたか。」について、「ほとんど会話しなかった」、「まったく会話しなかった」を選択した者。

¹⁴ ひきこもり群の定義に関するその他の変更点として、前回調査では、現在の就労状況について定義に含めていなかったが、本調査では、就労している者をひきこもり群から除外することを定義としたことが挙げられる。

¹⁵ 本調査の回答を前回調査の定義に当てはめると、ひきこもり群に該当するのは、若年で17件、中高年で21件となる。

¹⁶ 「Q3 あなたと同居している方はどなたですか。」で、「親」、「きょうだい」、「祖父母」、「配偶者・パートナー」、「子」、「その他の人」のいずれかを選択した者。

- ひきこもり状態になってからの期間は、「6か月以上～3年未満」が約半数を占め、中高年では約2割が「10年以上」であった

ひきこもり状態になってからの期間は、「6か月以上～3年未満」が、若年、中高年ともに約5割。「3年以上～10年未満」は、若年で約5割、中高年で約3割。「10年以上」は、若年は該当者がおらず、中高年では約2割であった（→P58、P59）。ひきこもりの状態となったきっかけとしては、各年齢層に共通して「新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛」や「からだやこころの不調」、「気力が低下した」を挙げる者が多くいた。（→P64、P65）。

- ひきこもり群においても外出の場面があるが、非同居人との対面でのコミュニケーション頻度は低い

若年のひきこもり群の約9割、中高年のひきこもり群の9割以上が、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」または「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」と回答しており、「自室からは出るが、家からは出ない」または「自室からはほとんど出ない」と回答した者は少数であった（→P55、P56）。このことから、ひきこもり群においても外出の場面があることがわかる。

一方で、ひきこもり群では、非同居人と直接会って話す頻度を「年に数回以下」と回答した者¹⁷が、若年で約3割、中高年で約7割おり（→P77）、特に中高年のひきこもり群で、非同居人との対面でのコミュニケーション頻度が低いことがわかる。

- ひきこもり群において、就職を希望している者の割合に対し、就職活動をしている者の割合が低い

現在の就労・就学等の状況について、ひきこもり群の若年、中高年ともに約4割が「専業主婦・主夫」と回答し、若年の約4割、中高年の約5割が「無職」と回答した（→P32、P33）。また、ひきこもり群の約9割が、過去には何らかの形態での就労経験があった（→P36、P37）。

若年のひきこもり群の約5割、中高年のひきこもり群の約3割が就職を希望しているが（→P38）、実際に就職活動をしているのは若年では約1割、中高年では約2割にとどまっている¹⁸（→P39）。就職活動をしていない理由としては、若年では「妊娠・出産・育児のため」が最も多い。

¹⁷ 「Q16 ①(同居していない人と)直接会って話す」頻度について、「年に数回程度」または「まったくない」を選択した者。

¹⁸ 就職活動の状況については、就職希望の有無にかかわらず、現在就労しておらず、学生でない者すべてに尋ねている。

また、若年、中高年に共通して「からだやこころの不調のため」、「人間関係に不安がある」、「意欲がわからない」が多かった（→P41、P42）。このような理由を鑑みると、一人ひとりの状況に対応したきめ細やかな支援が必要だと考えられる。

○ 若年のひきこもり群では、「どこにも居場所がない」と感じている割合が約5割と高い

若年の回答者全体では、「どこにも居場所がない¹⁹」と感じている割合が約2割であるのに対し、若年のひきこもり群では約5割と高い（→P82）。また、若年のひきこもり群では、子どもの頃の経験として、「困ったときに、親身に話を聞き、助言してくれる大人との出会い」や「異年齢の人（先輩・後輩）との交流」などがあったとする割合が低い（→P69）。

○ 若年のひきこもり群では、具合が悪いときに病院等へ行っていない傾向がある

若年の回答者全体では、「具合が悪いときに病院等に行っている」という設問で、「はい」と回答した者が約5割、「どちらかといえば はい」が約3割であるのに対し、若年のひきこもり群では、「はい」が約2割と少なく、「どちらかといえば はい」が約5割であった（→P54）。

「はい」の割合が少ないという結果から、若年のひきこもり群では、受診に対して何らかのハードルを感じている可能性がある。

○ 若年のひきこもり群の約5割、中高年のひきこもり群の約3割が、悩みごと・困りごととして「収入・生活資金のこと」を挙げている

若年の回答者全体の約4割、中高年の回答者全体の約3割が、現在の悩みごと・困りごととして「収入・生活資金のこと」を挙げている。ひきこもり群においても、「収入・生活資金のこと」と回答した者が多く、若年で約5割、中高年で約3割であった（→P93、P94）。

また、身の回りにかかる費用を自分で負担していると回答した者は、回答者全体では若年、中高年ともに約7割であったが、ひきこもり群では、若年で約4割、中高年で約5割にとどまった（→P51）。

ひきこもり群では主たる生計者が自身でないと回答した者が多い（→P24、P25）ため、現時点では生計維持に支障がないと考えることもできるが、今後の経済的な不安の解消においては、何らかの公的なサポートが必要になる可能性もある。経済的な不安のある者が、支援制度を知り、必要な時に選択できることが重要である。

¹⁹ 「Q17 ② どこにも居場所がないと感じることがある」について、「はい」または「どちらかといえば はい」を選択した者。

○ ひきこもり群は、食事の準備や掃除を自分でしている者が多い

若年の回答者全体の約6割、中高年の回答者全体の約7割が、食事の準備や掃除を自分でしている²⁰。ひきこもり群においても、若年では全ての者が、中高年では約8割が食事の準備や掃除を自分でしていると回答した（→P50）。

また、若年の回答者全体の約8割、中高年の回答者全体の約9割が、規則正しい生活をしている²¹。ひきこもり群においても、若年で約7割、中高年で約9割が規則正しい生活をしていると回答した（→P52）。

○ ひきこもり群では家族以外の人との関わり方への満足度が低く、また、コミュニケーション頻度が低い

ひきこもり群では、約9割が、家族との関わり方について満足している（→P72）。一方で、家族以外の人との関わり方への満足度は、ひきこもり群以外と比べ低い傾向にあった（→P73）。

また、ひきこもり群では、その6割以上が、最近6か月間で家族以外の人と「ほとんど会話しなかった」または「まったく会話しなかった」と回答しており（→P62）、非同居人と直接会って話す頻度や SNS 等でのコミュニケーション頻度もひきこもり群以外と比べて低い傾向にあった（→P77、P79）。

コミュニケーション頻度が低いこと自体が、家族以外の人との関わり方への満足度が低い理由であった場合は、コミュニケーションの機会を増やす手段として、公的機関や民間団体が実施する居場所事業等が有効な可能性もある。

一方で、家族以外の人との関わり方への満足度が低くなるきっかけがあり、それが原因でコミュニケーションを避けている場合には、個々の状況に応じた心理面等のサポートが必要だと考えられる。

20 「Q10①食事の準備や掃除は自分でしている」について、「はい」または「どちらかといえばはい」を選択した者。

21 「Q10③規則正しい生活をしている」について、「はい」または「どちらかといえばはい」を選択した者。

- 若年のひきこもり群の約9割、中高年のひきこもり群の約6割が、公的機関に「相談したいと思わない」と回答している

公的機関に「相談したいと思わない」者は若年の回答者全体で約7割、中高年の回答者全体で約6割おり、ひきこもり群では、若年で約9割、中高年で約6割であった（→P107）。

相談したいと思わない理由は、若年のひきこもり群では、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が約3割と最も多い。また、「相手にうまく話せないと思う」、「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談しても解決できないと思う」がそれぞれ約2割であった（→P109）。

中高年のひきこもり群では、「相手にうまく話せないと思う」が約4割と最も多い。また、「相談しても解決できないと思う」が約3割、「自分（または家族）のことを知られたくない」、「何をきかれるか、言われるか不安に思う」、「相談したことを人に知られたくない」がそれぞれ約2割であった（→P110）。

この結果から、公的な機関での支援内容の認知度が低いこと、また、特に中高年のひきこもり群で、公的な相談機関の利用に心理的なハードルがあることが示唆された。支援の内容や有用性に関する情報発信を積極的に行うこと、また、匿名性の担保、プライバシーに配慮した相談環境を設けることが重要である。

(2) 若年無業者の状況について

- 市内の若年無業者の推計値は、約17,000人

本調査における若年無業者の出現率は1.72%（1,102件中19件）である。令和4年1月1日現在における本市の15～39歳における推計人口を乗じた若年無業者の推計値は、約17,000人である²²。

若年無業者の年齢は、30～34歳が最も多く（→P127）、親と同居している者が多い（→P128）。

²² 平成29年度就業構造基本調査における、本市の15～34歳の家事や通学をしていない無業者のうち、「就業を希望している者のうち、求職活動をしていない者」及び「就業を希望していない者」を合わせた人数の推計値は約16,500人となっている。

また、本調査において、若年のひきこもり群と若年無業者の両方に該当する者は6件である。若年のひきこもり群に該当していて、若年無業者に該当しない者の属性は、専業主婦・主夫、学生及び就職活動をしている無職の者である。

○ 若年無業者の約4割が就職を希望している

若年無業者の約4割が就職を希望しており^(→P131)、若年無業者の約5割が、「仕事探し、就職のこと」で悩んでいる^(→P138)。若年無業者の過去の就労状況は、非正規労働者²³としての経験がある者が多い^(→P131)。また就職活動をしていない理由として、「身体的な病気・障害のため」、「からだやこころの不調のため」、「長時間働くことが難しい」を挙げる者が多い^(→P132)。

経済的な状況としては、若年無業者の世帯の約7割で親が主たる生計者であり^(→P129)、また若年無業者の約5割が「収入、生活資金のこと」について悩んでいる^(→P138)。

一方で、若年無業者の約7割が公的機関に「相談したことがない」と回答し、特に就労支援を行う「ハローワーク・ジョブカフェなどの就労支援機関」に相談したことがある者は1割以下、「若者サポートステーション」に相談したことがある者はいなかった^(→P140)。事業の認知の観点でも、若年無業者で「若者サポートステーション」を知っている者は1割以下であった^(→P143)。

若年無業者の中には、就職を希望しているにも関わらず、心身の健康状態や長時間働くことが難しいなどの理由で、就職活動に踏み切れていない者が一定数存在し、かつ支援につながっていないことが明らかとなった。このような若年無業者を、適切に就労支援機関等につなげていくことが必要である。

(3) 相談相手がいらない者への支援について

○ 若年で相談相手がいらない人では、公的機関に相談したいと思わない理由として、約5割が「相談しても解決できないと思う」、約3割が「相手にうまく話せないと思う」と回答

悩みごとや困りごとを相談する相手がいらない者²⁴は、若年、中高年ともに約1割いる^(→P144)。相談相手がいらない者のうち、「どこにも居場所がない」と感じる者は若年で約4割、中高年で約3割いた^(→P154, P155)。また、相談相手がいる者と比較して、「自分のこころの健康のこと」や、「家族関係」について悩んでいる者が多い^(→P161, P162)。

相談相手がいらない者では、公的機関への相談意向が低い^(→P163)。その理由として、特に若年では、「相談しても解決できないと思う」と回答する者が約5割、「相手にうまく話せない」と

²³ 「Q7-1 あなたは今までに働いていたことはありますか。」について、「契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある（学生時代の経験は含めません）」を選択した者。

²⁴ 「Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。」で、「家族」、「友人・知人・交際相手」、「学校の先生」、「職場の同僚・上司」、「病院、診療所」、「カウンセラー」、「近所の人」、「民間団体・サークルなど」、「当事者会・家族会」、「悩みを相談できるウェブサイト・SNS」、「その他」のいずれも選択せず、「誰にも相談しない」を選択した者。

思う」と回答する者は約3割となっていた（→P165）。若年者に対する相談支援においては、相談の実例をわかりやすく伝えたり、対面や電話以外での相談機会を提供したりするなど、相談のハードルを下げるための施策の検討が必要であろう。

（4） 支援の普及・啓発について

○ 公的機関や事業の認知度について

9つの機関や事業²⁵について認知状況を尋ねた設問において、若年の回答者全体の約4割、中高年の回答者全体の約2割が、「知っている機関・事業はない」と回答した。公的機関や事業について、市民全体に向けた継続的な広報周知が必要であると考えられる。

○ 支援に関する情報発信について

一般的な情報の入手先として「テレビ」や「ウェブ検索」の割合が高い（→P48、P49）。年齢別にみると若い者ほど「Twitter」や「YouTube」の割合が高い傾向にあった（→P171、P173）。相談機関や事業に関する認知度が低い者²⁶に限定した場合、「テレビ」や「ウェブ検索」を除くと、若年では「Twitter」や「YouTube」、中高年では「ニュースアプリ」や「YouTube」、「新聞・雑誌」から情報を得ている者が比較的多い（→P172、P174）。

市が行っている事業等の広報・周知の方法については、本調査結果を踏まえた検討を行うことが必要である。

²⁵ 「Q22 あなたは次の機関や事業を知っていますか。」で、「地域ケアプラザ」、「横浜市青少年相談センター」、「地域ユースプラザ」、「若者サポートステーション」、「よこはま型若者自立塾」、「青少年の地域活動拠点」、「青少年交流・活動支援スペース」、「生活困窮者自立相談支援機関（区役所生活支援課）」、「ひきこもり相談専用ダイヤル」の9つの機関・事業の認知状況を尋ねている。

²⁶ 「Q22 あなたは次の機関や事業を知っていますか。知っているものに○をつけてください。」について、「知っている機関・事業はない」を選択した者。

第2章 アンケート回答結果

1 集計結果の表示方法・留意事項

- 原則として調査票の順番に沿って集計結果を示している。
- 文章中の「n=〇〇」はその設問についての有効回答数を示している。
- 集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。
- 報告書に掲載している全てのクロス集計結果について、グループごと(ひきこもり群か、ひきこもり群以外、など)の回答状況の差異に関する統計的検定²⁷を行っている。統計的検定の結果が5%水準で有意であった場合、原則として回答状況の差異に関する言及を行っている。

²⁷本調査で行った統計的検定では、「母集団においてグループごとに差異はない」という仮定をおいた場合に、標本により得られた結果が、どの程度確率論的に起こりにくいのかということを計算することで、母集団においてグループごとに差異があるかどうかを検討している。

2 単純集計及びひきこもり群に関する集計²⁸

2-1 単純集計及びひきこもり群別の集計

(1) 調査対象者や家族のことについて

ア 性別

■ 15～39 歳について

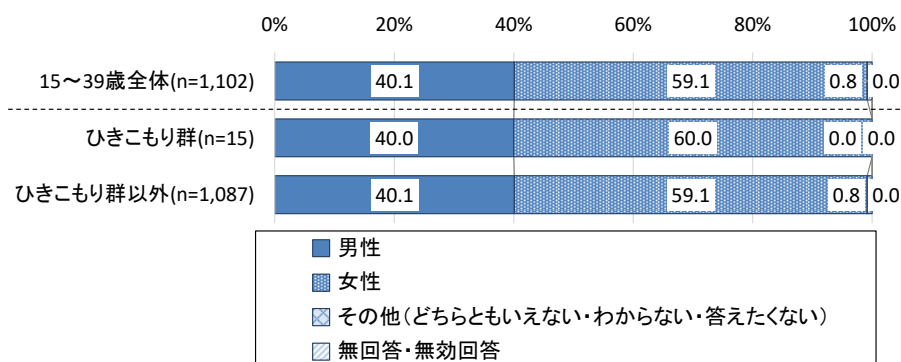
- ・ 15～39 歳全体では、「女性」が約 6 割、「男性」が約 4 割。
- ・ ひきこもり群では、「女性」が約 6 割、「男性」が約 4 割。

■ 40～64 歳について

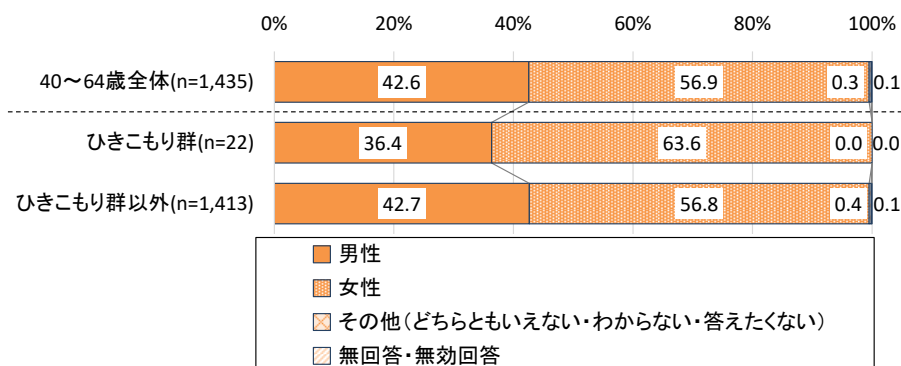
- ・ 40～64 歳全体では、「女性」が約 6 割、「男性」が約 4 割。
- ・ ひきこもり群では、「女性」が約 6 割、「男性」が約 4 割。

Q1 あなたの性別をお答えください。(単一回答)

図表 2-1-1-1 【15～39 歳】 性別

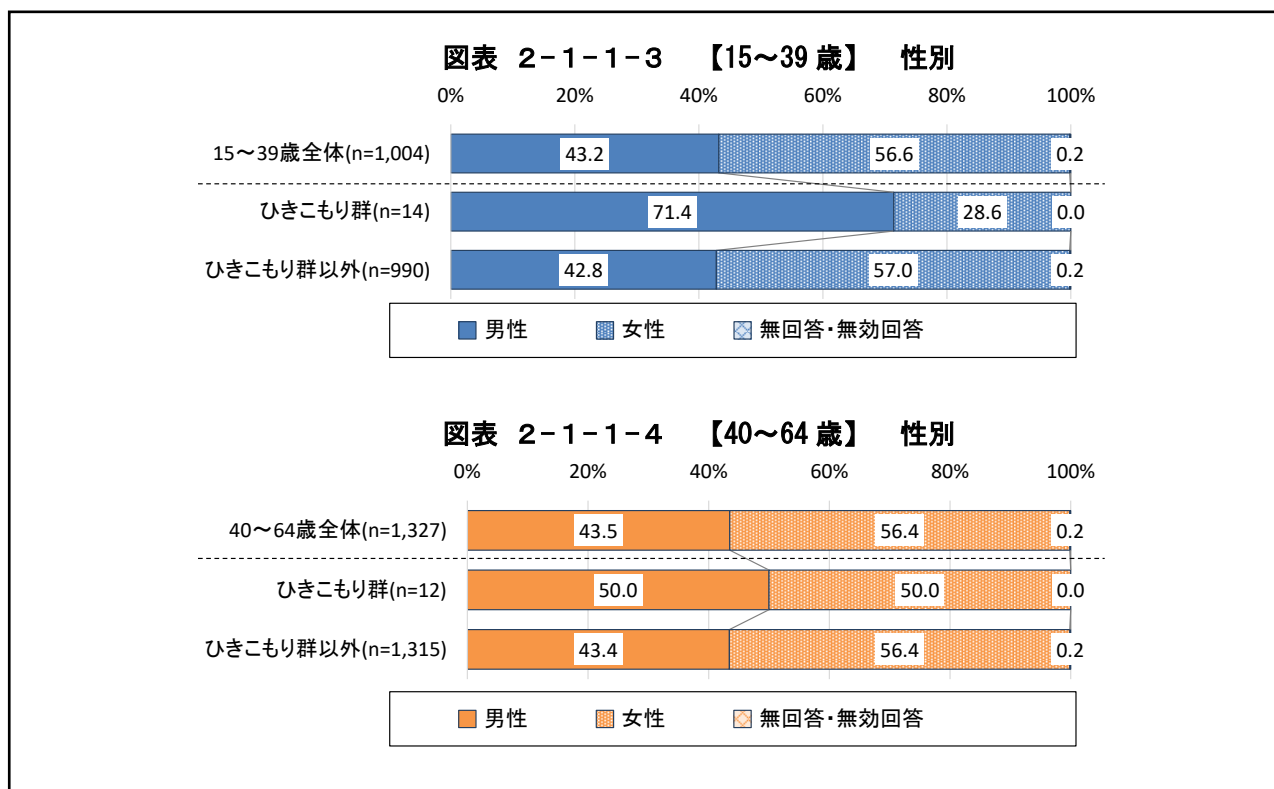


図表 2-1-1-2 【40～64 歳】 性別



²⁸ 15～39 歳における「ひきこもり群」は 15 件、40～64 歳における「ひきこもり群」は 22 件となっており、集計対象件数が非常に少ないことに留意が必要。

参考：前回（平成29年度）調査^{29 30}



²⁹ 前回調査報告書では、原則「無回答・無効回答」を除いた集計を行っているが、当報告書では、「無回答・無効回答」を含めた集計結果を掲載している。また、一部今回調査と前回調査で、設問文や選択肢が異なる設問があることに留意が必要である（以下同様）。

³⁰ 前回調査では、選択肢は「男性」、「女性」のみである。

イ 年齢

■ 15～39 歳について

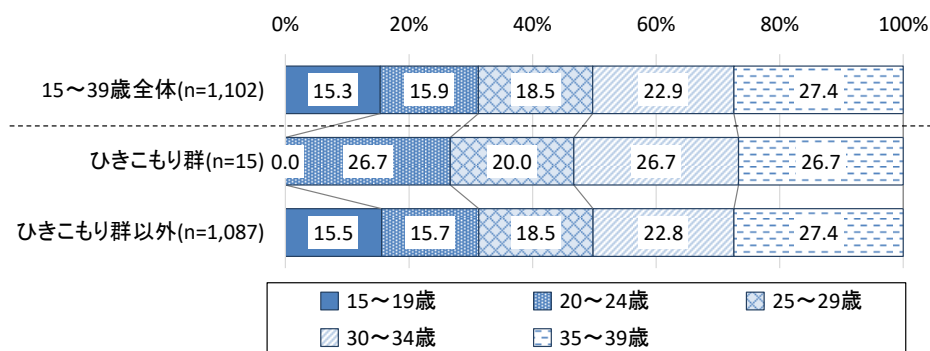
- ・ 15～39 歳全体では、「35～39 歳」が最も多く約 3 割、その他の年齢層はそれぞれ約 2 割。
- ・ ひきこもり群では、「20～24 歳」、「30～34 歳」、「35～39 歳」がそれぞれ約 3 割。

■ 40～64 歳について

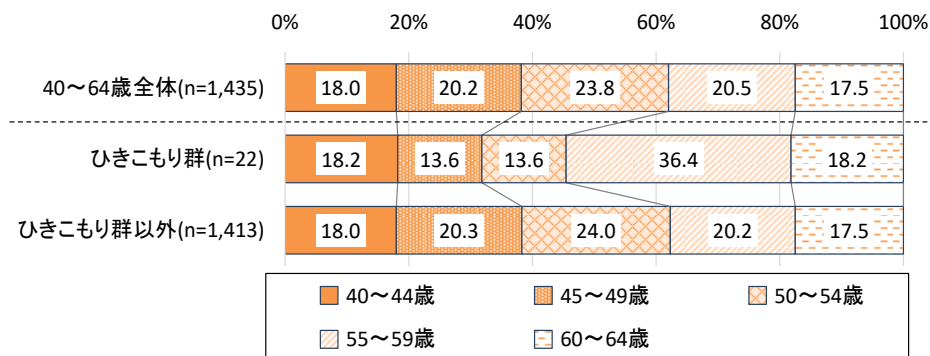
- ・ 40～64 歳全体では、どの年齢層もそれぞれ約 2 割。
- ・ ひきこもり群では、「55～59 歳」が最も多く約 4 割。

Q2 あなたの年齢をお答えください。(単一回答)

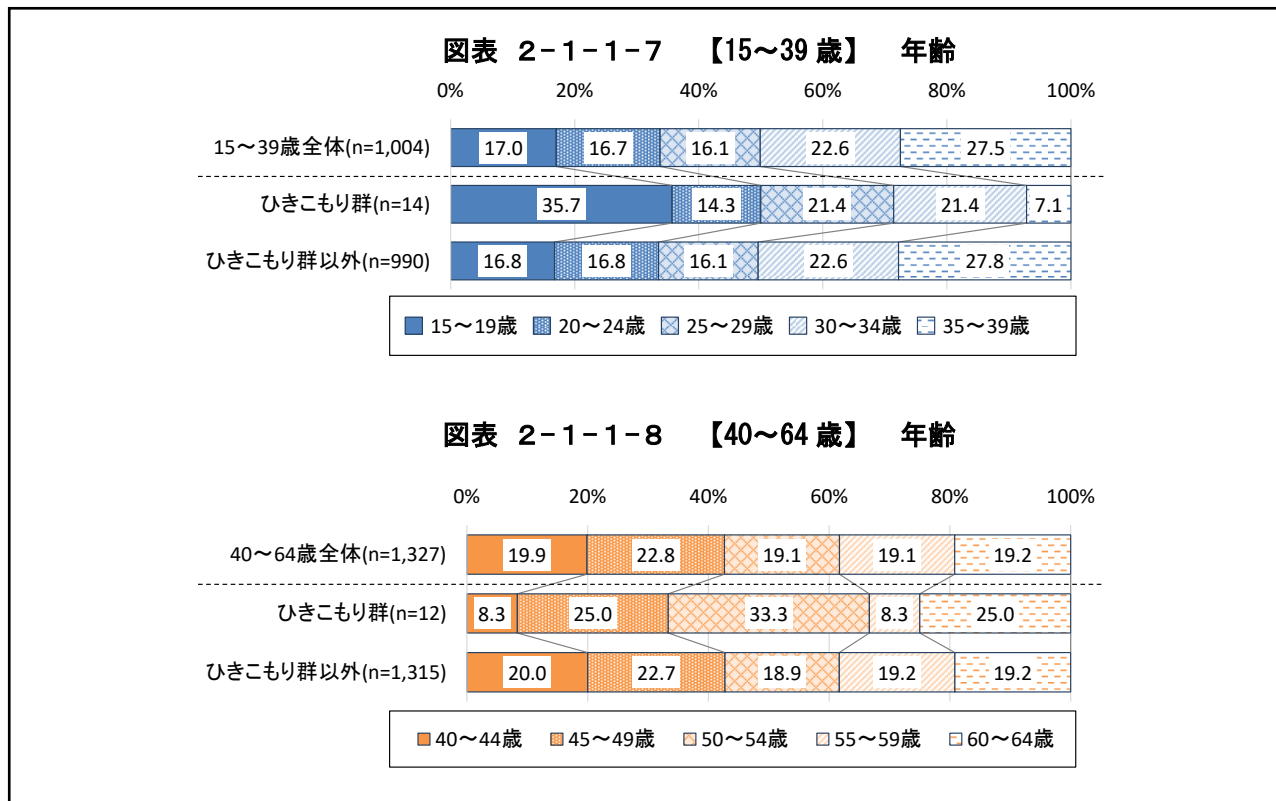
図表 2-1-1-5 【15～39 歳】 年齢



図表 2-1-1-6 【40～64 歳】 年齢



参考：前回（平成29年度）調査



ウ 同居人

■15～39歳について

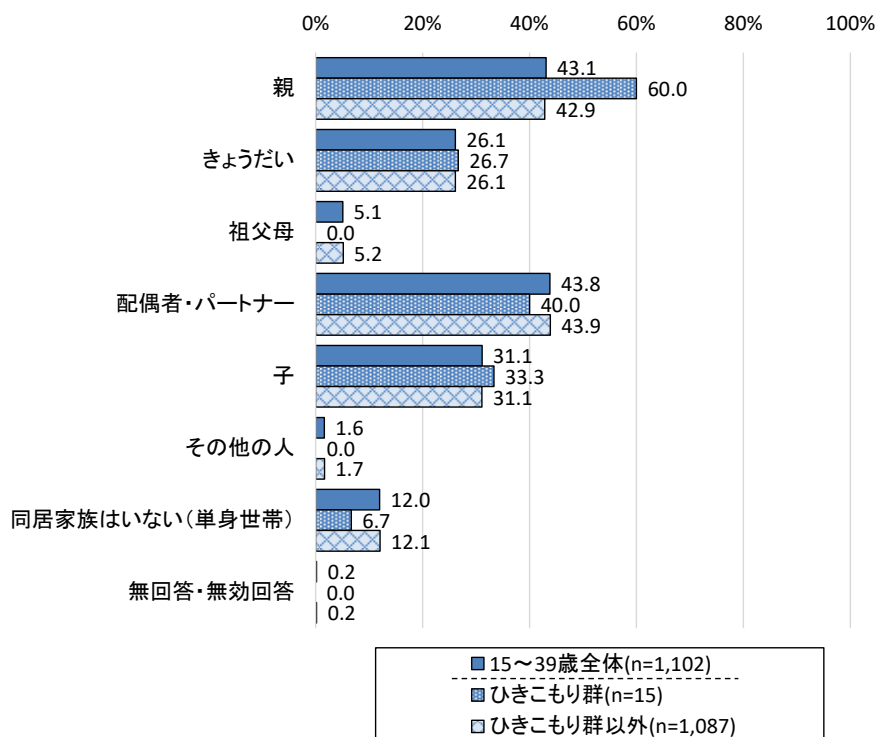
- ・15～39歳全体では、「親」、「配偶者・パートナー」がそれぞれ約4割。また、「同居家族はいない（単身世帯）」は約1割。
- ・ひきこもり群では、「親」が最も多く約6割、次いで「配偶者・パートナー」が約4割。また、「同居家族はいない（単身世帯）」は約1割。

■40～64歳について

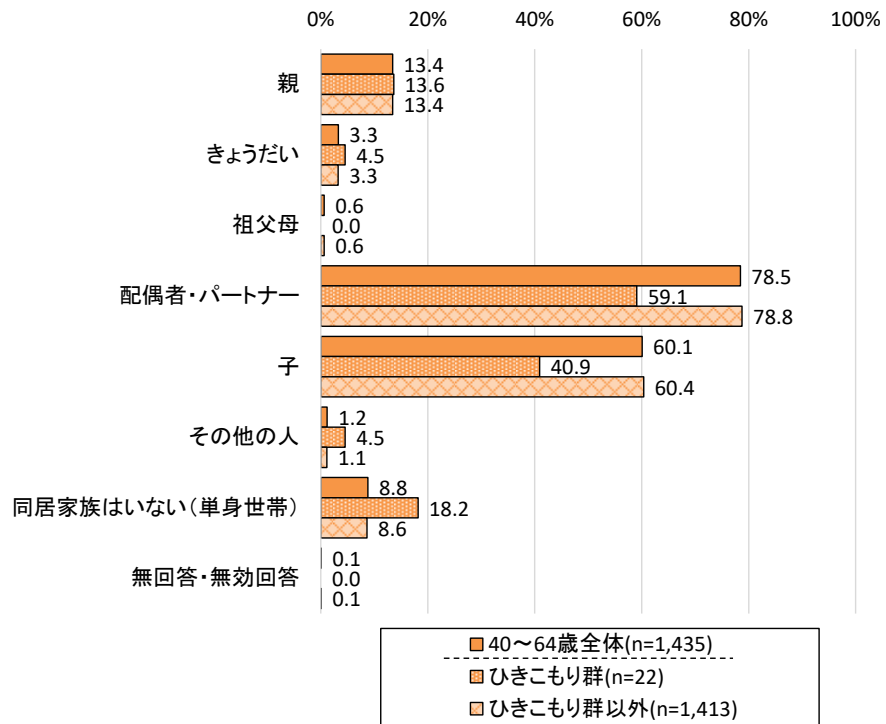
- ・40～64歳全体では、「配偶者・パートナー」が最も多く約8割、次いで「子」が約6割。また、「同居家族はいない（単身世帯）」は約1割。
- ・ひきこもり群では、「配偶者・パートナー」が最も多く約6割、次いで「子」が約4割。また、「同居家族はいない（単身世帯）」は約2割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「配偶者・パートナー」の割合が低い。

Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。（複数回答）

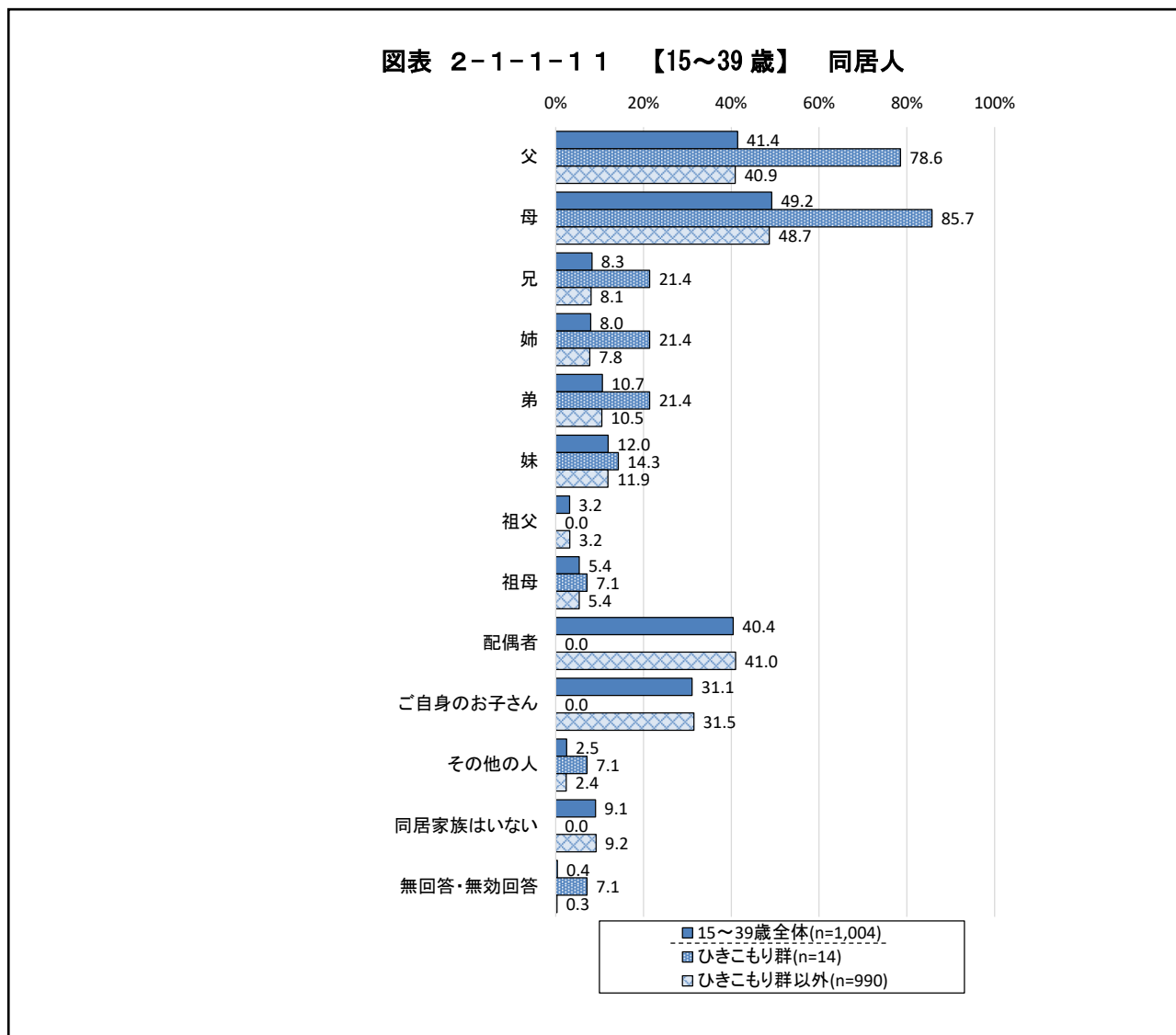
図表 2-1-1-9 【15～39歳】 同居人



図表 2-1-1-10 【40～64歳】 同居人

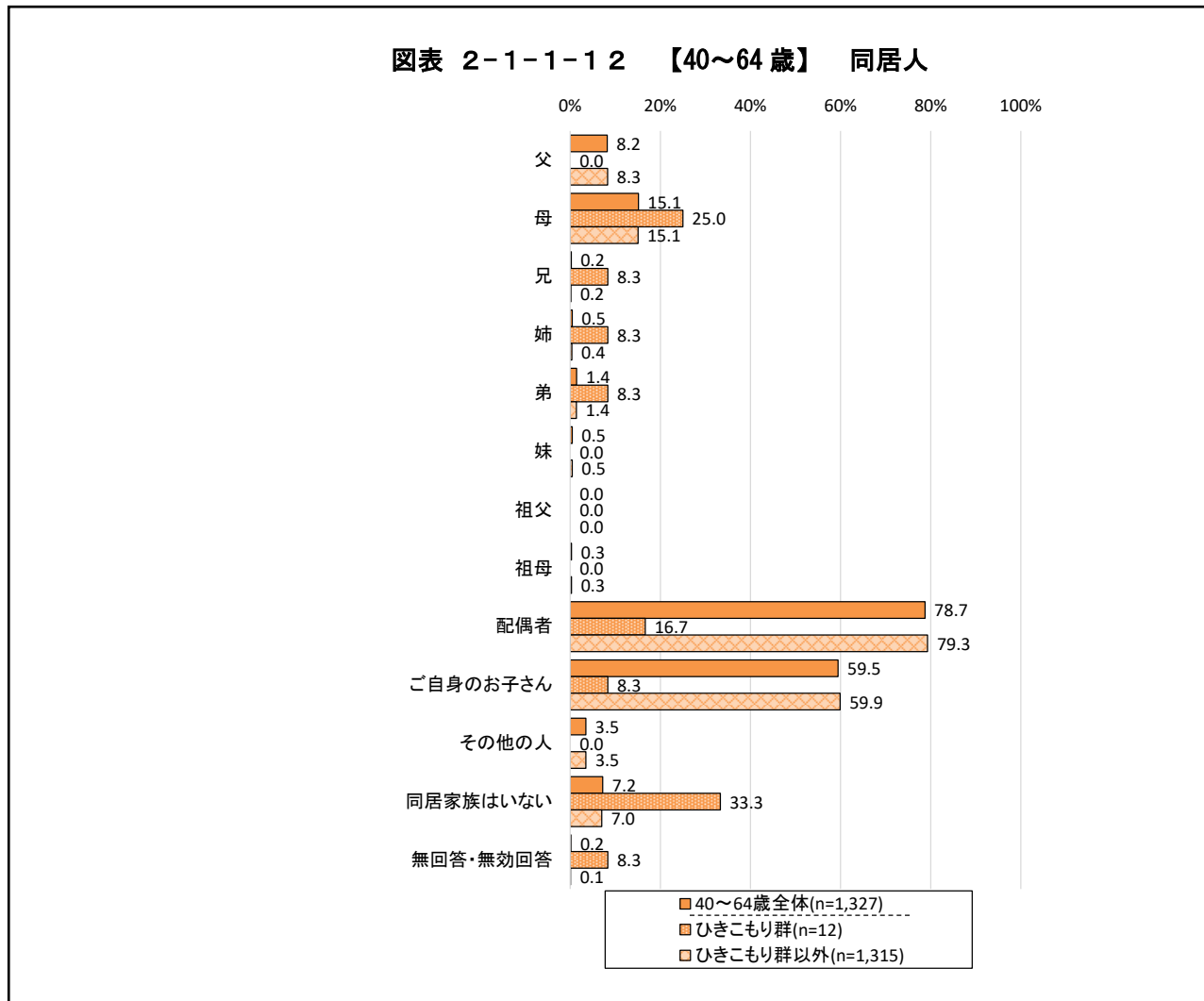


参考：前回（平成29年度）調査（15～39歳）³¹



³¹ 前回調査では、設問文が「現在あなたと同居しているご家族に○をつけてください。」となっている。また、選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。

参考：前回（平成29年度）調査（40～64歳）



エ 主生計者

■15～39歳について

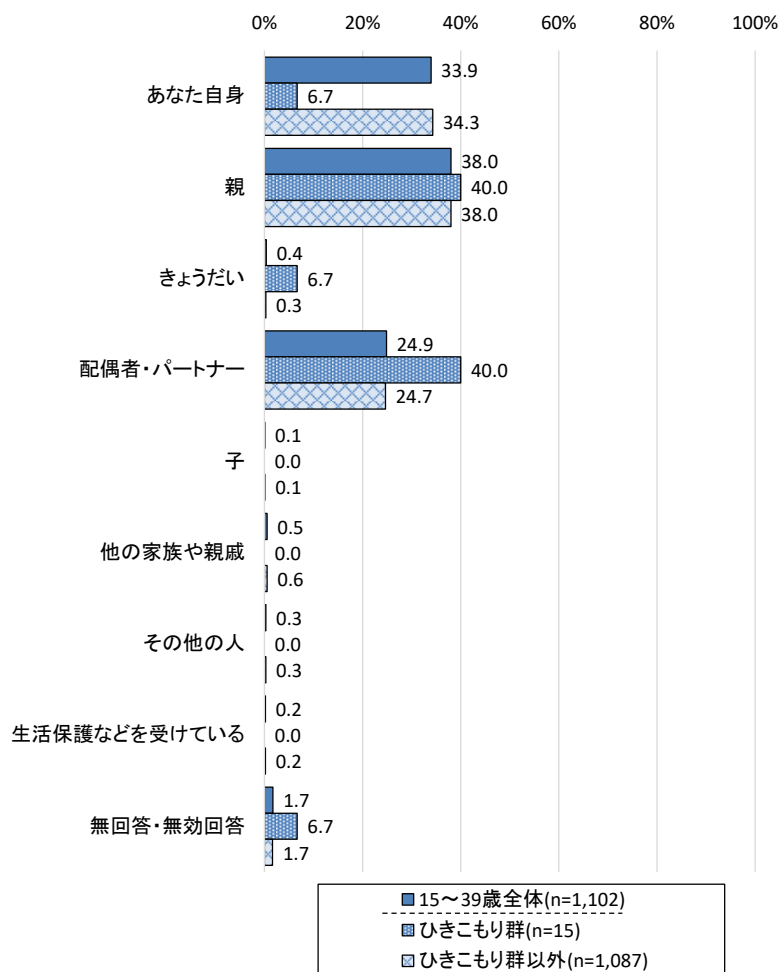
- ・15～39歳全体では、「親」が最も多く約4割、次いで「あなた自身」が約3割。
- ・ひきこもり群では、「親」、「配偶者・パートナー」がそれぞれ約4割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「あなた自身」が約1割と低い。

■40～64歳について

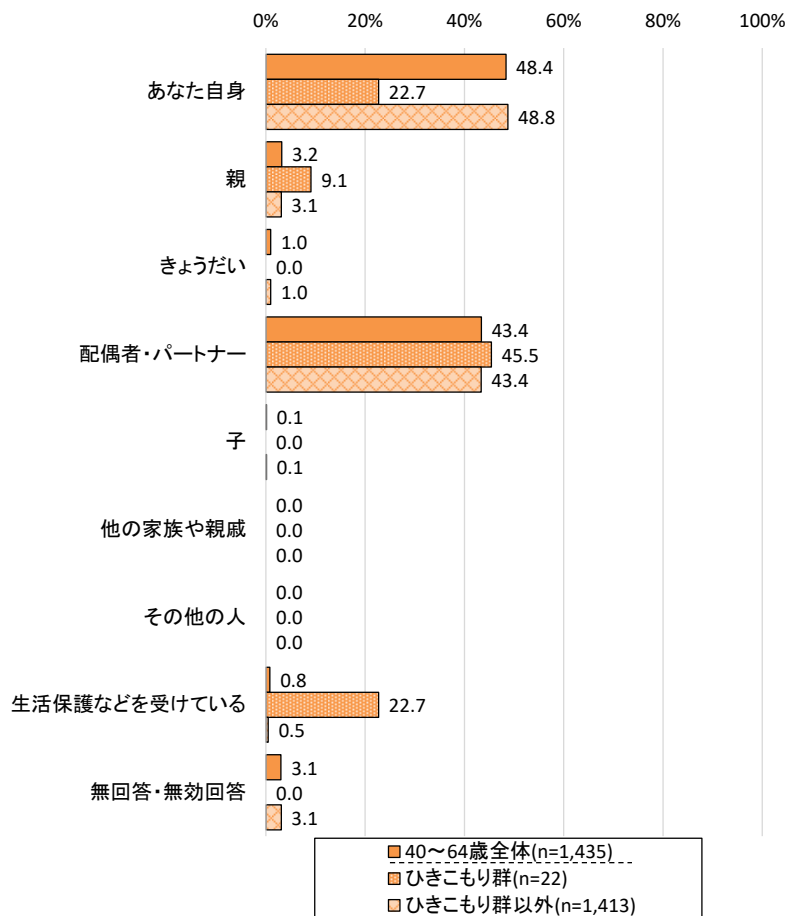
- ・40～64歳全体では、「あなた自身」が最も多く約5割、次いで「配偶者・パートナー」が約4割。
- ・ひきこもり群では、「配偶者・パートナー」が最も多く約5割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「あなた自身」が約2割と低く、「生活保護などを受けている」が約2割と高い。

Q4 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。(単一回答)

図表 2-1-1-1-3 【15～39歳】 主生計者

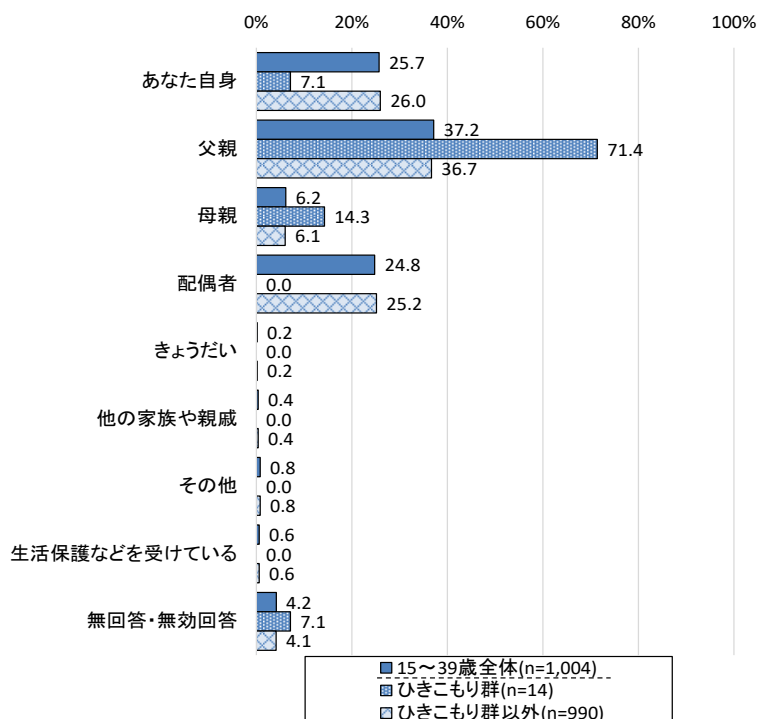


図表 2-1-1-1 4 【40～64歳】 主生計者

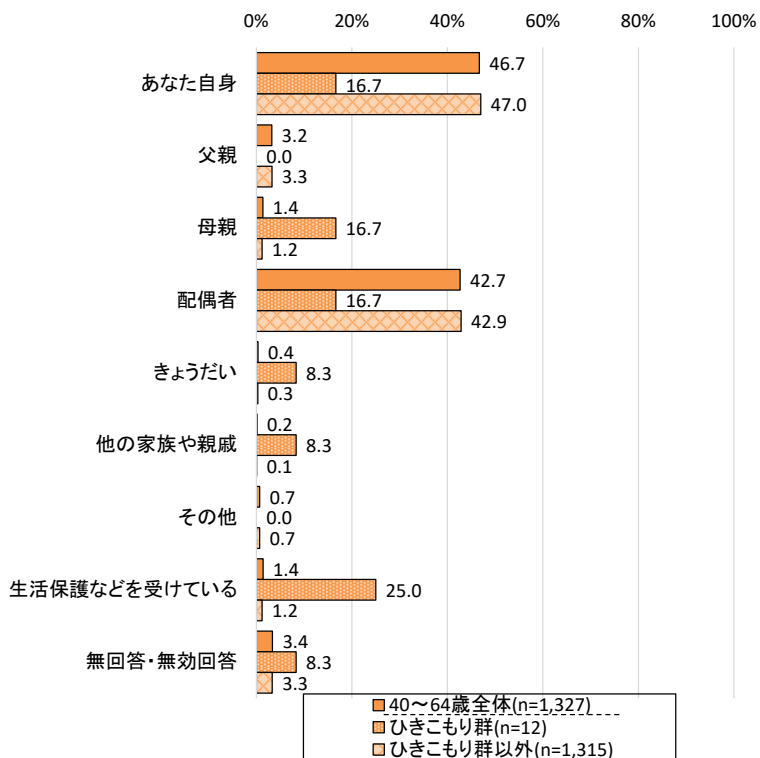


参考：前回（平成29年度）調査³²

図表 2-1-1-15 【15～39歳】 主生計者



図表 2-1-1-16 【40～64歳】 主生計者



³² 選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。

(2) 就労・就学等の状況について

ア 就学状況

■ 15～39 歳について

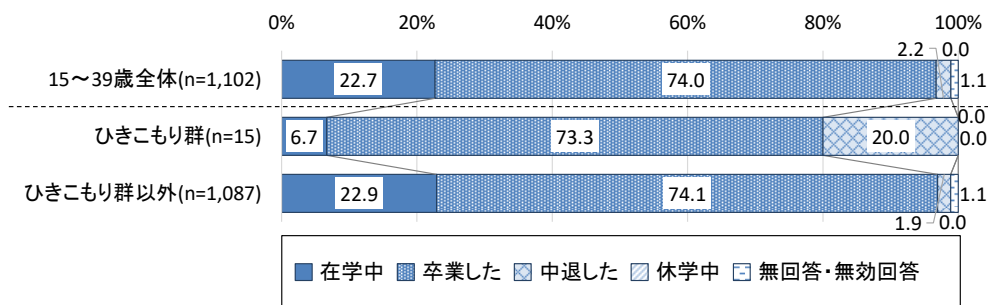
- ・ 15～39 歳全体では、「卒業した」が最も多く約 7 割、次いで「在学中」が約 2 割。
- ・ ひきこもり群では、「卒業した」が最も多く約 7 割。次いで「中退した」が約 2 割。
- ・ ひきこもり群では、「中退した」がひきこもり群以外と比較して高い。

■ 40～64 歳について

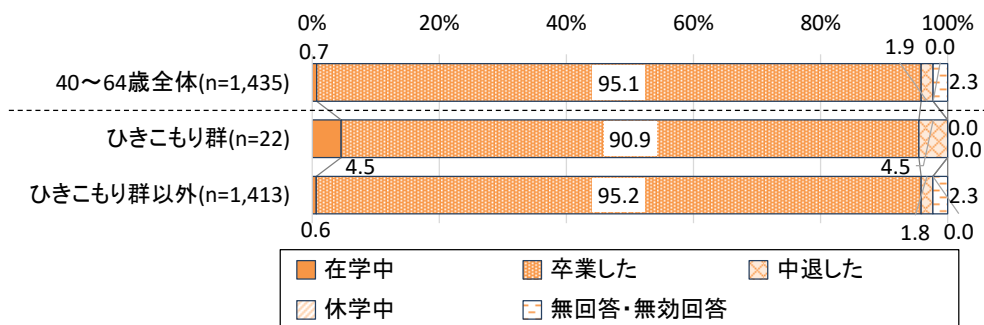
- ・ 40～64 歳全体では、ほとんどが「卒業した」と回答。
- ・ ひきこもり群では、「卒業した」が最も多く約 9 割。

Q5 あなたは現在、学校に通っていますか。(単一回答)

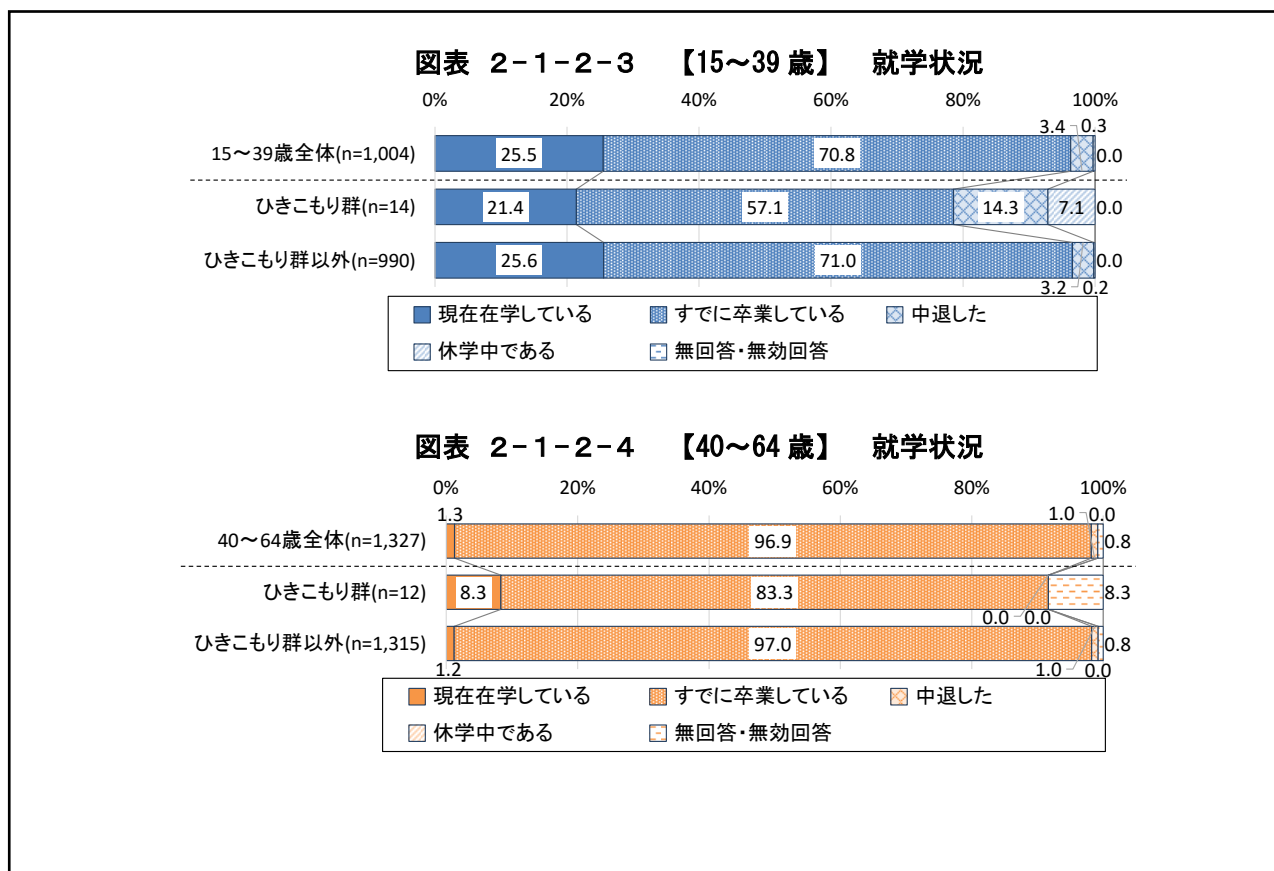
図表 2-1-2-1 【15～39 歳】 就学状況



図表 2-1-2-2 【40～64 歳】 就学状況



参考：前回（平成29年度）調査³³



³³ 前回調査では、設問文は「あなたは現在学校に通っていますか。」となっている。また、選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。

イ 最後に卒業・中退した、または在学中の学校

■ 15～39 歳について

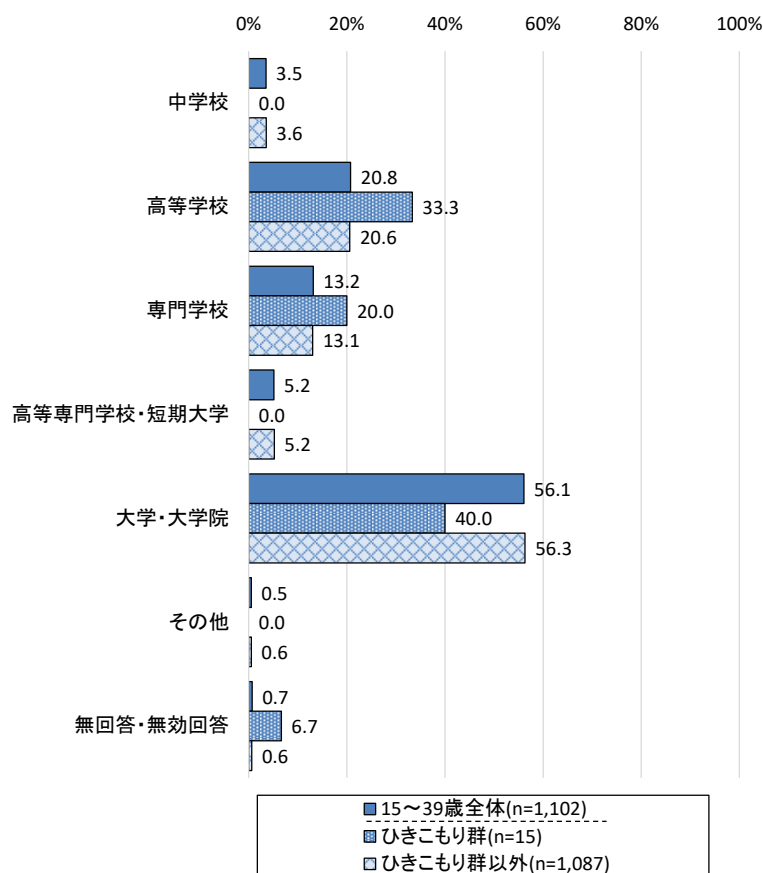
- ・ 15～39 歳全体では、「大学・大学院」が最も多く約 6 割、次いで「高等学校」が約 2 割。
- ・ ひきこもり群では、「大学・大学院」が最も多く約 4 割、次いで「高等学校」が約 3 割。

■ 40～64 歳について

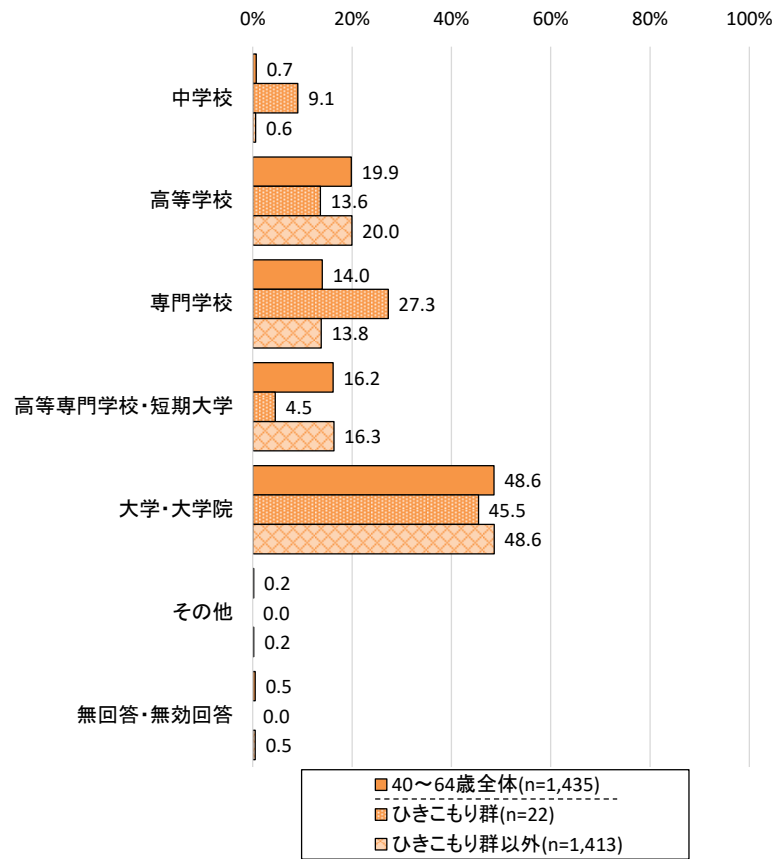
- ・ 40～64 歳全体では、「大学・大学院」が最も多く約 5 割、次いで「高等学校」、「高等専門学校・短期大学」がそれぞれ約 2 割。
- ・ ひきこもり群では、「大学・大学院」が最も多く約 5 割、次いで「専門学校」が約 3 割。
- ・ ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「中学校」、「専門学校」の割合が高く、「高等学校」、「高等専門学校・短期大学」の割合が低い。

Q6 あなたが最後に卒業(もしくは中退)した、または在学中の学校はどれですか。(単一回答)

図表 2-1-2-5 【15～39 歳】 最後に卒業・中退した、または在学中の学校

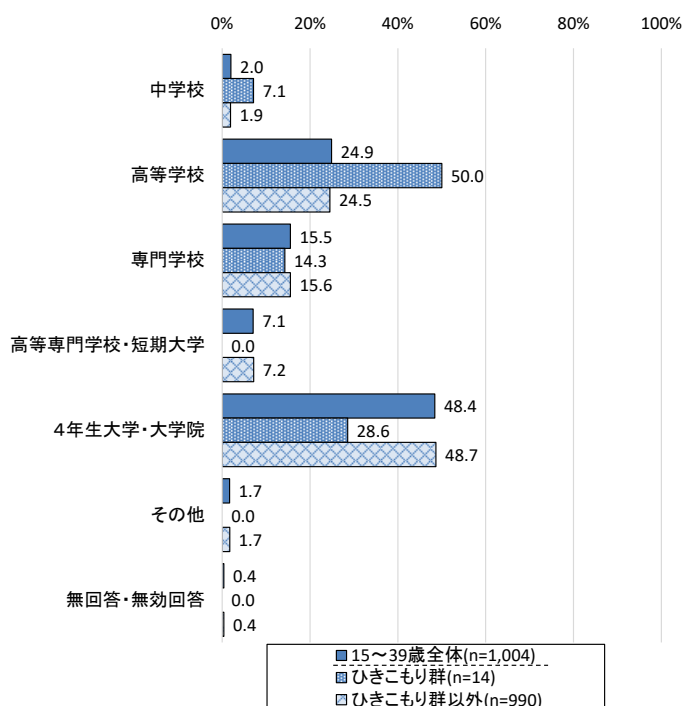


図表 2-1-2-6 【40～64歳】 最後に卒業・中退した、または在学中の学校

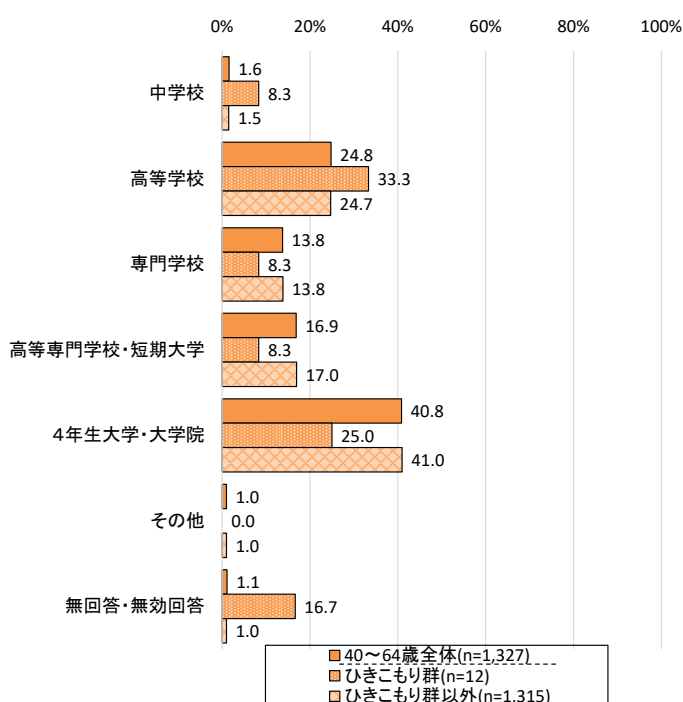


参考：前回（平成29年度）調査³⁴

図表 2-1-2-7 【15～39歳】 最後に卒業・中退した、または在学中の学校



図表 2-1-2-8 【40～64歳】 最後に卒業・中退した、または在学中の学校



³⁴ 前回調査では、設問文は「あなたが最後に卒業（中退を含む）した、または現在在学している学校はどれですか。」となっている。また、選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。前回調査では、「高等学校」の選択肢について、「全日制」、「定時制」、「通信制・サポート校」の別を尋ねているが、今回調査との比較のため、これらの回答を合わせた集計結果を掲載している。

ウ 就労・就学等の状況

■15～39歳について

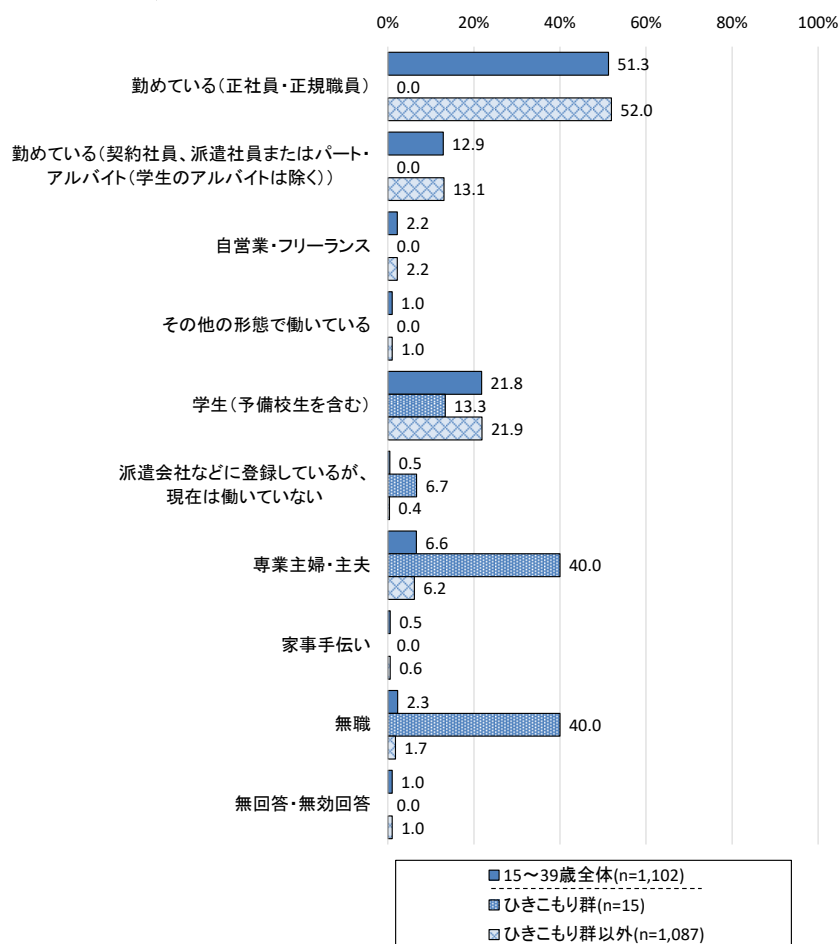
- ・15～39歳全体では、「勤めている（正社員・正規職員）」が最も多く約5割、次いで「学生（予備校生を含む）」が約2割。
- ・ひきこもり群では、「専業主婦・主夫」、「無職」がそれぞれ約4割³⁵。

■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「勤めている（正社員・正規職員）」が最も多く約5割、次いで「勤めている（契約社員、派遣社員またはパート・アルバイト）」が約3割。
- ・ひきこもり群では、「無職」が最も多く約5割、「専業主婦・主夫」が約4割。

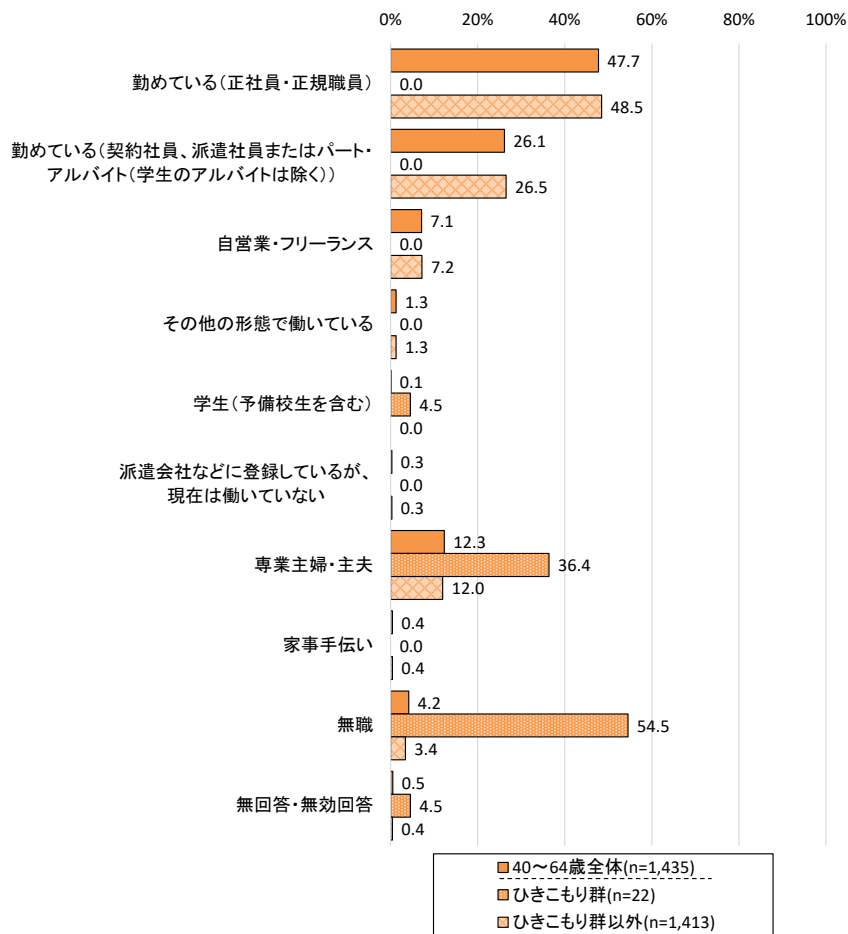
Q7 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。（単一回答）

図表 2-1-2-9 【15～39歳】 就労・就学等の状況

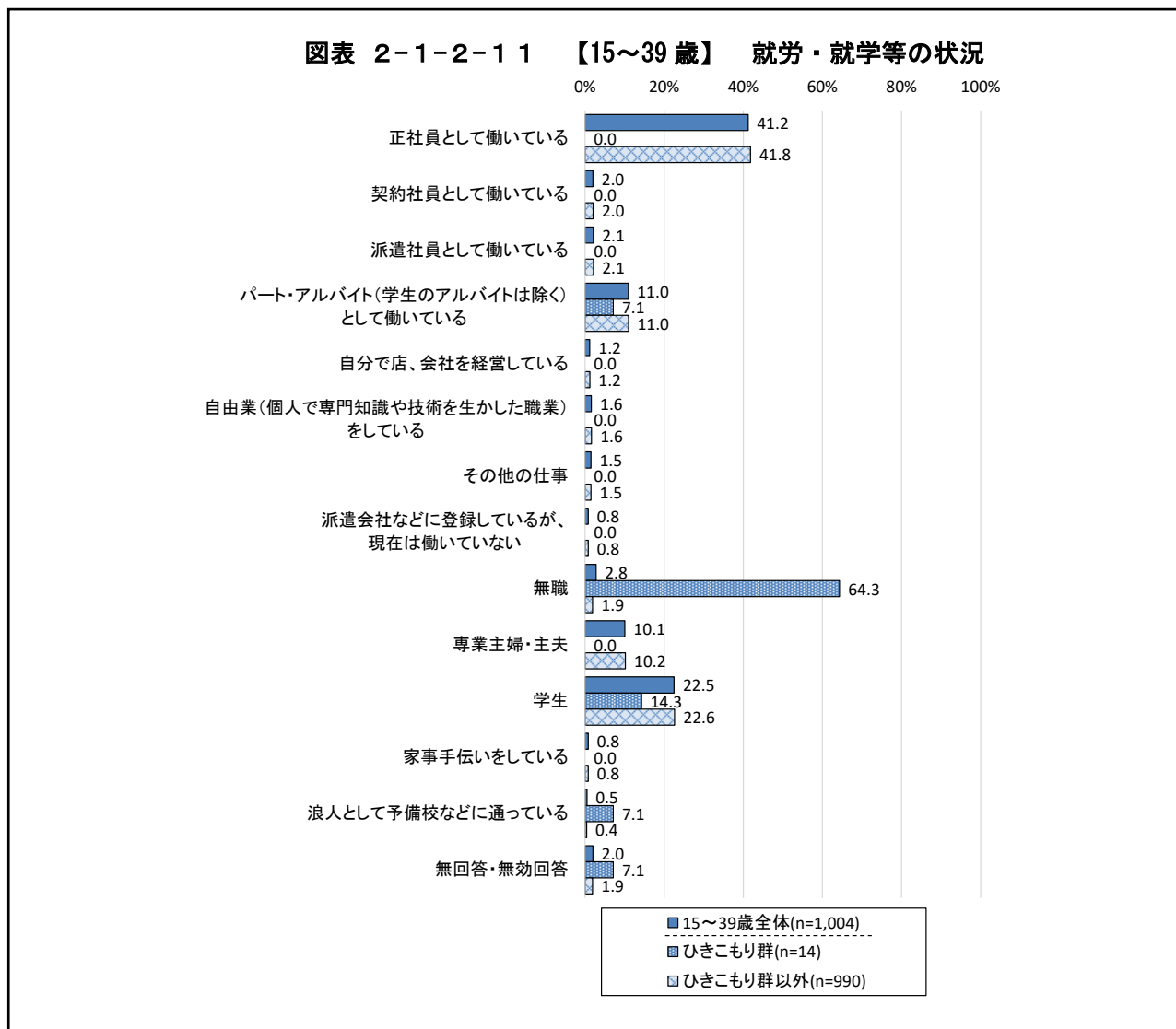


³⁵ ひきこもり群の定義より、「勤めている（正社員・正規職員）」、「勤めている（契約社員、派遣社員またはパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）」、「自営業・フリーランス」、「その他の形態で働いている」を選択した者は、ひきこもり群に含まれない（40～64歳も同様）。

図表 2-1-2-10 【40～64歳】 就労・就学等の状況



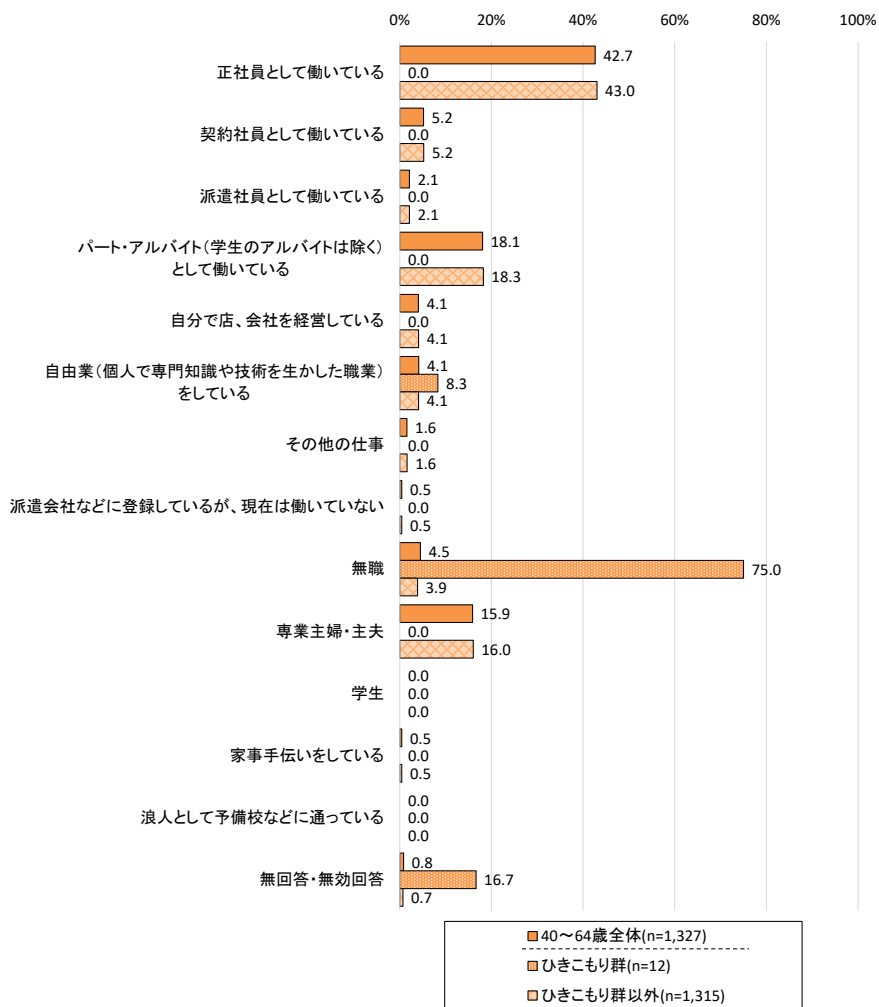
参考：前回（平成29年度）調査（15～39歳）³⁶



³⁶ 前回調査では、設問文は「あなたは現在働いていますか。」となっている。また、選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。

参考：前回（平成29年度）調査（40～64歳）

図表 2-1-2-1 2 【40～64歳】 就労・就学等の状況



エ 過去の就労状況³⁷

■15～39歳について（現在就労しておらず、学生で無い者のみ）

- ・15～39歳全体では、「正社員・正規職員として働いたことがある」が最も多く約6割、次いで「契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある」が約5割。
- ・ひきこもり群では、「正社員・正規職員として働いたことがある」、「契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある」がそれぞれ約5割。

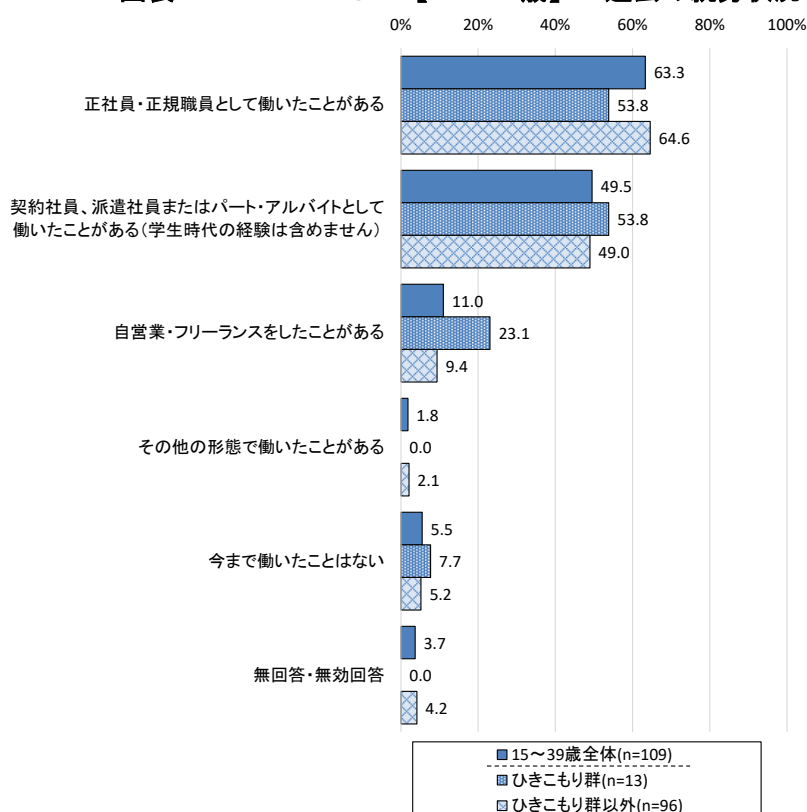
■40～64歳について（現在就労しておらず、学生で無い者のみ）

- ・40～64歳全体では、「正社員・正規職員として働いたことがある」が最も多く約9割、次いで「契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある」が約5割。
- ・ひきこもり群では、「正社員・正規職員として働いたことがある」が最も多く約8割、次いで「契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある」が約6割。

【Q7で、6～9に○をつけた方(就労しておらず、学生でない方)のみ】

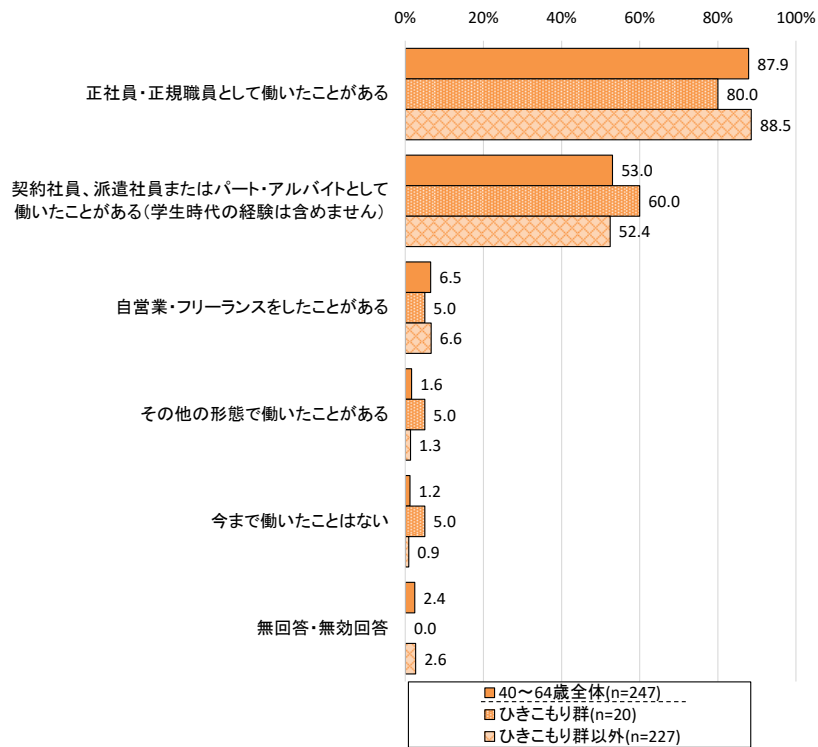
Q7-1 あなたは今までに働いていたことはありますか。(複数回答)

図表 2-1-2-13 【15～39歳】 過去の就労状況



³⁷ 集計対象は、Q7で、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」、「専業主婦・主夫」、「家事手伝い」、「無職」を選択した者のみ。

図表 2-1-2-1 4 【40～64歳】 過去の就労状況



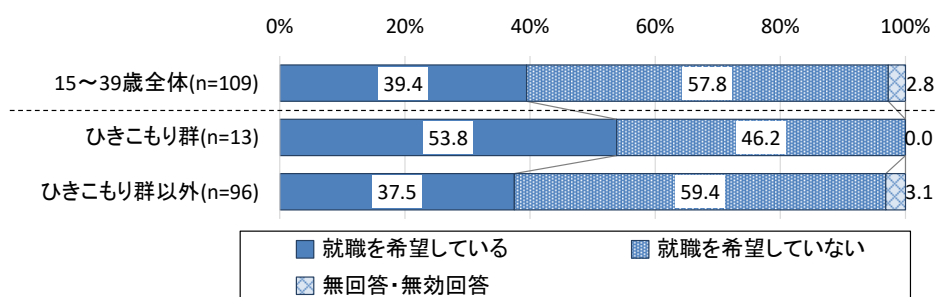
オ 就職希望の有無³⁸

- 15～39 歳について（現在就労しておらず、学生で無い者のみ）
 - ・ 15～39 歳全体では、「就職を希望していない」が最も多く約 6 割。
 - ・ ひきこもり群では、「就職を希望している」が最も多く約 5 割。
- 40～64 歳について（現在就労しておらず、学生で無い者のみ）
 - ・ 40～64 歳全体では、「就職を希望していない」が最も多く約 7 割。
 - ・ ひきこもり群では、「就職を希望していない」が最も多く約 7 割。

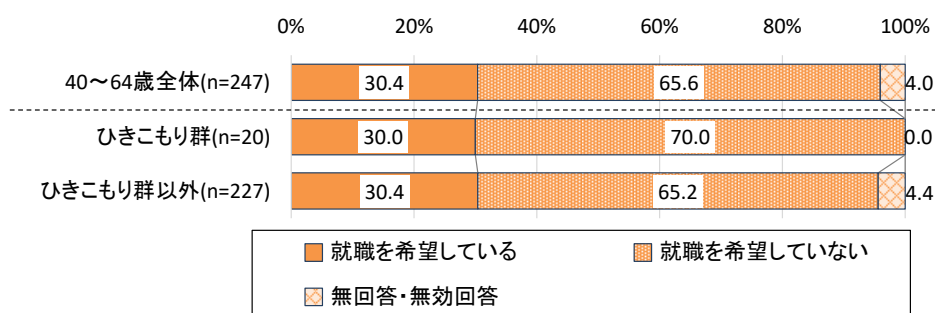
【Q7 で、6～9 に○をつけた方（就労しておらず、学生でない方）のみ】

Q7-2 あなたは現在、就職を希望していますか。（単一回答）

図表 2-1-2-15 【15～39 歳】 就職希望の有無



図表 2-1-2-16 【40～64 歳】 就職希望の有無



³⁸ 集計対象は、Q7 で、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」、「専業主婦・主夫」、「家事手伝い」、「無職」を選択した者のみ。

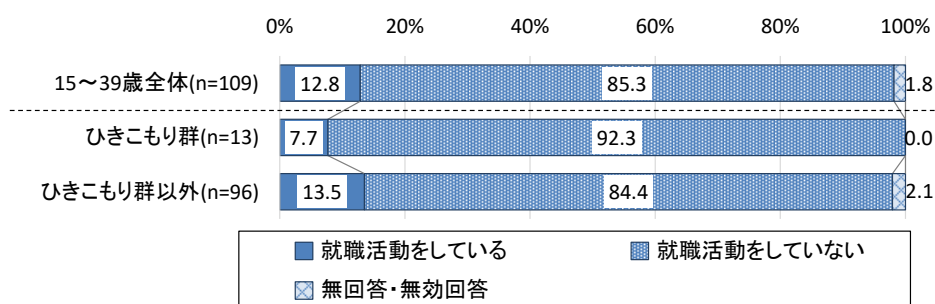
カ 就職活動の状況³⁹

- 15～39歳について（現在就労しておらず、学生で無い者のみ）
 - ・ 15～39歳全体では、「就職活動をしていない」が最も多く約9割。
 - ・ ひきこもり群では、「就職活動をしていない」が最も多く約9割。
- 40～64歳について（現在就労しておらず、学生で無い者のみ）
 - ・ 40～64歳全体では、「就職活動をしていない」が最も多く約9割。
 - ・ ひきこもり群では、「就職活動をしていない」が最も多く約9割。

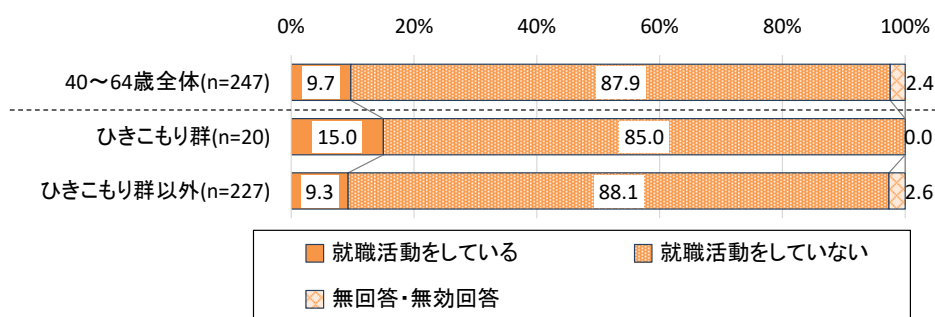
【Q7で、6～9に○をつけた方（就労しておらず、学生でない方）のみ】

Q7-3 あなたは現在、就職活動をしていますか。（単一回答）

図表 2-1-2-17 【15～39歳】 就職活動の状況



図表 2-1-2-18 【40～64歳】 就職活動の状況



³⁹ 集計対象は、Q7で、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」、「専業主婦・主夫」、「家事手伝い」、「無職」を選択した者のみ。また、前回調査では、対応する設問の回答対象者が異なり、比較不可能であるため、前回調査結果を掲載していない。

キ 就職活動をしていない理由⁴⁰

■15～39歳について（現在就労しておらず、学生で無い者のみ）

- ・15～39歳全体では、「妊娠・出産・育児のため」が最も多く約7割、次いで「長時間働くことが難しい」が約2割。
- ・ひきこもり群では、「妊娠・出産・育児のため」が最も多く約4割、次いで「からだやこころの不調のため」が約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「妊娠・出産・育児のため」の割合が低く、「からだやこころの不調のため」の割合が高い。

■40～64歳について（現在就労しておらず、学生で無い者のみ）

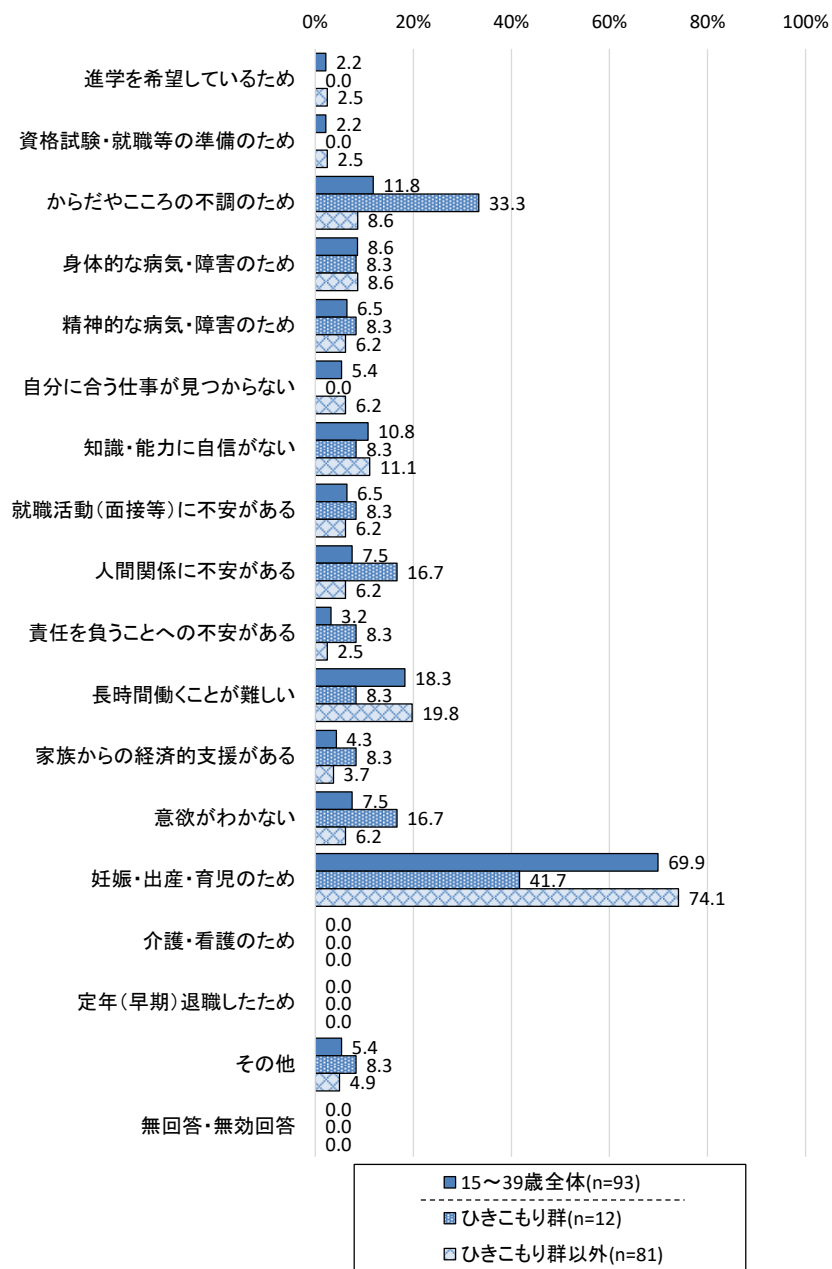
- ・40～64歳全体では、「からだやこころの不調のため」、「長時間働くことが難しい」、「家族からの経済的支援がある」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、「からだやこころの不調のため」、「就職活動（面接等）に不安がある」、「人間関係に不安がある」、「長時間働くことが難しい」、「家族からの経済的支援がある」、「意欲がわからない」がそれぞれ約2割。

⁴⁰ 集計対象は、Q7で、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」、「専業主婦・主夫」、「家事手伝い」、「無職」を選択した者のみ。また、前回調査では、対応する設問の回答対象者が異なり、比較不可能であるため、前回調査結果を掲載していない。

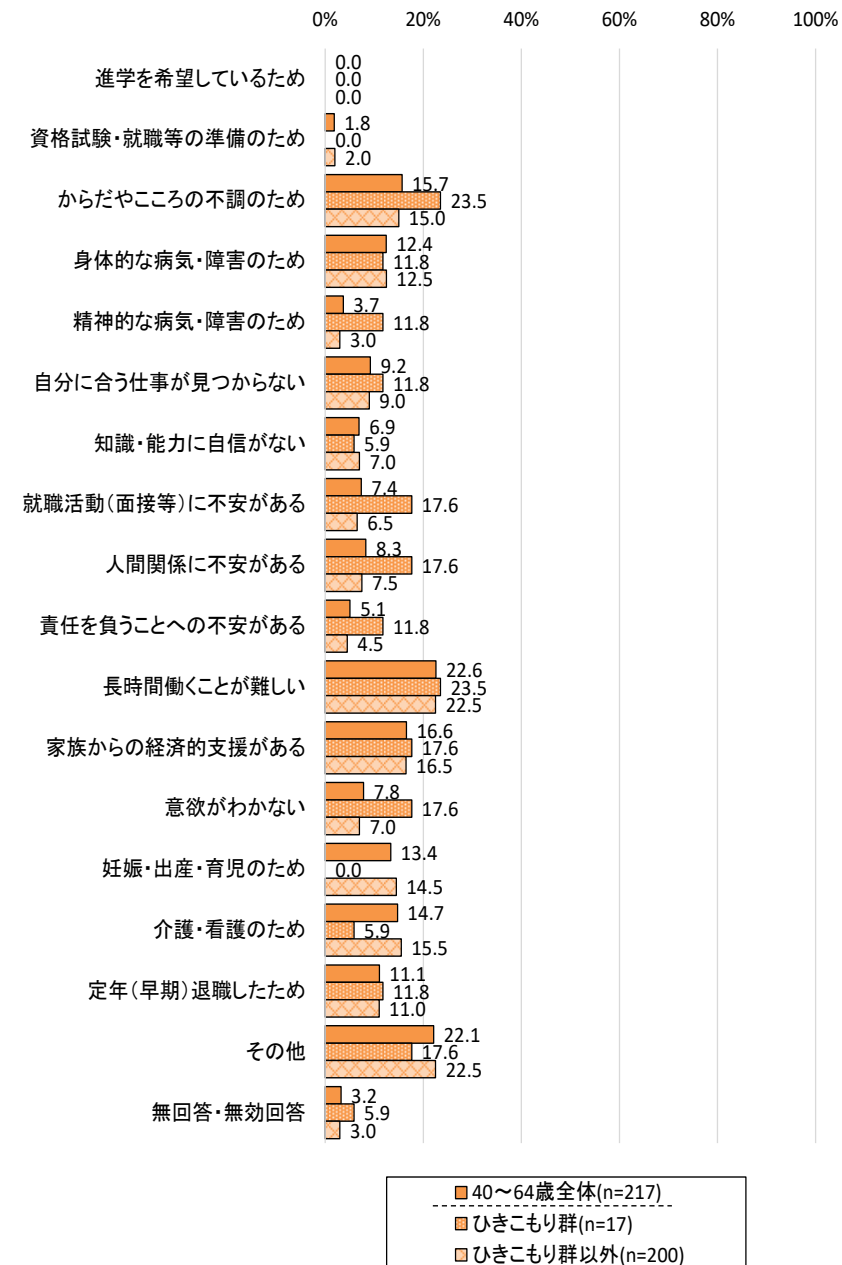
【Q7-3で「就職活動をしていない」に回答した方のみ】

Q7-4 あなたが就職活動をしていない理由は何ですか。(複数回答)

図表 2-1-2-19 【15～39歳】 就職活動をしていない理由



図表 2-1-2-20 【40～64歳】 就職活動をしていない理由



(3) ふだんの生活の状況について

ア ふだん自宅でしていること

■15～39 歳について

- ・15～39 歳全体では、「ウェブ閲覧や SNS をする」が最も多く約7割、次いで「テレビを見る」が約6割。
- ・ひきこもり群では、「ウェブ閲覧や SNS をする」が最も多く約7割、次いで「家事をする」が約6割。

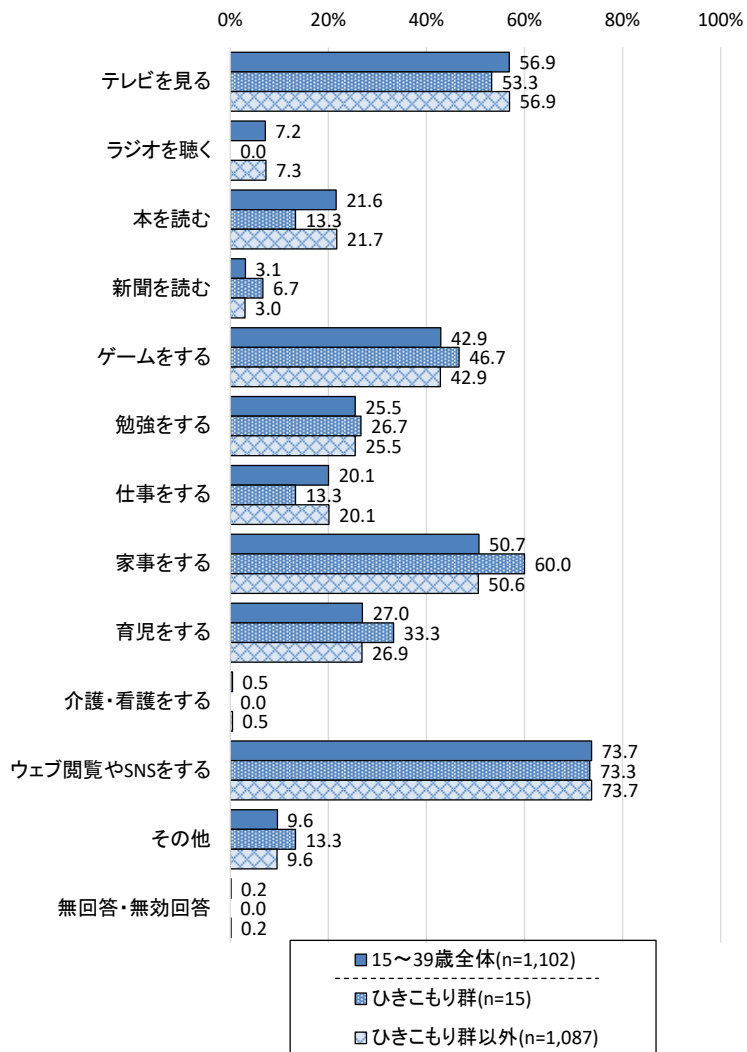
■40～64 歳について

- ・40～64 歳全体では、「テレビを見る」、「家事をする」がそれぞれ約7割、次いで「ウェブ閲覧や SNS をする」が約6割。
- ・ひきこもり群では、「テレビを見る」、「ウェブ閲覧や SNS をする」がそれぞれ約5割、次いで「本を読む」、「家事をする」がそれぞれ約4割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「テレビを見る」、「新聞を読む」、「仕事をする」、「家事をする」の割合が低い⁴¹。

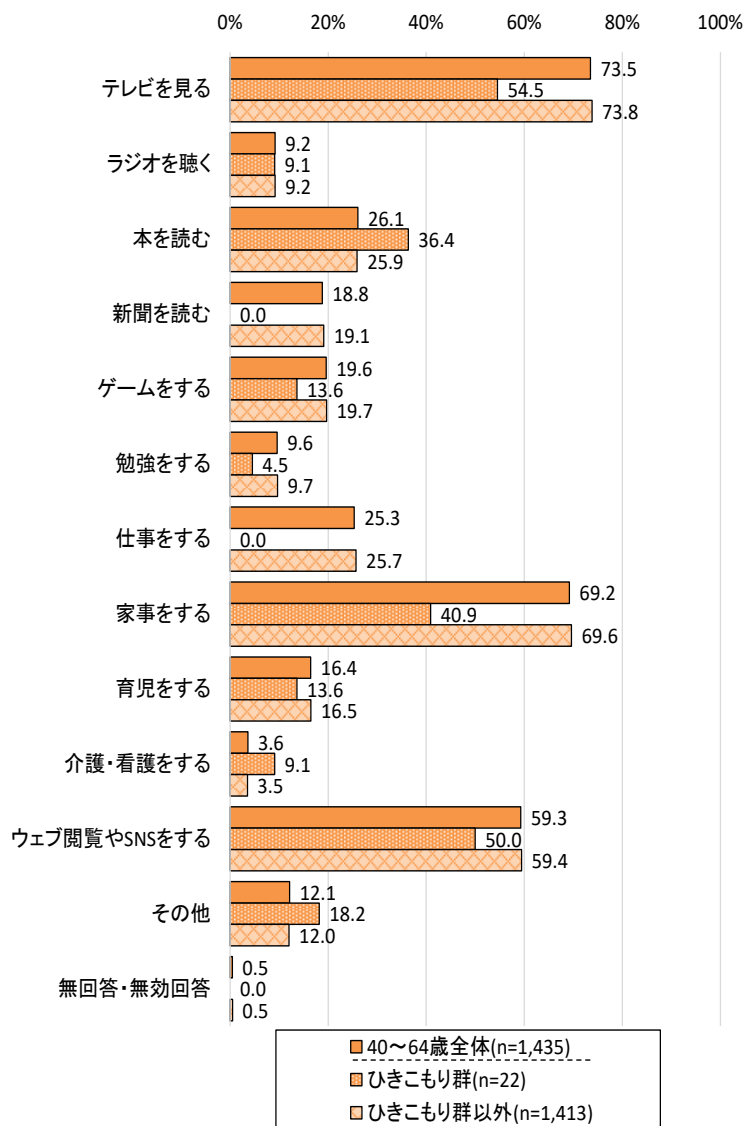
⁴¹ 「Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」で、「仕事をする」を選択した者については、その他の設問の回答状況を踏まえてひきこもり群に含めるかを判断している。

Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。(複数回答)

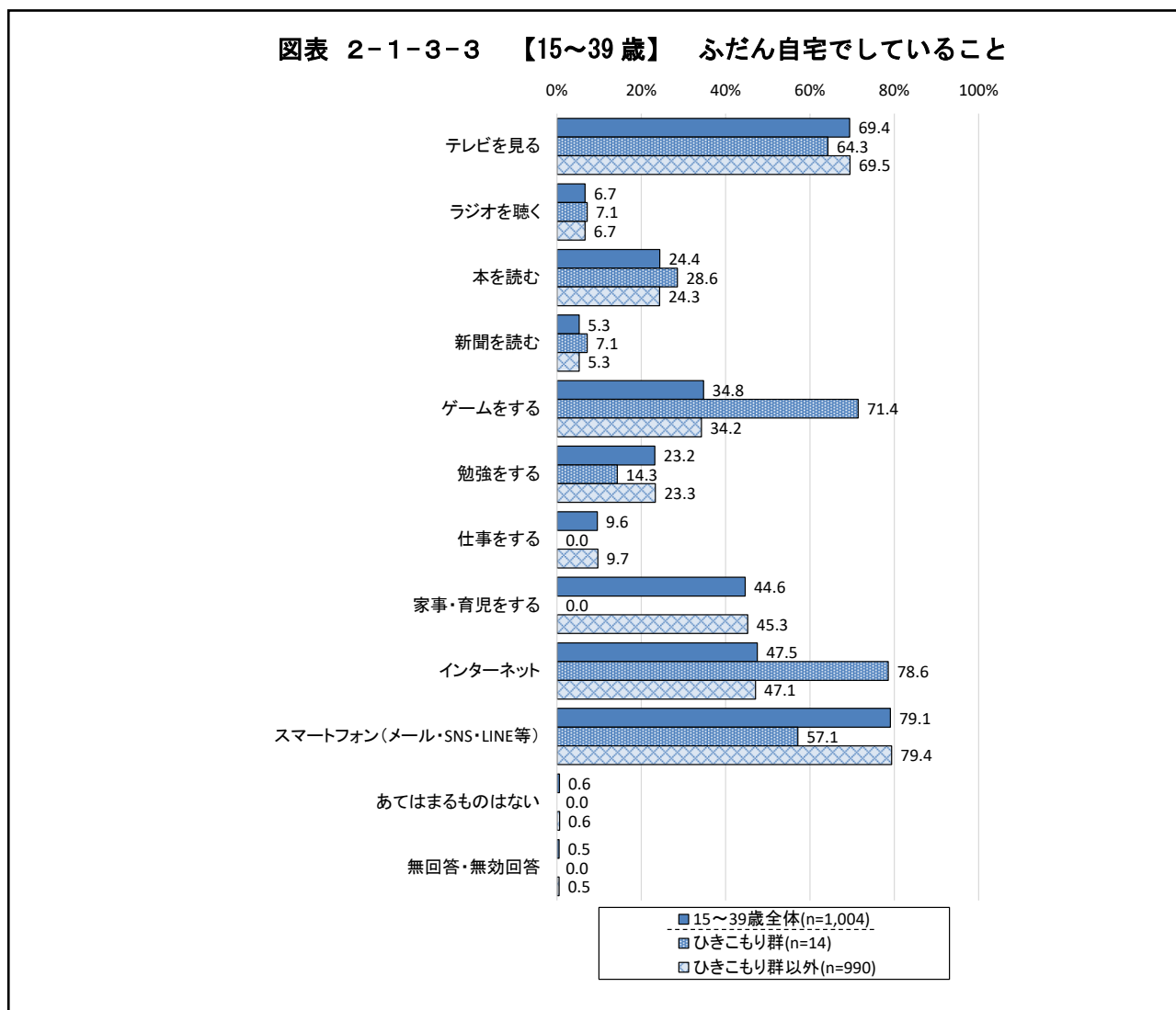
図表 2-1-3-1 【15~39歳】 ふだん自宅でしていること



図表 2-1-3-2 【40～64歳】 ふだん自宅でしていること



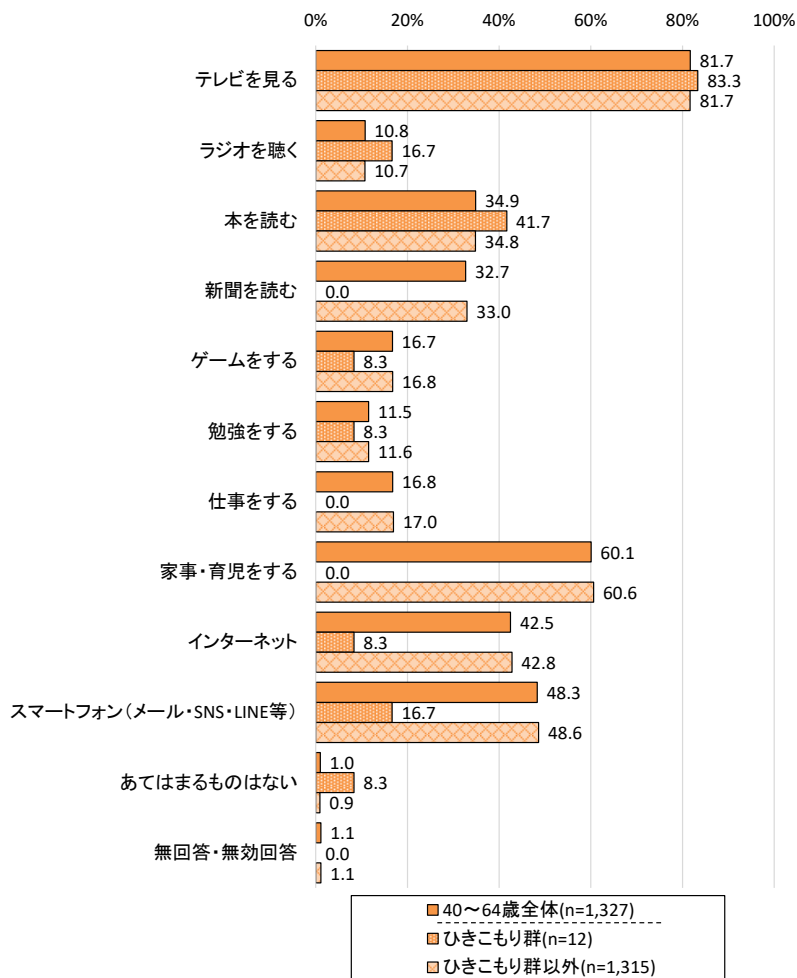
参考：前回（平成29年度）調査（15～39歳）⁴²



⁴² 前回調査では、設問文は「あなたがふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。」となっている。また、選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。

参考：前回（平成29年度）調査（40～64歳）

図表 2-1-3-4 【40～64歳】 ふだん自宅でしていること



イ 情報の入手先

■15～39 歳について

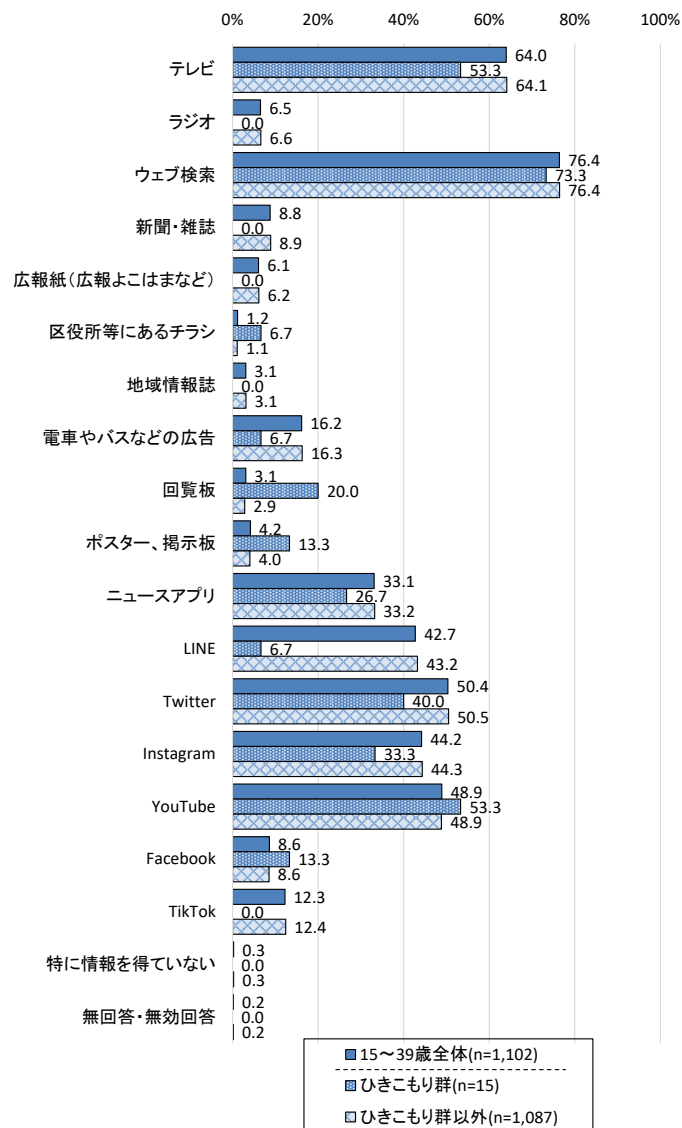
- ・15～39 歳全体では、「ウェブ検索」が最も多く約 8 割、次いで「テレビ」が約 6 割、「Twitter」、「YouTube」がそれぞれ約 5 割。
- ・ひきこもり群では、「ウェブ検索」が最も多く約 7 割、次いで「テレビ」、「YouTube」がそれぞれ約 5 割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「回覧板」の割合が高く「LINE」の割合が低い。

■40～64 歳について

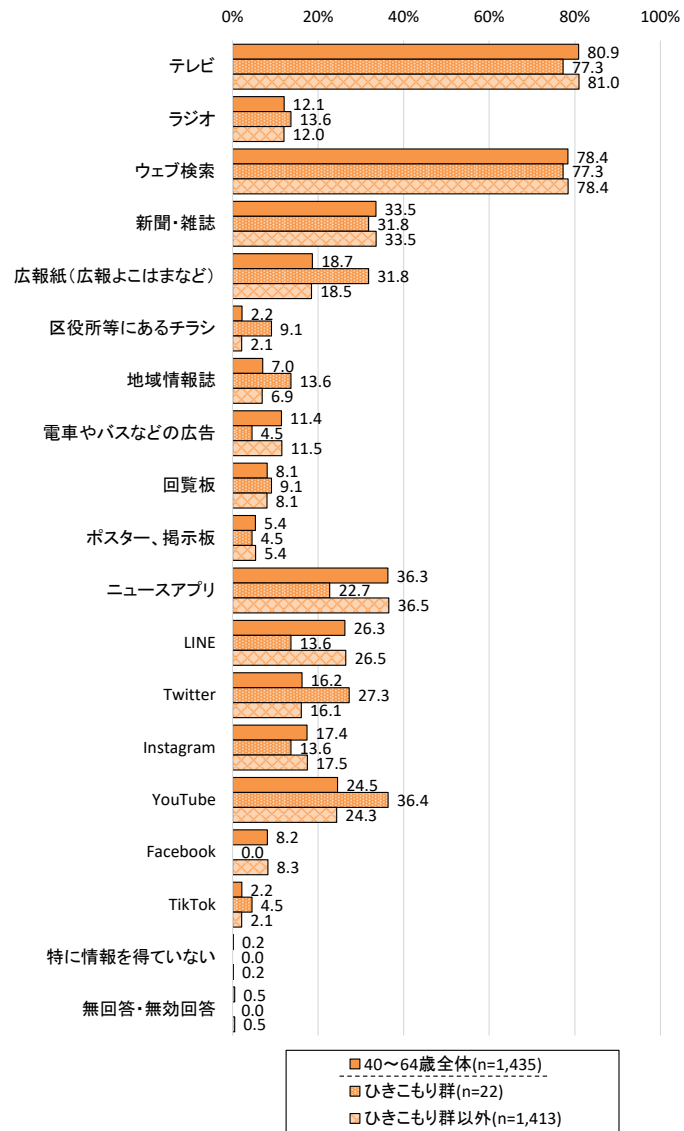
- ・40～64 歳全体では、「テレビ」、「ウェブ検索」がそれぞれ約 8 割、次いで「ニュースアプリ」が約 4 割。
- ・ひきこもり群では、「テレビ」、「ウェブ検索」がそれぞれ約 8 割、「YouTube」が約 4 割。

Q9 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。(複数回答)

図表 2-1-3-5 【15～39 歳】 情報の入手先



図表 2-1-3-6 【40～64歳】 情報の入手先



ウ 食事の準備や掃除を自分でしているか

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約6割。
- ・ひきこもり群では、全員が「はい」または「どちらかといえば はい」と回答した。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が高い。

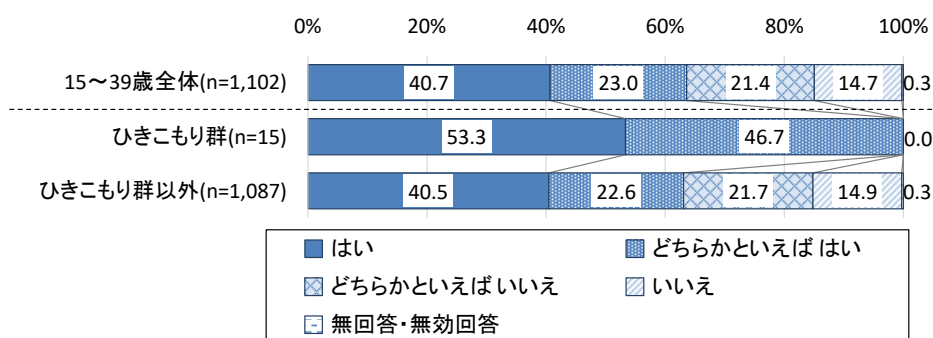
■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約8割。

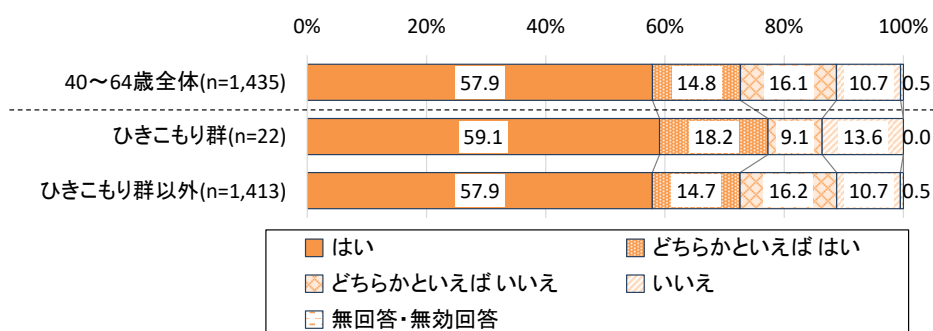
Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

①食事の準備や掃除は自分でしている(単一回答)

図表 2-1-3-7 【15～39歳】 食事の準備や掃除を自分でしているか⁴³



図表 2-1-3-8 【40～64歳】 食事の準備や掃除を自分でしているか



⁴³ 15～39歳のひきこもり群では、「どちらかといえば いいえ」、「いいえ」、「無回答・無効回答」の割合が0.0%となっている。

エ 身の回りにかかる費用を自分で負担しているか

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約4割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が低い。

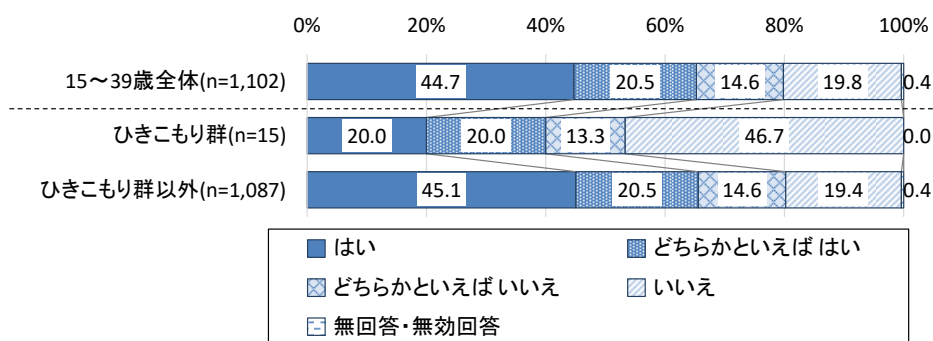
■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「はい」の割合が低い。

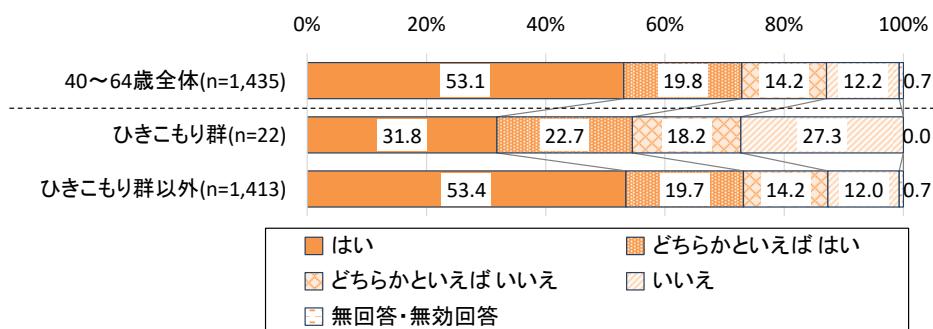
Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

②身の回りにかかる費用は、自分で負担している(単一回答)

図表 2-1-3-9 【15～39歳】 身の回りにかかる費用を自分で負担しているか



図表 2-1-3-10 【40～64歳】 身の回りにかかる費用を自分で負担しているか



オ 規則正しい生活をしているか

■ 15～39 歳について

- ・ 15～39 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 8 割。
- ・ ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 7 割。

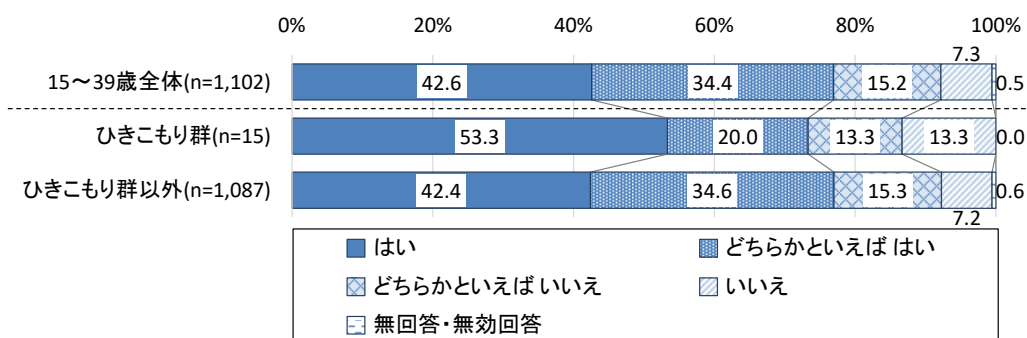
■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 9 割。
- ・ ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 9 割。

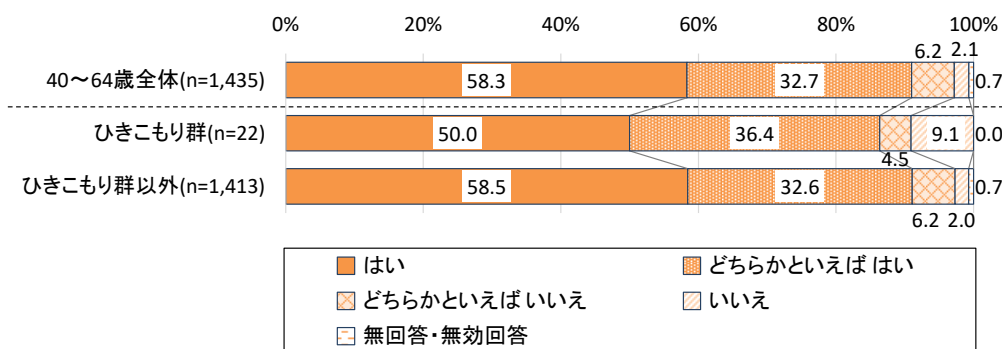
Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

③規則正しい生活をしている(単一回答)

図表 2-1-3-1 1 【15～39 歳】 規則正しい生活をしているか



図表 2-1-3-1 2 【40～64 歳】 規則正しい生活をしているか



カ 健康のために身体を動かしているか

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。

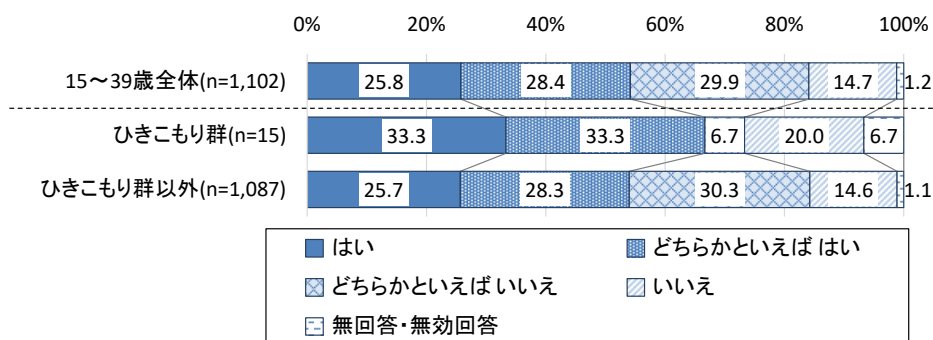
■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約6割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が低い。

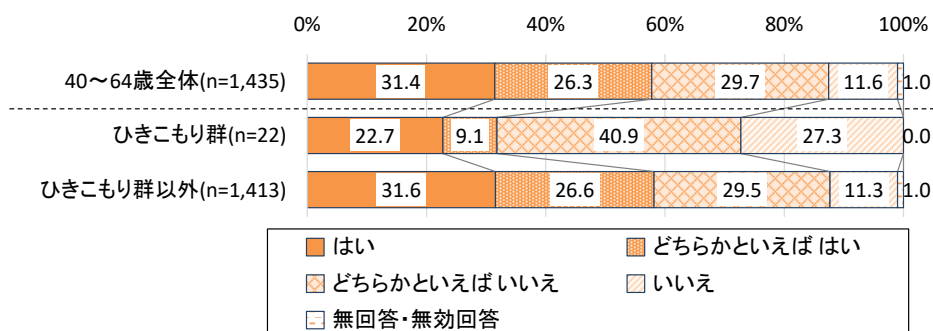
Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

④健康のために身体を動かしている(単一回答)

図表 2-1-3-13 【15～39歳】 健康のために身体を動かしているか



図表 2-1-3-14 【40～64歳】 健康のために身体を動かしているか



キ 具合が悪いときは、病院や診療所に行っているか

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約8割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「はい」の割合が低い。

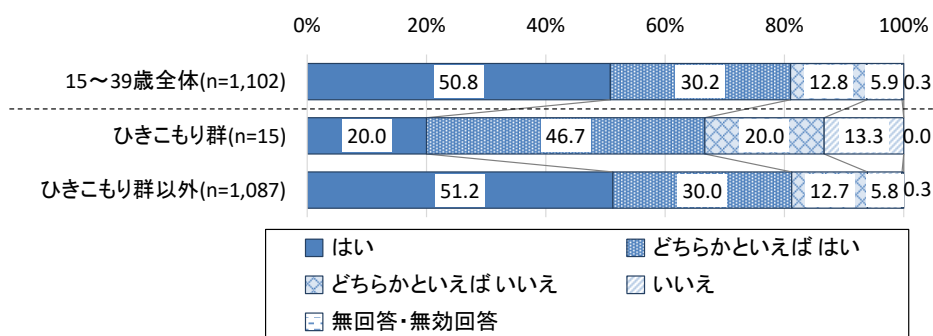
■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約8割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約9割。

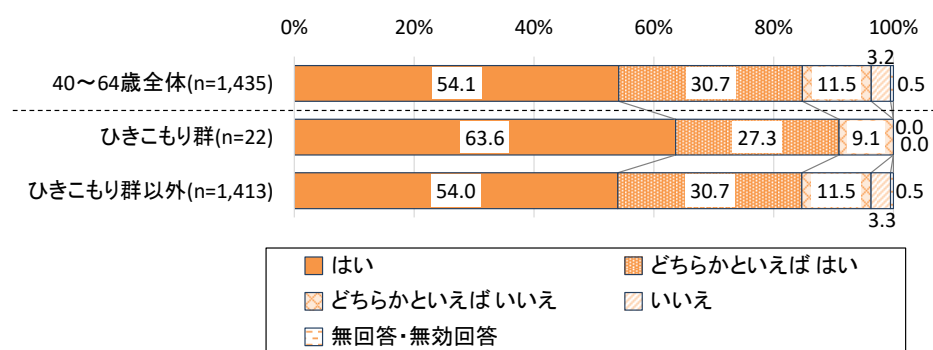
Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

⑤ 具合が悪いときは、病院や診療所に行っている(単一回答)

図表 2-1-3-15 【15～39歳】 具合が悪いときは、病院や診療所に行っているか



図表 2-1-3-16 【40～64歳】 具合が悪いときは、病院や診療所に行っているか



ク 外出頻度

■15～39 歳について

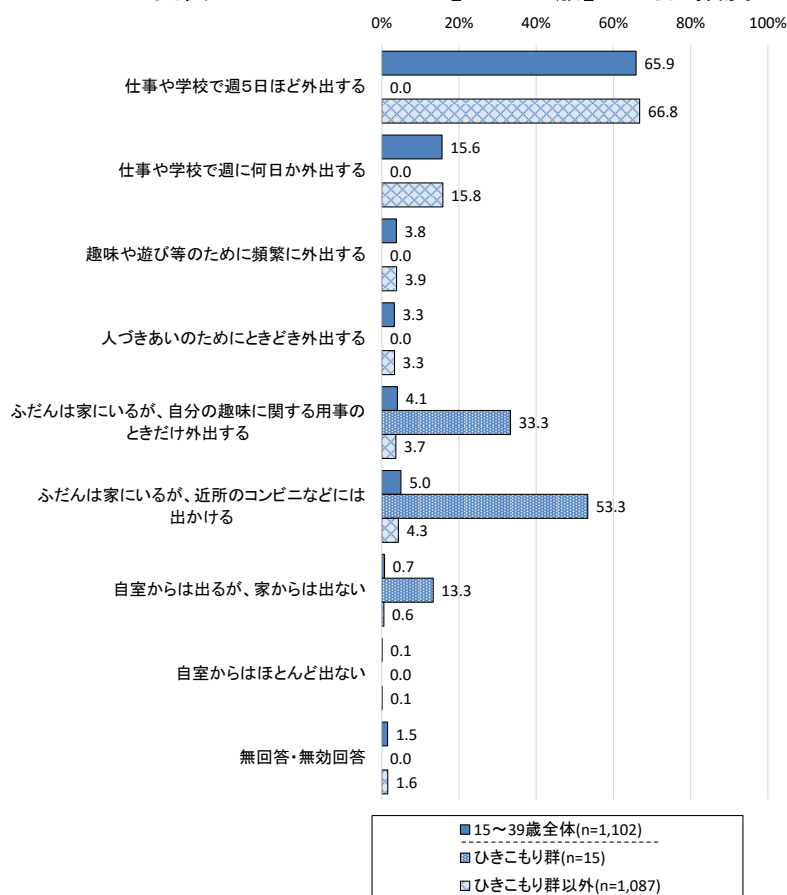
- ・15～39 歳全体では、「仕事や学校で週5日ほど外出する」が最も多く約7割、次いで「仕事や学校で週に何日か外出する」が約2割。
- ・ひきこもり群では、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が最も多く約5割、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」が約3割⁴⁴。

■40～64 歳について

- ・40～64 歳全体では、「仕事や学校で週5日ほど外出する」が最も多く約6割、次いで「仕事や学校で週に何日か外出する」が約2割。
- ・ひきこもり群では、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」が最も多く約5割、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が約4割。

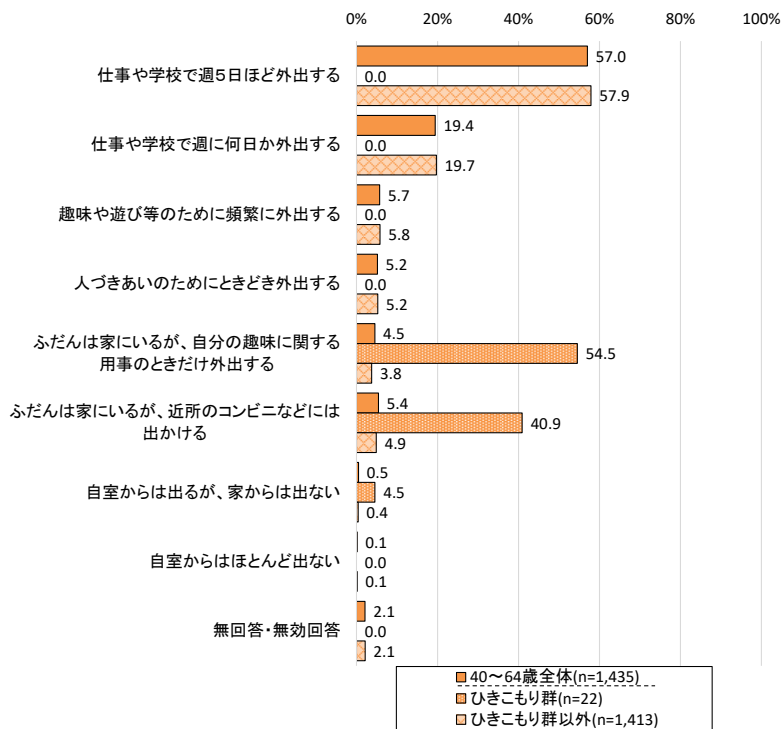
Q11 あなたはふだんどのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 2-1-3-17 【15～39 歳】 外出頻度

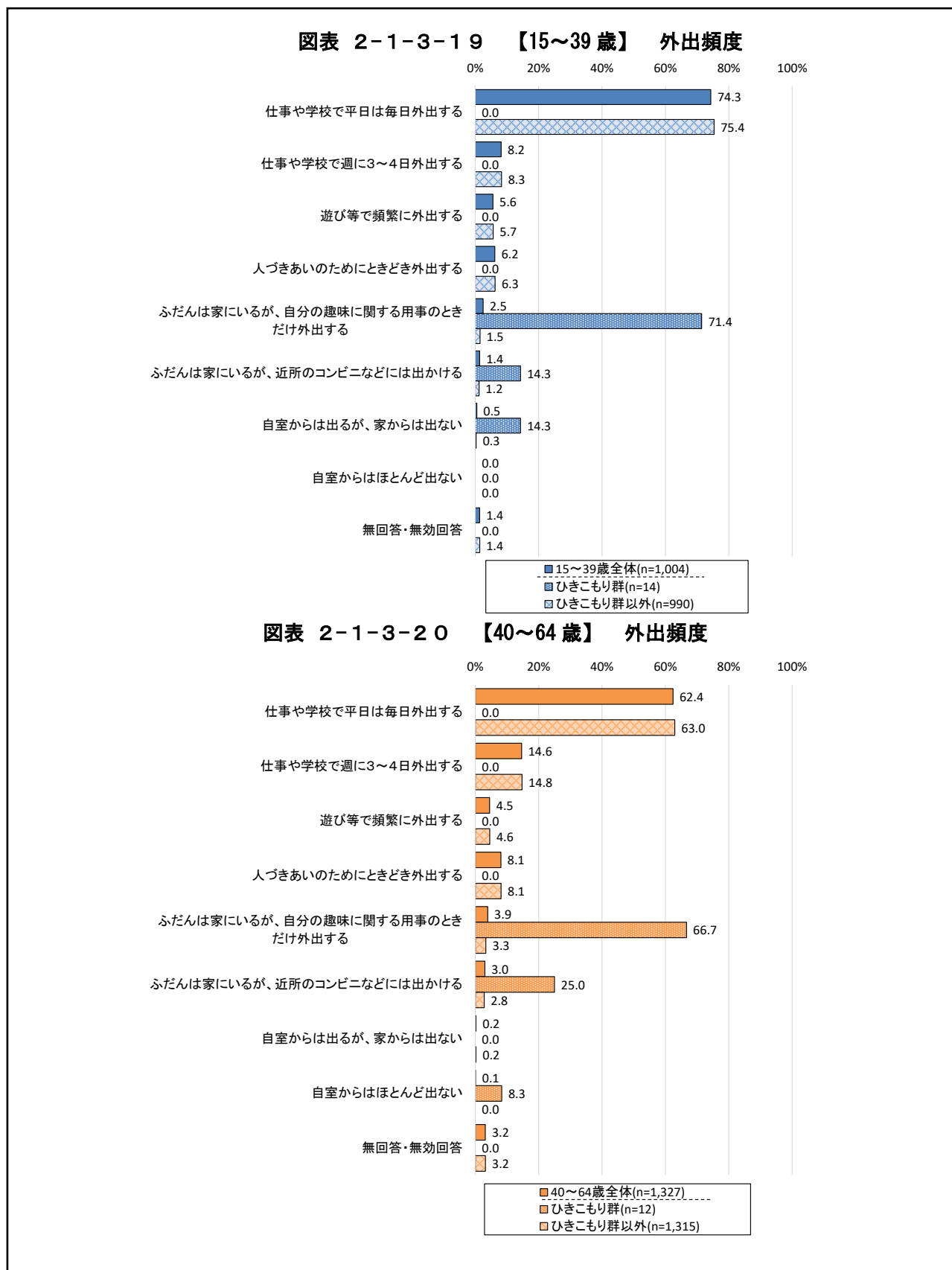


⁴⁴ ひきこもり群の定義より、「仕事や学校で週5日ほど外出する」、「仕事や学校で週に何日か外出する」、「趣味や遊び等のために頻繁に外出する」、「人づきあいのためにときどき外出する」を選択した者は、ひきこもり群に含まれない(40～64歳も同様)。

図表 2-1-3-18 【40～64歳】 外出頻度



参考：前回（平成29年度）調査⁴⁵



⁴⁵ 選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。

ケ 現在の状態となつてからの期間⁴⁶

■15～39歳について（外出頻度が低い者のみ）

- ・15～39歳全体では、「1年以上～3年未満」が最も多く約5割。
- ・ひきこもり群では、「1年以上～3年未満」が最も多く約4割、次いで「3年以上～5年未満」が約2割⁴⁷。

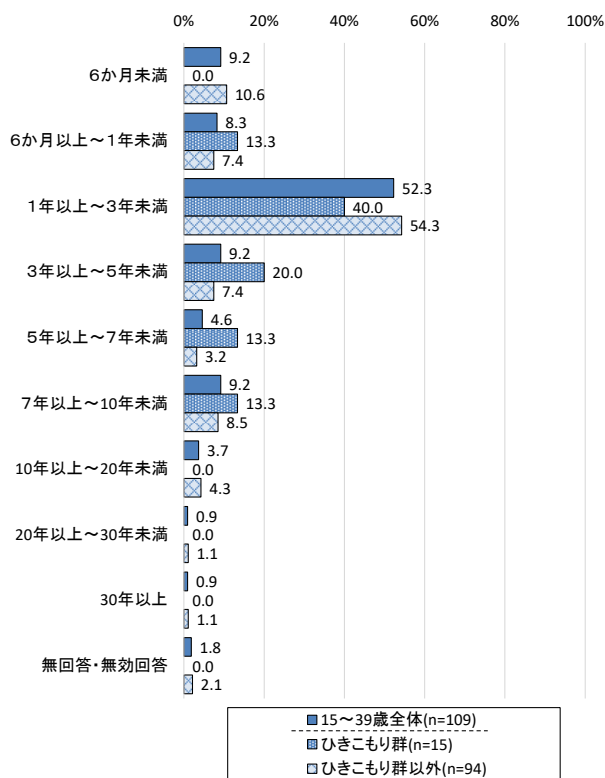
■40～64歳について（外出頻度が低い者のみ）

- ・40～64歳全体では、「1年以上～3年未満」が最も多く約4割。
- ・ひきこもり群では、「1年以上～3年未満」が最も多く約5割。なお、「10年以上」は約2割⁴⁸。

【Q11で5～8に○をつけた方のみ】

Q11-1 あなたが現在の状態となつてどのくらい経ちますか。（単一回答）

図表 2-1-3-2 1 【15～39歳】 現在の状態となつてからの期間

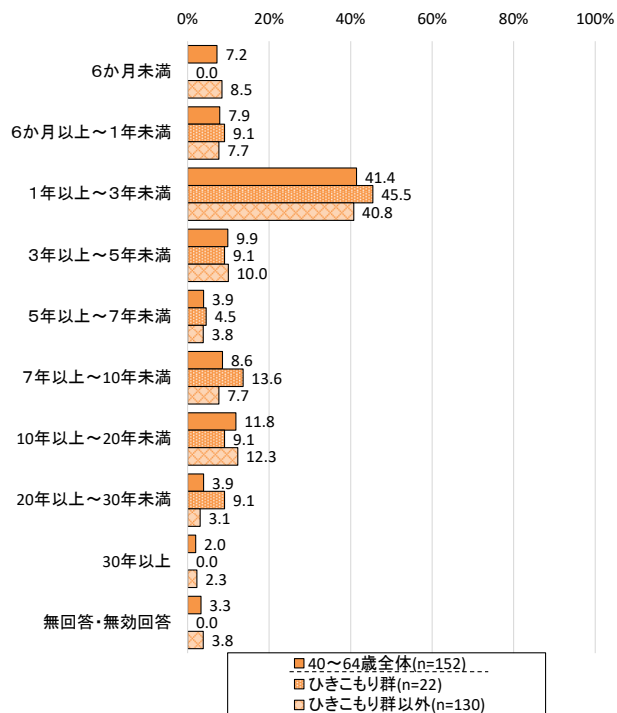


⁴⁶ 集計対象は、「Q11 あなたはふだんのどのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。」と尋ねた設問で、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からはほとんど出ない」のいずれかに回答した者のみ。

⁴⁷ ひきこもり群の定義より、「6か月未満」を選択した者は、ひきこもり群に含まれていない（40～64歳も同様）。

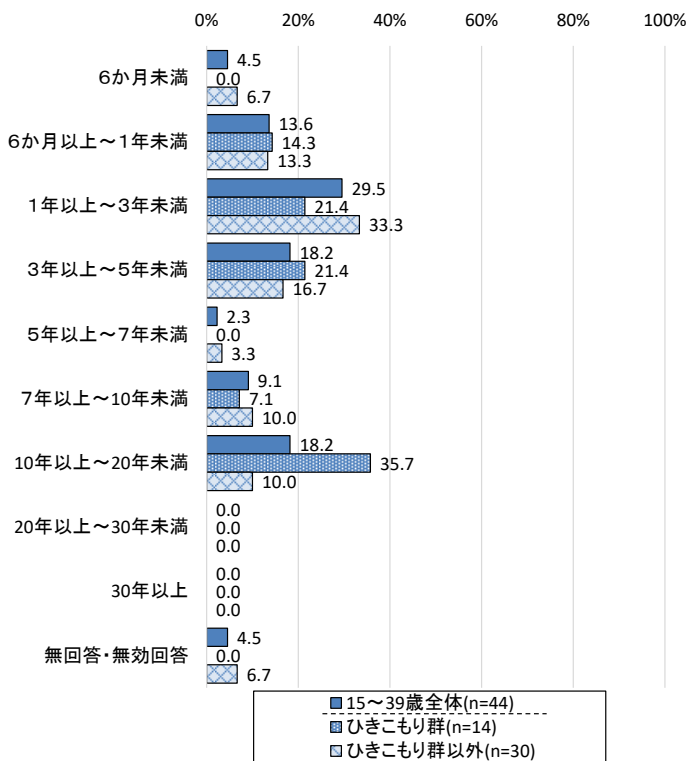
⁴⁸ 「10年以上～20年未満」、「20年以上～30年未満」または「30年以上」を合わせた割合。

図表 2-1-3-2 2 【40～64歳】 現在の状態となつてからの期間

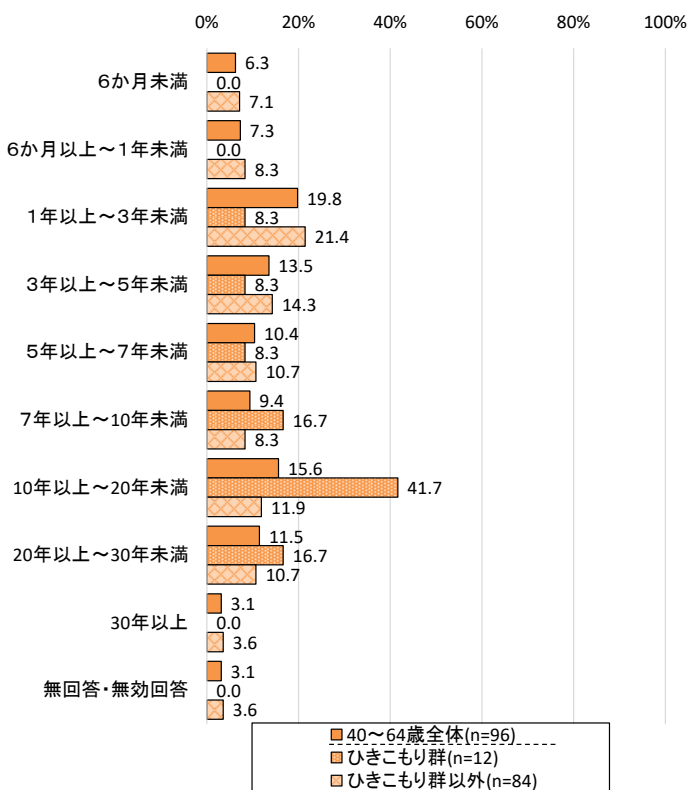


参考：前回（平成29年度）調査

図表 2-1-3-23 【15～39歳】 現在の状態となつてからの期間



図表 2-1-3-24 【40～64歳】 現在の状態となつてからの期間



コ 最近6か月間での家族以外の人との会話の状況⁴⁹

■15～39歳について（外出頻度が低い者のみ）

- ・15～39歳全体では、「よく会話した」、「ときどき会話した」が合わせて約8割。
- ・ひきこもり群では、「よく会話した」、「ときどき会話した」が合わせて約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「よく会話した」、「ときどき会話した」の割合が低く、「ほとんど会話しなかった」の割合が高い⁵⁰。

■40～64歳について（外出頻度が低い者のみ）

- ・40～64歳全体では、「よく会話した」、「ときどき会話した」が合わせて約8割。
- ・ひきこもり群では、「よく会話した」、「ときどき会話した」が合わせて約4割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「よく会話した」、「ときどき会話した」の割合が低く、「ほとんど会話しなかった」の割合が高い。

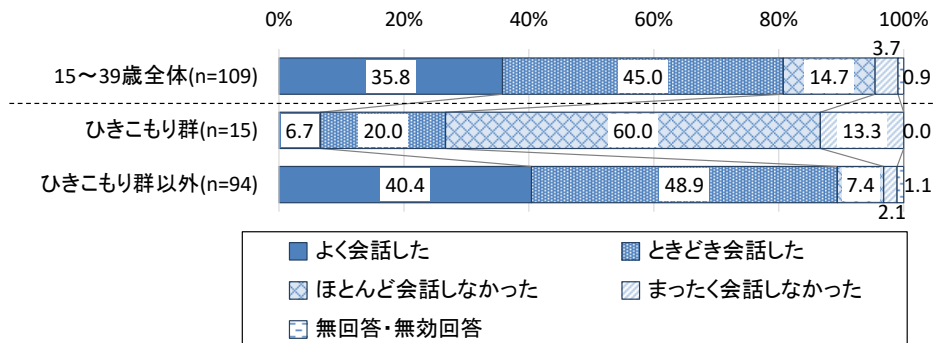
⁴⁹ 集計対象は、「Q11 あなたはふだんのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。」と尋ねた設問で、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からはほとんど出ない」のいずれかに回答した者のみ。

⁵⁰ ひきこもり群の定義より、「Q11-3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「妊娠・出産・育児」または「介護・看護を担うことになった」を選択した者、「Q7 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、「専業主婦・主夫」または「家事手伝い」を選択した者、または「Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」で、「家事をする」、「育児をする」または「介護・看護をする」を選択した者のいずれかで、かつ「Q11-2 最近6か月間に家族以外の人と会話しましたか。」で、「よく会話した」または「ときどき会話した」を選択した者は、ひきこもり群に含まれていない（40～64歳も同様）。

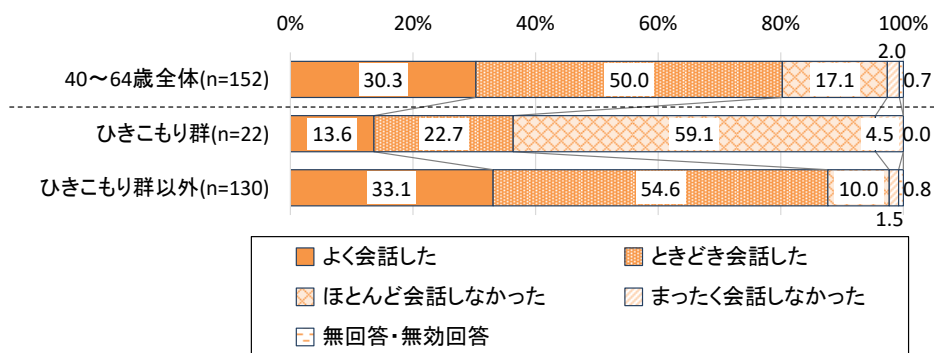
【Q11で5～8に○をつけた方のみ】

Q11-2 最近6か月間に家族以外の人と会話しましたか。(単一回答)

図表 2-1-3-25 【15～39歳】 最近6か月間での家族以外の人との会話の状況



図表 2-1-3-26 【40～64歳】 最近6か月間での家族以外の人との会話の状況



サ 現在の状態となったきっかけ⁵¹

■15～39歳について（外出頻度が低い者のみ）

- ・15～39歳全体では、「新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛」が最も多く約4割、次いで「自宅で仕事をするようになった」、「妊娠・出産・育児」がそれぞれ約3割。
- ・ひきこもり群では、「新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛」が最も多く約5割、次いで「からだやこころの不調」、「妊娠・出産・育児」、「気力が低下した」がそれぞれ約3割⁵²。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「受験に失敗した」の割合が高い。

■40～64歳について（外出頻度が低い者のみ）

- ・40～64歳全体では、「新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛」が最も多く約3割、次いで「自宅で仕事をするようになった」、「身体的な病気・障害」、「失業・退職した」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、「新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛」が最も多く約4割、次いで「気力が低下した」が約3割、「からだやこころの不調」、「精神的な病気・障害」、「失業・退職した」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「気力が低下した」の割合が高い。

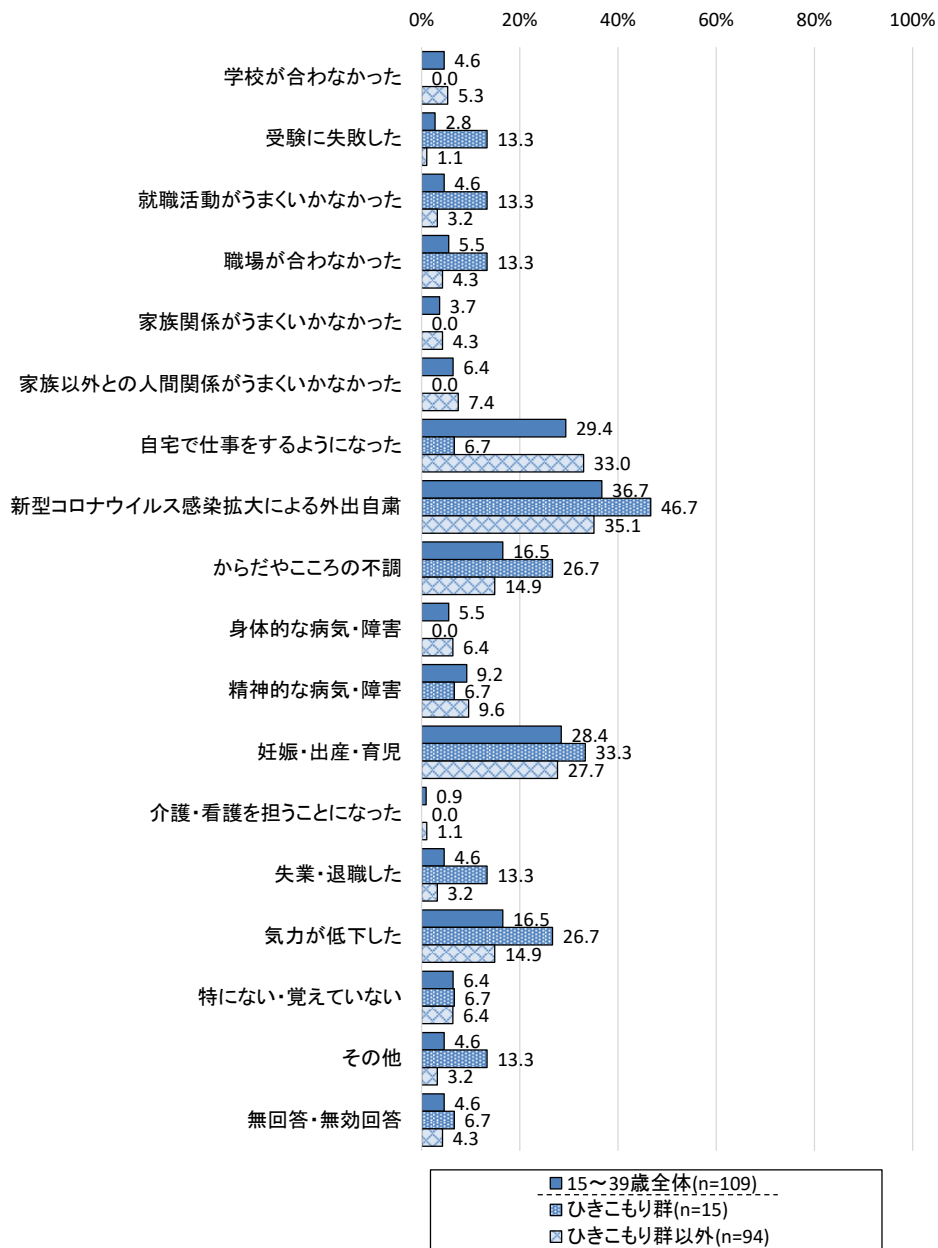
⁵¹ 集計対象は、「Q11 あなたはふだんどのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。」と尋ねた設問で、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からはほとんど出ない」のいずれかに回答した者のみ。

⁵² ひきこもり群の定義より、「身体的な病気・障害」を選択した者、「精神的な病気・障害」を選択し、病名等に統合失調症と回答した者は、ひきこもり群に含まれていない。また、「自宅で仕事をするようになった」を選択した者については、その他の設問の回答状況を踏まえてひきこもり群に含めるかを判断している（40～64歳も同様）。

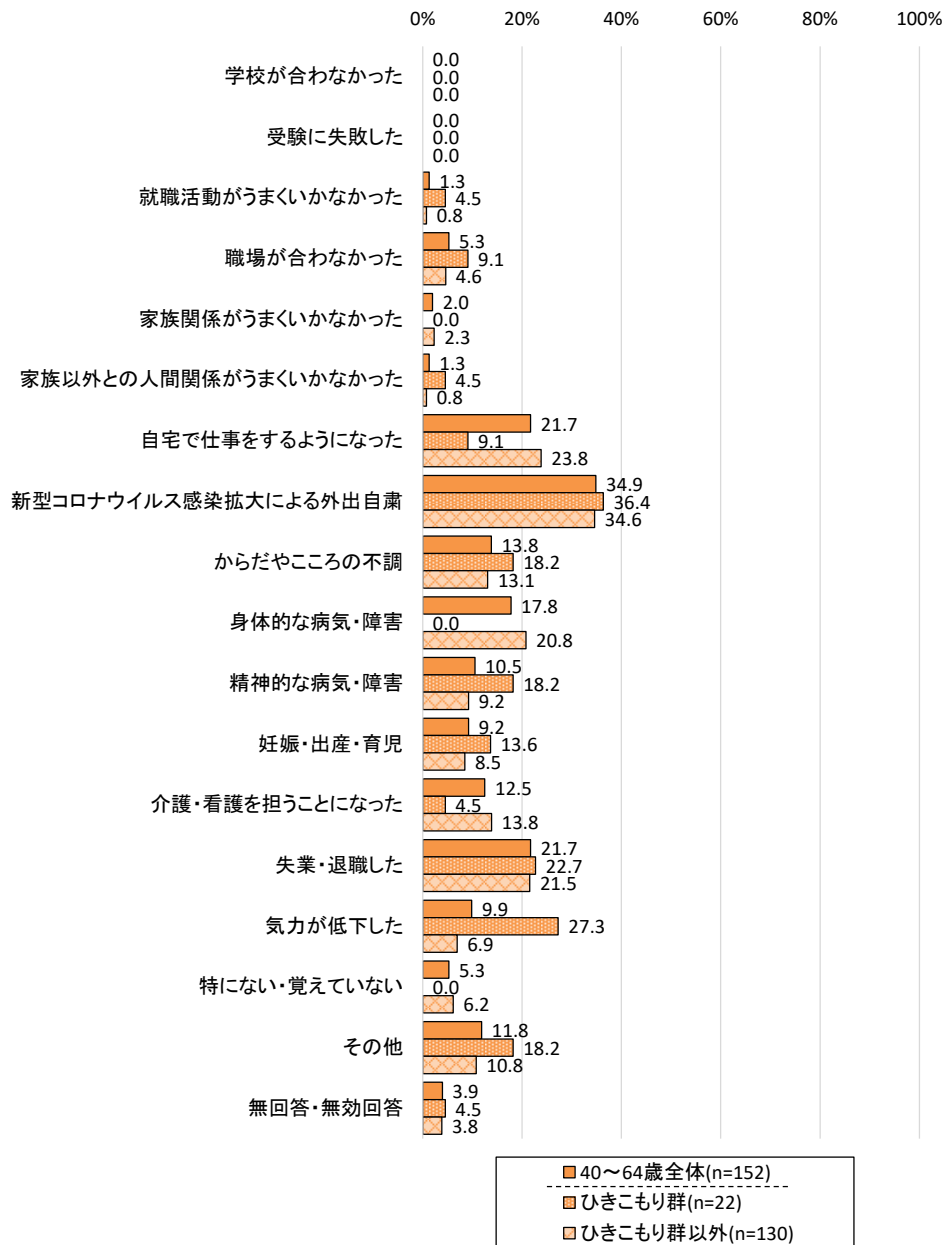
【Q11で5～8に○をつけた方のみ】

Q11-3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。(複数回答)

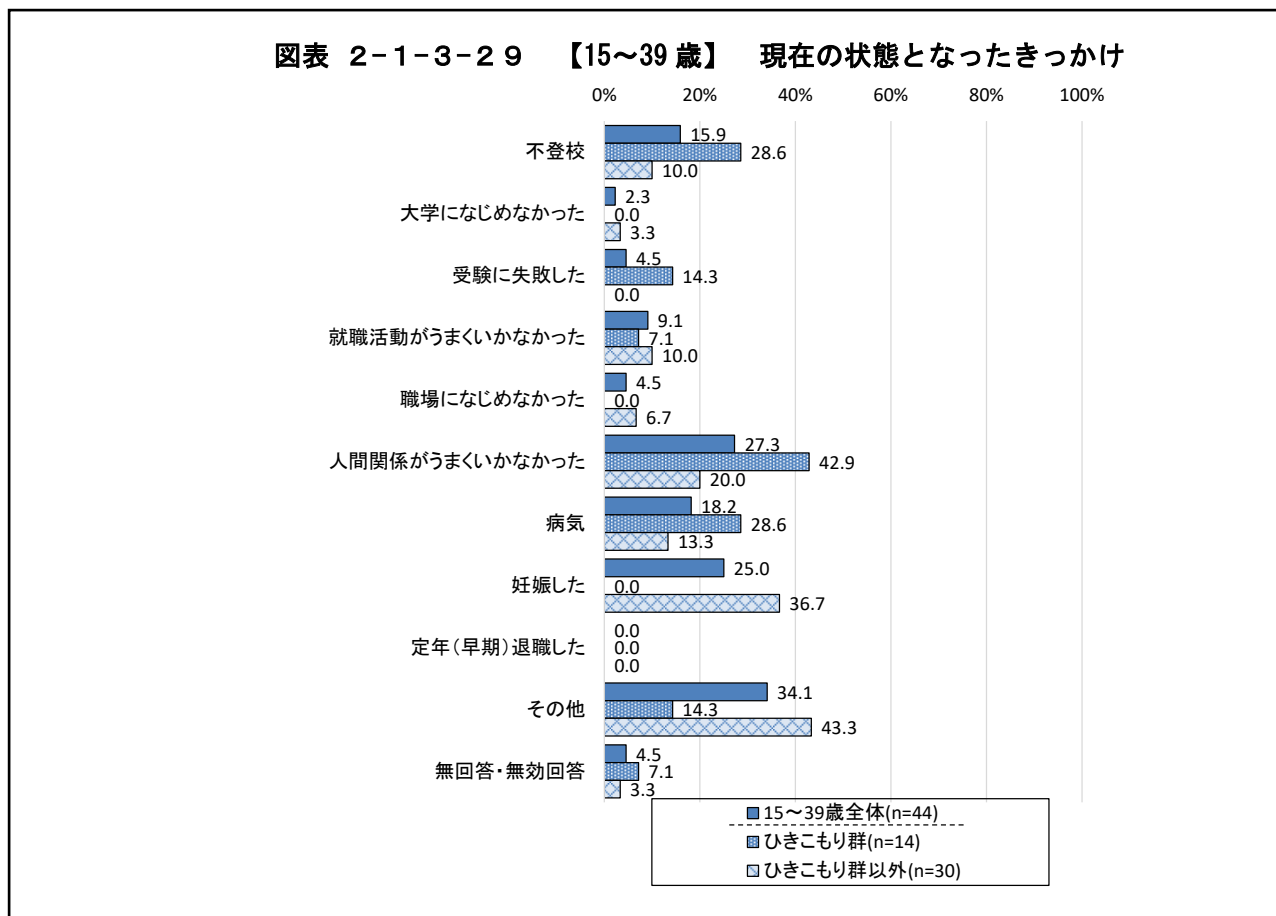
図表 2-1-3-27 【15～39歳】 現在の状態となったきっかけ



図表 2-1-3-28 【40～64歳】 現在の状態となったきっかけ

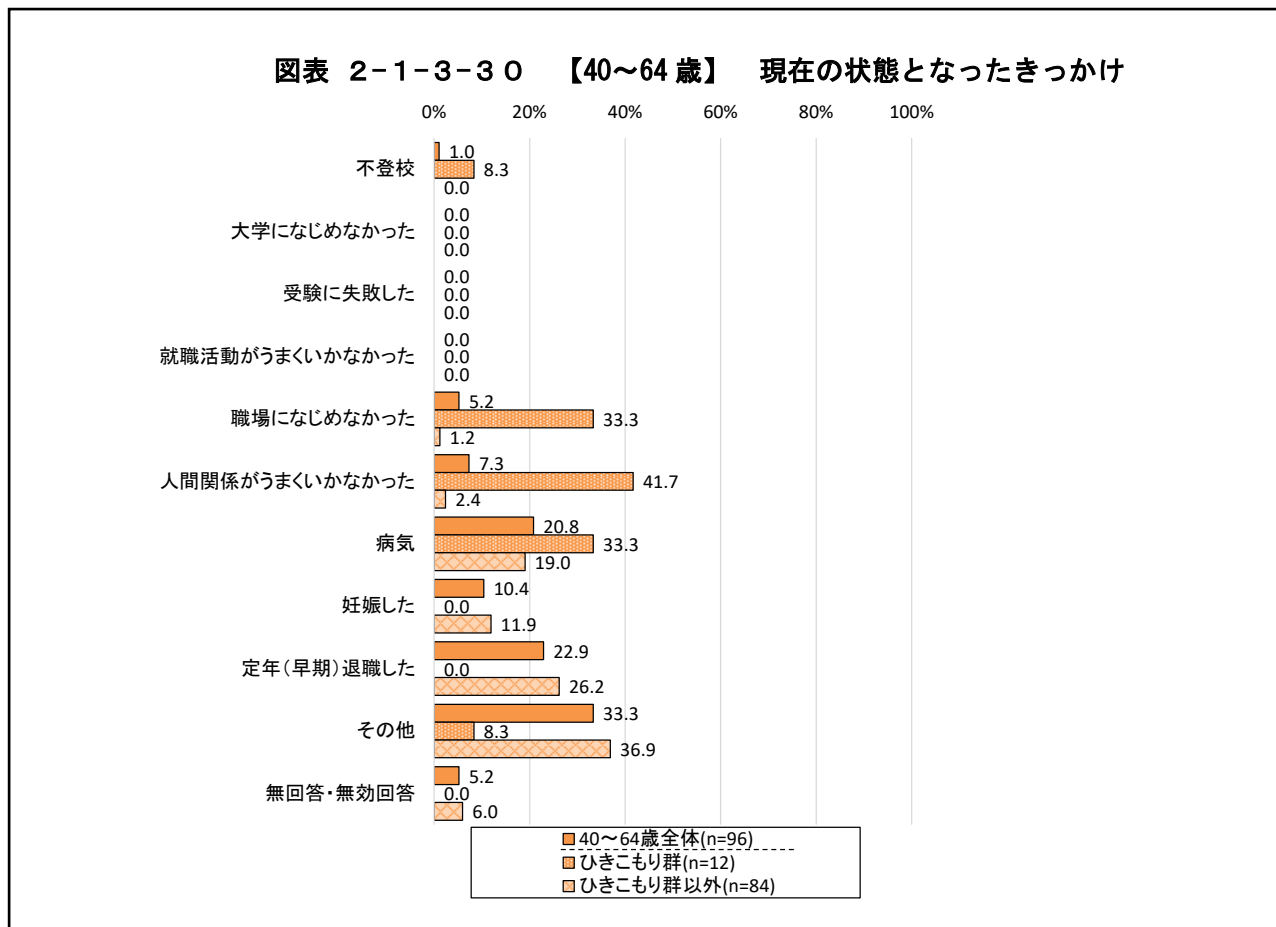


参考：前回（平成29年度）調査⁵³



⁵³ 選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。また、前回調査では、「不登校」、「受験に失敗した」、「人間関係がうまくいかなかった」の選択肢について、詳細を尋ねているが、今回調査との比較のため、各回答を合わせた数値を掲載している。

参考：前回（平成29年度）調査



(4) 周囲の人とのかかわり方について

ア 子どもの頃の家庭以外での経験

■15～39 歳について

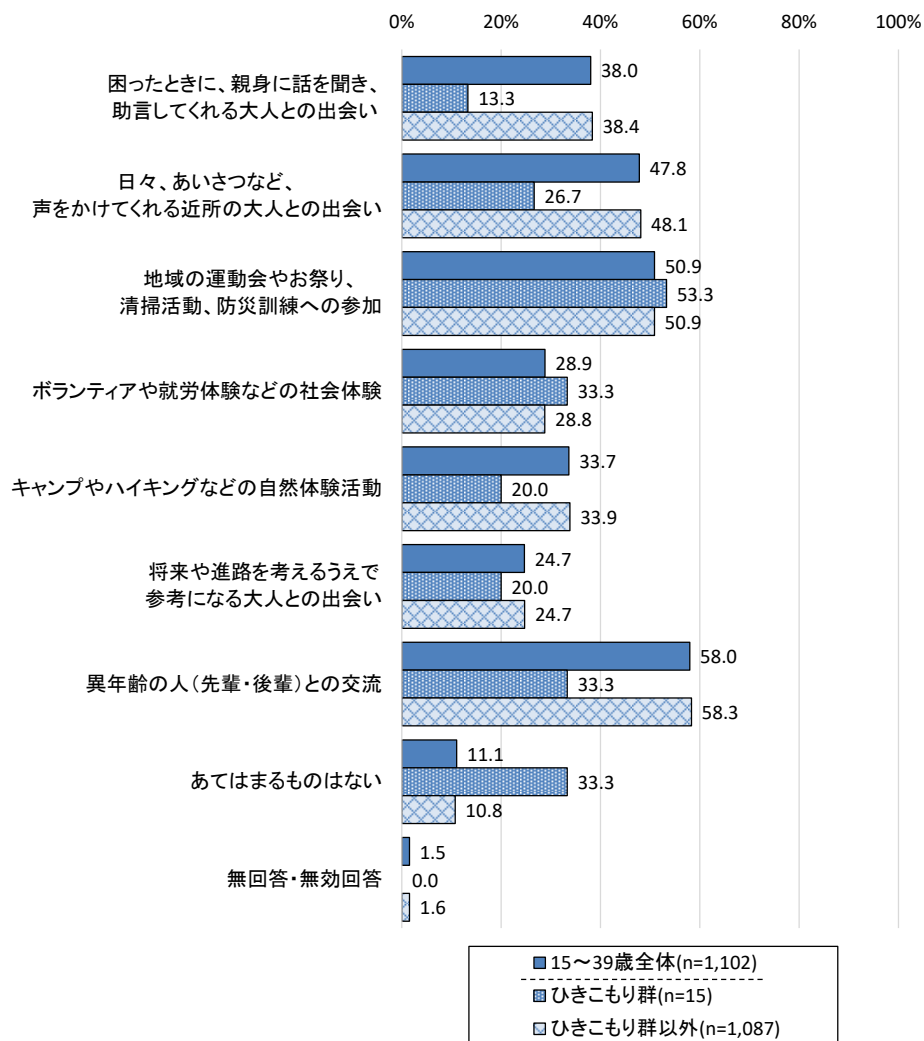
- ・15～39 歳全体では、「異年齢の人（先輩・後輩）との交流」を経験した者が最も多く約6割、次いで「日々、あいさつなど、声をかけてくれる近所の大人との出会い」、「地域の運動会やお祭り、清掃活動、防災訓練への参加」を経験した者がそれぞれ約5割。
- ・ひきこもり群では、「地域の運動会やお祭り、清掃活動、防災訓練への参加」を経験した者が約5割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「困ったときに、親身に話を聞き、助言してくれる大人との出会い」、「異年齢の人（先輩・後輩）との交流」を経験した者の割合が低く、「あてはまるものはない」者の割合が高い。

■40～64 歳について

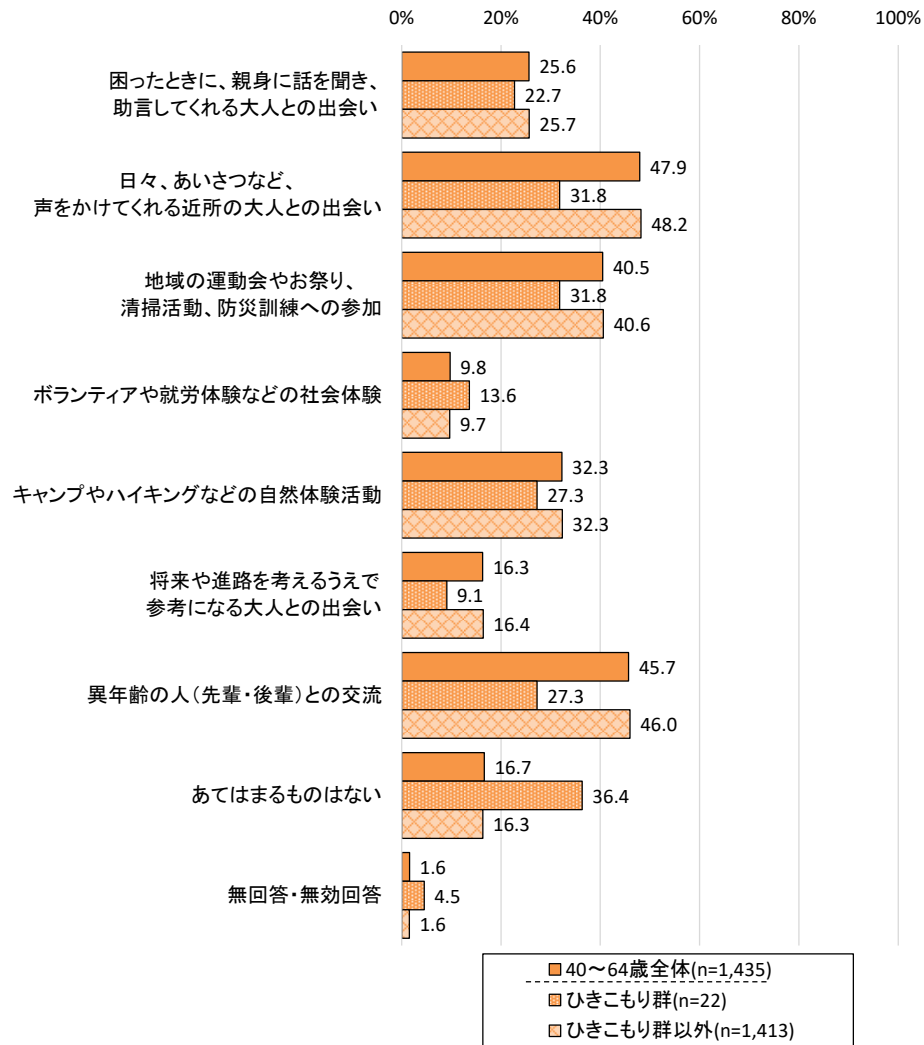
- ・40～64 歳全体では、「日々、あいさつなど、声をかけてくれる近所の大人との出会い」、「異年齢の人（先輩・後輩）との交流」を経験した者がそれぞれ約5割、「地域の運動会やお祭り、清掃活動、防災訓練への参加」を経験した者が約4割。
- ・ひきこもり群では、「あてはまるものはない」者が最も多く約4割、「日々、あいさつなど、声をかけてくれる近所の大人との出会い」、「地域の運動会やお祭り、清掃活動、防災訓練への参加」、「キャンプやハイキングなどの自然体験活動」、「異年齢の人（先輩・後輩）との交流」を経験した者がそれぞれ約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「あてはまるものはない」者の割合が高い。

Q12 あなたは小学校や中学校(部活動も含む)の頃に、家庭以外で次のような経験をしたことがありますか。(複数回答)

図表 2-1-4-1 【15~39歳】 子どもの頃の家庭以外での経験

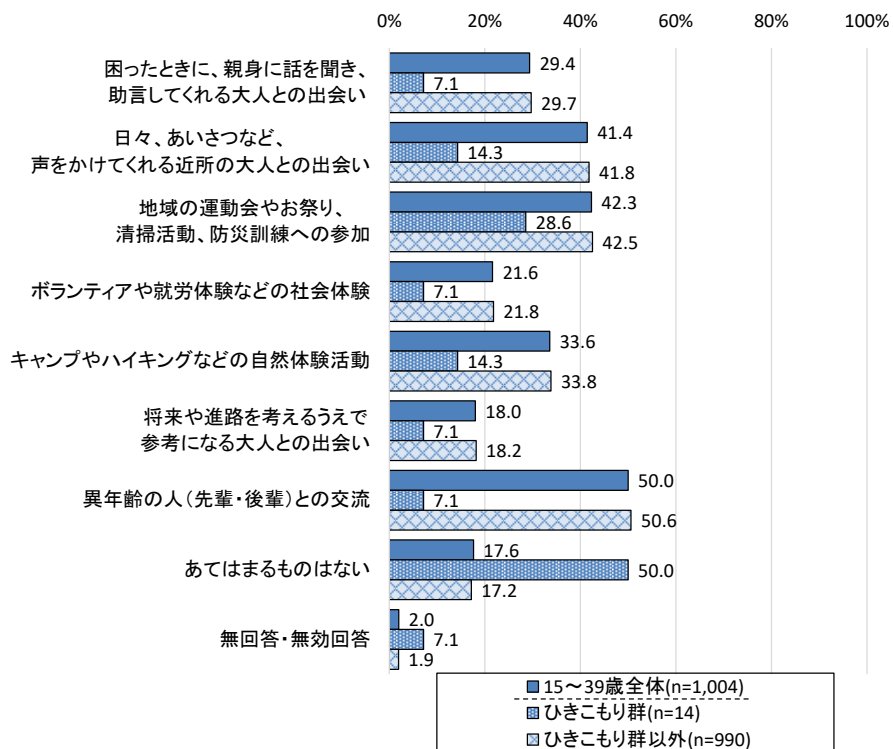


図表 2-1-4-2 【40～64歳】 子どもの頃の家庭以外での経験

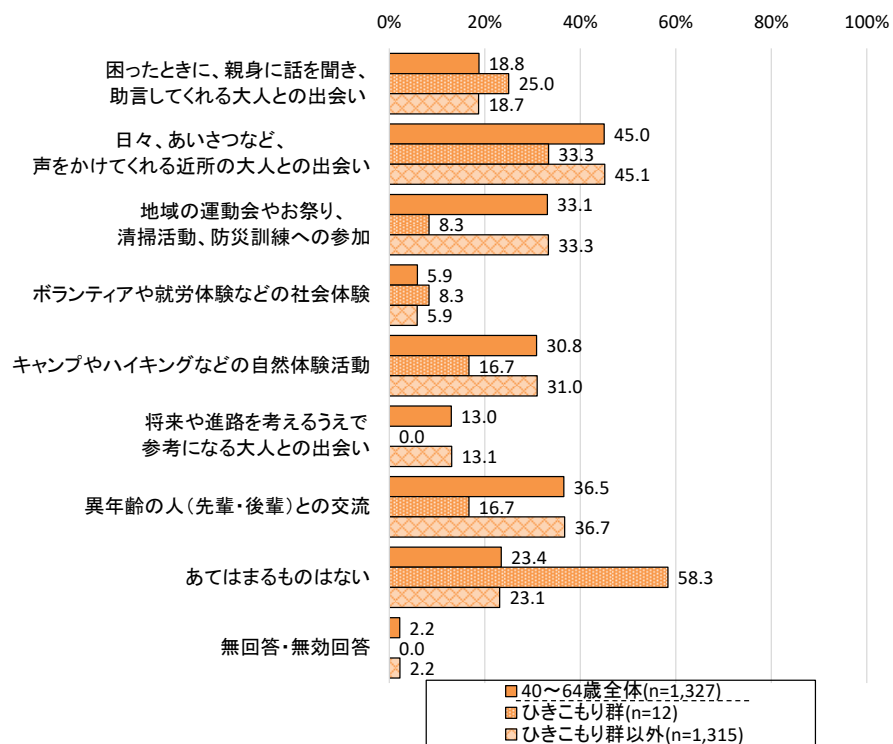


参考：前回（平成29年度）調査

図表 2-1-4-3 【15～39歳】 子どもの頃の家庭以外での経験



図表 2-1-4-4 【40～64歳】 子どもの頃の家庭以外での経験



イ 家族とのかかわり方に関する満足度

■ 15～39 歳について

- ・ 15～39 歳全体では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約 9 割。
- ・ ひきこもり群では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約 9 割。

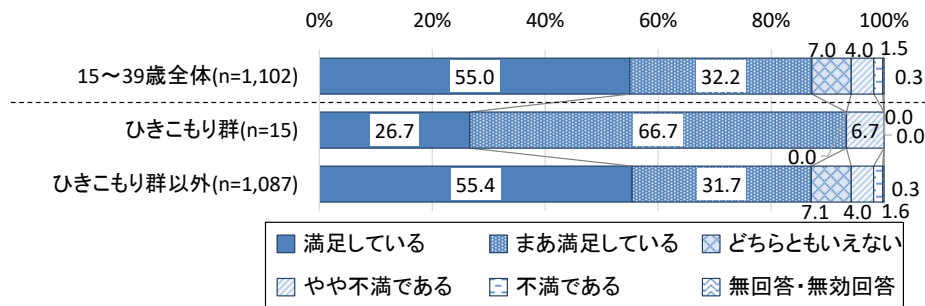
■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約 9 割。
- ・ ひきこもり群では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約 9 割。

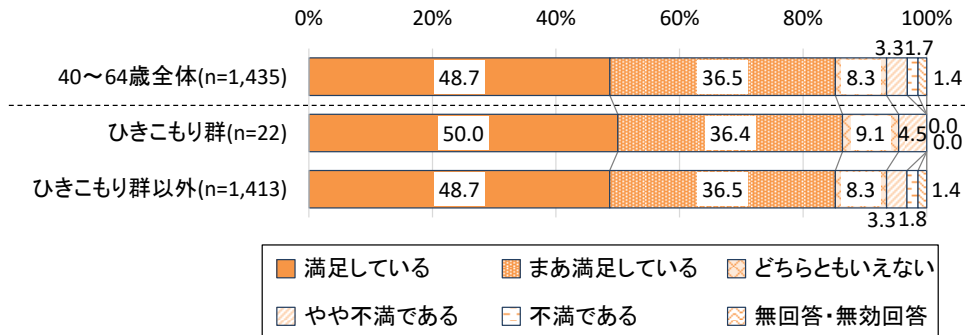
Q13 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

① 家族とのかかわり方(単一回答)

図表 2-1-4-5 【15～39 歳】 家族とのかかわり方に関する満足度



図表 2-1-4-6 【40～64 歳】 家族とのかかわり方に関する満足度



ウ 家族以外の人とのかかわり方に関する満足度

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約7割。
- ・ひきこもり群では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「満足している」、「まあ満足している」の割合が低い。

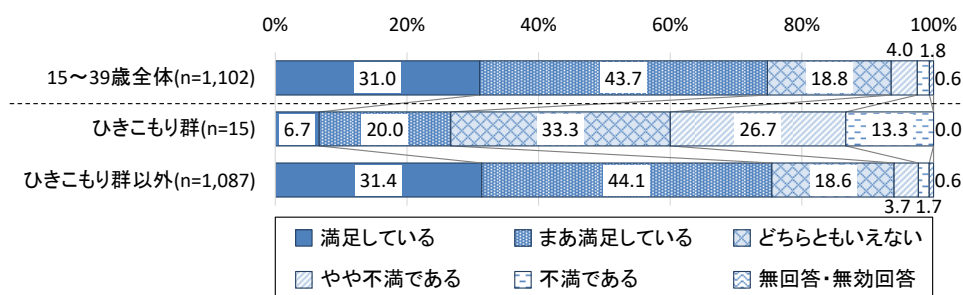
■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約7割。
- ・ひきこもり群では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「満足している」、「まあ満足している」の割合が低い。

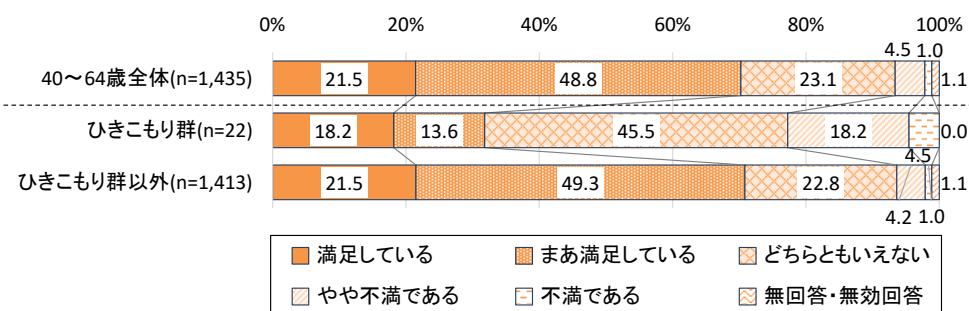
Q13 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

②家族以外の人とのかかわり方(単一回答)

図表 2-1-4-7 【15～39歳】 家族以外の人とのかかわり方に関する満足度



図表 2-1-4-8 【40～64歳】 家族以外の人とのかかわり方に関する満足度



エ 社会とのかかわり方に関する満足度

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約6割。
- ・ひきこもり群では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約4割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「満足している」、「まあ満足している」の割合が低い。

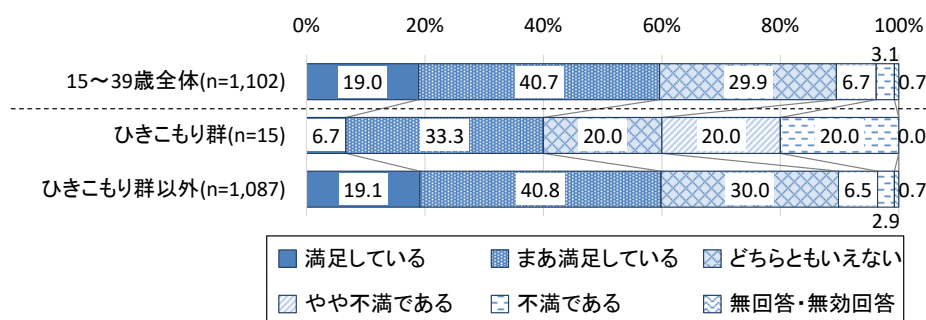
■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約6割。
- ・ひきこもり群では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「まあ満足している」の割合が低く、「どちらかともいえない」、「やや不満である」、「やや不満である」の割合が高い。

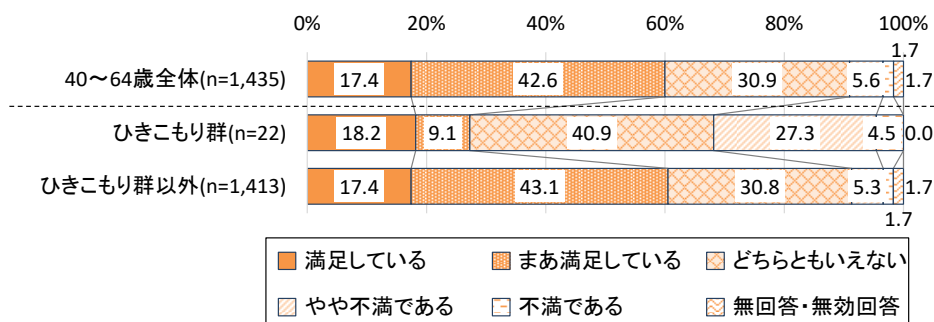
Q13 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

③社会とのかかわり方(単一回答)

図表 2-1-4-9 【15～39歳】 社会とのかかわり方に関する満足度



図表 2-1-4-10 【40～64歳】 社会とのかかわり方に関する満足度



オ 同居人とのコミュニケーション頻度⁵⁴

■15～39 歳について

- ・15～39 歳全体では、ほとんどが「ほぼ毎日」と回答。
- ・ひきこもり群では、全員が「ほぼ毎日」と回答。

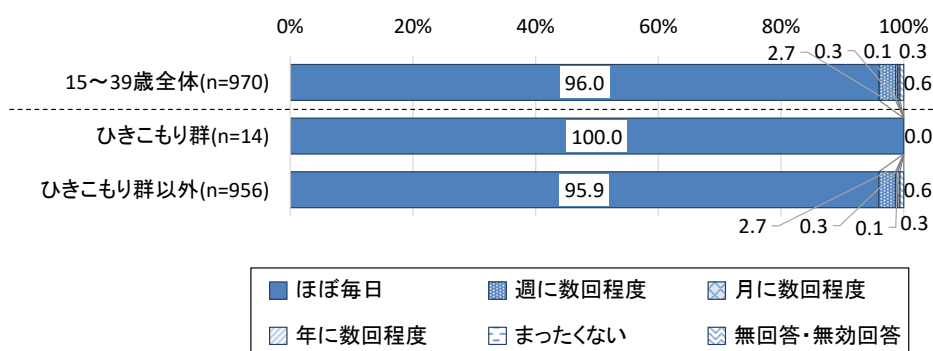
■40～64 歳について

- ・40～64 歳全体では、「ほぼ毎日」が約9割。
- ・ひきこもり群では、「ほぼ毎日」が約9割。

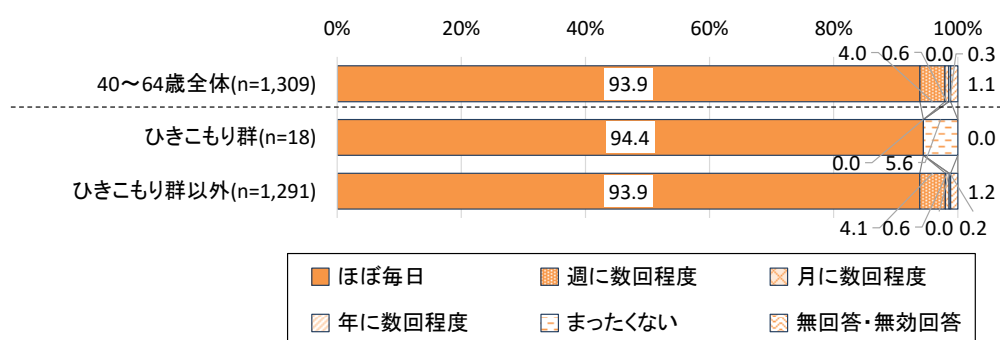
Q14 同居している人とのコミュニケーション頻度について、お答えください。(単一回答)

<同居している人がいる場合にお答えください。>

図表 2-1-4-1 1 【15～39 歳】 同居人とのコミュニケーション頻度⁵⁵



図表 2-1-4-1 2 【40～64 歳】 同居人とのコミュニケーション頻度⁵⁶



⁵⁴ 集計対象は、「Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。」で、「同居家族はいない(単身世帯)」を選択しなかった者のみ。

⁵⁵ 15～39 歳のひきこもり群では、「週に数回程度」、「月に数回程度」、「年に数回程度」、「まったくない」、「無回答・無効回答」の割合が0.0%となっている。

⁵⁶ 40～64 歳のひきこもり群では、「週に数回程度」、「月に数回程度」、「年に数回程度」、「無回答・無効回答」の割合が0.0%となっている。

カ 同居人とのコミュニケーションの内容⁵⁷

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「何でも話せる」が最も多く約7割、次いで「雑談程度を話す」が約2割。
- ・ひきこもり群では、「何でも話せる」が最も多く約6割、次いで「雑談程度を話す」が約4割。

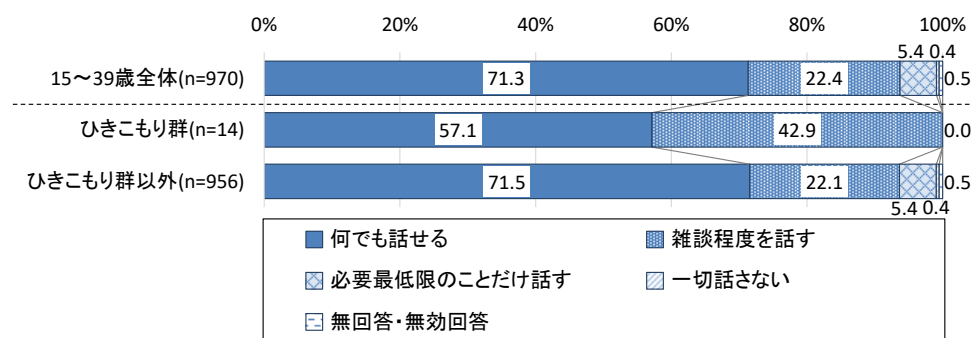
■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「何でも話せる」が最も多く約7割、次いで「雑談程度を話す」が約2割。
- ・ひきこもり群では、「何でも話せる」が最も多く約7割、次いで「雑談程度を話す」が約3割。

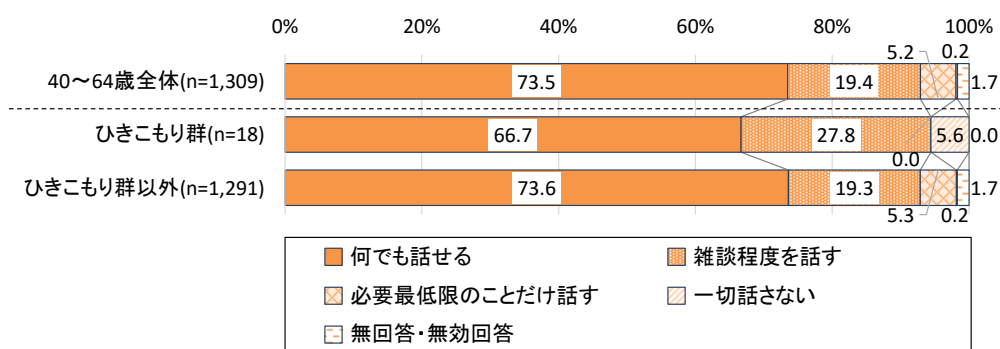
Q15 同居している人とのコミュニケーションの内容について、お答えください。(単一回答)

<同居している人がいる場合にお答えください。>

図表 2-1-4-1 3 【15～39歳】 同居人とのコミュニケーションの内容⁵⁸



図表 2-1-4-1 4 【40～64歳】 同居人とのコミュニケーションの内容



⁵⁷ 集計対象は、「Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。」で、「同居家族はいない(単身世帯)」を選択しなかった者のみ。

⁵⁸ 15～39歳のひきこもり群では、「必要最低限のことだけ話す」、「一切話さない」、「無回答・無効回答」の割合が0.0%となっている。

キ 非同居人と直接会って話す頻度

■15～39 歳について

- ・15～39 歳全体では、「ほぼ毎日」が最も多く約4割、次いで「週に数回程度」が約3割。
- ・ひきこもり群では、「月に数回程度」が最も多く約5割、「年に数回程度」が約2割、「まったくくない」が約1割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、非同居人と直接会って話す頻度が低い。

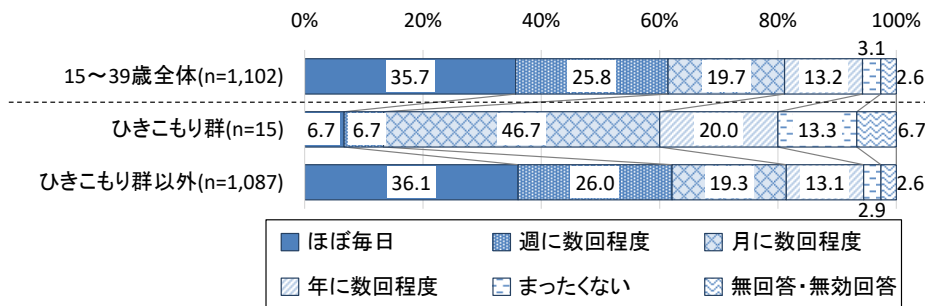
■40～64 歳について

- ・40～64 歳全体では、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「月に数回程度」、「年に数回程度」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、「年に数回程度」が最も多く約5割、「月に数回程度」、「まったくくない」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、非同居人と直接会って話す頻度が低い。

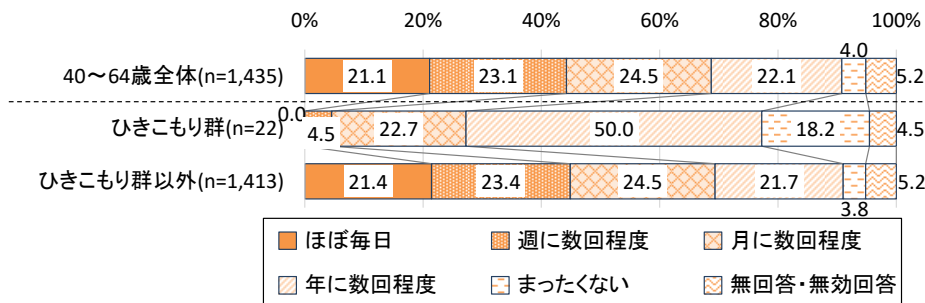
Q16 同居していない人とのコミュニケーションについて、それぞれお答えください。

①直接会って話す(単一回答)

図表 2-1-4-15 【15～39 歳】 非同居人と直接会って話す頻度



図表 2-1-4-16 【40～64 歳】 非同居人と直接会って話す頻度



ク 非同居人と電話で話す頻度

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「月に数回程度」が最も多く約3割、「週に数回程度」、「年に数回程度」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、「年に数回程度」が最も多く約3割、「月に数回程度」、「まったくない」がそれぞれ約2割。

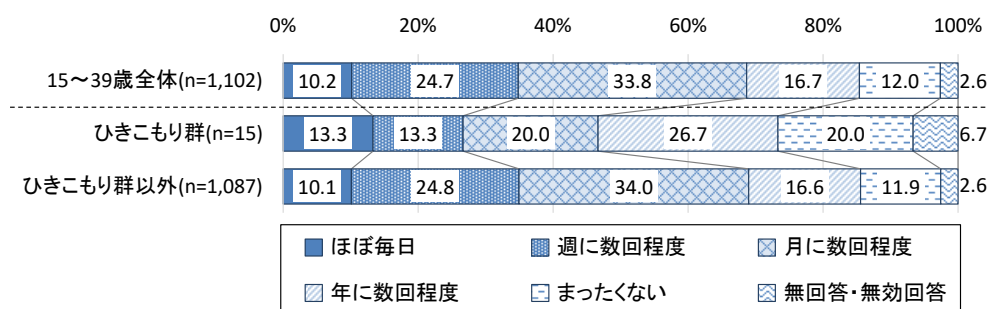
■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「月に数回程度」が最も多く約3割、「週に数回程度」、「年に数回程度」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、「年に数回程度」が最も多く約5割、「月に数回程度」、「まったくない」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、非同居人と電話で話す頻度が低い。

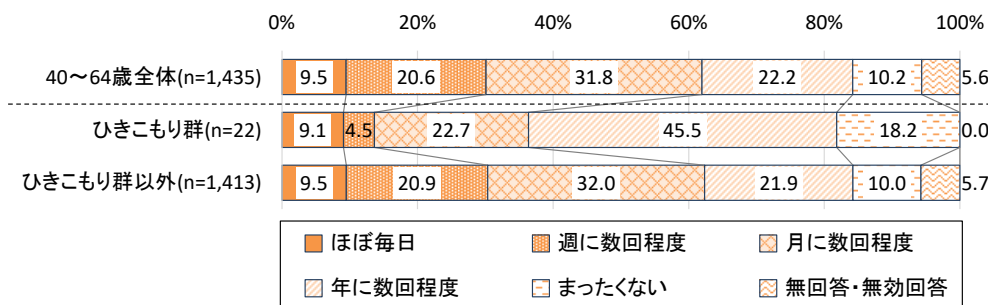
Q16 同居していない人とのコミュニケーションについて、それぞれお答えください。

②電話(ビデオ通話含む)(単一回答)

図表 2-1-4-17 【15～39歳】 非同居人と電話で話す頻度



図表 2-1-4-18 【40～64歳】 非同居人と電話で話す頻度



ケ 非同居人と SNS 等でコミュニケーションをとる頻度

■15～39 歳について

- ・15～39 歳全体では、「ほぼ毎日」が最も多く約4割、次いで「週に数回程度」が約3割。
- ・ひきこもり群では、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「月に数回程度」、「年に数回程度」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、非同居人と SNS 等でコミュニケーションをとる頻度が低い。

■40～64 歳について

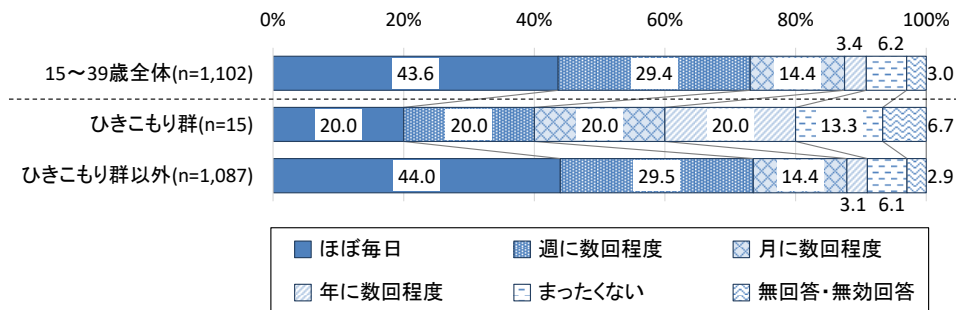
- ・40～64 歳全体では、「週に数回程度」が最も多く約3割、「ほぼ毎日」、「月に数回程度」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、「月に数回程度」、「年に数回程度」がそれぞれ約3割、「週に数回程度」、「まったくない」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、非同居人と SNS 等でコミュニケーションをとる頻度が低い。

Q16 同居していない人とのコミュニケーションについて、それぞれお答えください。

③SNS(LINE によるチャットなど)・電子メール・オンラインゲーム(単一回答)

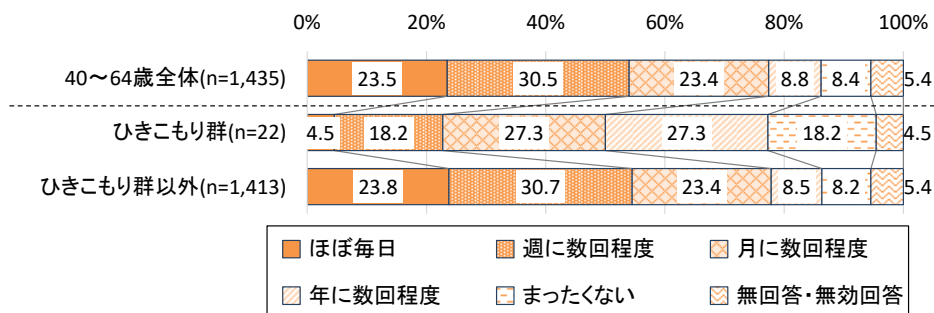
図表 2-1-4-19 【15～39 歳】

非同居人と SNS 等でコミュニケーションをとる頻度



図表 2-1-4-20 【40～64 歳】

非同居人と SNS 等でコミュニケーションをとる頻度



(5) あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について

ア 今の自分が好きか

■ 15～39 歳について

- ・ 15～39 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 7 割。
- ・ ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 5 割。

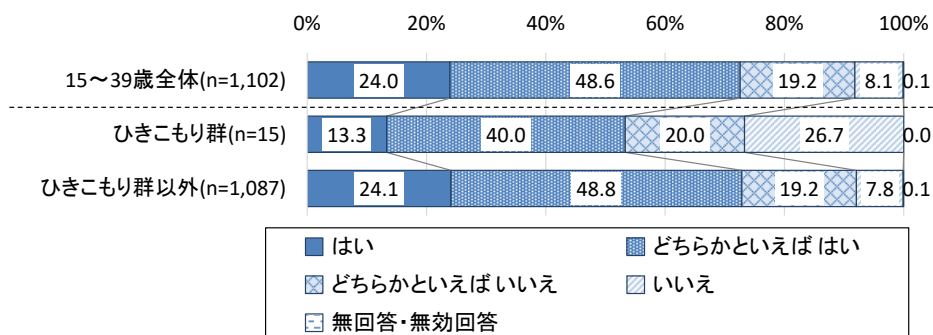
■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 8 割。
- ・ ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 5 割。
- ・ ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が低い。

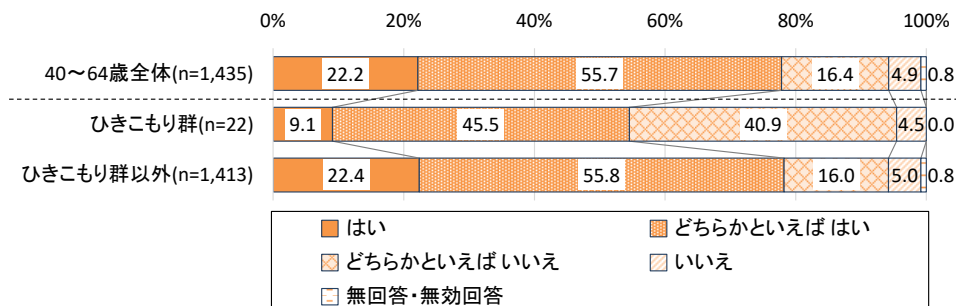
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

①今の自分が好きだ(単一回答)

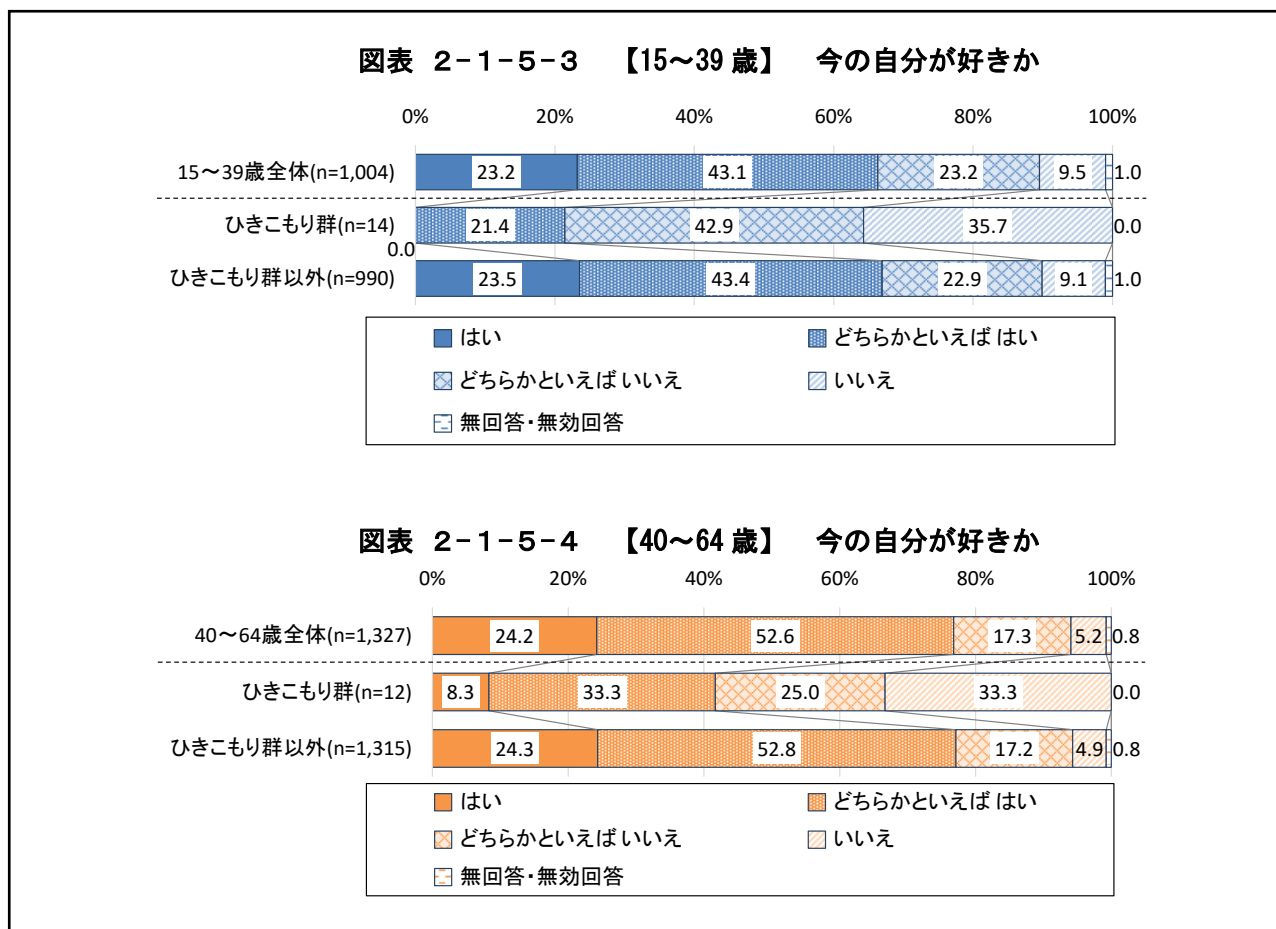
図表 2-1-5-1 【15～39 歳】 今の自分が好きか



図表 2-1-5-2 【40～64 歳】 今の自分が好きか



参考：前回（平成29年度）調査⁵⁹



⁵⁹ 前回調査では、設問文は「次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。」となっている。

イ どこにも居場所がないと感じることがあるか

■15～39 歳について

- ・15～39 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約2割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が高い。

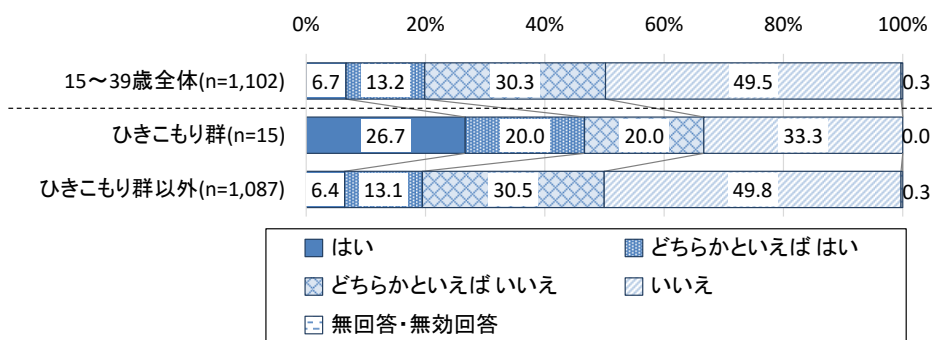
■40～64 歳について

- ・40～64 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約1割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約3割。

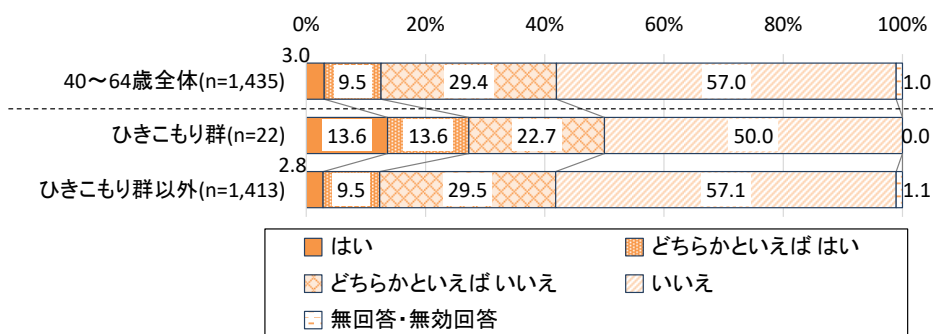
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

②どこにも居場所がないと感じることがある(単一回答)

図表 2-1-5-5 【15～39 歳】 どこにも居場所がないと感じることがあるか

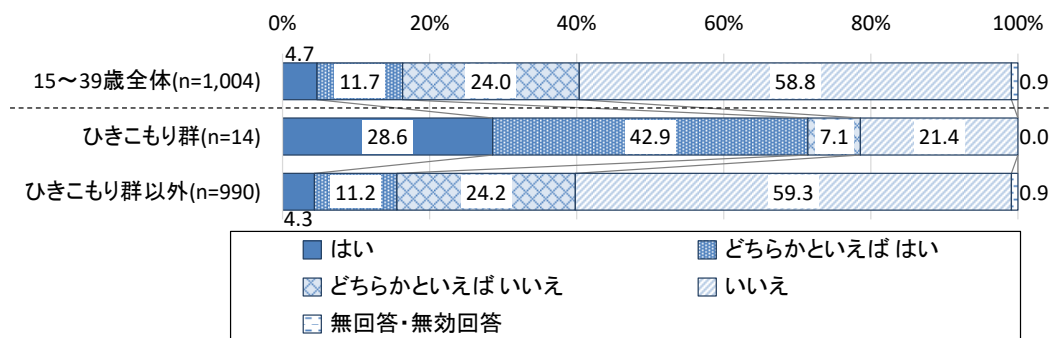


図表 2-1-5-6 【40～64 歳】 どこにも居場所がないと感じることがあるか

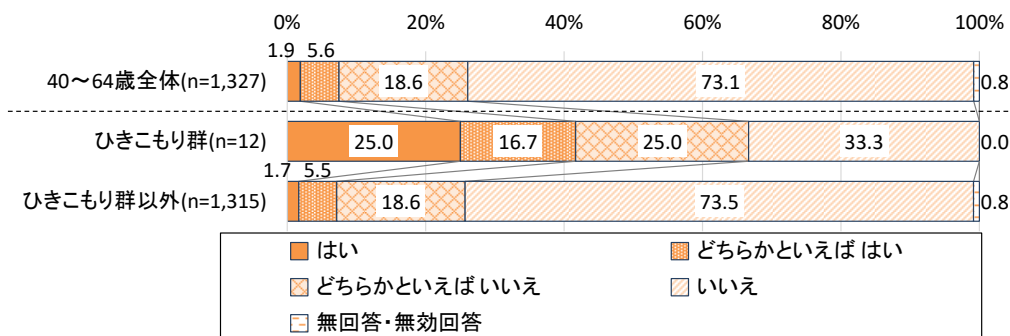


参考：前回（平成29年度）調査⁶⁰

図表 2-1-5-7 【15～39歳】 どこにも居場所がないと感じることがあるか



図表 2-1-5-8 【40～64歳】 どこにも居場所がないと感じることがあるか



⁶⁰ 前回調査では、設問文は「次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。」となっている。

ウ 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかるか

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約6割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。

■40～64歳について

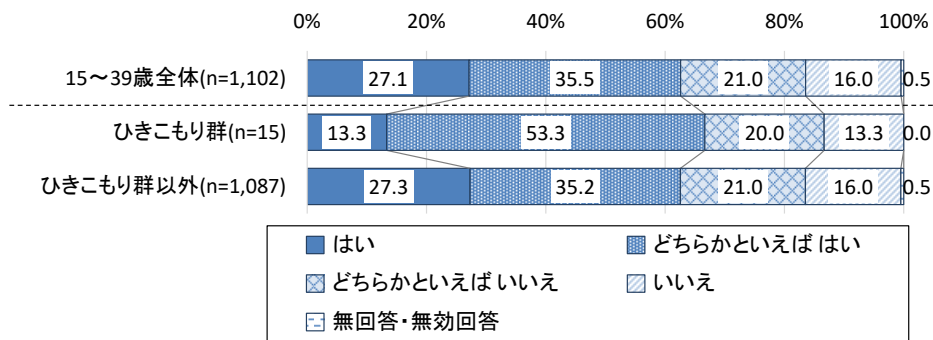
- ・40～64歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が高い。

Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

③家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる(単一回答)

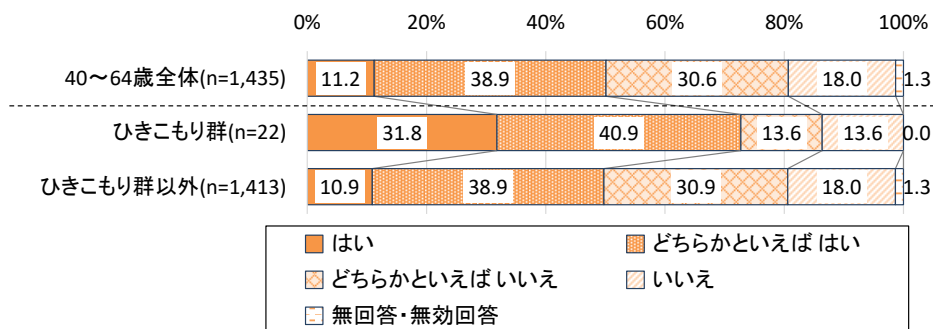
図表 2-1-5-9 【15～39歳】

家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかるか

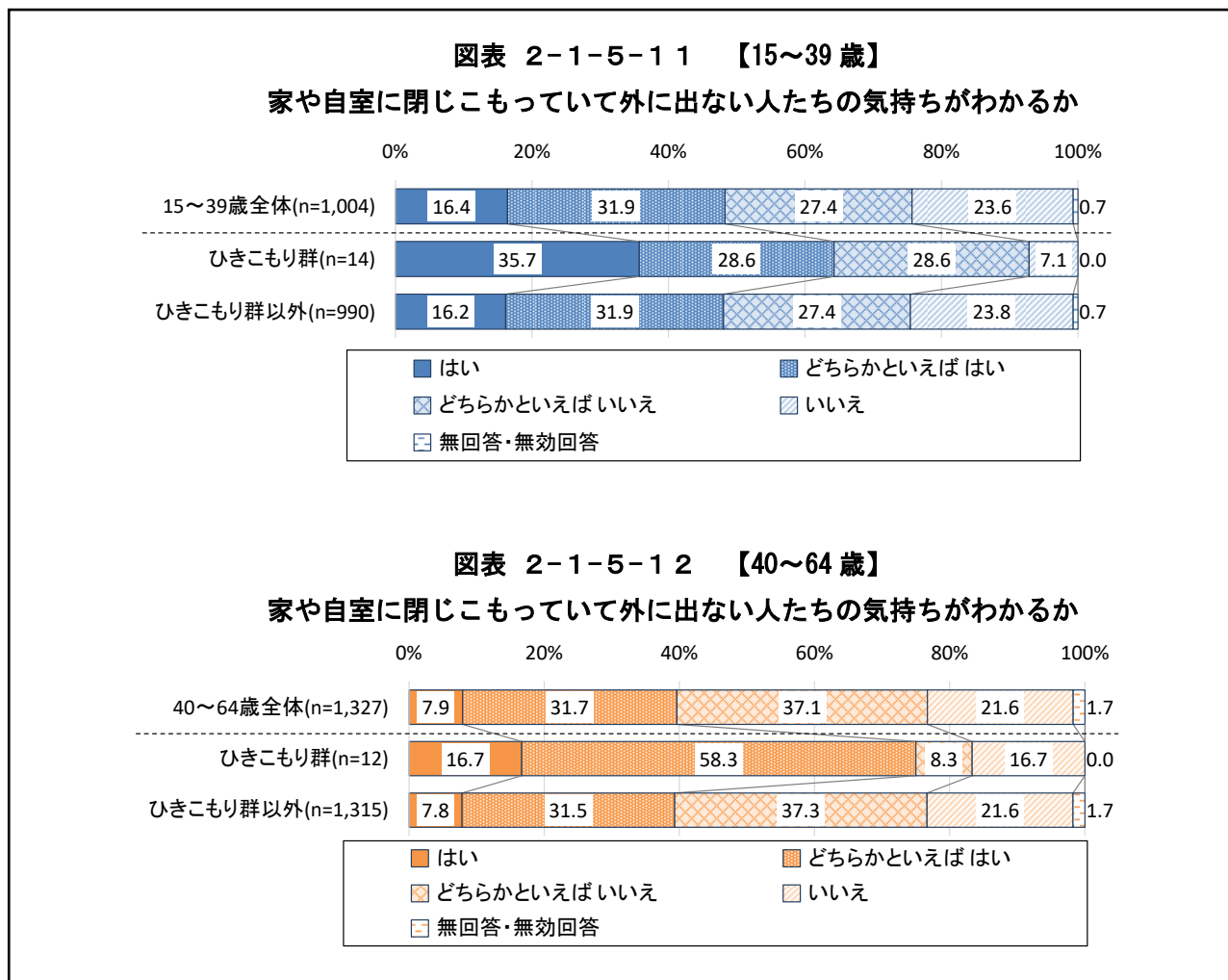


図表 2-1-5-10 【40～64歳】

家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかるか



参考：前回（平成29年度）調査⁶¹



⁶¹ 前回調査では、設問文は「次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。」となっている。

エ 家や自室に閉じこもりたいと思うことがあるか

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約6割。

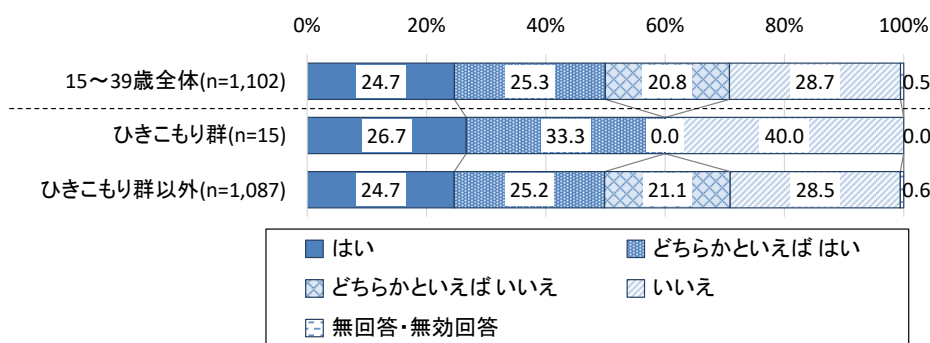
■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約3割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約4割。

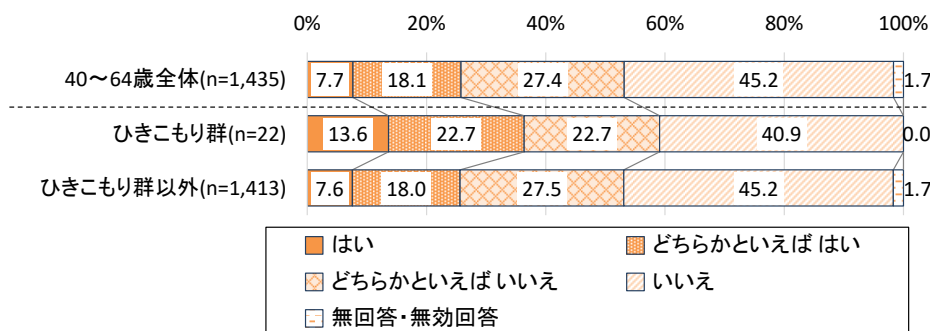
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

④家や自室に閉じこもりたいと思うことがある(単一回答)

図表 2-1-5-13 【15～39歳】 家や自室に閉じこもりたいと思うことがあるか

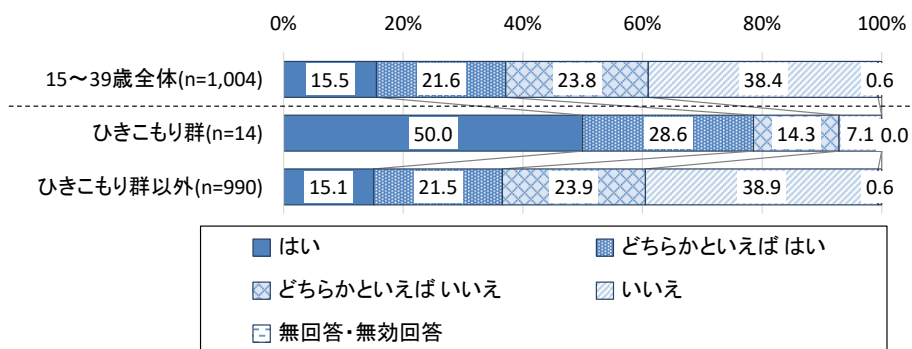


図表 2-1-5-14 【40～64歳】 家や自室に閉じこもりたいと思うことがあるか

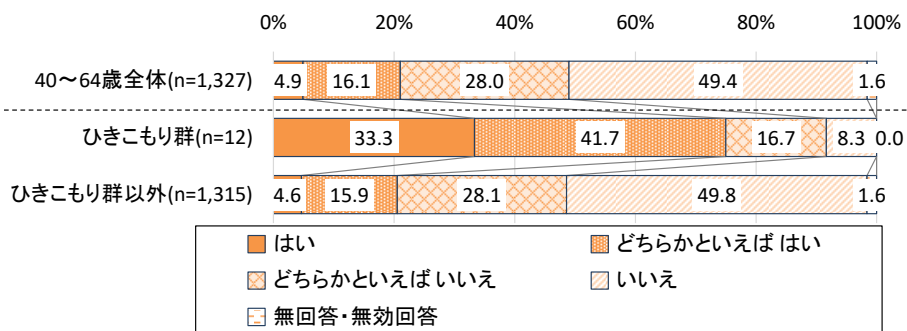


参考：前回（平成29年度）調査⁶²

図表 2-1-5-15 【15～39歳】 家や自室に閉じこもりたいと思うことがあるか



図表 2-1-5-16 【40～64歳】 家や自室に閉じこもりたいと思うことがあるか



⁶² 前回調査では、設問文は「次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。」となっている。

オ 嫌な出来事があると、外に出たくなくなるか

■ 15～39 歳について

- ・ 15～39 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 5 割。
- ・ ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 5 割。

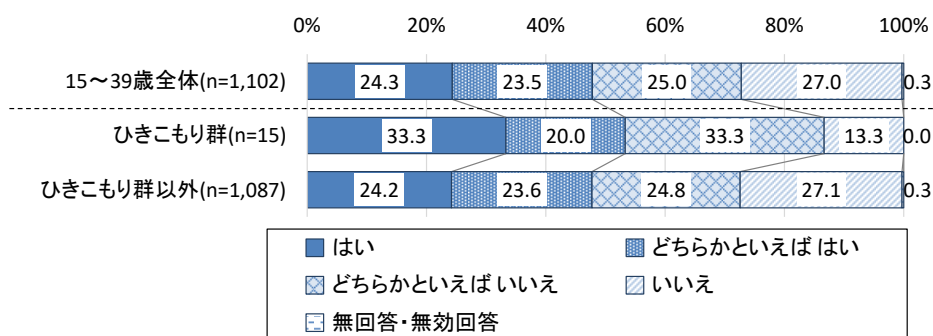
■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 4 割。
- ・ ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約 5 割。

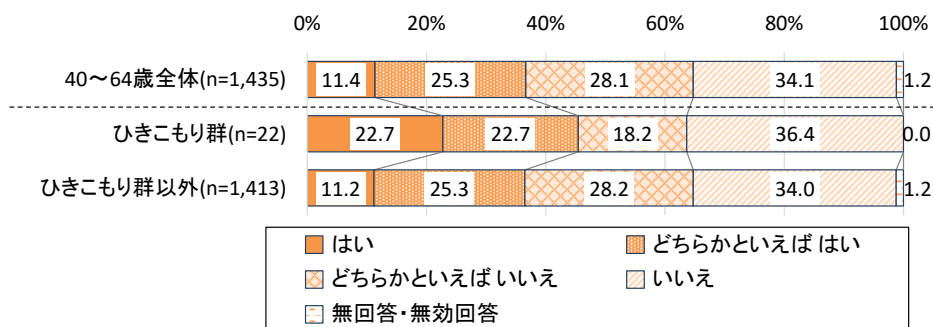
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

⑤嫌な出来事があると、外に出たくなくなる(単一回答)

図表 2-1-5-17 【15～39 歳】 嫌な出来事があると、外に出たくなくなるか

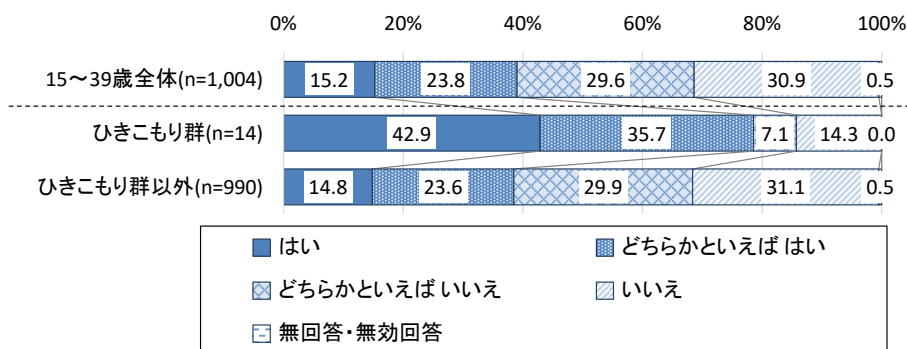


図表 2-1-5-18 【40～64 歳】 嫌な出来事があると、外に出たくなくなるか

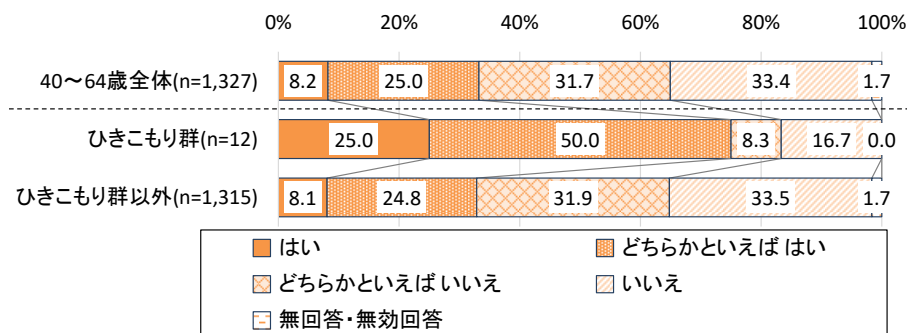


参考：前回（平成29年度）調査⁶³

図表 2-1-5-19 【15～39歳】 嫌な出来事があると、外に出たくなるか



図表 2-1-5-20 【40～64歳】 嫌な出来事があると、外に出たくなるか



⁶³ 前回調査では、設問文は「次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。」となっている。

カ 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思うか

■15～39 歳について

- ・15～39 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約8割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。

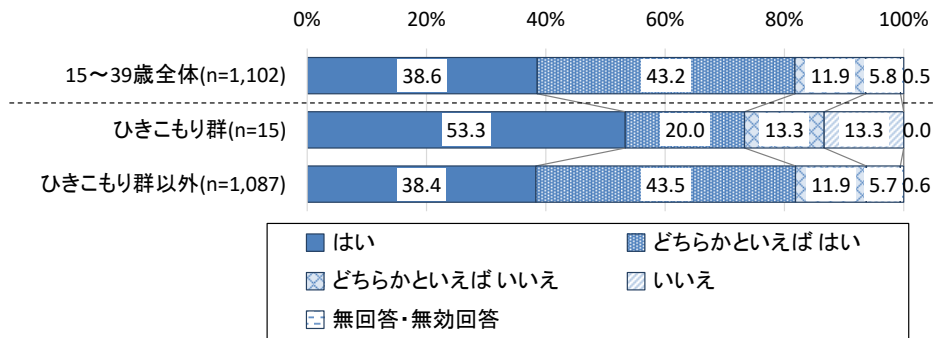
■40～64 歳について

- ・40～64 歳全体では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。
- ・ひきこもり群では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約9割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「はい」の割合が高い。

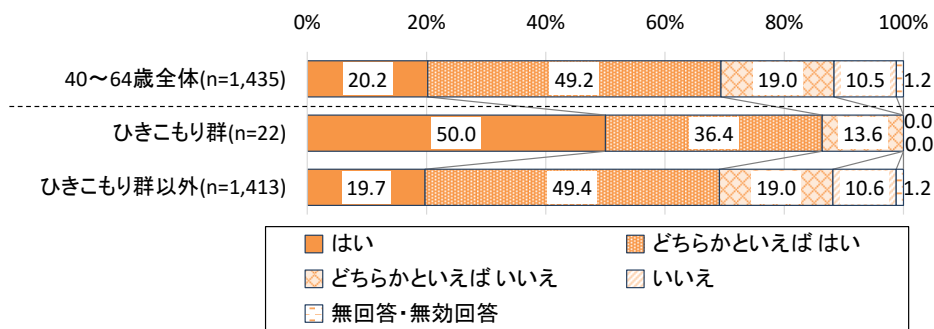
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

⑥理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う(単一回答)

図表 2-1-5-2 1 【15～39 歳】
理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思うか

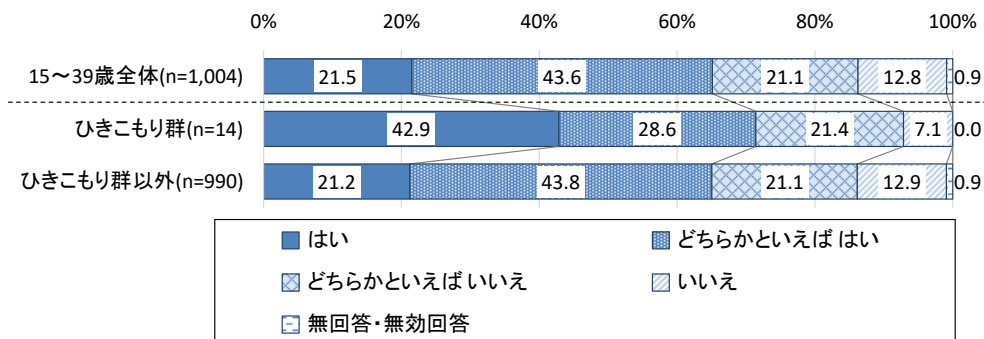


図表 2-1-5-2 2 【40～64 歳】
理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思うか

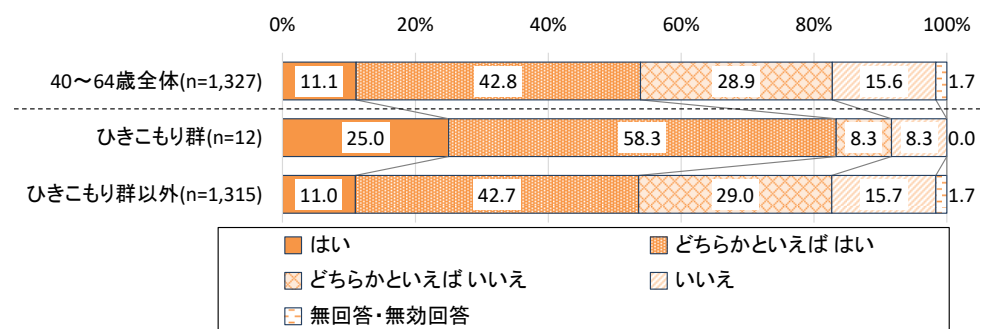


参考：前回（平成29年度）調査⁶⁴

図表 2-1-5-2 3 【15～39歳】
理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思うか



図表 2-1-5-2 4 【40～64歳】
理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思うか



⁶⁴ 前回調査では、設問文は「次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。」となっている。

キ 悩んでいることや困っていること

■15～39 歳について

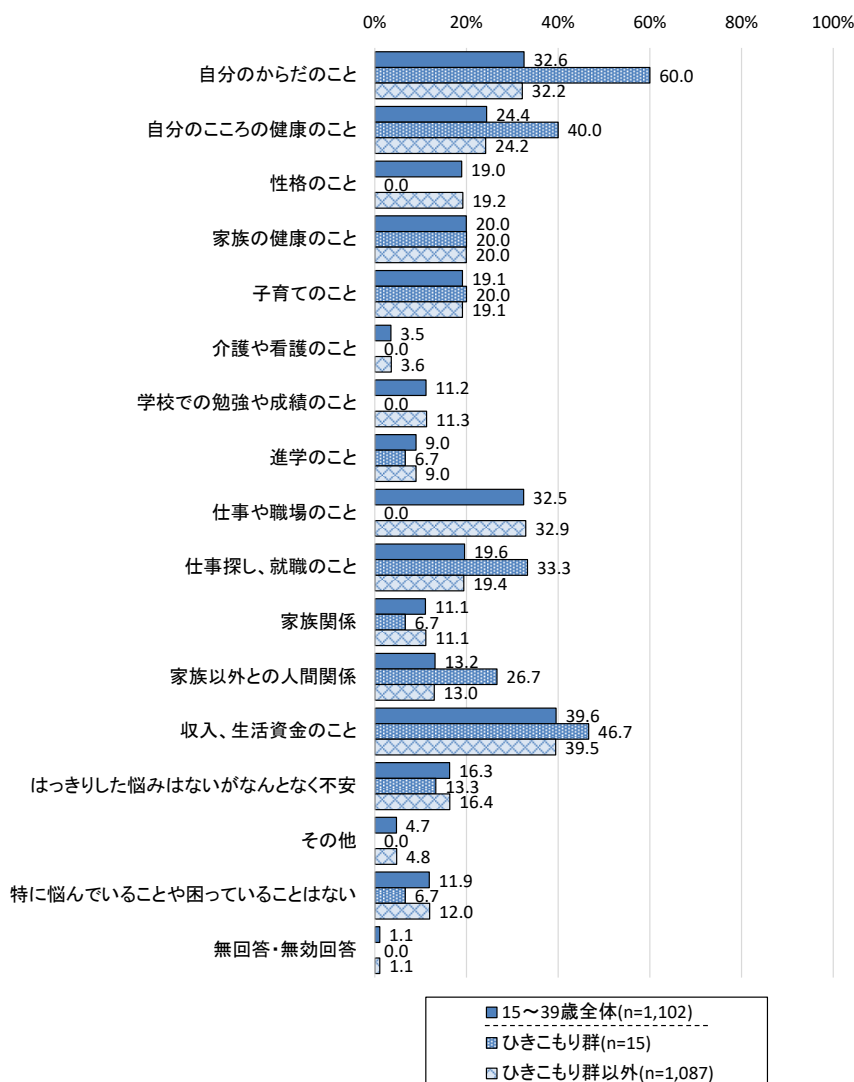
- ・15～39 歳全体では、「収入、生活資金のこと」が最も多く約4割、次いで「自分のからだのこと」、「仕事や職場のこと」がそれぞれ約3割。悩んでいることや困っていることの個数は、「1～2個」が最も多く約4割。
- ・ひきこもり群では、「自分のからだのこと」が最も多く約6割、次いで「収入、生活資金のこと」が約5割、「自分のこころの健康のこと」が約4割。悩んでいることや困っていることの個数は、「1～2個」が最も多く約5割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「自分のからだのこと」の割合が高く、「仕事や職場のこと」の割合が低い。

■40～64 歳について

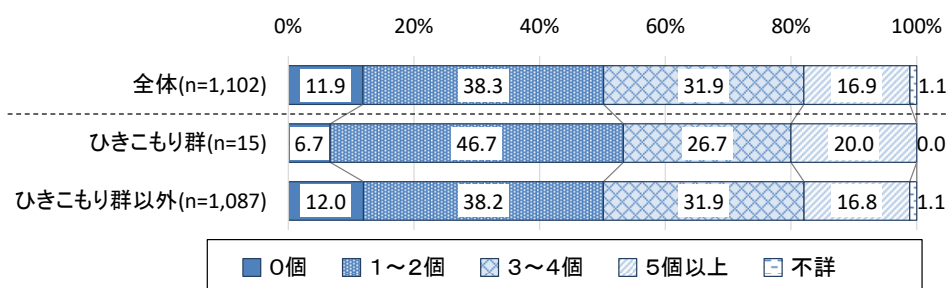
- ・40～64 歳全体では、「自分のからだのこと」が最も多く約4割、次いで「家族の健康のこと」、「仕事や職場のこと」、「収入、生活資金のこと」がそれぞれ約3割。悩んでいることや困っていることの個数は、「1～2個」が最も多く約4割。
- ・ひきこもり群では、「自分のからだのこと」、「自分のこころの健康のこと」、「介護や看護のこと」、「仕事探し、就職のこと」、「収入、生活資金のこと」がそれぞれ約3割。悩んでいることや困っていることの個数は、「1～2個」が最も多く約4割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「性格のこと」、「仕事探し、就職のこと」の割合が高く、「仕事や職場のこと」の割合が低い。

Q18 あなたは現在、悩んでいることや困っていることがありますか。(複数回答)

図表 2-1-5-25 【15~39歳】 悩んでいることや困っていること

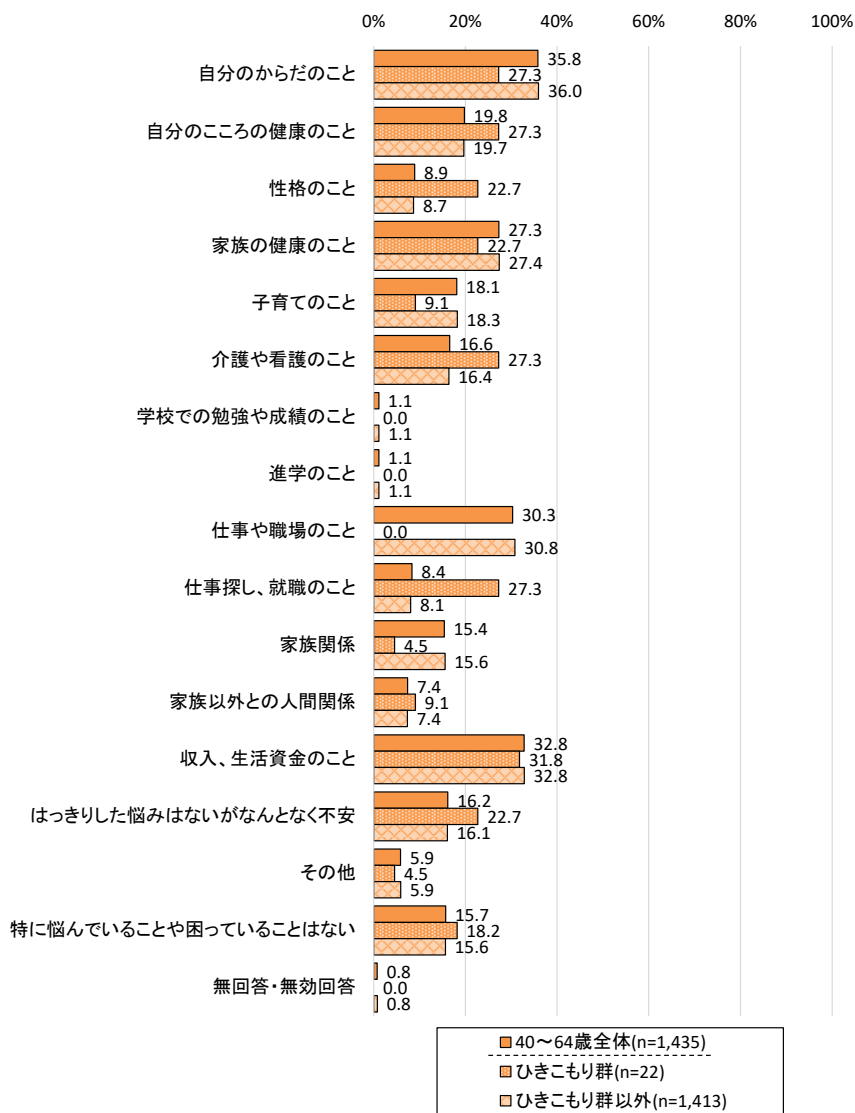


図表 2-1-5-26 【15~39歳】 悩んでいることや困っていることの個数⁶⁵

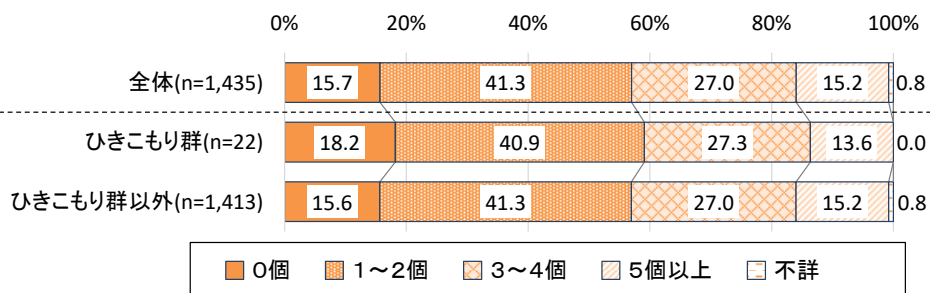


⁶⁵ 「特に悩んでいることや困っていることはない」を選択した者は「0個」とし、それ以外の者は、「自分のからだのこと」～「その他」の選択肢において回答した個数を集計した（以下同様）。

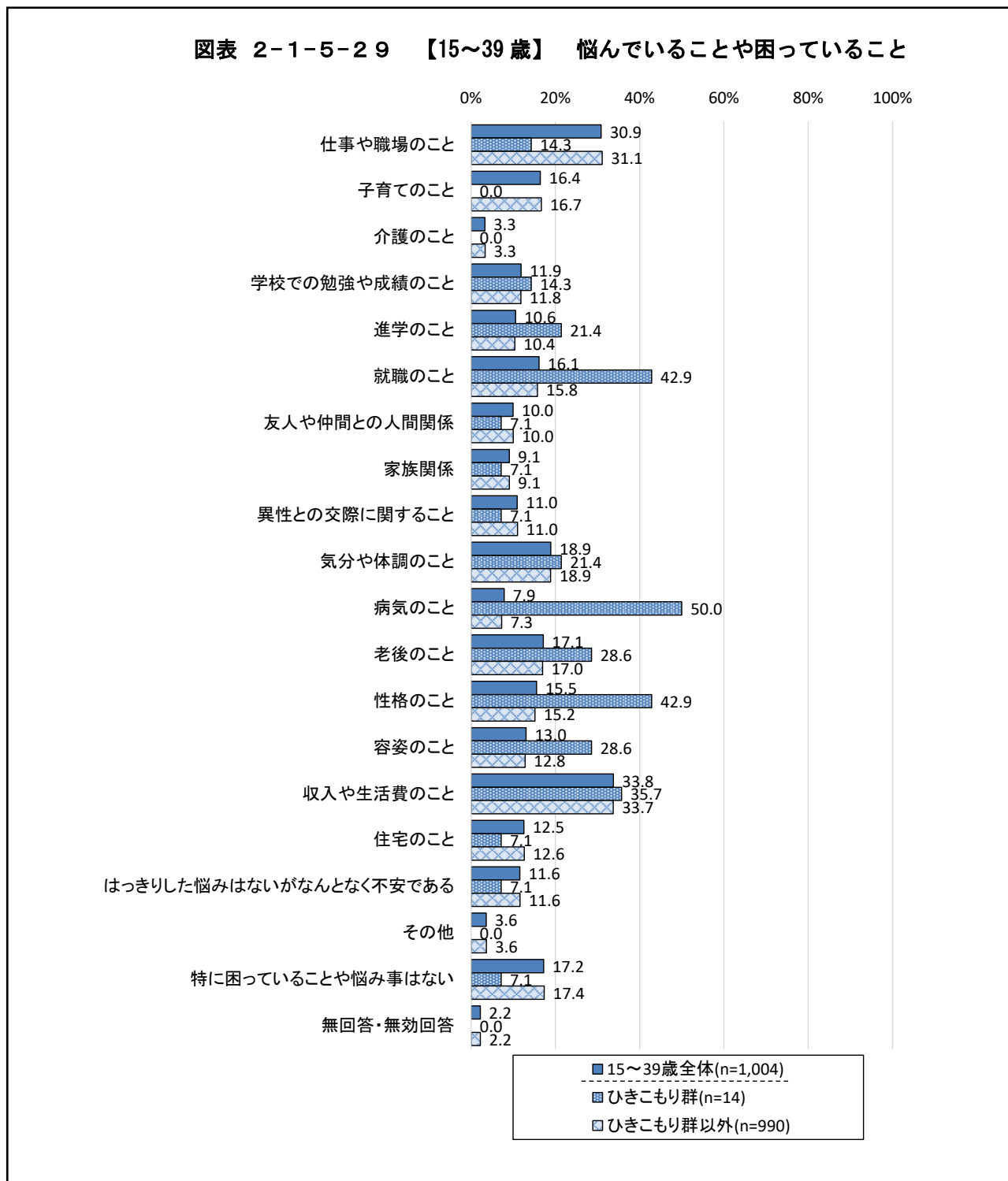
図表 2-1-5-27 【40～64歳】 悩んでいることや困っていること



図表 2-1-5-28 【40～64歳】 悩んでいることや困っていることの個数



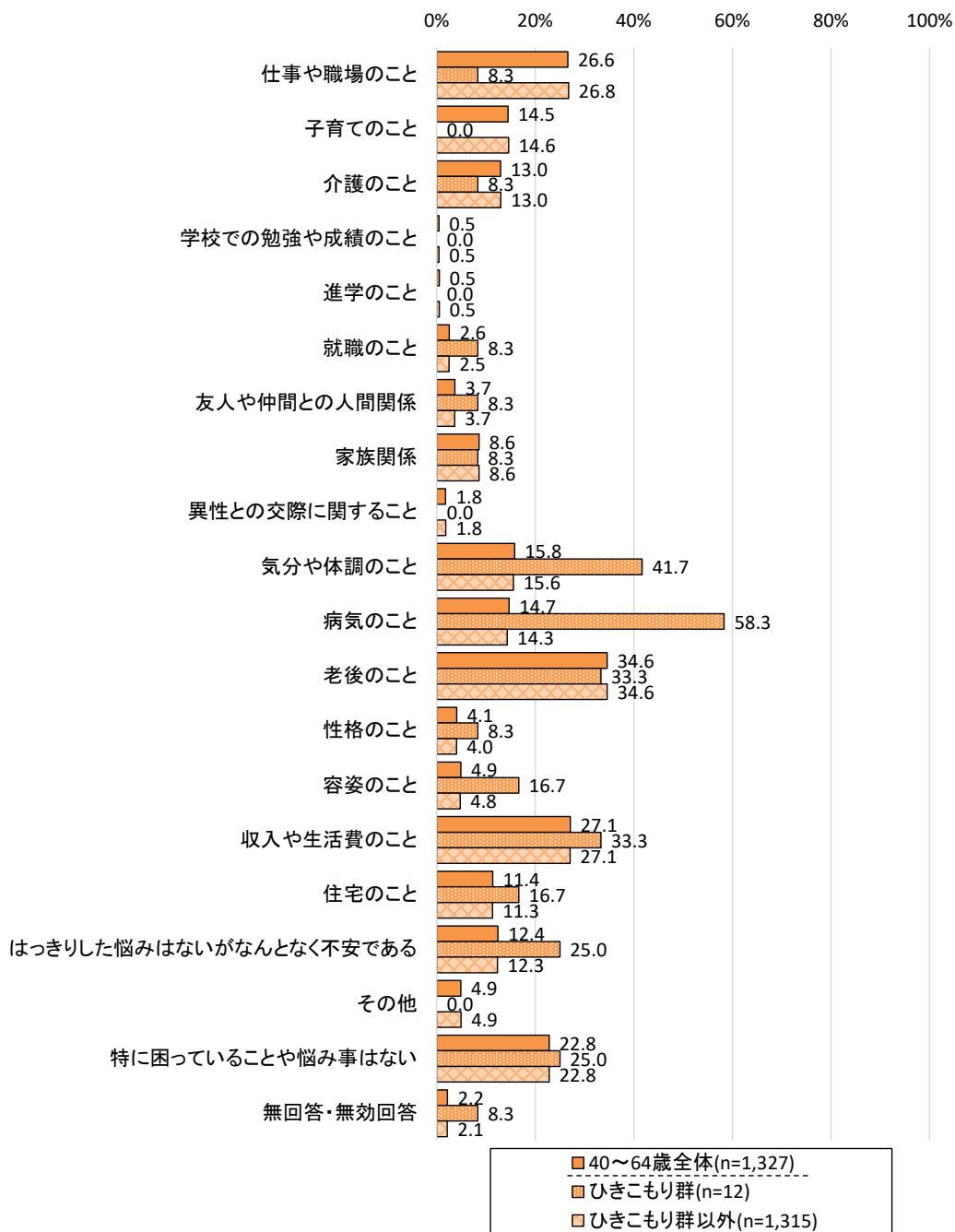
参考：前回（平成29年度）調査（15～39歳）⁶⁶



⁶⁶ 前回調査では、設問文は「あなたは現在困っていることや悩んでいることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。」となっている。また、選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。

参考：前回（平成29年度）調査（40～64歳）

図表 2-1-5-30 【40～64歳】 悩んでいることや困っていること



ク 悩みごとや困りごとの相談先

■15～39 歳について

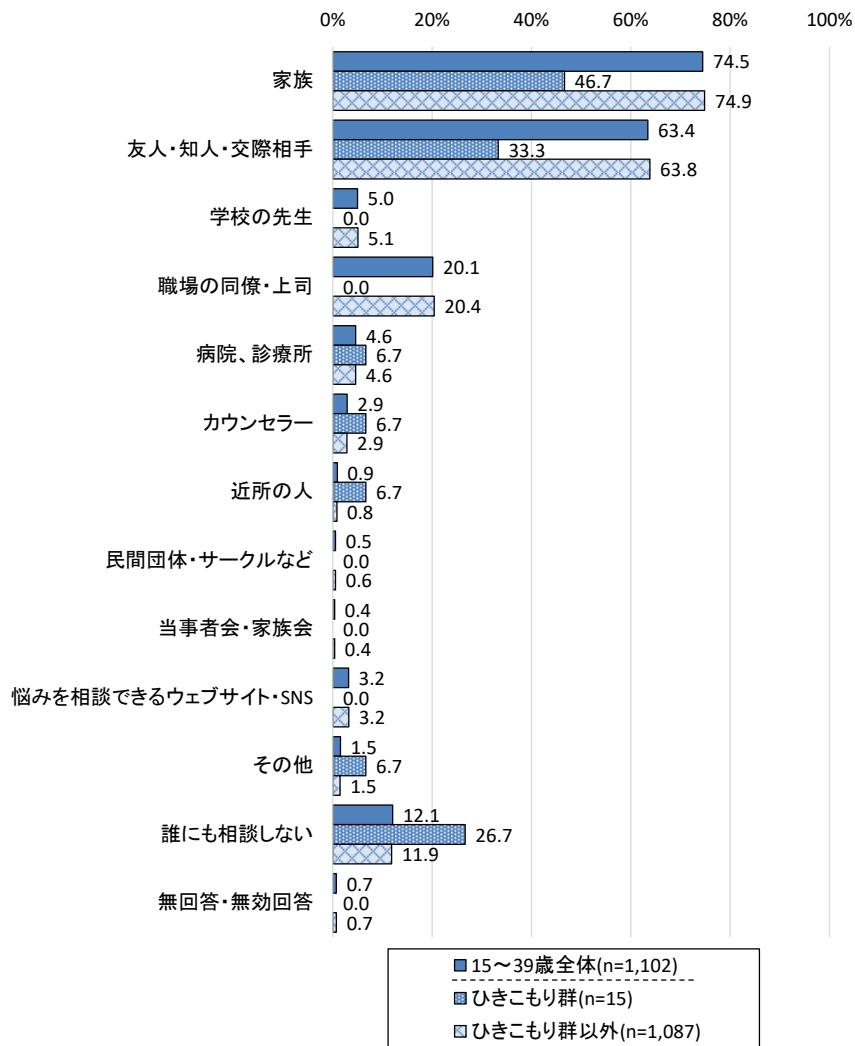
- ・15～39 歳全体では、「家族」が最も多く約7割、次いで「友人・知人・交際相手」が約6割。
- ・ひきこもり群では、「家族」が最も多く約5割、次いで「友人・知人・交際相手」が約3割。
「誰にも相談しない」も約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「家族」、「友人・知人・交際相手」の割合が低い。

■40～64 歳について

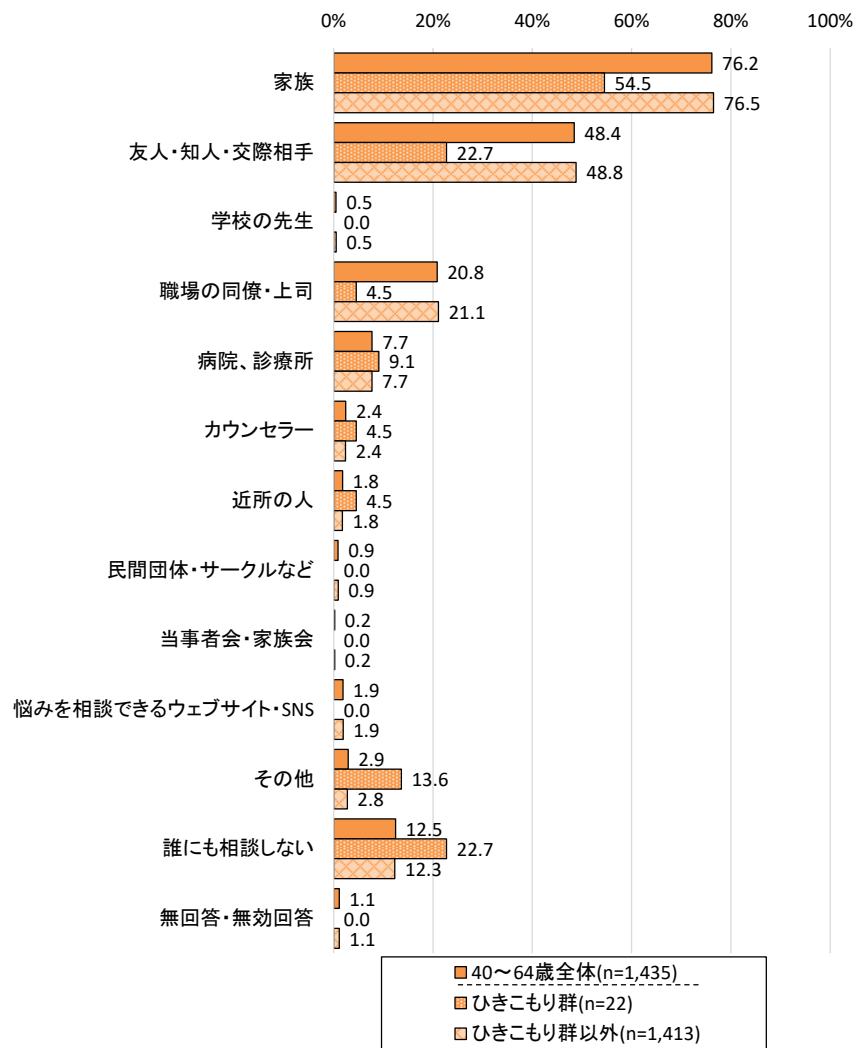
- ・40～64 歳全体では、「家族」が最も多く約8割、次いで「友人・知人・交際相手」が約5割、
「職場の同僚・上司」が約2割。
- ・ひきこもり群では、「家族」が最も多く約5割、次いで「友人・知人・交際相手」が約2割。
「誰にも相談しない」も約2割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「家族」、「友人・知人・交際相手」の割合が低く、「その他」の割合が高い。

Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。(複数回答)

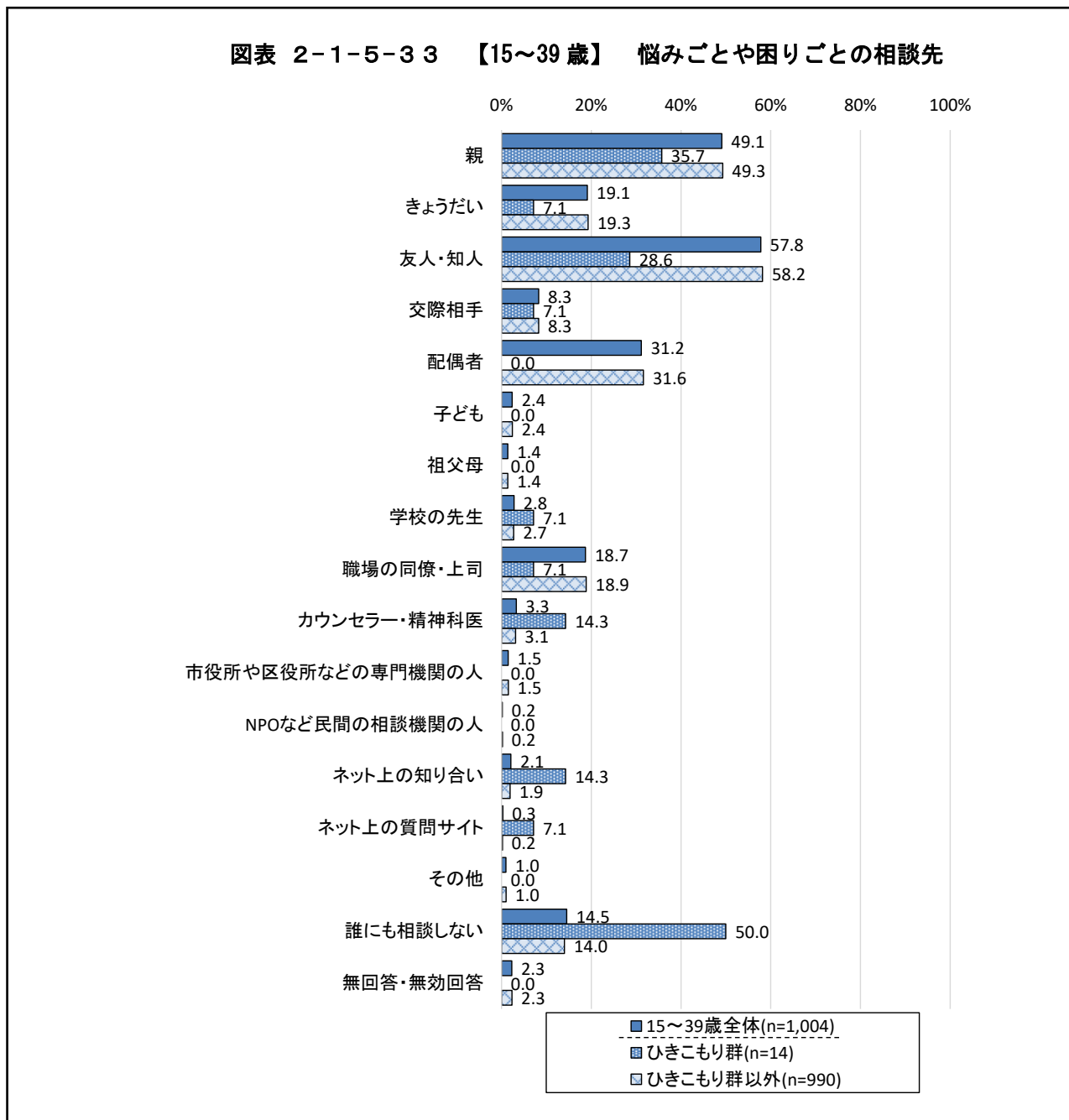
図表 2-1-5-3 1 【15~39歳】 悩みごとや困りごとの相談先



図表 2-1-5-3 2 【40～64歳】 悩みごとや困りごとの相談先



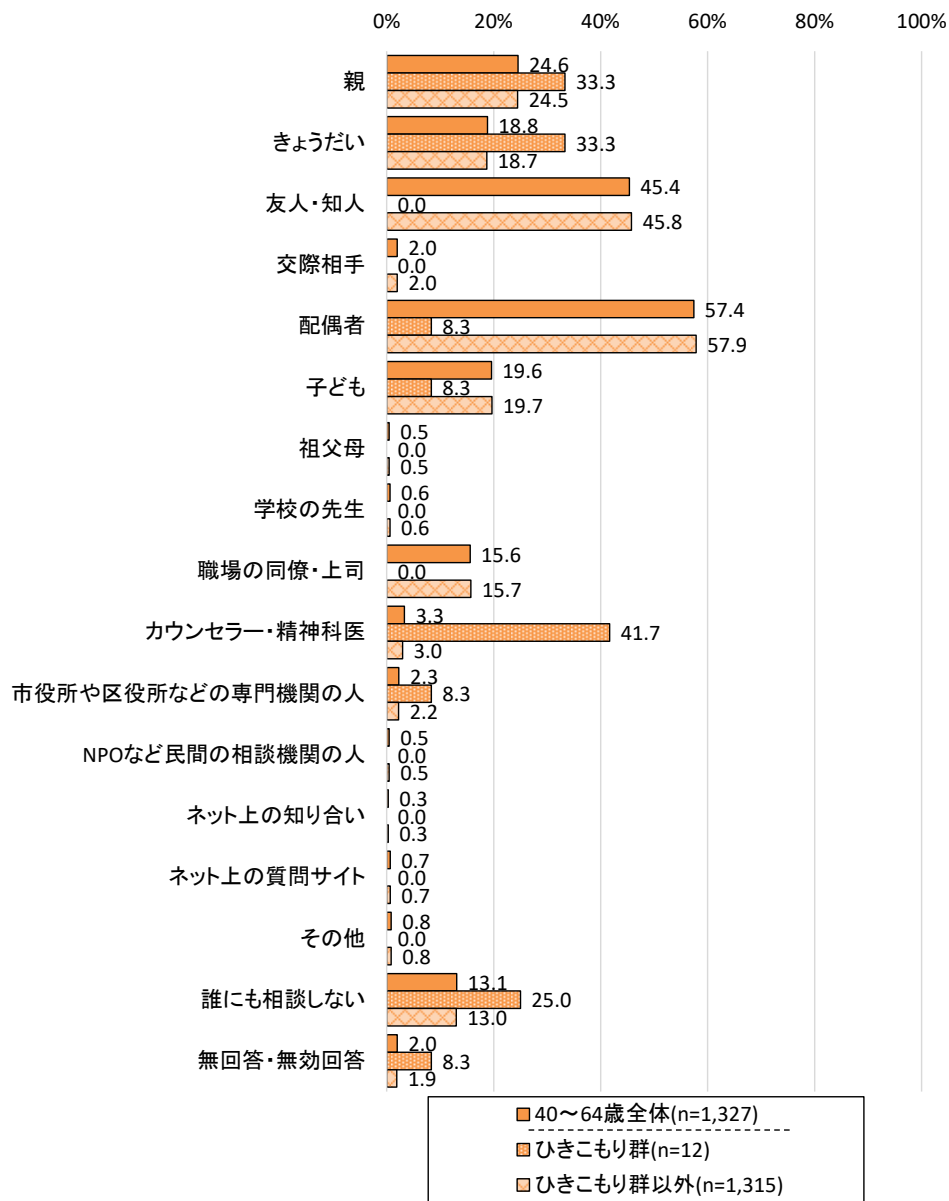
参考：前回（平成29年度）調査（15～39歳）⁶⁷



⁶⁷ 前回調査では、設問文は「あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか」となっている。また、選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。

参考：前回（平成29年度）調査（40～64歳）

図表 2-1-5-3 4 【40～64歳】 悩みごとや困りごとの相談先



ケ 悩みごとの有無と相談相手の有無⁶⁸

■ 15～39 歳について

- ・ 15～39 歳全体では、「悩みごとがあり、相談相手がない」者は約 1 割。
- ・ ひきこもり群では、「悩みごとがあり、相談相手がない」者は約 3 割。

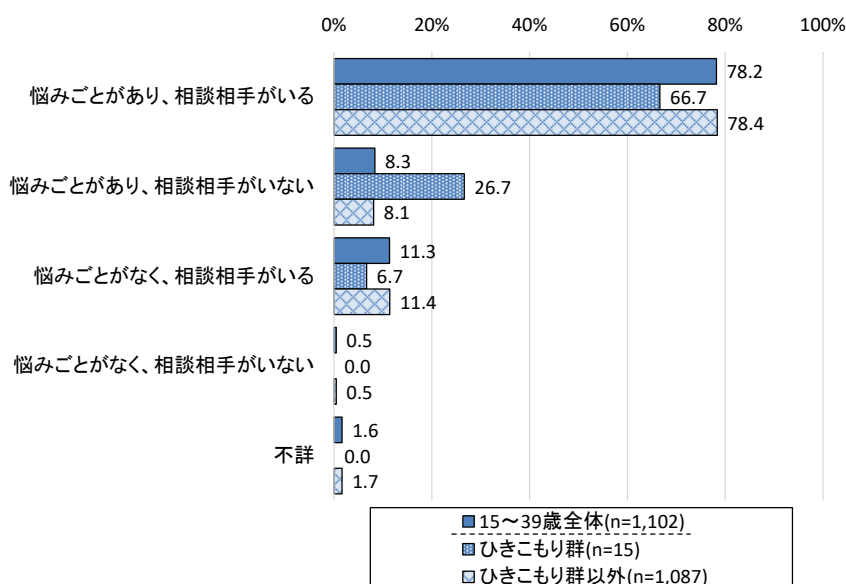
■ 40～64 歳について

- ・ 40～64 歳全体では、「悩みごとがあり、相談相手がない」者は約 1 割。
- ・ ひきこもり群では、「悩みごとがあり、相談相手がない」者は約 2 割。

Q18 あなたは現在、悩んでいることや困っていることがありますか。(複数回答)

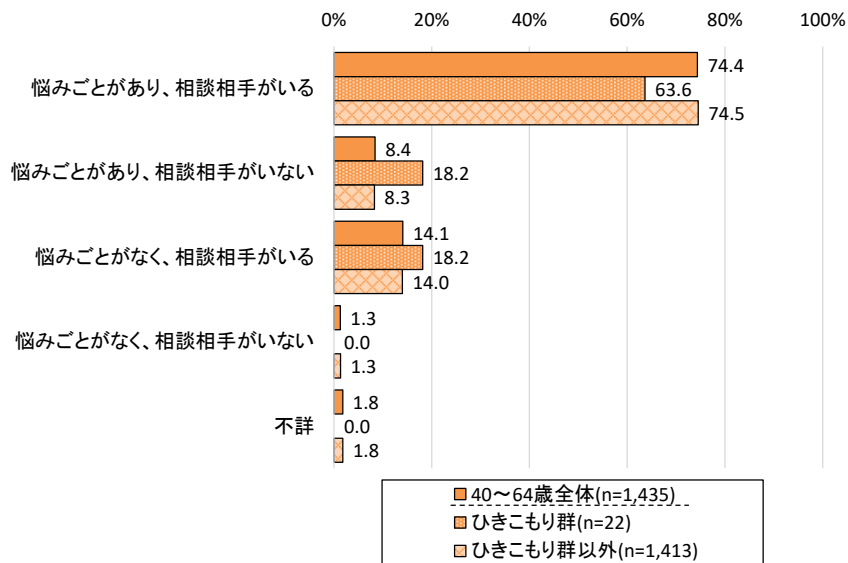
Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。(複数回答)

図表 2-1-5-3 5 【15～39 歳】 悩みごとの有無と相談相手の有無



⁶⁸ 「Q18 あなたは現在、悩んでいることや困っていることがありますか。」について、「特に悩んでいることや困っていることはない」を選択した者を「悩みごとがない者」、そうでない者を「悩みごとがある」者とした。また、「Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。」について、「家族」、「友人・知人・交際相手」、「学校の先生」、「職場の同僚・上司」、「病院、診療所」、「カウンセラー」、「近所の人」、「民間団体・サークルなど」、「当事者会・家族会」、「悩みを相談できるウェブサイト・SNS」、「その他」のいずれかを選択した者を「相談相手がいる」者、それらを選択せず、「誰にも相談しない」を選択した者を、「相談相手がない」者とした。

図表 2-1-5-3 6 【40～64歳】 悩みごとの有無と相談相手の有無



コ 公的な相談機関・専門機関への相談状況

■15～39歳について

- ・15～39歳全体では、「相談したことがない」者が最も多く約8割、「区役所・福祉保健センター」に相談したことがある者が約1割。
- ・ひきこもり群では、「相談したことがない」者が最も多く約8割、「ハローワーク・ジョブカフェなどの就労支援機関」、「その他の施設・機関」に相談したことがある者がそれぞれ約1割。

■40～64歳について

- ・40～64歳全体では、「相談したことがない」者が最も多く約7割、「区役所・福祉保健センター」、「学校・スクールカウンセラー」、「ハローワーク・ジョブカフェなどの就労支援機関」、「その他の施設・機関」に相談したことがある者がそれぞれ約1割。
- ・ひきこもり群では、「相談したことがない」者が最も多く約5割、「区役所・福祉保健センター」に相談したことがある者が約2割。

Q20 あなたはこれまでに公的な相談機関・専門機関に相談したことがありますか。
ある場合は、相談したことのある機関に○をつけてください。(複数回答)

図表 2-1-5-37 【15～39歳】 公的な相談機関・専門機関への相談状況



図表 2-1-5-38 【40～64歳】 公的な相談機関・専門機関への相談状況



サ 公的な相談機関・専門機関の利用意向

■ 15～39 歳について

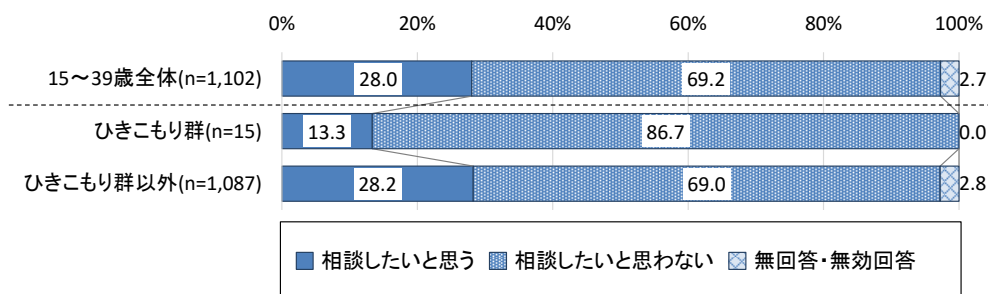
- ・ 15～39 歳全体では、「相談したいと思わない」が約 7 割。
- ・ ひきこもり群では、「相談したいと思わない」が約 9 割。

■ 40～64 歳について

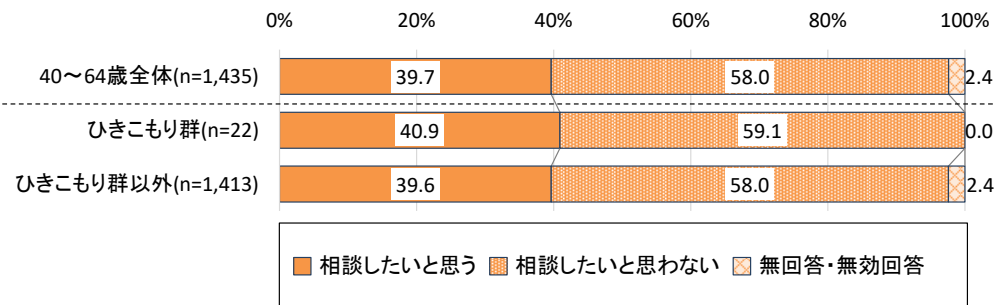
- ・ 40～64 歳全体では、「相談したいと思わない」が約 6 割。
- ・ ひきこもり群では、「相談したいと思わない」が約 6 割。

Q21 あなたは悩みごとや困りごとについて、公的な相談機関・専門機関に相談したいと思いますか。
(単一回答)

図表 2-1-5-39 【15～39 歳】 公的な相談機関・専門機関の利用意向



図表 2-1-5-40 【40～64 歳】 公的な相談機関・専門機関の利用意向



シ 公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由

■15～39 歳について

- ・15～39 歳全体では、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が最も多く約4割、次いで「相談しても解決できないと思う」、「公的な機関が何をしているかわからない」がそれぞれ約3割。
- ・ひきこもり群では、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が最も多く約3割、「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談しても解決できないと思う」、「相手にうまく話せないと思う」、「相談する必要がある」がそれぞれ約2割。

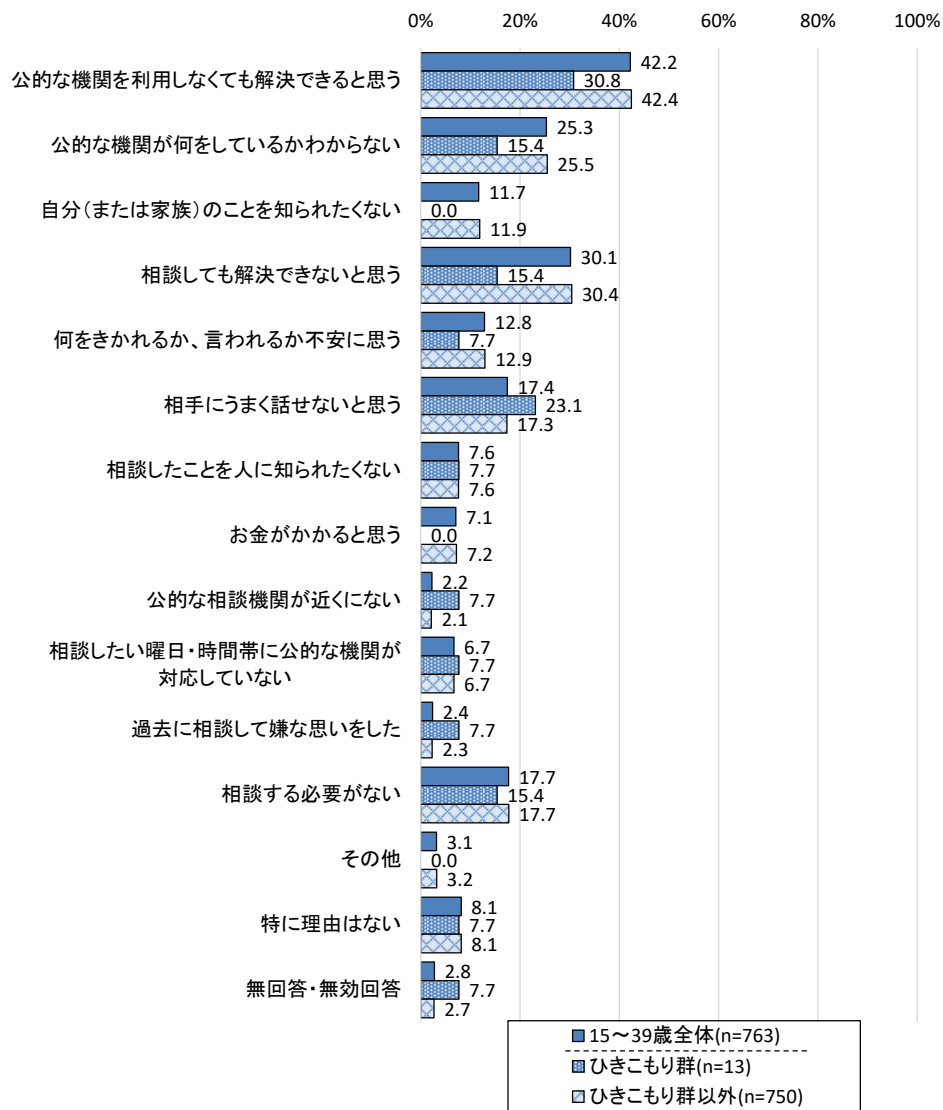
■40～64 歳について

- ・40～64 歳全体では、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が最も多く約4割、「相談しても解決できないと思う」が約3割、「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談する必要がある」がそれぞれ約2割。
- ・ひきこもり群では、「相手にうまく話せないと思う」が最も多く約4割、「相談しても解決できないと思う」が約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「公的な機関が何をしているかわからない」の割合が低く、「相手にうまく話せないと思う」、「相談したことを人に知られたくない」の割合が高い。

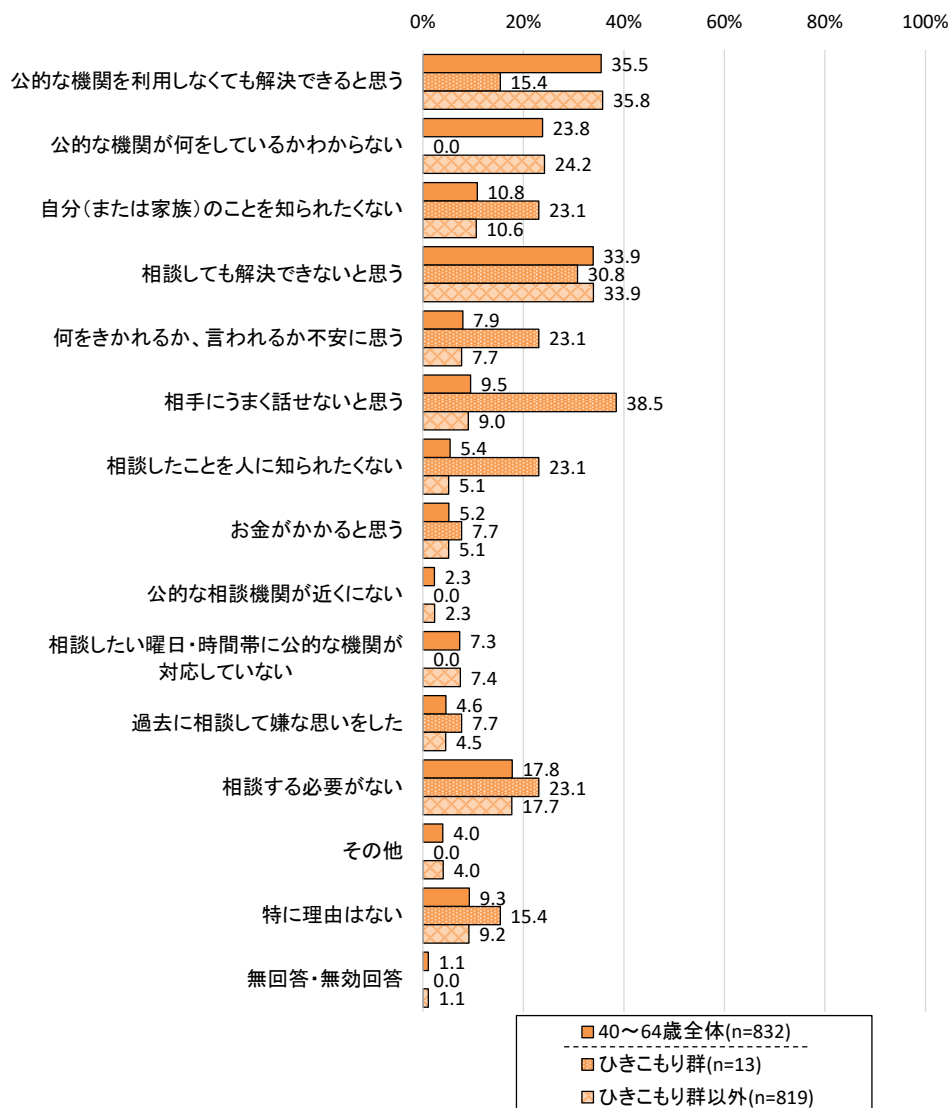
【Q21で「相談したいと思わない」に○をつけた方のみ】

Q21-1 あなたが相談したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

図表 2-1-5-4 1 【15~39歳】
公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由



図表 2-1-5-4 2 【40～64歳】
公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由



ス 横浜市の公的機関・事業の認知度

■15～39 歳について

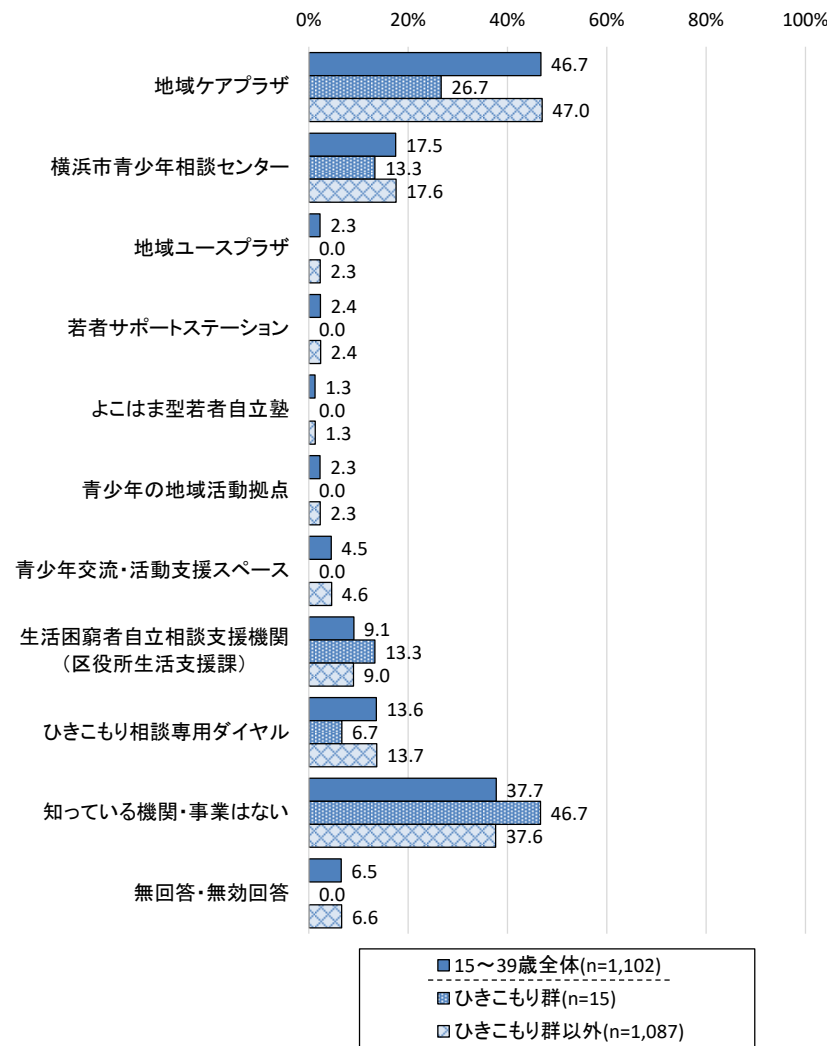
- ・15～39 歳全体では、「地域ケアプラザ」を知っている者が約5割。「知っている機関・事業はない」者は約4割。
- ・ひきこもり群では、「知っている機関・事業はない」者が約5割。「地域ケアプラザ」を知っている者は約3割、「横浜市青少年相談センター」、「生活困窮者自立相談支援機関（区役所生活支援課）」、「ひきこもり相談専用ダイヤル」を知っている者はそれぞれ約1割。

■40～64 歳について

- ・40～64 歳全体では、「地域ケアプラザ」を知っている者が約7割、「横浜市青少年相談センター」、「生活困窮者自立相談支援機関（区役所生活支援課）」を知っている者がそれぞれ約2割。「知っている機関・事業はない」者も約2割。
- ・ひきこもり群では、「地域ケアプラザ」を知っている者が約6割、「生活困窮者自立相談支援機関（区役所生活支援課）」、「ひきこもり相談専用ダイヤル」を知っている者がそれぞれ約3割。「知っている機関・事業はない」者も約3割。
- ・ひきこもり群では、ひきこもり群以外と比較して、「ひきこもり相談専用ダイヤル」を知っている者の割合が高い。

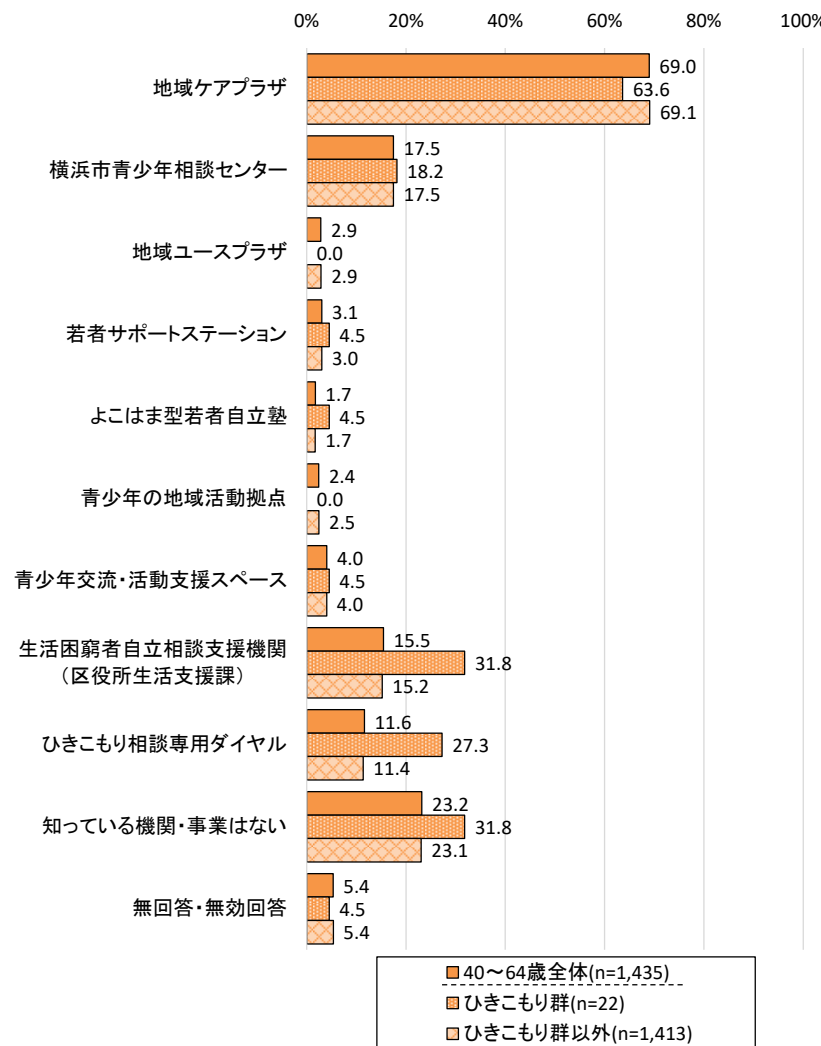
Q22 あなたは次の機関や事業を知っていますか。知っているものに○をつけてください。(複数回答)⁶⁹

図表 2-1-5-4 3 【15～39歳】 横浜市の公的機関・事業の認知度



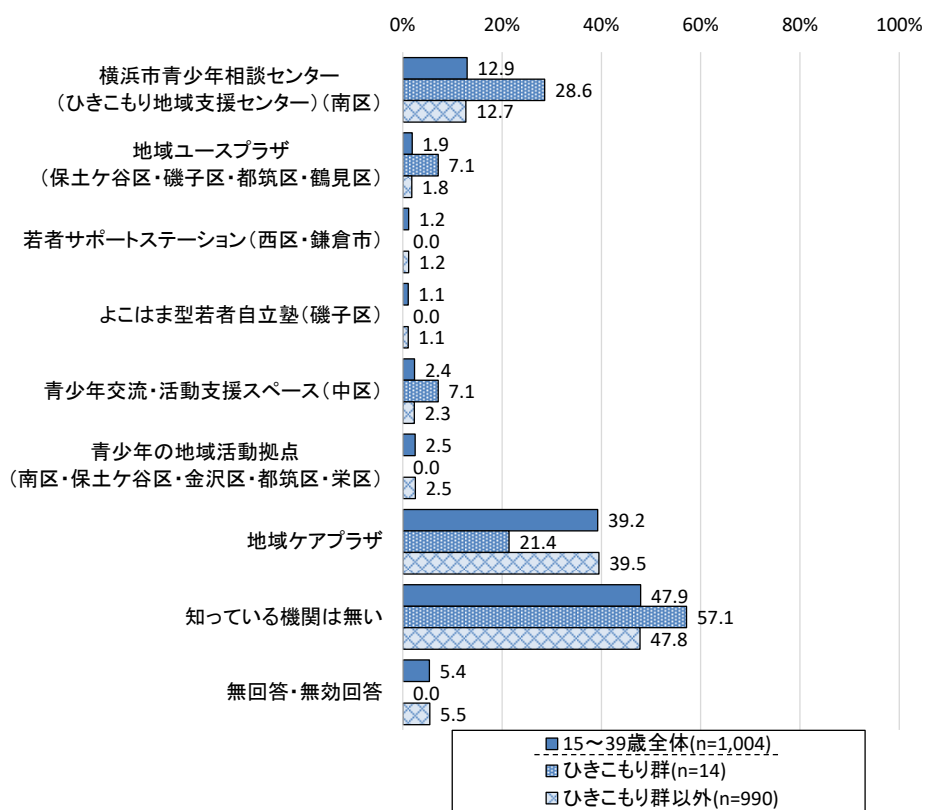
⁶⁹ 調査実施にあたって、各機関や事業の説明資料を同封した。

図表 2-1-5-4 4 【40～64歳】 横浜市の公的機関・事業の認知度

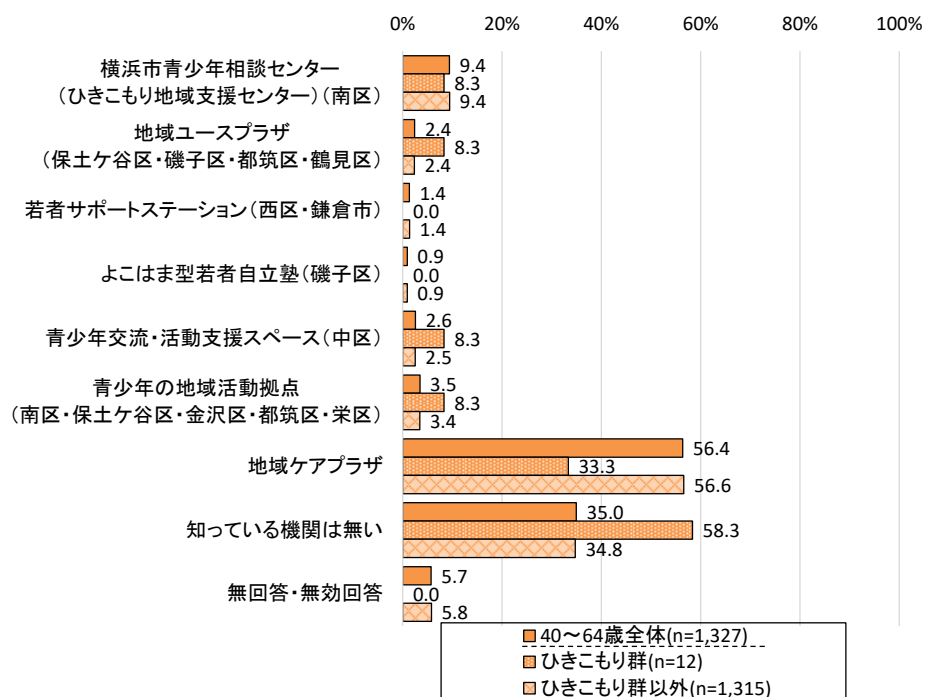


参考：前回（平成29年度）調査⁷⁰

図表 2-1-5-4 5 【15～39歳】 横浜市の公的機関・事業の認知度



図表 2-1-5-4 6 【40～64歳】 横浜市の公的機関・事業の認知度



⁷⁰ 前回調査では、設問文は「あなたは以下の機関や事業を知っていますか。知っている項目に○をつけてください。」となっている。また、選択肢の文言等が今回調査とは一部異なることに留意が必要である。

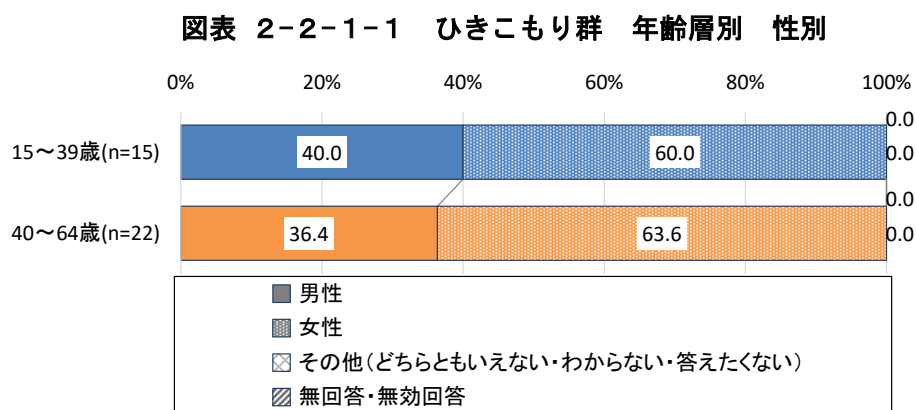
2-2 ひきこもり群における年齢層別の集計

(1) 調査対象者や家族のことについて

ア 性別

- ・ 15～39歳のひきこもり群では、「女性」が約6割、「男性」が約4割。
- ・ 40～64歳のひきこもり群では、「女性」が約6割、「男性」が約4割。

Q1 あなたの性別をお答えください。(単一回答)

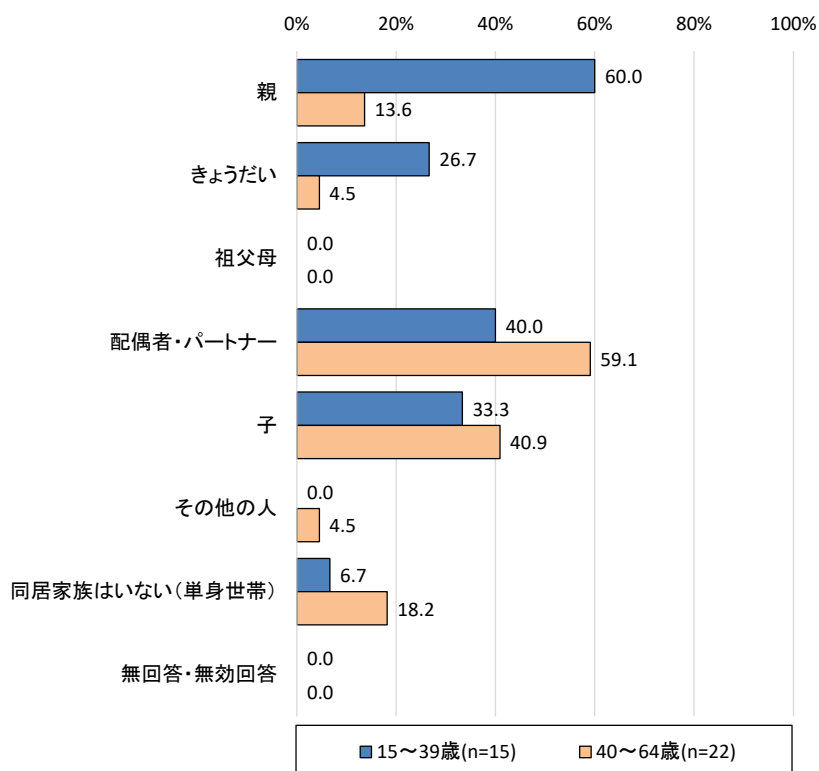


イ 同居人

- ・15～39歳のひきこもり群では、「親」が最も多く約6割、次いで「配偶者・パートナー」が約4割。「同居家族はいない（単身世帯）」は約1割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「配偶者・パートナー」が最も多く約6割、次いで「子」が約4割。「同居家族はいない（単身世帯）」は約2割。
- ・年齢層別で比較すると、15～39歳のひきこもり群の方が、「親」の割合が高い。

Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。（複数回答）

図表 2-2-1-2 ひきこもり群 年齢層別 同居人

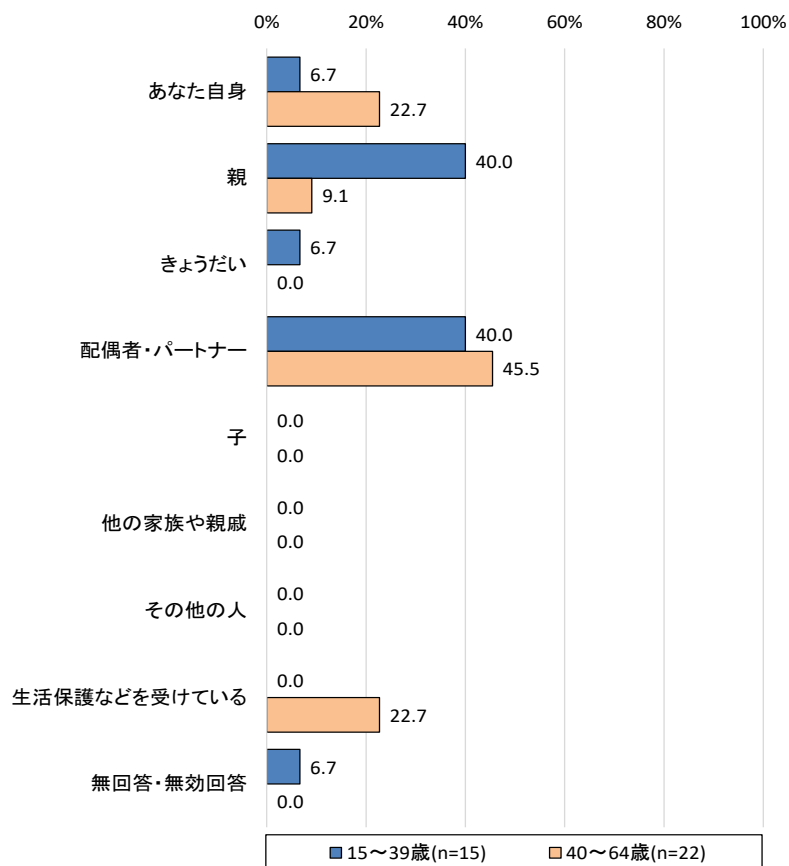


ウ 主生計者

- ・15～39歳のひきこもり群では、「親」、「配偶者・パートナー」がそれぞれ約4割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「配偶者・パートナー」が最も多く約5割。
- ・年齢層別で比較すると、40～64歳のひきこもり群の方が、「あなた自身」、「生活保護などを受けている」の割合が高く、「親」の割合が低い。

Q4 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。(単一回答)

図表 2-2-1-3 ひきこもり群 年齢層別 主生計者



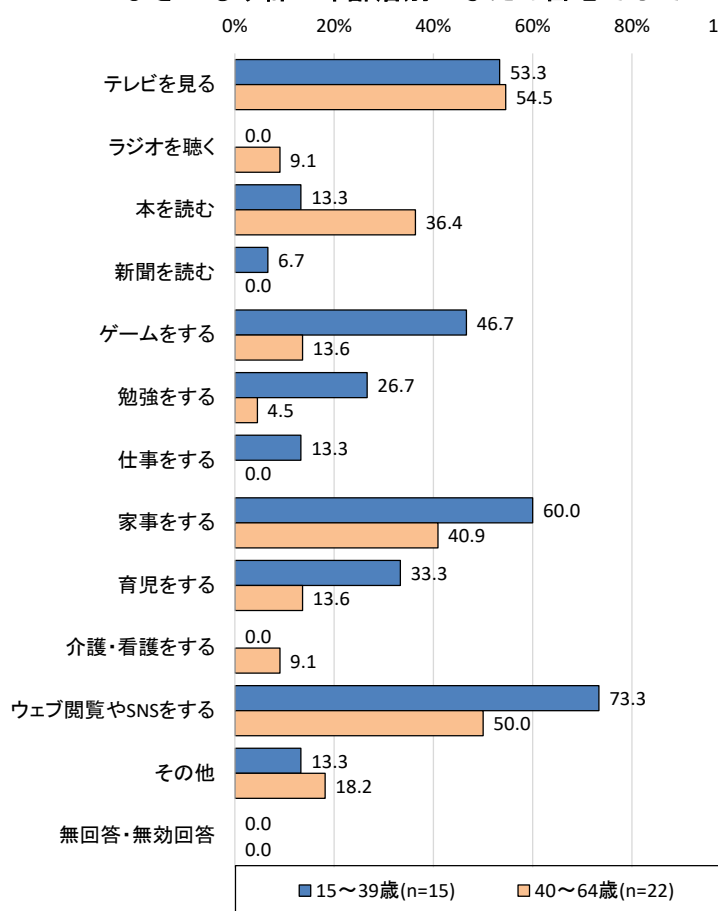
(2) ふだんの生活の状況について

ア ふだん自宅でしていること⁷¹

- ・15～39歳のひきこもり群では、「ウェブ閲覧やSNSをする」が最も多く約7割、次いで「家事をする」が約6割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「テレビを見る」、「ウェブ閲覧やSNSをする」が約5割、次いで「本を読む」、「家事をする」が約4割。

Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。(複数回答)

図表 2-2-2-1 ひきこもり群 年齢層別 ふだん自宅でしていること



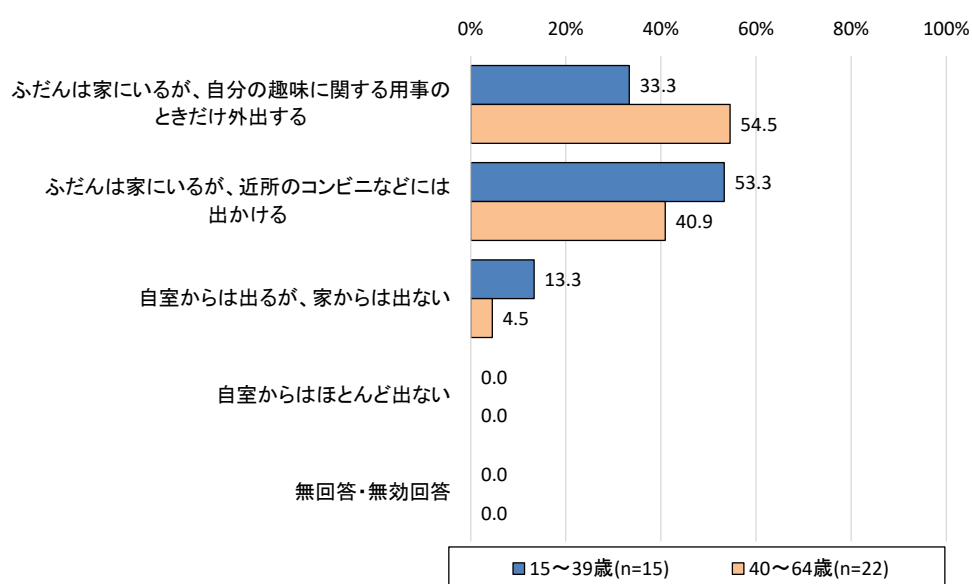
⁷¹ 「Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」で、「仕事をする」を選択した者については、その他の設問の回答状況を踏まえてひきこもり群に含めるかを判断している。

イ 外出頻度⁷²

- ・15～39歳のひきこもり群では、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が最も多く約5割、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が約3割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が最も多く約5割、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が約4割。

Q11 あなたはふだんどのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 2-2-2-2 ひきこもり群 年齢層別 外出頻度



⁷² ひきこもり群の定義より、「仕事や学校で週5日ほど外出する」、「仕事や学校で週に何日か外出する」、「趣味や遊び等のために頻繁に外出する」、「人づきあいのためにときどき外出する」を選択した者は、ひきこもり群に含まれないため、グラフから表記を省略している。

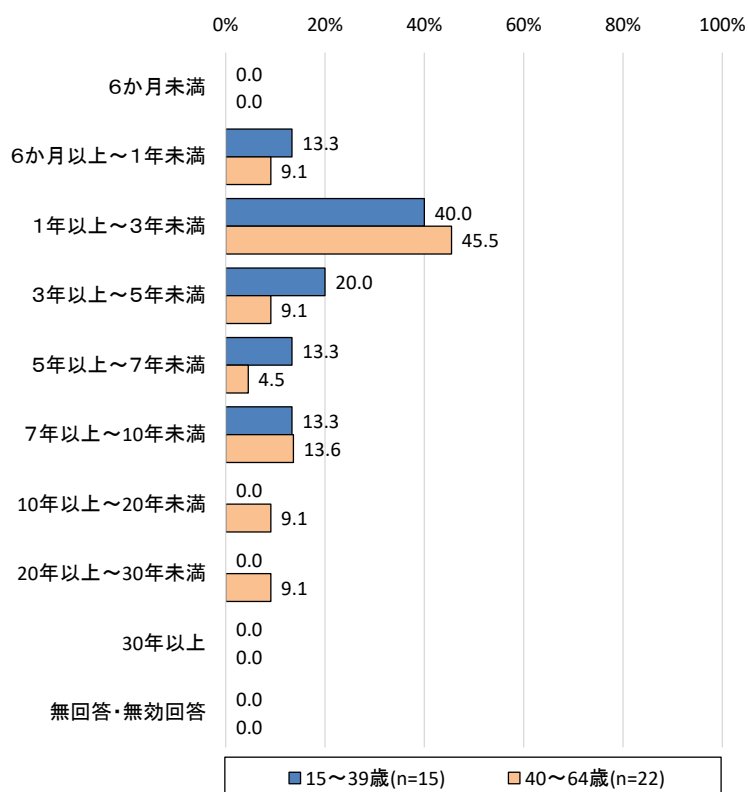
ウ 現在の状態となってからの期間⁷³

- ・15～39歳のひきこもり群では、「1年以上～3年未満」が最も多く約4割、次いで「3年以上～5年未満」が約2割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「1年以上～3年未満」が最も多く約5割。なお、「10年以上」は約2割⁷⁴。

【Q11で5～8に○をつけた方のみ】

Q11-1 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。(単一回答)

図表 2-2-2-3 ひきこもり群 年齢層別 現在の状態となってからの期間



⁷³ ひきこもり群の定義より、「6か月未満」を選択した者は、ひきこもり群に含まれていない。

⁷⁴ 「10年以上～20年未満」、「20年以上～30年未満」または「30年以上」を合わせた割合。

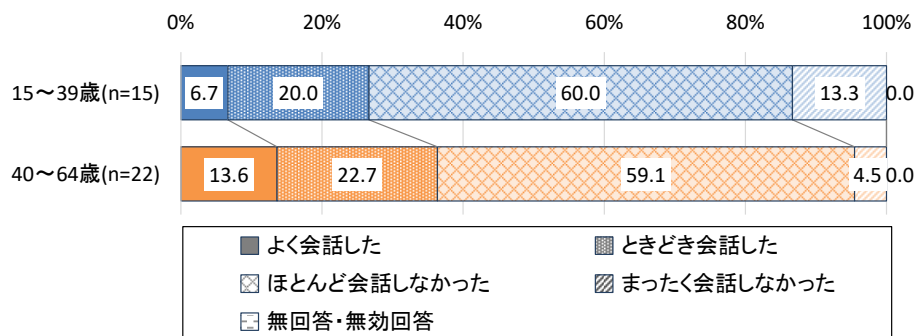
エ 最近6か月間での家族以外の人との会話の状況⁷⁵

- ・15～39歳のひきこもり群では、「よく会話した」、「ときどき会話した」が合わせて約3割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「よく会話した」、「ときどき会話した」が合わせて約4割。

【Q11で5～8に○をつけた方のみ】

Q11-2 最近6か月間に家族以外の人と会話しましたか。(単一回答)

図表 2-2-2-4 ひきこもり群 年齢層別 最近6か月間での家族以外の人との会話の状況



⁷⁵ 集計対象は、「Q11 あなたはふだんどのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。」と尋ねた設問で、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からはほとんど出ない」のいずれかに回答した者のみ。

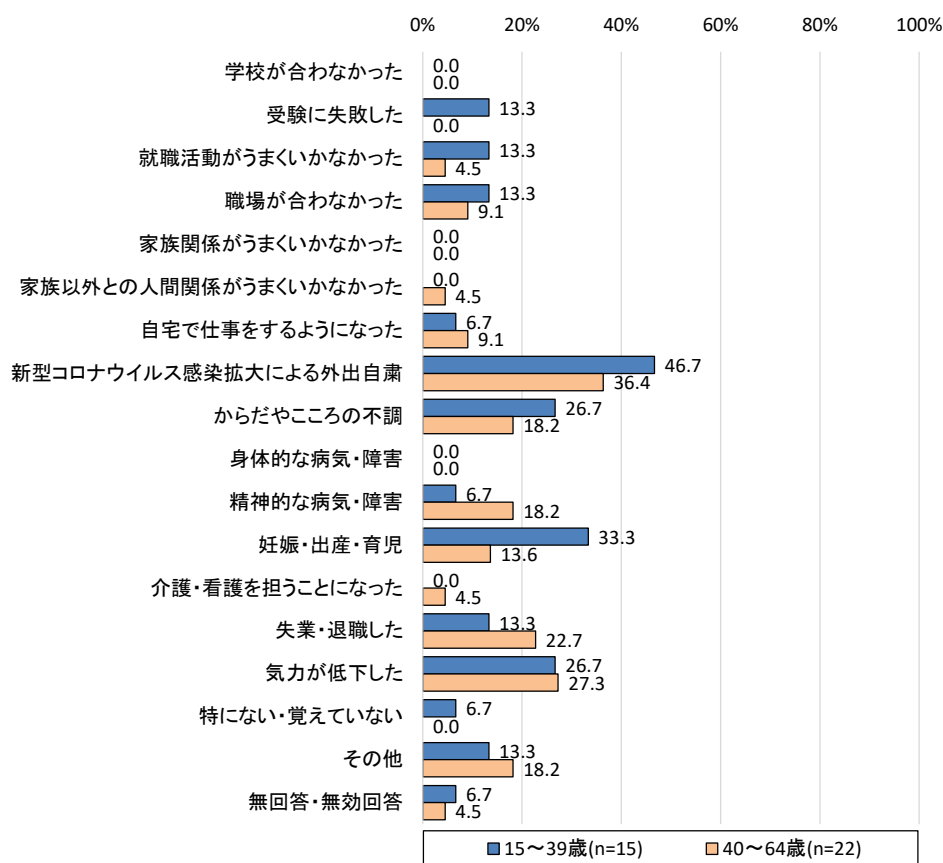
オ 現在の状態となったきっかけ⁷⁶

- ・15～39歳のひきこもり群では、「新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛」が最も多く約5割、次いで「からだやこころの不調」、「妊娠・出産・育児」、「気力が低下した」がそれぞれ約3割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛」が最も多く約4割、次いで「気力が低下した」が約3割、「からだやこころの不調」、「精神的な病気・障害」、「失業・退職した」がそれぞれ約2割。

【Q11で5～8に○をつけた方のみ】

Q11-3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。(複数回答)

図表 2-2-2-5 ひきこもり群 年齢層別 現在の状態となったきっかけ



⁷⁶ ひきこもり群の定義より、「身体的な病気・障害」を選択した者、「精神的な病気・障害」を選択し、病名等に統合失調症と回答した者は、ひきこもり群に含まれていない。また、「自宅で仕事をするようになった」を選択した者については、その他の設問の回答状況を踏まえてひきこもり群に含めるかを判断している。

(3) 周囲の人とのかかわり方について

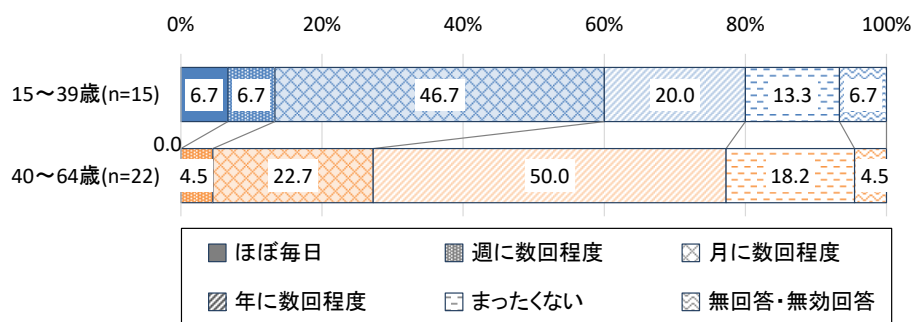
ア 非同居人と直接会って話す頻度

- ・ 15～39 歳のひきこもり群では、「月に数回程度」が最も多く約 5 割、「年に数回程度」が約 2 割、「まったくない」が約 1 割。
- ・ 40～64 歳のひきこもり群では、「年に数回程度」が最も多く約 5 割、「月に数回程度」、「まったくない」がそれぞれ約 2 割。

Q16 同居していない人とのコミュニケーションについて、それぞれお答えください。

①直接会って話す(単一回答)

図表 2-2-3-1 ひきこもり群 年齢層別 非同居人と直接会って話す頻度



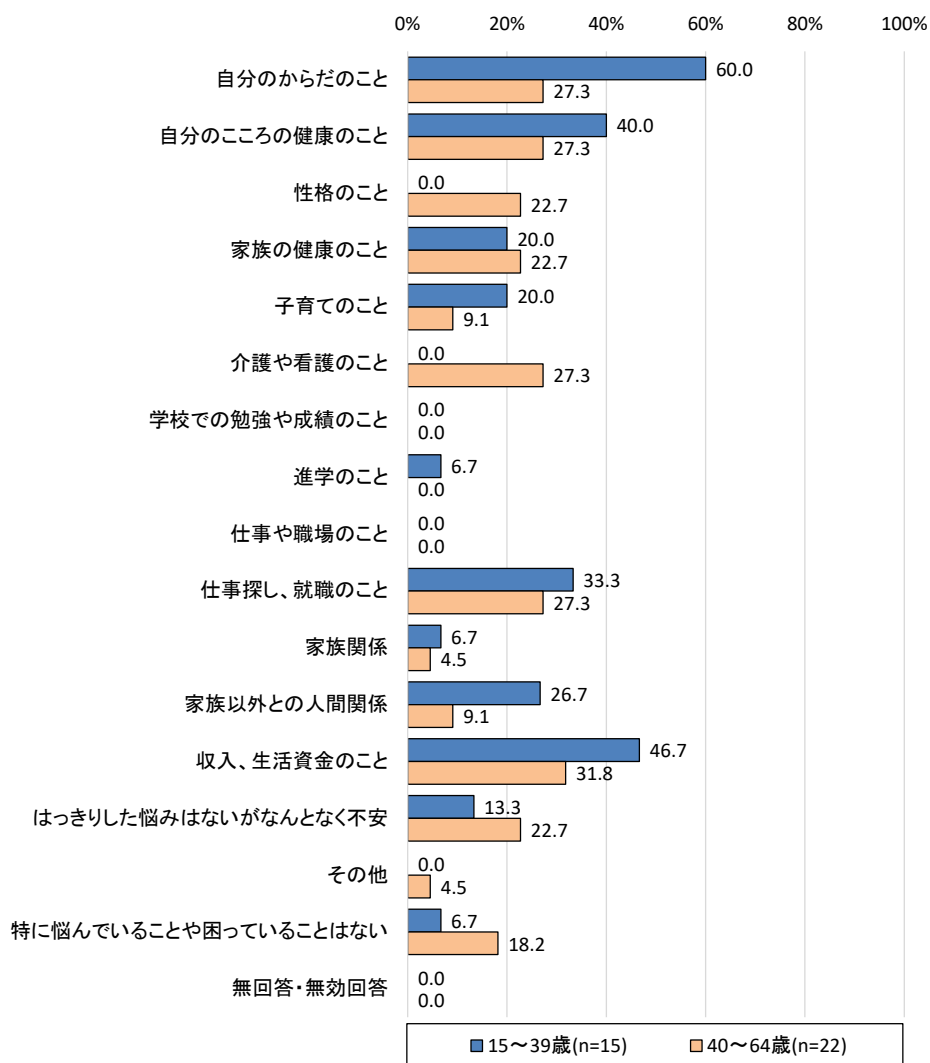
(4) あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について

ア 悩んでいることや困っていること

- ・15～39歳のひきこもり群では、「自分のからだのこと」が最も多く約6割、次いで「収入、生活資金のこと」が約5割、「自分のこころの健康のこと」が約4割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「自分のからだのこと」、「自分のこころの健康のこと」、「介護や看護のこと」、「仕事探し、就職のこと」、「収入、生活資金のこと」がそれぞれ約3割。
- ・年齢層別で比較すると、15～39歳のひきこもり群の方が、「自分のからだのこと」の割合が高い。

Q18 あなたは現在、悩んでいることや困っていることがありますか。(複数回答)

図表 2-2-4-1 ひきこもり群 年齢層別 悩んでいることや困っていること

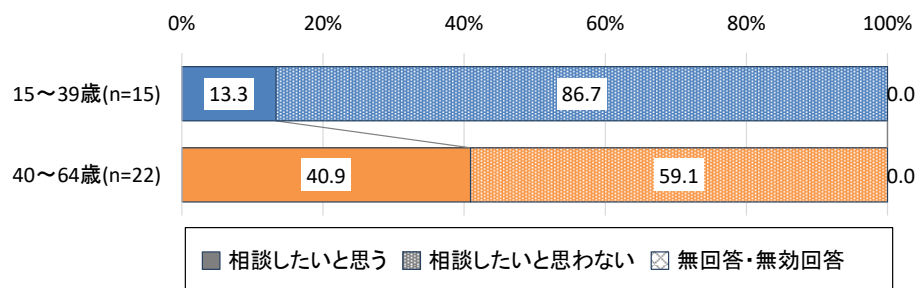


イ 公的な相談機関・専門機関の利用意向

- ・15～39歳のひきこもり群では、「相談したいと思わない」が約9割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「相談したいと思わない」が約6割。

Q21 あなたは悩みごとや困りごとについて、公的な相談機関・専門機関に相談したいと思いますか。
(単一回答)

図表 2-2-4-2 ひきこもり群 年齢層別 公的な相談機関・専門機関の利用意向



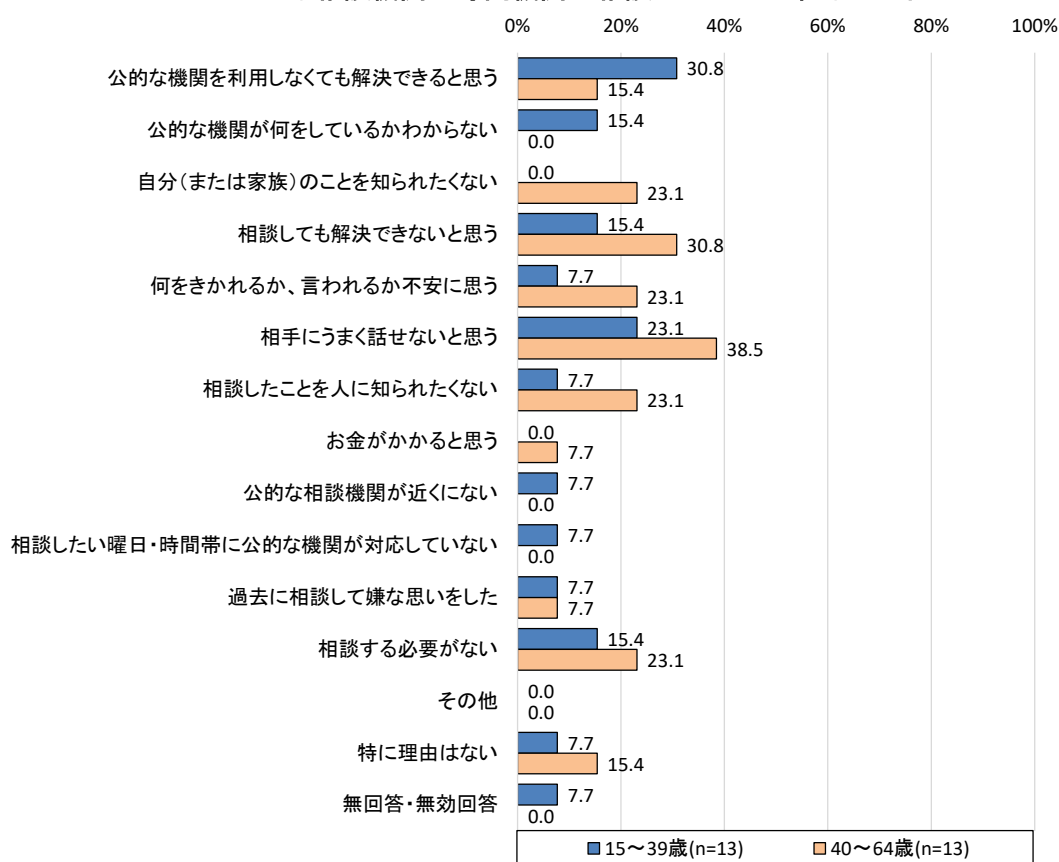
ウ 公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由

- ・15～39歳のひきこもり群では、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が最も多く約3割、「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談しても解決できないと思う」、「相手にうまく話せないと思う」、「相談する必要がある」がそれぞれ約2割。
- ・40～64歳のひきこもり群では、「相手にうまく話せないと思う」が最も多く約4割、「相談しても解決できないと思う」が約3割。

【Q21で「相談したいと思わない」に○をつけた方のみ】

Q21-1 あなたが相談したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

図表 2-2-4-3 ひきこもり群 年齢層別
公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由



3 若年無業者及び相談相手の有無等に関する集計⁷⁷

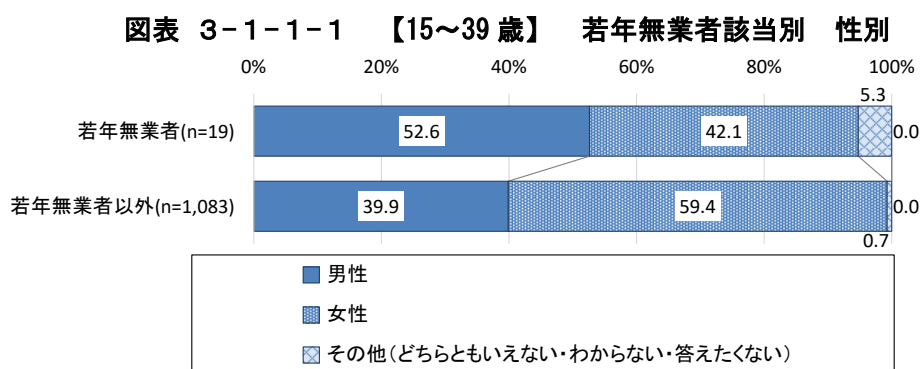
3-1 若年無業者の状況

(1) 調査対象者や家族のことについて

ア 性別

・若年無業者では、「男性」が約5割、「女性」が約4割。

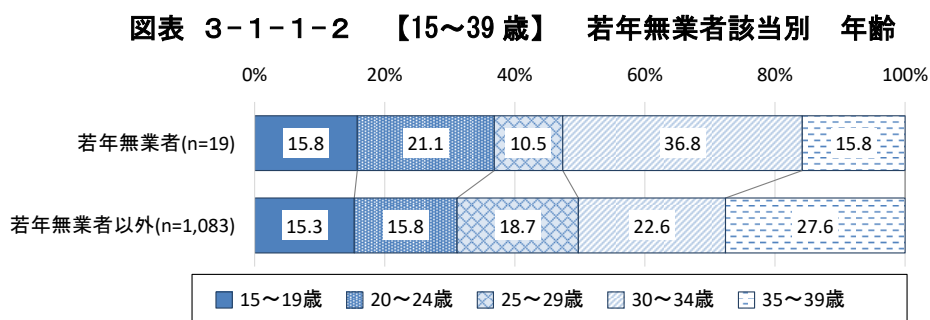
Q1 あなたの性別をお答えください。(単一回答)



イ 年齢

・若年無業者では、「30～34歳」が最も多く約4割、「15～19歳」、「20～24歳」、「35～39歳」がそれぞれ約2割。

Q2 あなたの年齢をお答えください。(単一回答)



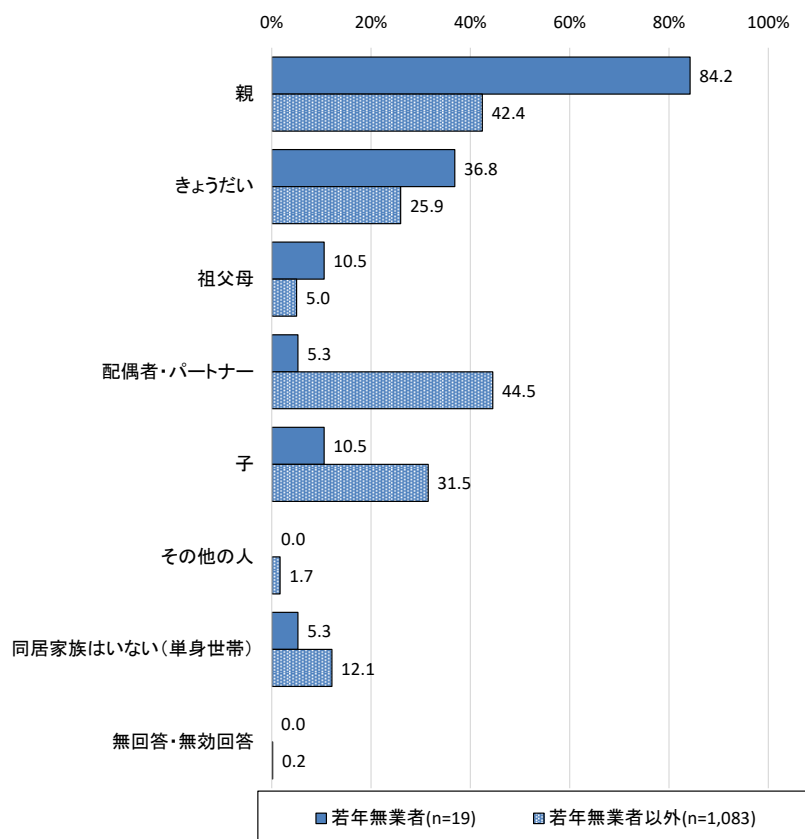
⁷⁷ 一部の集計において、集計対象件数が非常に少ないことに留意が必要。

ウ 同居人

- ・若年無業者では、「親」が最も多く約8割、次いで「きょうだい」が約4割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「親」の割合が高く、「配偶者・パートナー」、「子」の割合が低い。

Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。(複数回答)

図表 3-1-1-3 【15~39歳】 若年無業者該当別 同居人

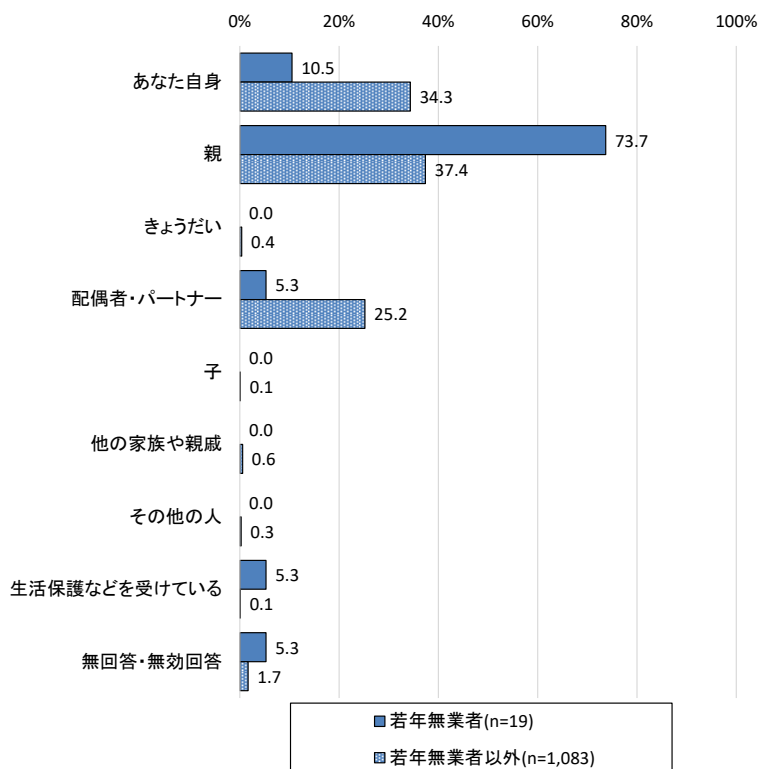


エ 主生計者

- ・若年無業者では、「親」が最も多く約7割、次いで「あなた自身」、「配偶者・パートナー」、「生活保護などを受けている」が約1割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「親」の割合が高く、「あなた自身」、「配偶者・パートナー」の割合が低い。

Q4 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。(単一回答)

図表 3-1-1-4 【15~39歳】 若年無業者該当別 主生計者



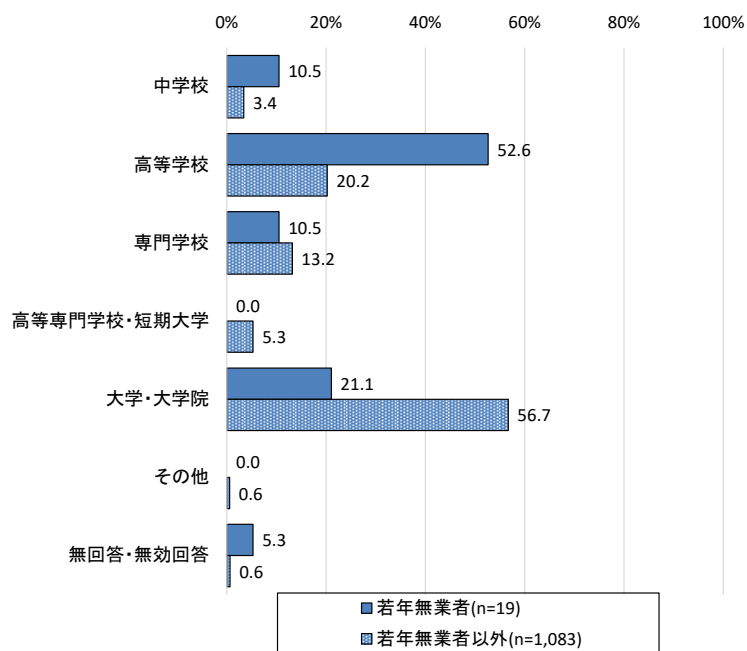
(2) 就労・就学等の状況について

ア 最後に卒業・中退した、または在学中の学校

- ・若年無業者では、「高等学校」が最も多く約5割、次いで「大学・大学院」が約2割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「高等学校」の割合が高く、「大学・大学院」の割合が低い。

Q6 あなたが最後に卒業(もしくは中退)した、または在学中の学校はどれですか。(単一回答)

図表 3-1-2-1 【15~39歳】 若年無業者該当別
最後に卒業・中退した、または在学中の学校



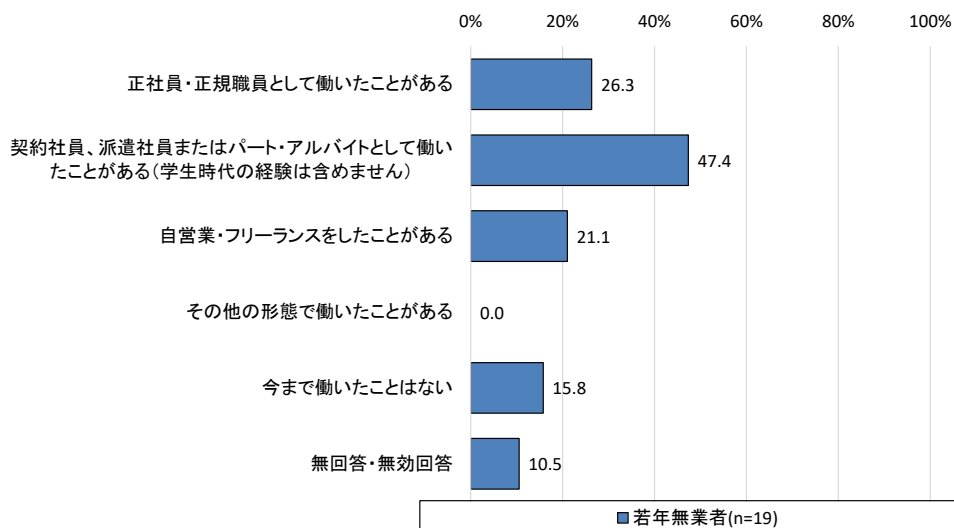
イ 過去の就労状況

・若年無業者では、「契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある（学生時代の経験は含めません）」が最も多く約5割、次いで「正社員・正規職員として働いたことがある」が約3割。

【Q7で、6～9に○をつけた方(就労しておらず、学生でない方)のみ】

Q7-1 あなたは今までに働いていたことはありますか。(複数回答)

図表 3-1-2-2 【15～39歳】 若年無業者 過去の就労状況



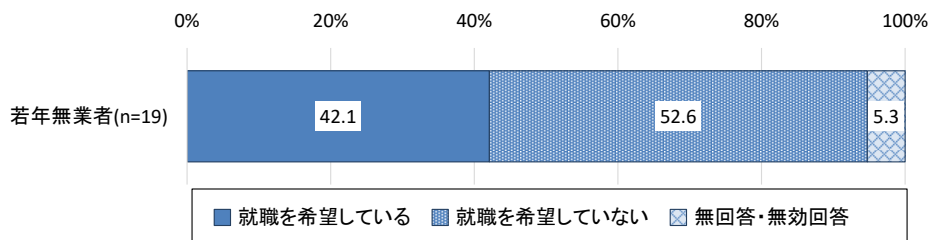
ウ 就職希望の有無

・若年無業者では、「就職を希望している」は約4割。

【Q7で、6～9に○をつけた方(就労しておらず、学生でない方)のみ】

Q7-2 あなたは現在、就職を希望していますか。(単一回答)

図表 3-1-2-3 【15～39歳】 若年無業者 就職希望の有無



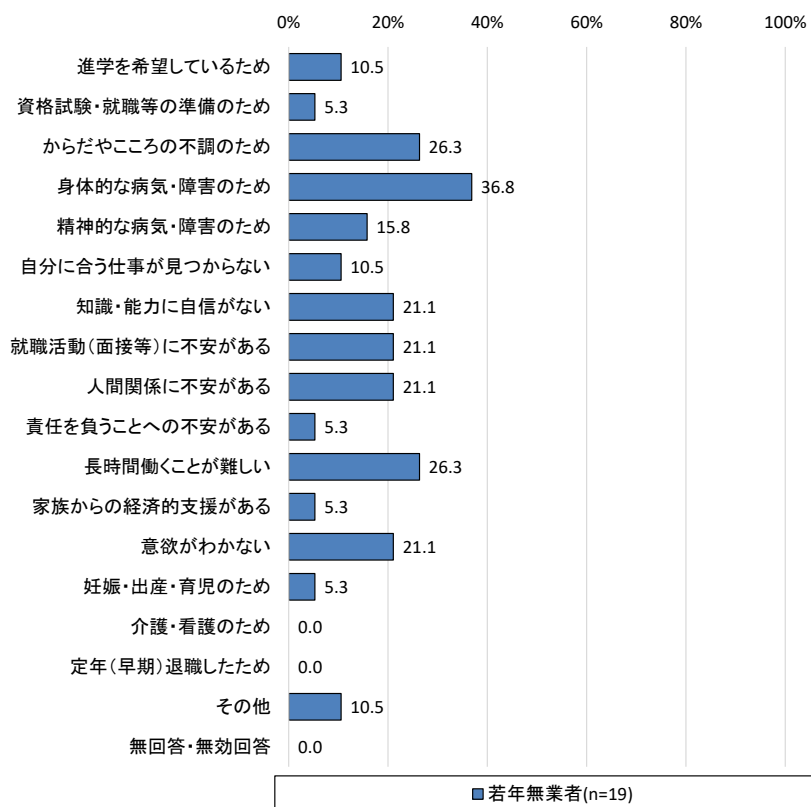
エ 就職活動をしていない理由

・若年無業者では、「身体的な病気・障害のため」が最も多く約4割、次いで「からだやこころの不調のため」、「長時間働くことが難しい」が約3割⁷⁸。

【Q7-3で「就職活動をしていない」に回答した方のみ】

Q7-4 あなたが就職活動をしていない理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-1-2-4 【15～39歳】 若年無業者 就職活動をしていない理由



⁷⁸ 若年無業者の定義より、若年無業者に該当する者はすべて「就職活動をしていない」者となっている。

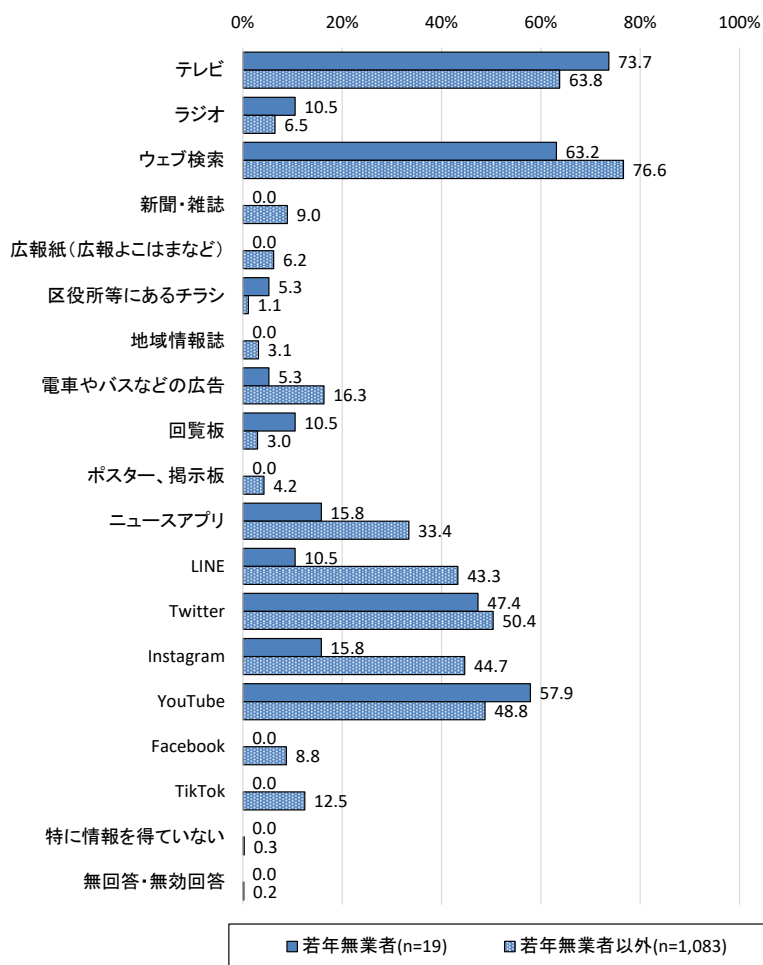
(3) ふだんの生活の状況について

ア 情報の入手先

- ・若年無業者では、「テレビ」が最も多く約7割、次いで「ウェブ検索」、「YouTube」がそれぞれ約6割、「Twitter」が約5割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「LINE」、「Instagram」の割合が低い。

Q9 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。(複数回答)

図表 3-1-3-1 【15~39歳】 若年無業者該当別 情報の入手先

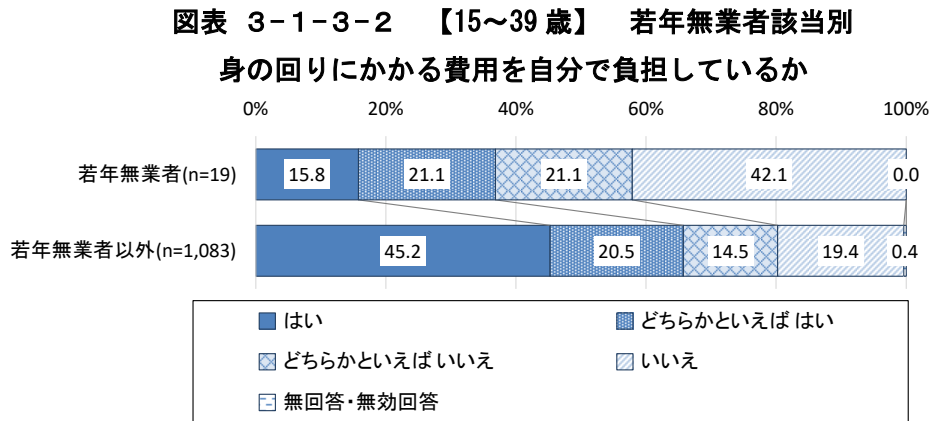


イ 身の回りにかかる費用を自分で負担しているか

- ・若年無業者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約4割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「はい」と回答した割合が低い。

Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

②身の回りにかかる費用は、自分で負担している(単一回答)

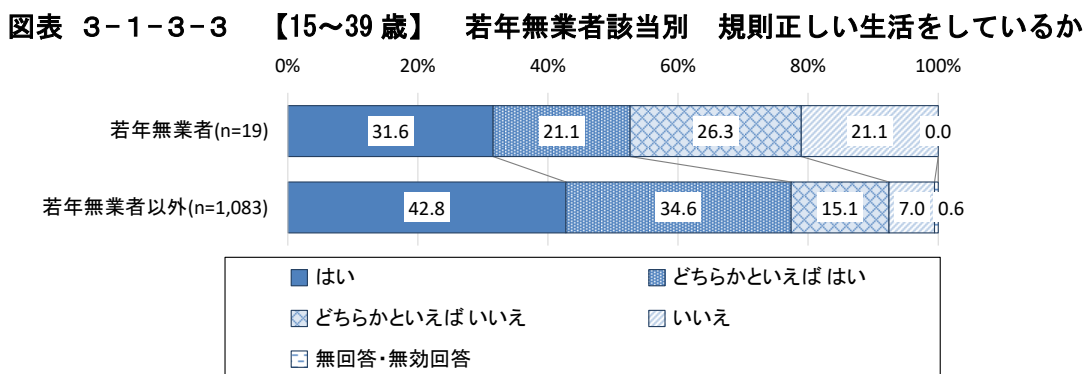


ウ 規則正しい生活をしているか

- ・若年無業者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が低い。

Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

③規則正しい生活をしている(単一回答)

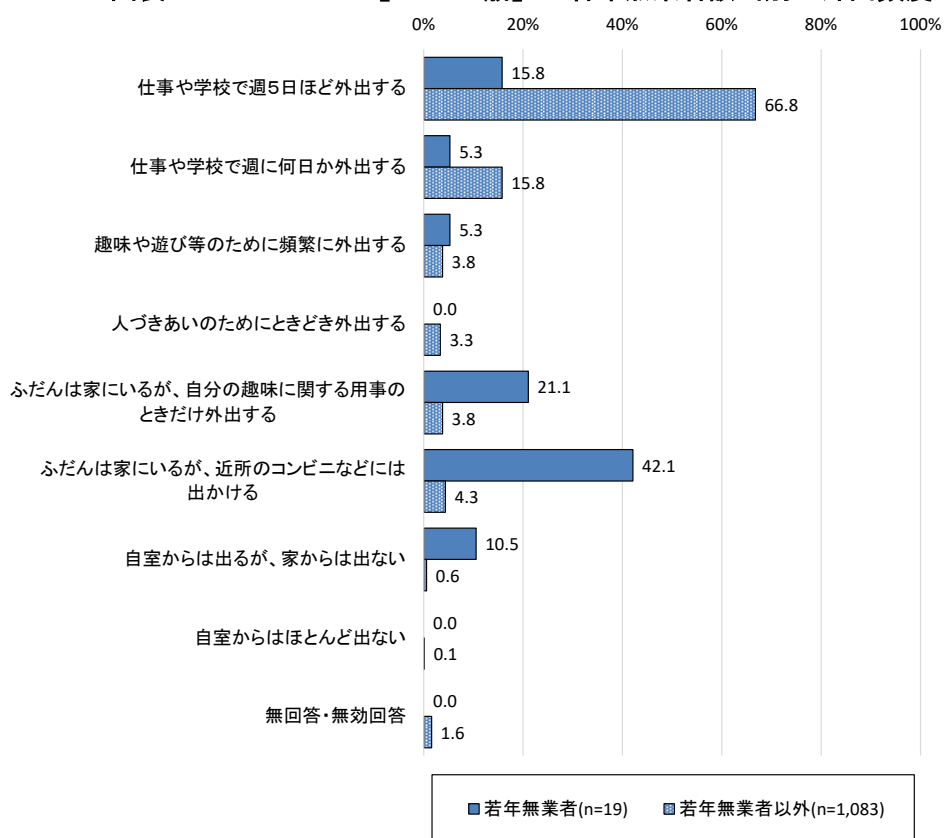


エ 外出頻度

- ・若年無業者では、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が最も多く約4割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「仕事や学校で週5日ほど外出する」の割合が低く、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」の割合が高い。

Q11 あなたはふだんのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 3-1-3-4 【15~39歳】 若年無業者該当別 外出頻度



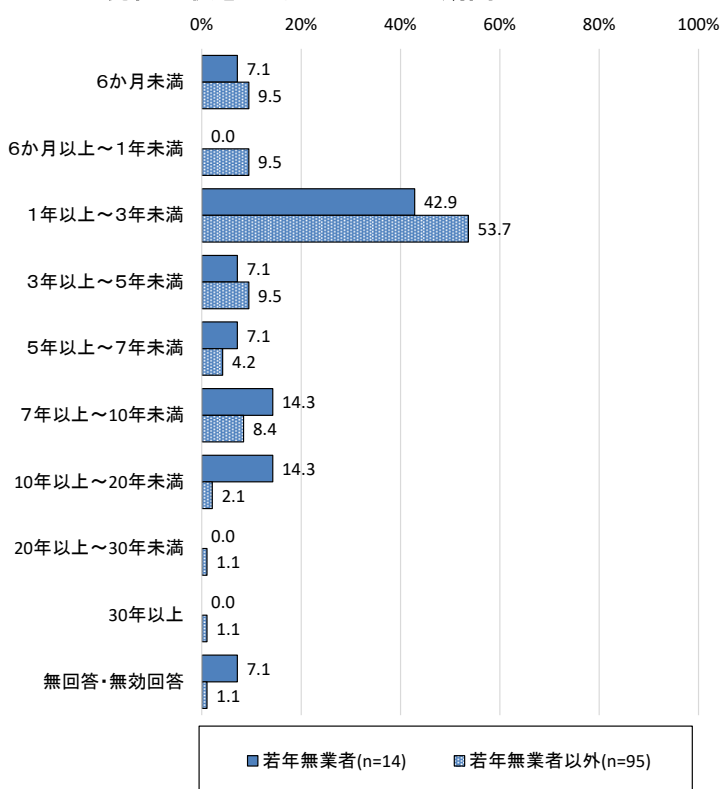
オ 現在の状態となってからの期間⁷⁹

・若年無業者では、「1年以上～3年未満」が最も多く約4割。また、「10年以上～20年未満」は約1割。

【Q11で5～8に○をつけた方のみ】

Q11-1 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。(単一回答)

図表 3-1-3-5 【15～39歳】 若年無業者該当別
現在の状態となってからの期間



⁷⁹ 集計対象は、「Q11 あなたはふだんどのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。」と尋ねた設問で、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からはほとんど出ない」のいずれかに回答した者のみ。

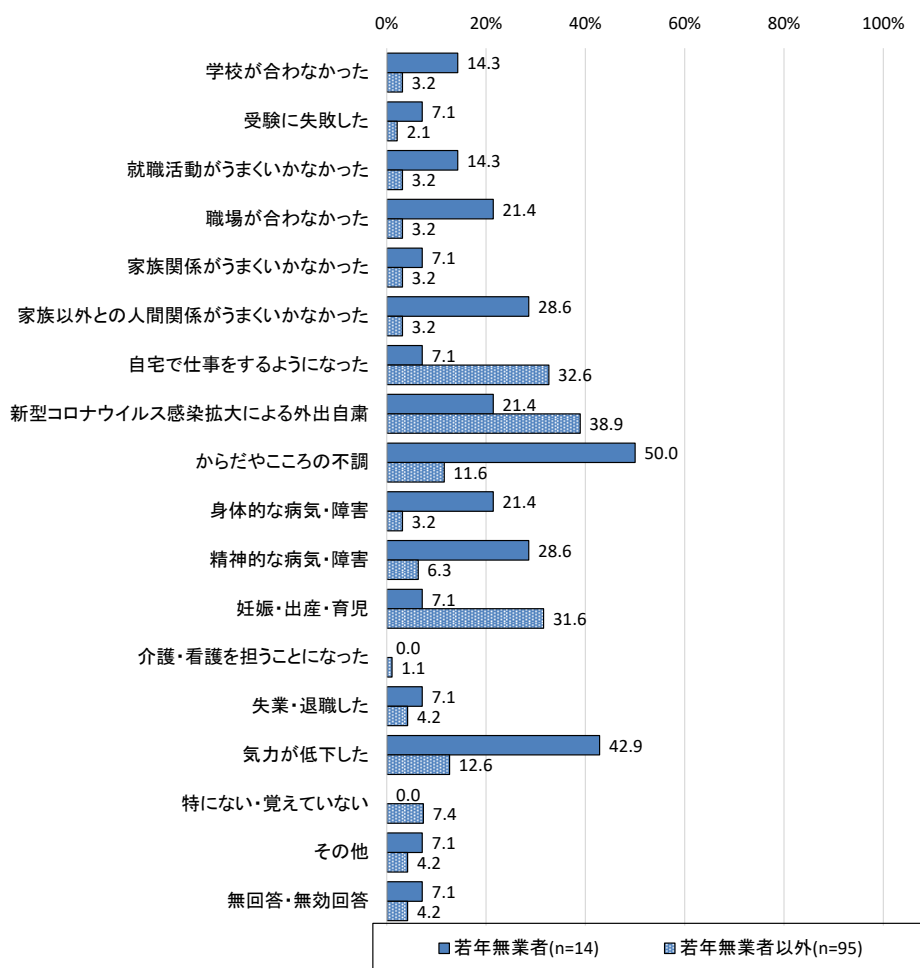
カ 現在の状態となったきっかけ⁸⁰

- ・若年無業者では、「からだやこころの不調」が最も多く約5割、次いで「気力が低下した」が約4割、「家族以外との人間関係がうまくいかなかった」、「精神的な病気・障害」がそれぞれ約3割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「職場が合わなかった」、「家族以外との人間関係がうまくいかなかった」、「からだやこころの不調」、「身体的な病気・障害」、「精神的な病気・障害」、「気力が低下した」の割合が高い。

【Q11で5～8に○をつけた方のみ】

Q11-3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。(複数回答)

図表 3-1-3-6 【15～39歳】 若年無業者該当別
現在の状態となったきっかけ



⁸⁰ 集計対象は、「Q11 あなたはふだんのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。」と尋ねた設問で、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からはほとんど出ない」のいずれかに回答した者のみ。

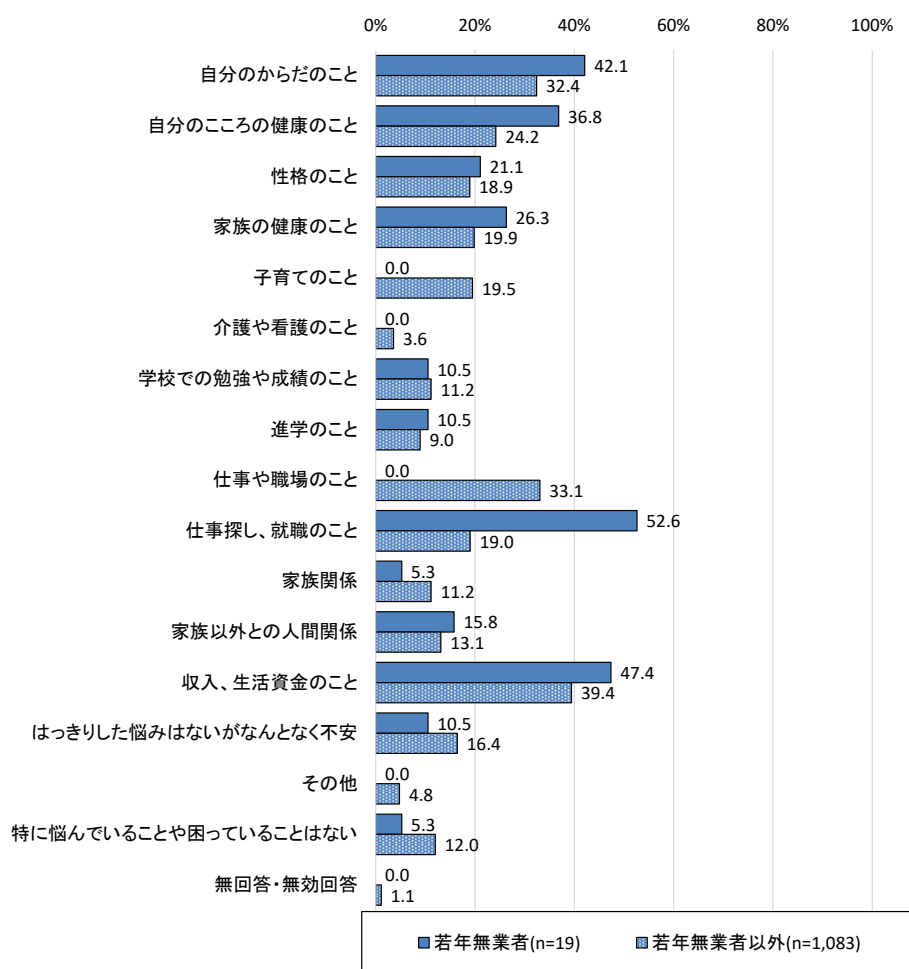
(4) あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について

ア 悩んでいることや困っていること

- ・若年無業者では、「仕事探し、就職のこと」、「収入、生活資金のこと」がそれぞれ約5割、次いで「自分のからだのこと」、「自分のこころの健康のこと」がそれぞれ約4割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「仕事探し、就職のこと」の割合が高く、「子育てのこと」、「仕事や職場のこと」の割合は低い。

Q18 あなたは現在、悩んでいることや困っていることがありますか。(複数回答)

図表 3-1-4-1 【15~39歳】 若年無業者該当別
悩んでいることや困っていること

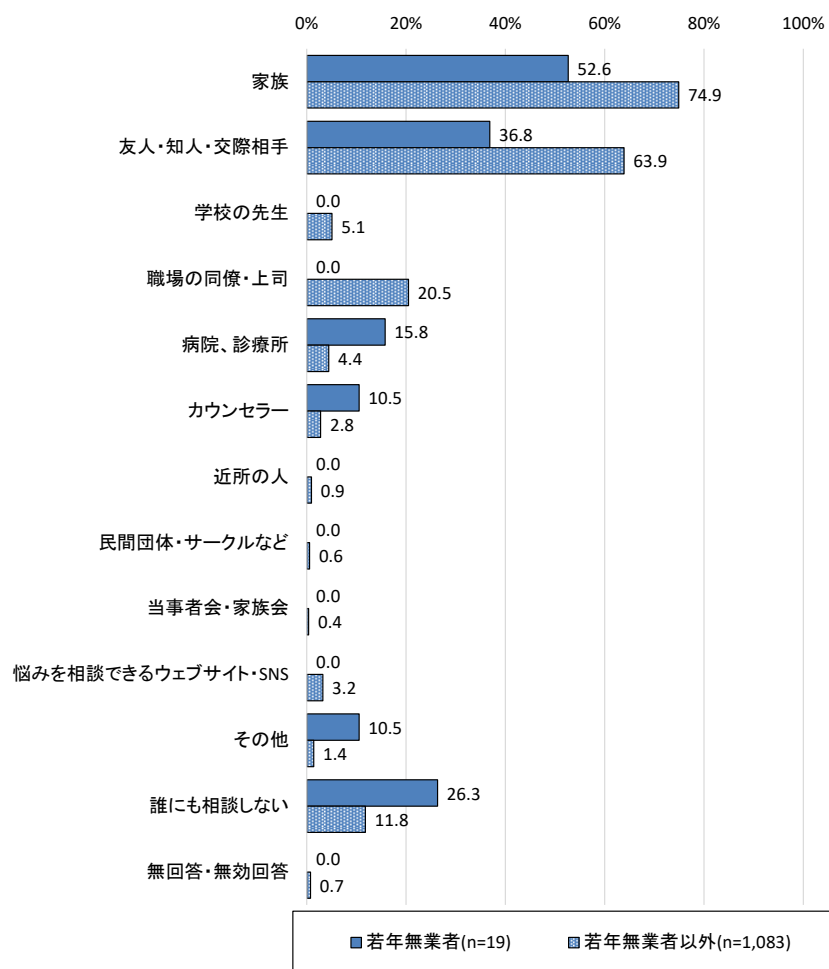


イ 悩みごとや困りごとの相談先

- ・若年無業者では、「家族」が最も多く約5割、次いで「友人・知人・交際相手」が約4割、「誰にも相談しない」が約3割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「家族」、「友人・知人・交際相手」、「職場の同僚・上司」の割合が低く、「その他」の割合が高い。

Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。(複数回答)

図表 3-1-4-2 【15~39歳】 若年無業者該当別
悩みごとや困りごとの相談先

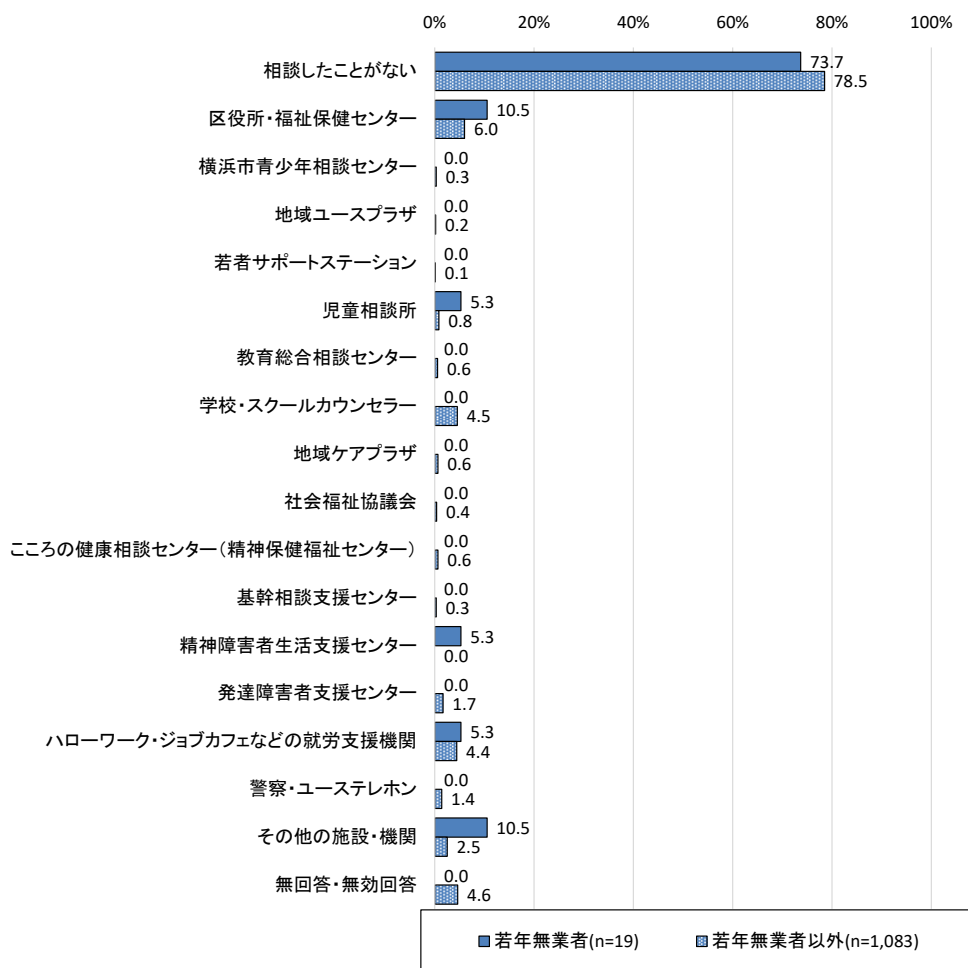


ウ 公的な相談機関・専門機関への相談状況

- ・若年無業者では、「相談したことがない」者が最も多く約7割。なお、「若者サポートステーション」に相談したことがある者は0件であった。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「精神障害者生活支援センター」に相談したことがある者が多い。

Q20 あなたはこれまでに公的な相談機関・専門機関に相談したことがありますか。
ある場合は、相談したことのある機関に○をつけてください。(複数回答)

図表 3-1-4-3 【15～39歳】 若年無業者該当別
公的な相談機関・専門機関への相談状況

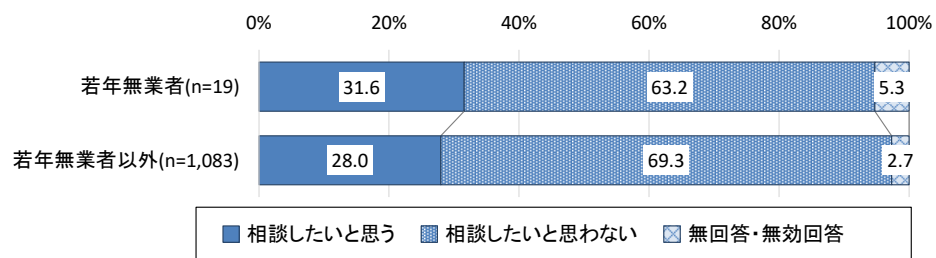


エ 公的な相談機関・専門機関の利用意向

・若年無業者では、「相談したいと思わない」が約6割。

Q21 あなたは悩みごとや困りごとについて、公的な相談機関・専門機関に相談したいと思いますか。
(単一回答)

図表 3-1-4-4 【15~39歳】 若年無業者該当別
公的な相談機関・専門機関の利用意向



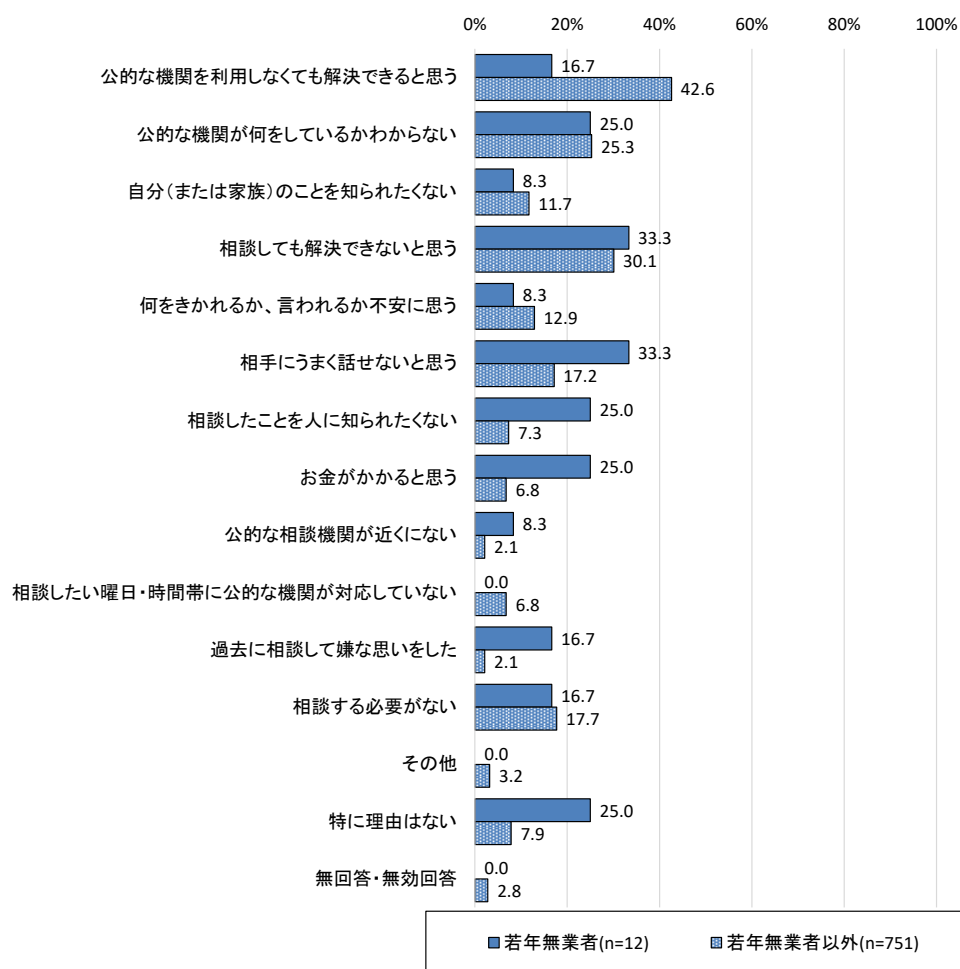
オ 公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由

- ・若年無業者では、「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談しても解決できないと思う」、「相手にうまく話せないと思う」、「相談したことを人に知られたくない」、「お金がかかると思う」、「特に理由はない」がそれぞれ約3割。
- ・若年無業者では、若年無業者以外と比較して、「過去に相談して嫌な思いをした」の割合が高い。

【Q21で「相談したいと思わない」に○をつけた方のみ】

Q21-1 あなたが相談したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-1-4-5 【15～39歳】 若年無業者該当別
公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由

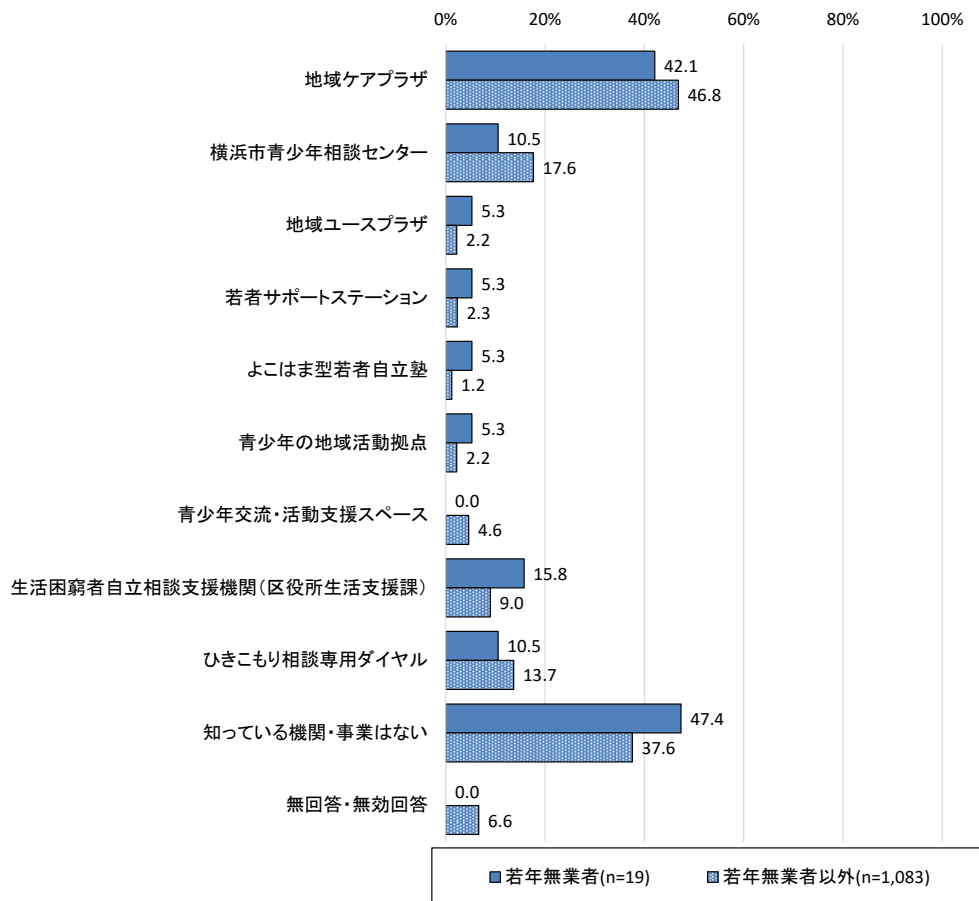


カ 横浜市の公的機関・事業の認知度

・若年無業者では、「知っている機関・事業はない」者が最も多く約5割。「地域ケアプラザ」を知っている者は約4割、「生活困窮者自立相談支援機関（区役所生活支援課）」を知っている者が約2割。なお、「若者サポートステーション」を知っている者は約1割。

Q22 あなたは次の機関や事業を知っていますか。知っているものに○をつけてください。(複数回答)⁸¹

図表 3-1-4-6 【15～39歳】 若年無業者該当別
横浜市の公的機関・事業の認知度



⁸¹ 調査実施にあたって、各機関や事業の説明資料を同封した。

3-2 相談相手の有無や同居人の有無に関する状況

(1) 相談相手の有無や同居人の有無の定義

ア 相談相手の有無の定義

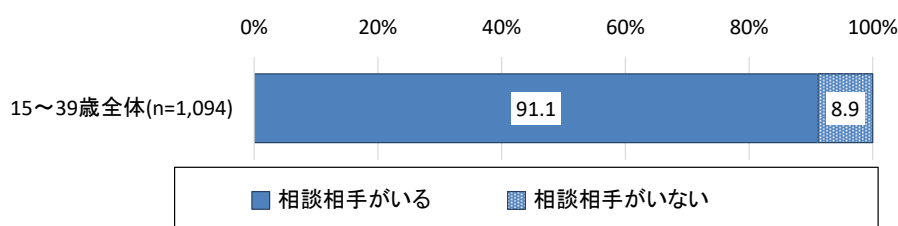
「Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。」で、「家族」～「その他」の選択肢を選択した者⁸²を、「相談相手がいる」者、それらの選択肢を回答せず「誰にも相談しない」を選択した者を「相談相手がない」者と定義した⁸³。

イ 相談相手の有無について

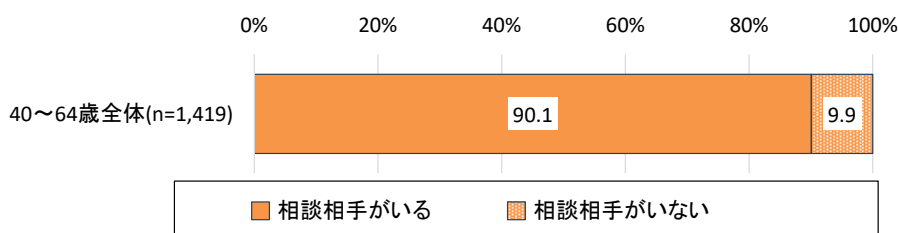
- ・15～39歳では、「相談相手がない」が約1割。
- ・40～64歳では、「相談相手がない」が約1割。

Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。(複数回答)

図表 3-2-1-1 【15～39歳】 相談相手の有無⁸⁴



図表 3-2-1-2 【40～64歳】 相談相手の有無⁸⁵



⁸² 「家族」、「友人・知人・交際相手」、「学校の先生」、「職場の同僚・上司」、「病院、診療所」、「カウンセラー」、「近所の人」、「民間団体・サークルなど」、「当事者会・家族会」、「悩みを相談できるウェブサイト・SNS」、「その他」のいずれかを選択した者。

⁸³ 「家族」～「その他」と、「誰にも相談しない」を同時に回答した者は、「相談相手がいる」者として集計を行った。

⁸⁴ Q19にて無回答・無効回答であった8件を除いた集計。

⁸⁵ Q19にて無回答・無効回答であった16件を除いた集計。

ウ 同居人の有無の定義

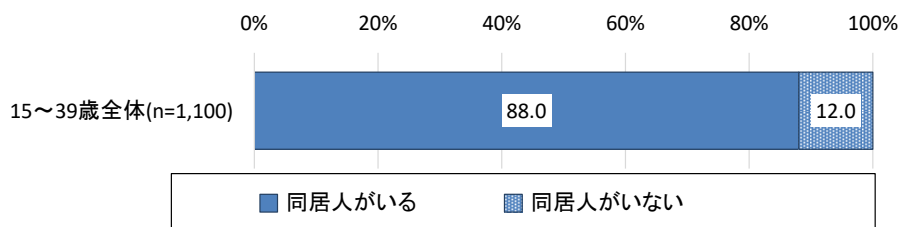
「Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。」について、「親」～「その他の人」を選択した者⁸⁶を、「同居人がいる」者、「同居家族はいない（単身世帯）」を選択した者を、「同居人がいない」者と定義した。

エ 同居人の有無について

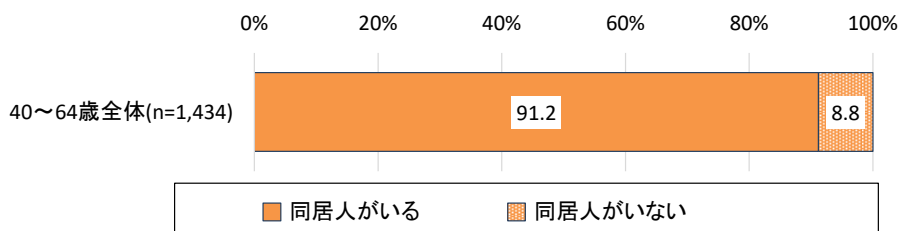
- ・ 15～39 歳では、「同居人がいる」者が約 9 割、「同居人がいない」者が約 1 割。
- ・ 40～64 歳では、「同居人がいる」者が約 9 割、「同居人がいない」者が約 1 割。

Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。（複数回答）

図表 3-2-1-3 【15～39 歳】 同居人の有無⁸⁷



図表 3-2-1-4 【40～64 歳】 同居人の有無⁸⁸



86 「親」、「きょうだい」、「祖父母」、「配偶者・パートナー」、「子」、「その他の人」のいずれかを選択した者。

87 Q3 にて無回答・無効回答であった 2 件を除いた集計。

88 Q3 にて無回答・無効回答であった 1 件を除いた集計。

オ 同居人の有無と相談相手の有無の関連

■15～39 歳について

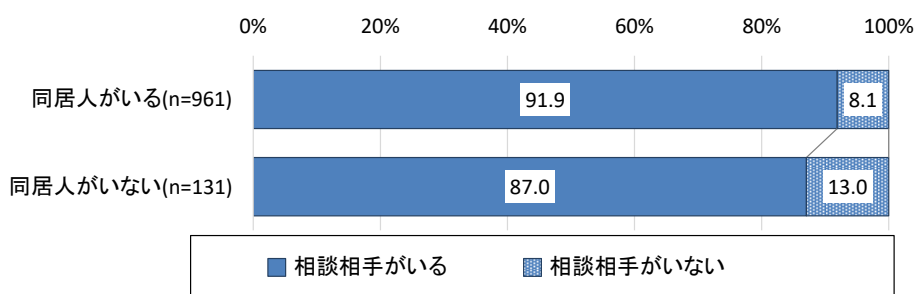
- ・同居人がいる者では、「相談相手がいる」者が約9割、「相談相手がない」者が約1割。
- ・同居人がいない者では、「相談相手がいる」者が約9割、「相談相手がない」者が約1割。

■40～64 歳について

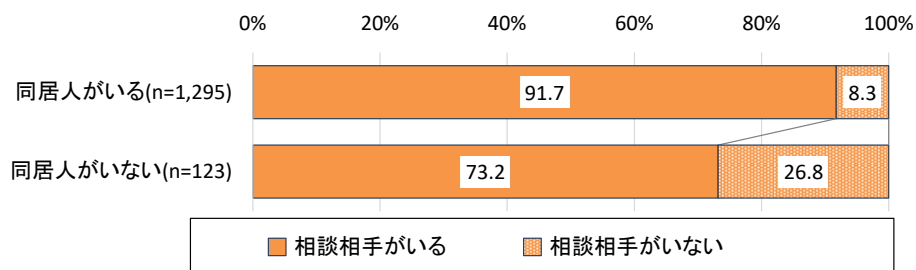
- ・同居人がいる者では、「相談相手がいる」者が約9割、「相談相手がない」者が約1割。
- ・同居人がいない者では、「相談相手がいる」者が約7割、「相談相手がない」者が約3割。
- ・同居人の有無別で比較すると、同居人がいない者の方が、「相談相手がない」割合が高い。

Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。(複数回答)

図表 3-2-1-5 【15～39 歳】 同居人の有無別 相談相手の有無



図表 3-2-1-6 【40～64 歳】 同居人の有無別 相談相手の有無



(2) 周囲の人とのかかわり方について

ア 家族とのかかわり方に関する満足度

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約9割。
- ・相談相手がない者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約7割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「満足している」の割合が低い。

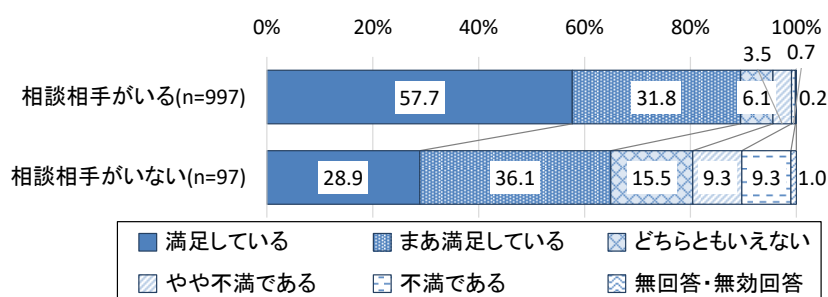
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約9割。
- ・相談相手がない者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約7割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「満足している」の割合が低い。

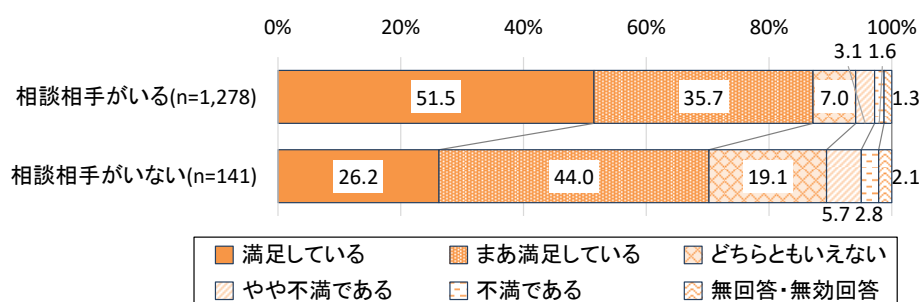
Q13 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

①家族とのかかわり方(単一回答)

図表 3-2-2-1 【15～39 歳】 相談相手の有無別
家族とのかかわり方に関する満足度



図表 3-2-2-2 【40～64 歳】 相談相手の有無別
家族とのかかわり方に関する満足度



イ 家族以外の人とのかかわり方に関する満足度

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約8割。
- ・相談相手がいない者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約6割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がいない者の方が、「満足している」、「まあ満足している」の割合が低い。

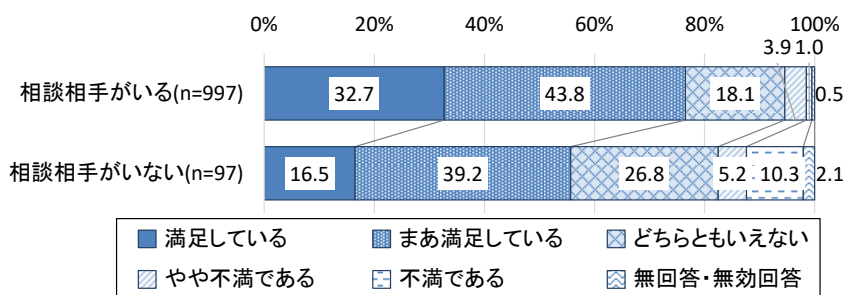
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約7割。
- ・相談相手がいない者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約5割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がいない者の方が、「満足している」、「まあ満足している」の割合が低い。

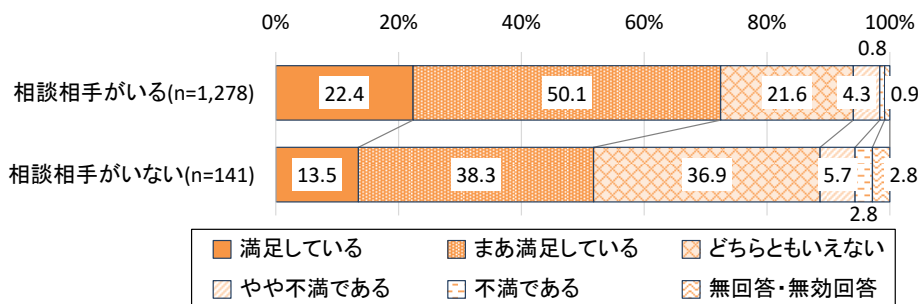
Q13 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

②家族以外の人とのかかわり方(単一回答)

図表 3-2-2-3 【15～39 歳】 相談相手の有無別
家族以外の人とのかかわり方に関する満足度



図表 3-2-2-4 【40～64 歳】 相談相手の有無別
家族以外の人とのかかわり方に関する満足度



ウ 社会とのかかわり方に関する満足度

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約6割。
- ・相談相手がいない者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約4割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がいない者の方が、「満足している」、「まあ満足している」の割合が低い。

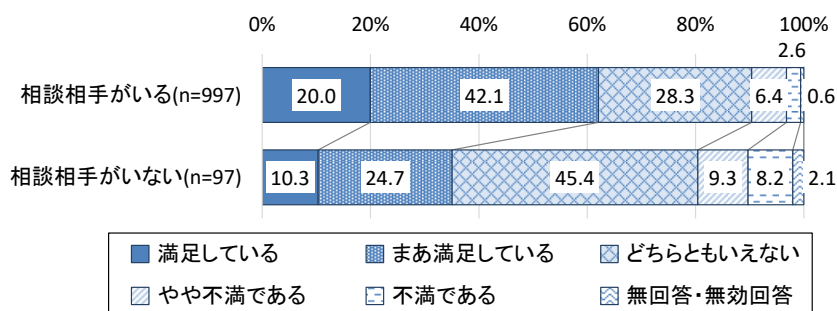
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約6割。
- ・相談相手がいない者では、「満足している」、「まあ満足している」が合わせて約4割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がいない者の方が、「満足している」、「まあ満足している」の割合が低い。

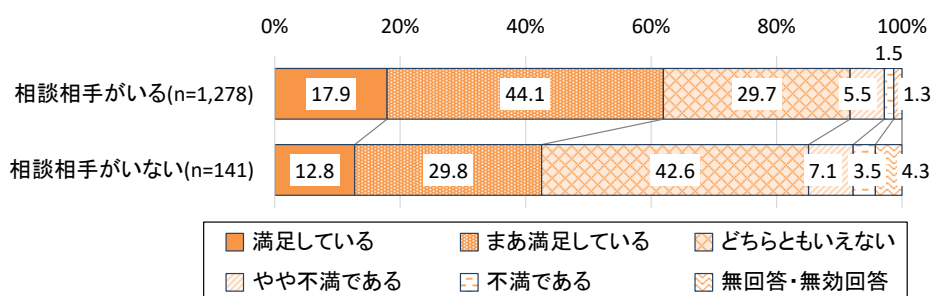
Q13 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

③社会とのかかわり方(単一回答)

図表 3-2-2-5 【15～39 歳】 相談相手の有無別
社会とのかかわり方に関する満足度



図表 3-2-2-6 【40～64 歳】 相談相手の有無別
社会とのかかわり方に関する満足度



エ 同居人とのコミュニケーションの内容⁸⁹

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「何でも話せる」が最も多く約7割、次いで「雑談程度を話す」が約2割。
- ・相談相手がない者では、「雑談程度を話す」、「何でも話せる」がそれぞれ約4割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「何でも話せる」の割合が低く、「雑談程度を話す」、「必要最低限のことだけ話す」の割合が高い。

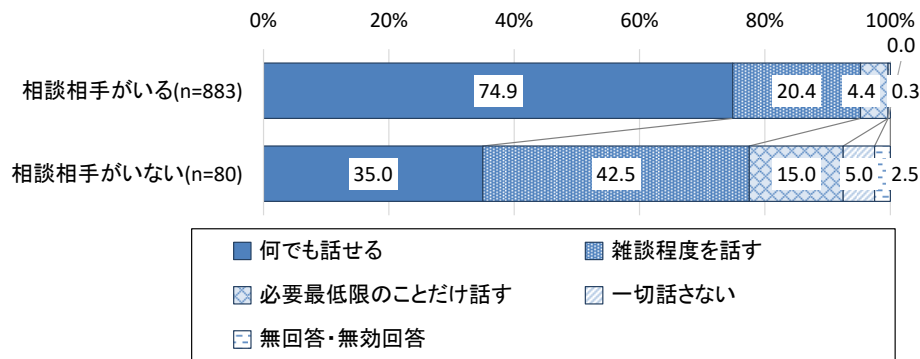
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「何でも話せる」が最も多く約8割、次いで「雑談程度を話す」が約2割。
- ・相談相手がない者では、「何でも話せる」、「雑談程度を話す」がそれぞれ約4割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「何でも話せる」の割合が低く、「雑談程度を話す」、「必要最低限のことだけ話す」の割合が高い。

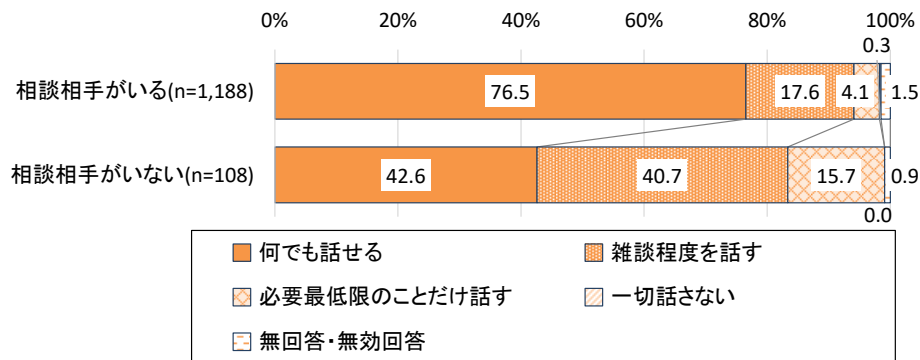
⁸⁹ 集計対象は、「Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。」で、「同居家族はいない（単身世帯）」を選択しなかった者のみ。

Q15 同居している人とのコミュニケーションの内容について、お答えください。(単一回答)
 <同居している人がいる場合にお答えください。>

図表 3-2-2-7 【15~39歳】 相談相手の有無別
同居人とのコミュニケーションの内容



図表 3-2-2-8 【40~64歳】 相談相手の有無別
同居人とのコミュニケーションの内容



(3) あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について

ア 今の自分が好きか

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約8割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が低い。

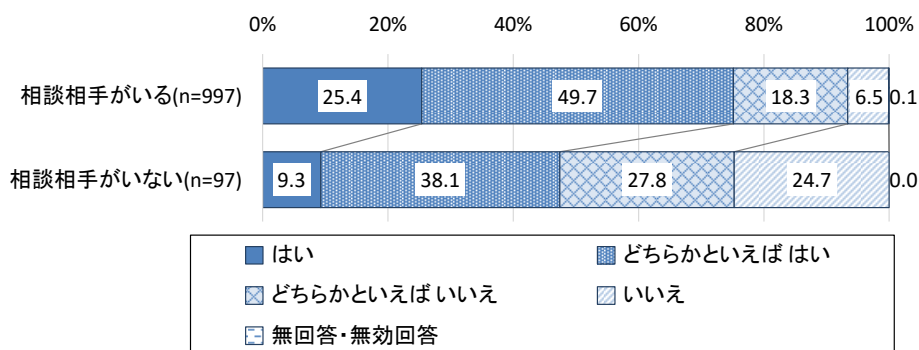
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約8割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約6割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が低い。

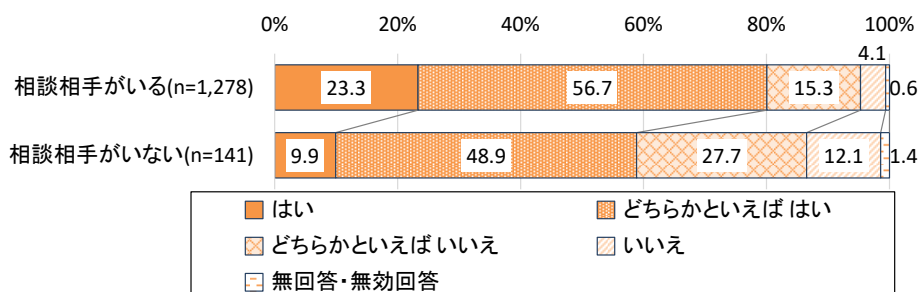
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

①今の自分が好きだ(単一回答)

図表 3-2-3-1 【15～39 歳】 相談相手の有無別 今の自分が好きか



図表 3-2-3-2 【40～64 歳】 相談相手の有無別 今の自分が好きか



イ どこにも居場所がないと感じることがあるか

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約2割。
- ・相談相手がいない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約4割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がいない者の方が、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が高い。
- ・同居人がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約2割。
- ・同居人がいない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約3割。
- ・同居人の有無別で比較すると、同居人がいない者の方が、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が高い。

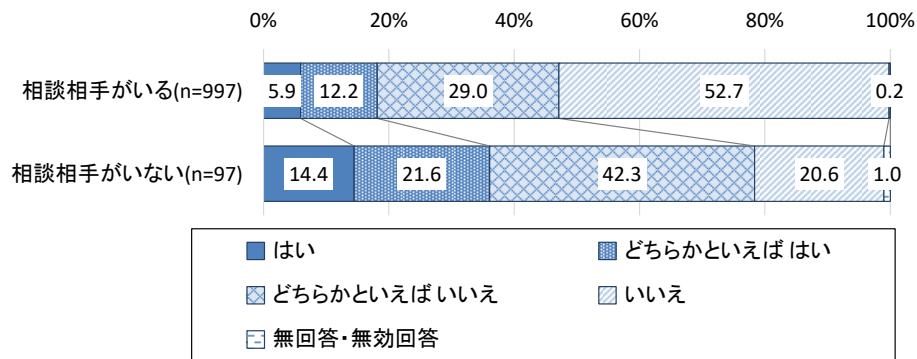
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約1割。
- ・相談相手がいない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約3割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がいない者の方が、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が高い。
- ・同居人がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約1割。
- ・同居人がいない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約3割。
- ・同居人の有無別で比較すると、同居人がいない者の方が、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が高い。

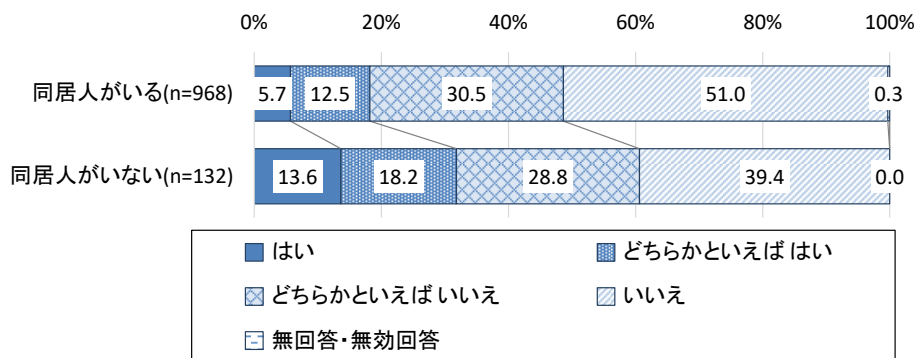
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

②どこにも居場所がないと感じることがある(単一回答)

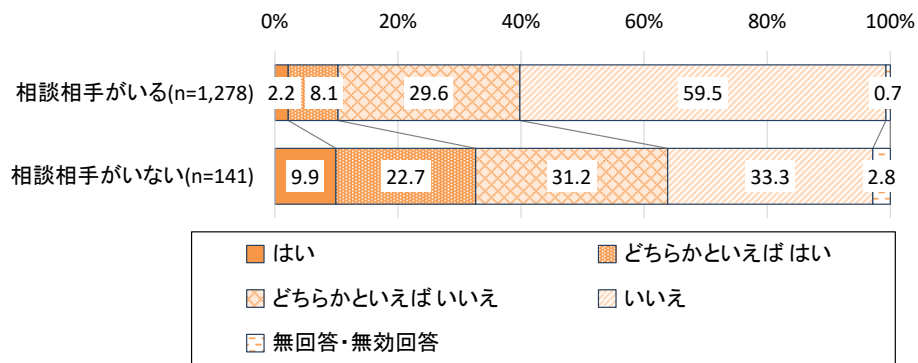
図表 3-2-3-3 【15~39歳】 相談相手の有無別
どこにも居場所がないと感じることがあるか



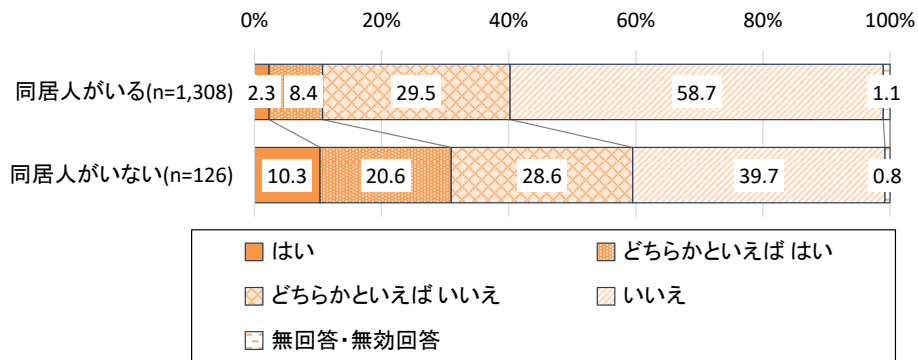
図表 3-2-3-4 【15~39歳】 同居人の有無別
どこにも居場所がないと感じることがあるか



図表 3-2-3-5 【40～64歳】 相談相手の有無別
どこにも居場所がないと感じることがあるか



図表 3-2-3-6 【40～64歳】 同居人の有無別
どこにも居場所がないと感じることがあるか



ウ 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかるか

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約6割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約8割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「はい」の割合が高い。

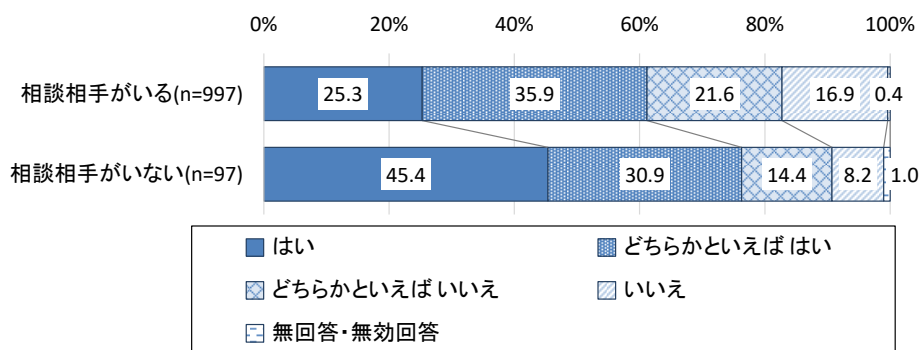
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。

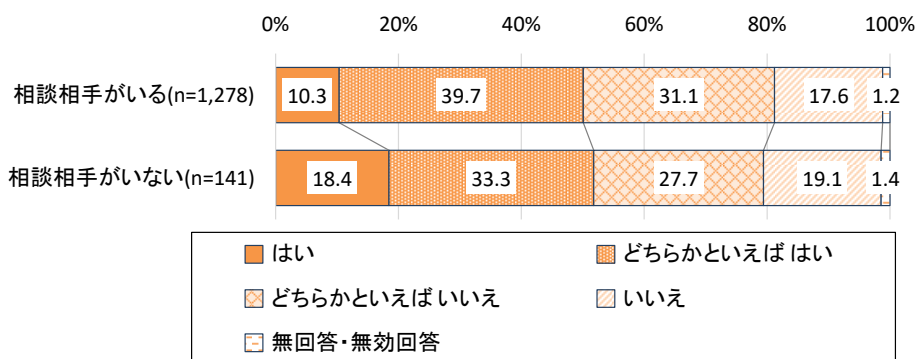
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

③家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる(単一回答)

図表 3-2-3-7 【15～39 歳】 相談相手の有無別
家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかるか



図表 3-2-3-8 【40～64 歳】 相談相手の有無別
家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかるか



エ 家や自室に閉じこもりたいと思うことがあるか

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「はい」の割合が高い。

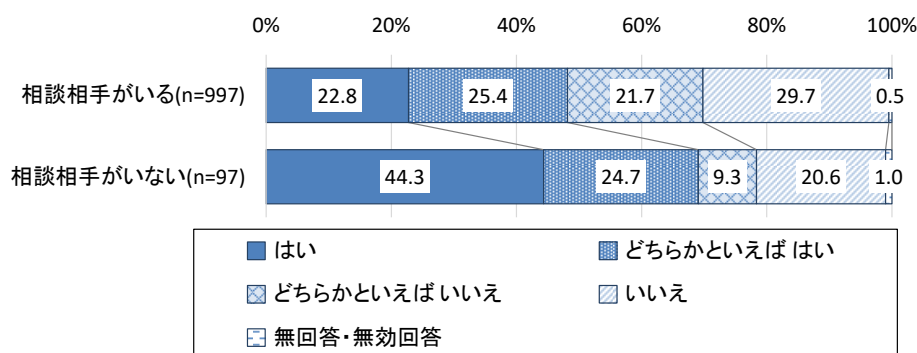
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約2割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約4割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「はい」、「どちらかといえば はい」の割合が高い。

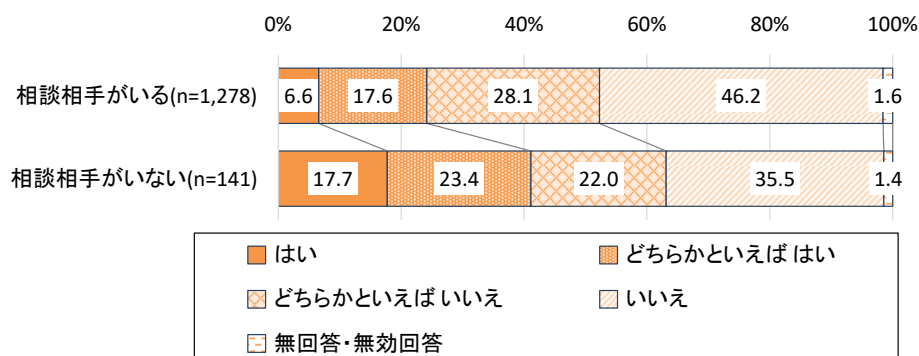
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

④家や自室に閉じこもりたいと思うことがある(単一回答)

図表 3-2-3-9 【15～39 歳】 相談相手の有無別
家や自室に閉じこもりたいと思うことがあるか



図表 3-2-3-10 【40～64 歳】 相談相手の有無別
家や自室に閉じこもりたいと思うことがあるか



オ 嫌な出来事があると、外に出たくなくなるか

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約5割。

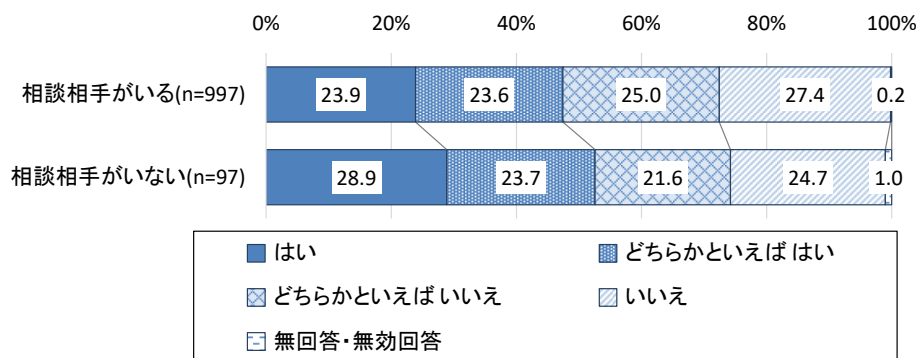
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約4割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約4割。

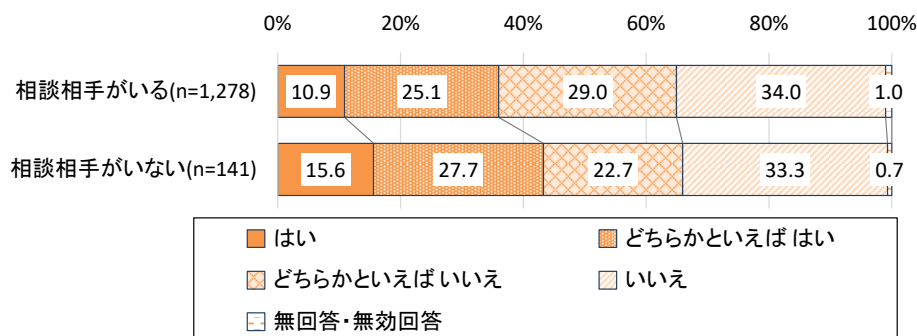
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

⑤嫌な出来事があると、外に出たくなくなる(単一回答)

図表 3-2-3-1 1 【15～39 歳】 相談相手の有無別
嫌な出来事があると、外に出たくなくなるか



図表 3-2-3-1 2 【40～64 歳】 相談相手の有無別
嫌な出来事があると、外に出たくなくなるか



カ 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思うか

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約8割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約8割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「はい」の割合が高い。

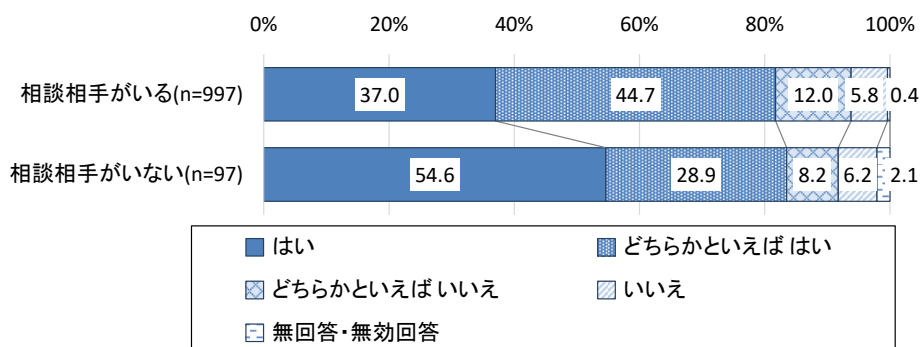
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。
- ・相談相手がない者では、「はい」、「どちらかといえば はい」が合わせて約7割。

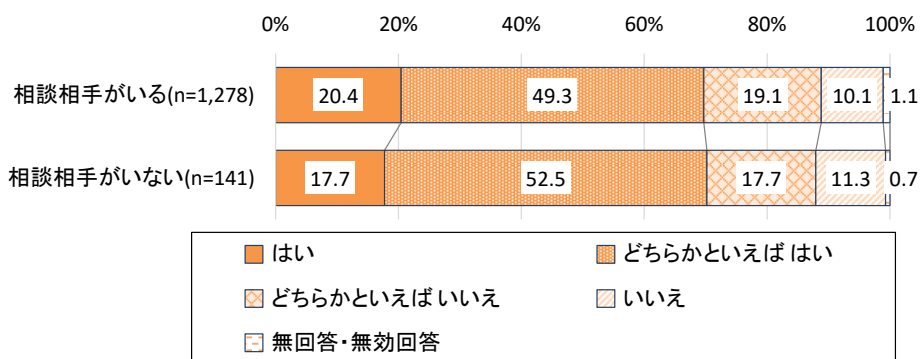
Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

⑥理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う(単一回答)

図表 3-2-3-1 3 【15～39 歳】 相談相手の有無別
理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思うか



図表 3-2-3-1 4 【40～64 歳】 相談相手の有無別
理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思うか



キ 悩んでいることや困っていること

■15～39 歳について

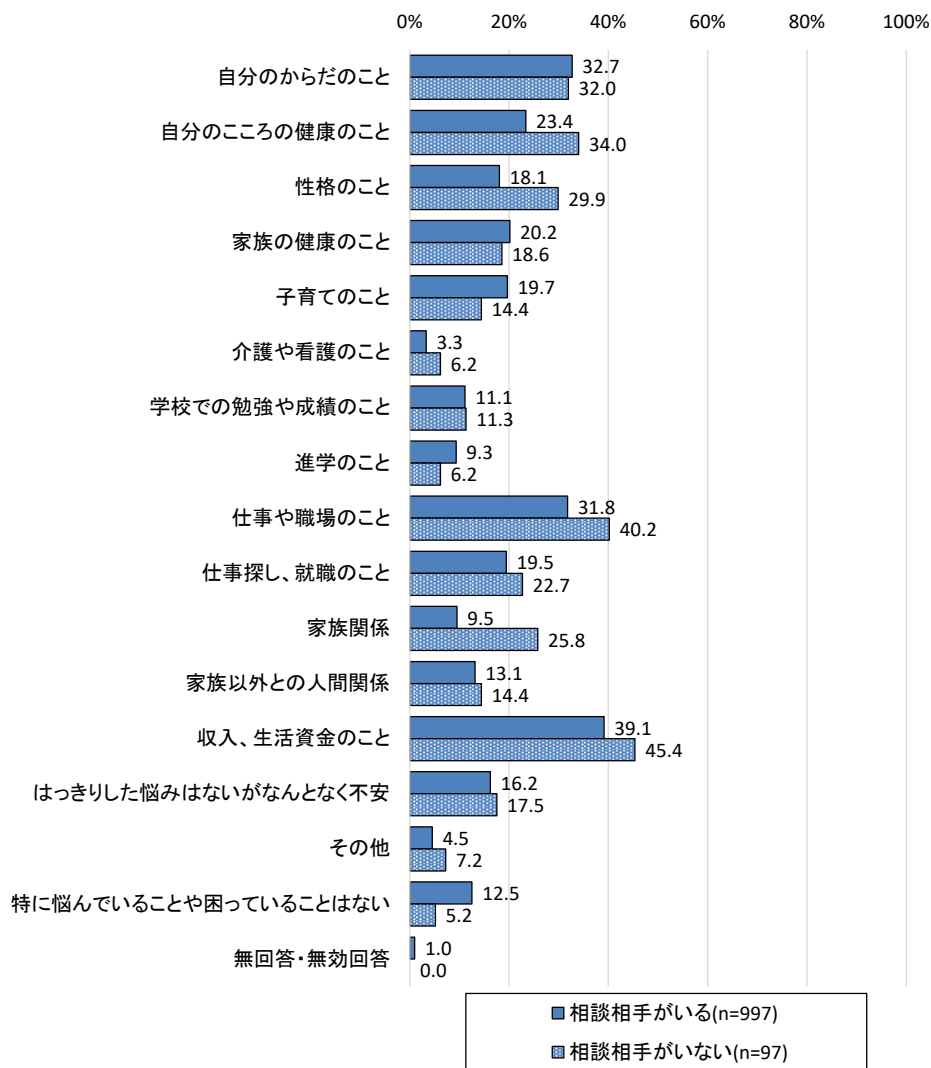
- ・相談相手がいる者では、「収入、生活資金のこと」が最も多く約4割、次いで「自分のからだのこと」、「仕事や職場のこと」がそれぞれ約3割。
- ・相談相手がない者では、「収入、生活資金のこと」が最も多く約5割、次いで「仕事や職場のこと」が約4割、「自分のからだのこと」、「自分のこころの健康のこと」、「性格のこと」、「家族関係」がそれぞれ約3割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「自分のこころの健康のこと」、「性格のこと」、「家族関係」の割合が高く、「特に悩んでいることや困っていることはない」の割合が低い。

■40～64 歳について

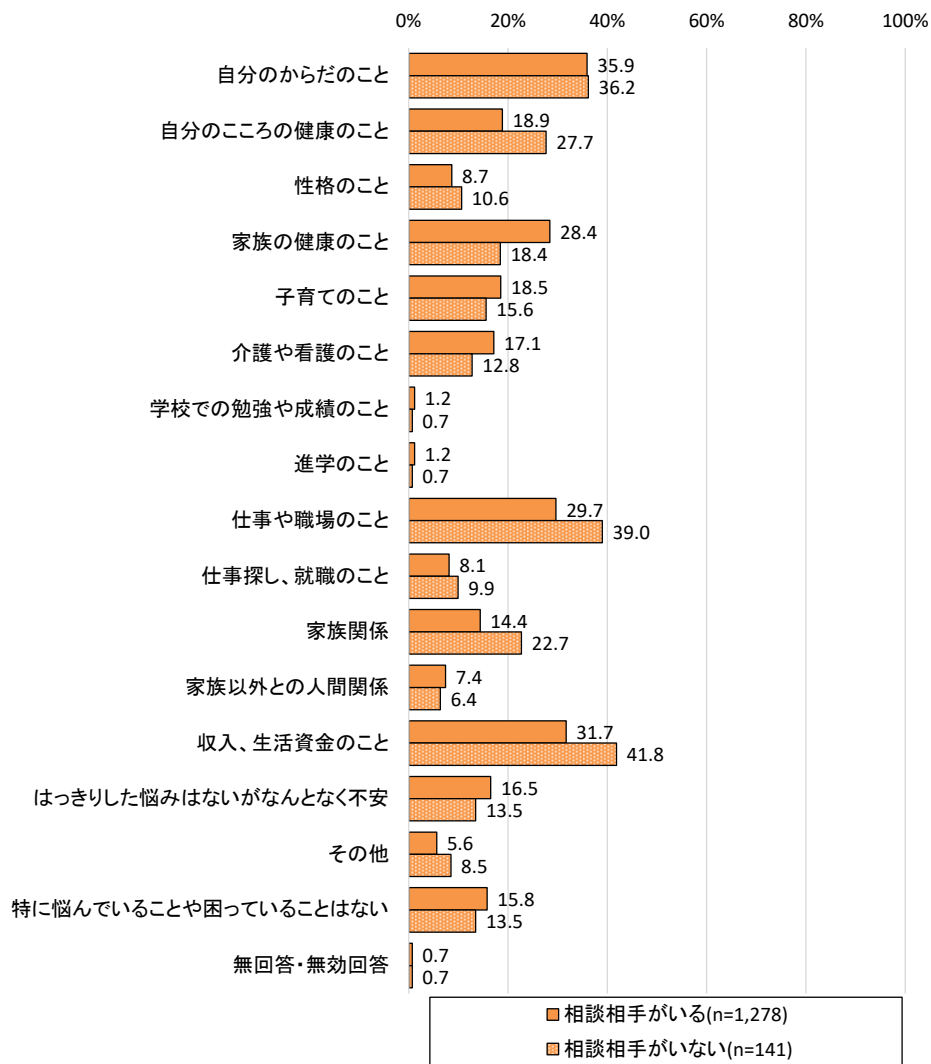
- ・相談相手がいる者では、「自分のからだのこと」が最も多く約4割、次いで「家族の健康のこと」、「仕事や職場のこと」、「収入、生活資金のこと」がそれぞれ約3割。
- ・相談相手がない者では、「自分のからだのこと」、「仕事や職場のこと」、「収入、生活資金のこと」がそれぞれ約4割、「自分のこころの健康のこと」が約3割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「自分のこころの健康のこと」、「仕事や職場のこと」、「家族関係」、「収入、生活資金のこと」の割合が高く、「家族の健康のこと」の割合が低い。

Q18 あなたは現在、悩んでいることや困っていることがありますか。(複数回答)

図表 3-2-3-15 【15~39歳】 相談相手の有無別
悩んでいることや困っていること



図表 3-2-3-16 【40～64歳】 相談相手の有無別
悩んでいることや困っていること



ク 公的な相談機関・専門機関の利用意向

■15～39 歳について

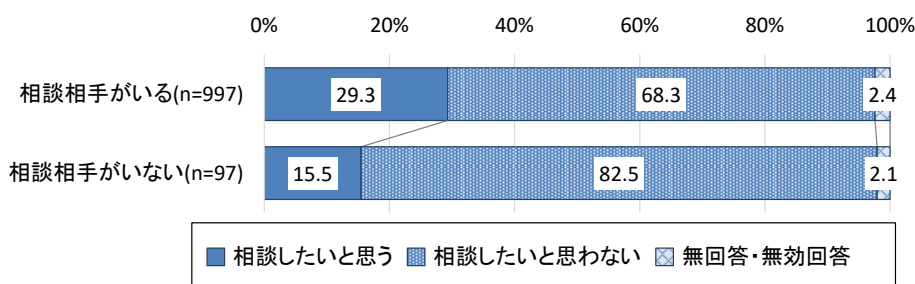
- ・相談相手がいる者では、「相談したいと思わない」が約7割。
- ・相談相手がない者では、「相談したいと思わない」が約8割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「相談したいと思わない」の割合が高い。

■40～64 歳について

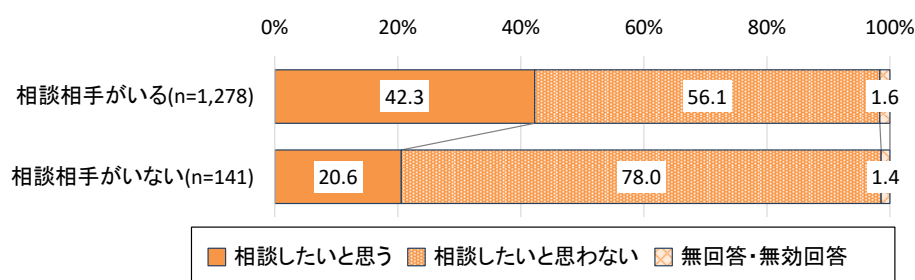
- ・相談相手がいる者では、「相談したいと思わない」が約6割。
- ・相談相手がない者では、「相談したいと思わない」が約8割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「相談したいと思わない」の割合が高い。

Q21 あなたは悩みごとや困りごとについて、公的な相談機関・専門機関に相談したいと思いませんか。
(単一回答)

図表 3-2-3-17 【15～39 歳】 相談相手の有無別
公的な相談機関・専門機関の利用意向



図表 3-2-3-18 【40～64 歳】 相談相手の有無別
公的な相談機関・専門機関の利用意向



ケ 公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由

■15～39 歳について

- ・相談相手がいる者では、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が最も多く約4割、次いで「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談しても解決できないと思う」がそれぞれ約3割。
- ・相談相手がない者では、「相談しても解決できないと思う」が最も多く約5割、次いで「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」、「相手にうまく話せないと思う」、「相談する必要がない」がそれぞれ約3割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「相談しても解決できないと思う」、「相談したい曜日・時間帯に公的な機関が対応していない」の割合が高く、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」の割合が低い。

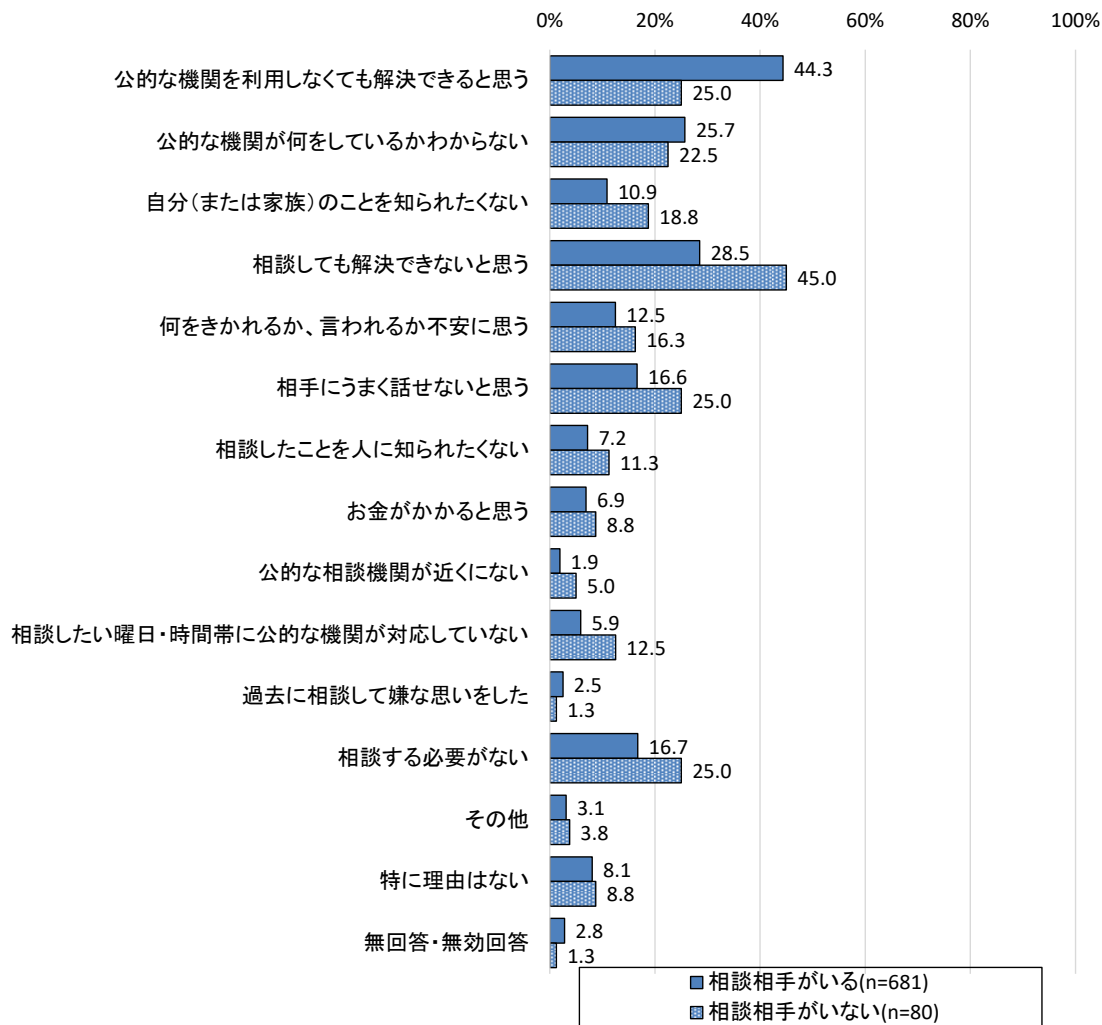
■40～64 歳について

- ・相談相手がいる者では、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が最も多く約4割、次いで「相談しても解決できないと思う」が約3割、「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談する必要がない」がそれぞれ約2割。
- ・相談相手がない者では、「相談しても解決できないと思う」が最も多く約4割、次いで「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」、「公的な機関が何をしているかわからない」、「自分（または家族）のことを知られたくない」、「相談する必要がない」がそれぞれ約2割。
- ・相談相手の有無別で比較すると、相談相手がない者の方が、「公的な機関が何をしているかわからない」の割合が低く、「自分（または家族）のことを知られたくない」、「相談しても解決できないと思う」の割合が高い。

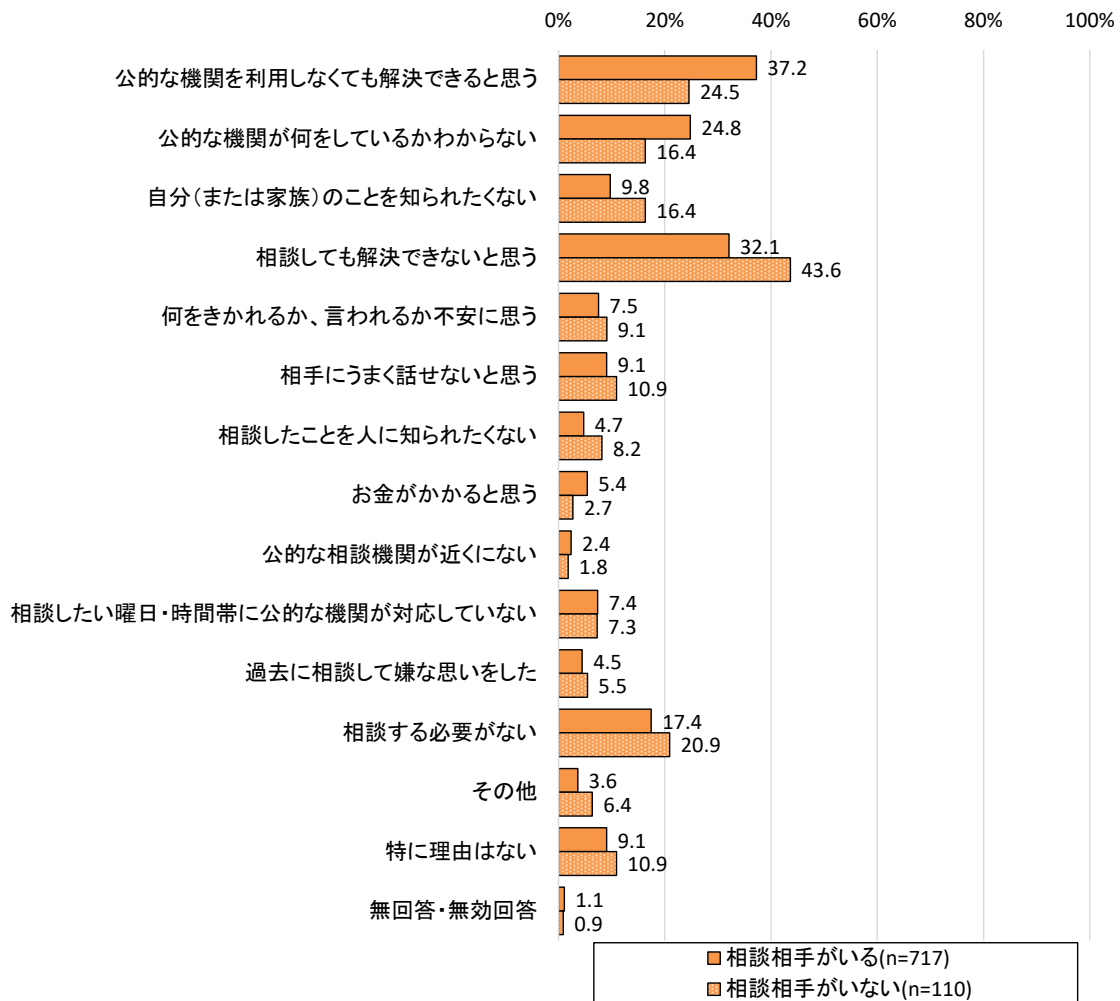
【Q21で「相談したいと思わない」に○をつけた方のみ】

Q21-1 あなたが相談したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-2-3-19 【15~39歳】 相談相手の有無別
公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由



図表 3-2-3-20 【40～64歳】 相談相手の有無別
公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由



3-3 公的な相談機関の認知や相談意向等に関する状況

(1) 横浜市の公的機関・事業の認知に関する状況

ア 年齢別 横浜市の公的機関・事業の認知度

■15～39 歳について

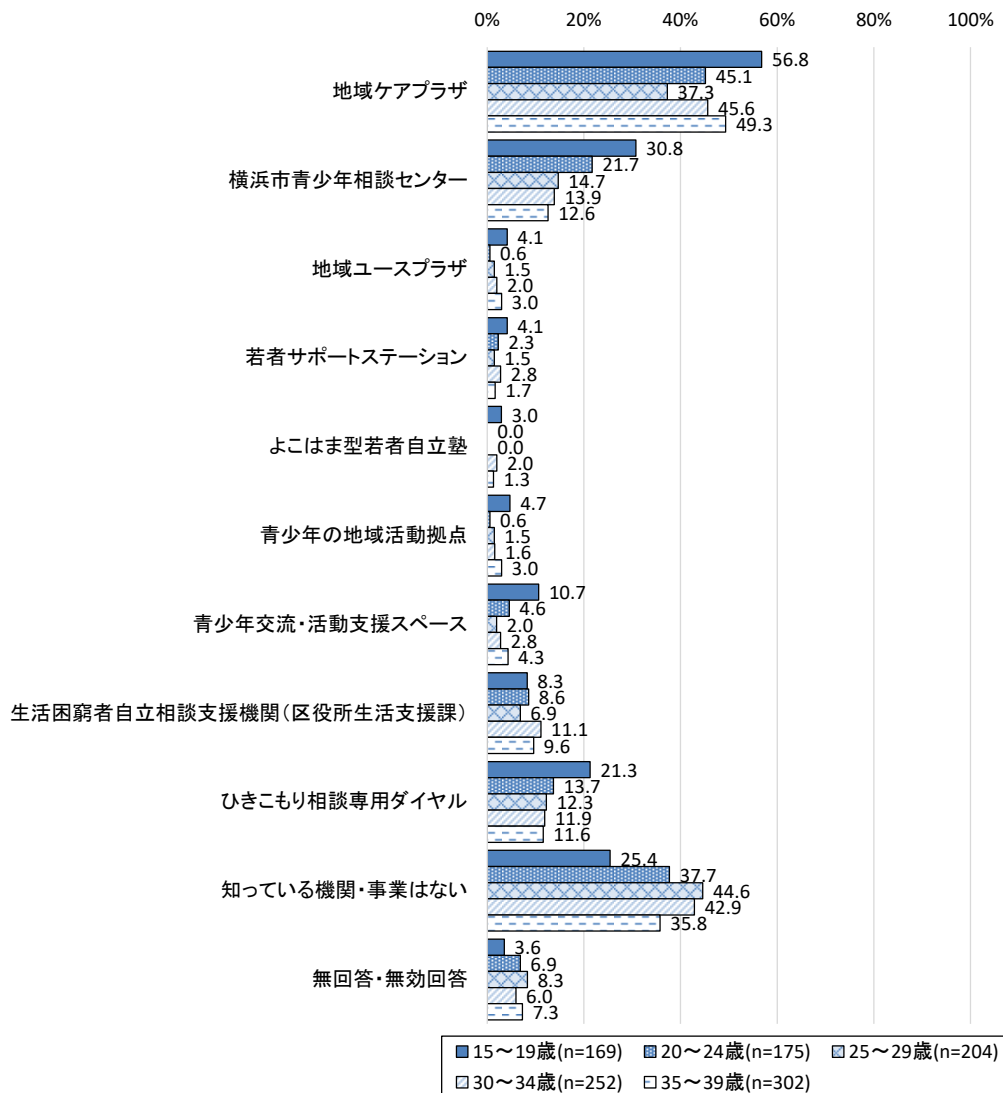
- ・「地域ケアプラザ」を知っている割合は、「15～19 歳」が最も高く約6割。「25～29 歳」の約4割まで、年齢が上がるにつれて認知度は低下するが、その後上昇し、「35～39 歳」では約5割が「地域ケアプラザ」を知っていると回答。
- ・「横浜市青少年相談センター」を知っている割合は、「15～19 歳」が最も高く約3割。その後、年齢が上がるにつれて認知度は低下し、「35～39 歳」では約1割。
- ・「ひきこもり相談専門ダイヤル」を知っている割合は、「15～19 歳」が最も高く約2割。その後、年齢が上がるにつれて認知度が低下し、「35～39 歳」では約1割。
- ・「知っている機関・事業はない」の割合は、「15～19 歳」で最も低く約3割。「25～29 歳」の約4割が最も高く、その後年齢が上がるにつれて「知っている機関・事業はない」の割合は低下。

■40～64 歳について

- ・「地域ケアプラザ」を知っている割合は、「40～44 歳」が最も低く約6割。年齢が上がるにつれて認知度は上昇し、「60～64 歳」では約7割が「地域ケアプラザ」を知っていると回答。
- ・「知っている機関・事業はない」の割合は、「40～44 歳」、「45～49 歳」で高く約3割。年齢が上がるにつれて割合は低下し、「60～64 歳」では「知っている機関・事業はない」の割合は約2割。

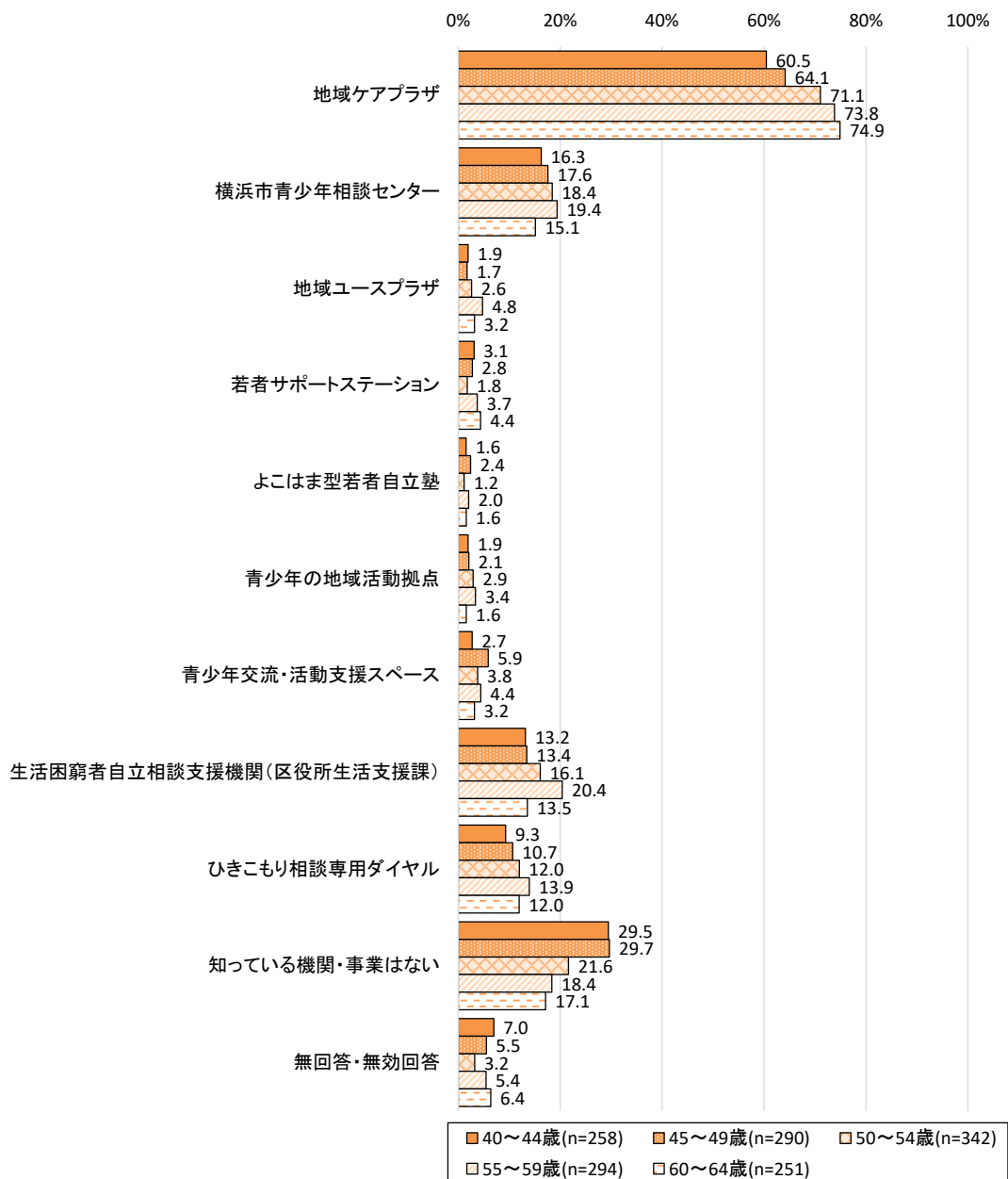
Q22 あなたは次の機関や事業を知っていますか。知っているものに○をつけてください。(複数回答)⁹⁰

図表 3-3-1-1 【15～39歳】 年齢別 横浜市の公的機関・事業の認知度



⁹⁰ 調査実施にあたって、各機関や事業の説明資料を同封した。

図表 3-3-1-2 【40～64歳】 年齢別 横浜市の公的機関・事業の認知度



イ 年齢・事業の認知状況等別 情報の入手先

■15～39 歳について

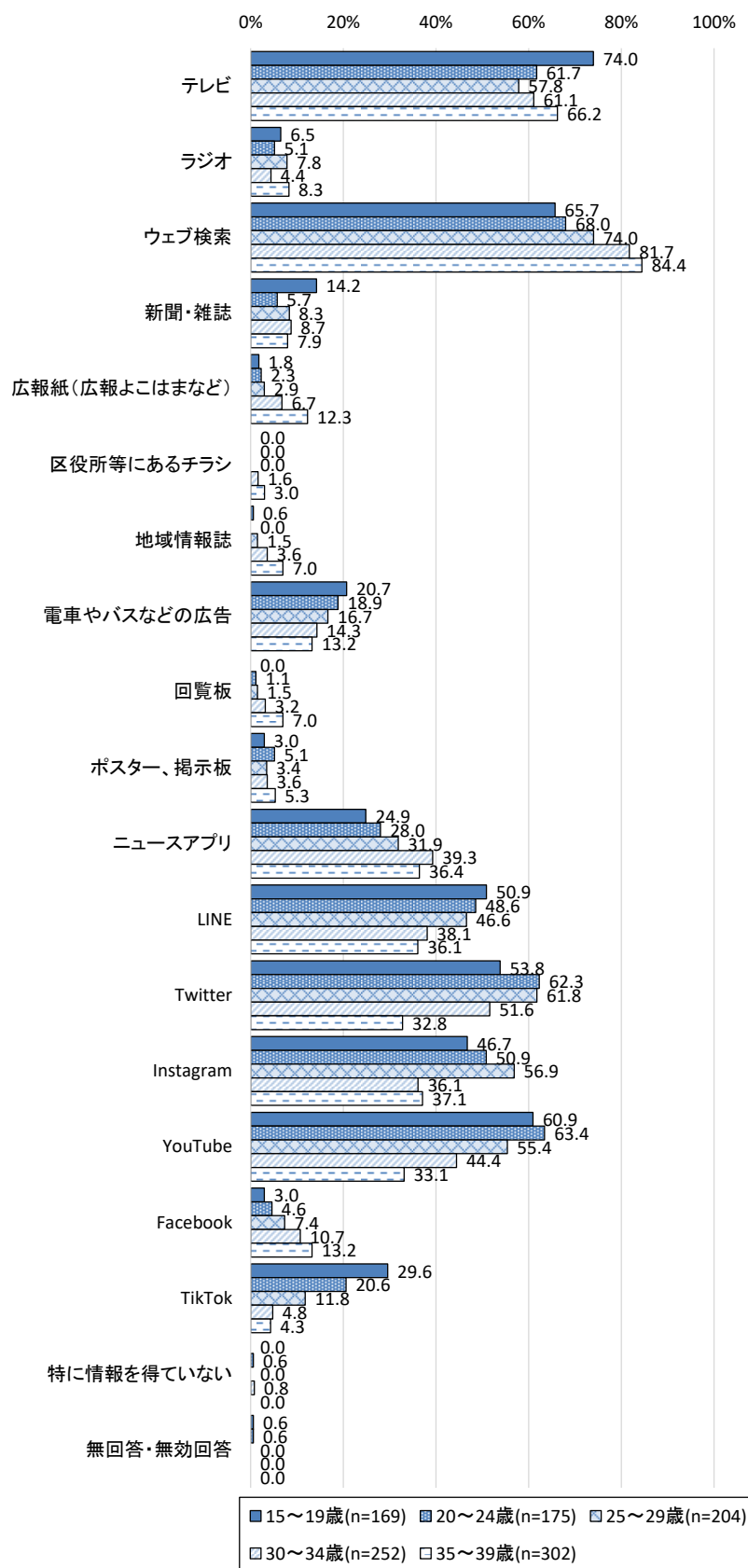
- ・「テレビ」の割合は、「15～19 歳」が最も高く約 7 割。「25～29 歳」の約 6 割まで、年齢が上がるにつれて割合は低下するが、その後上昇し、「35～39 歳」では約 7 割。
- ・「ウェブ検索」、「ニュースアプリ」の割合は、概ね年齢が上がるにつれて上昇する傾向。
- ・「LINE」、「Twitter」、「YouTube」の割合は、概ね年齢が上がるにつれて下降する傾向。また、「Instagram」の割合は、「15～29 歳」では 5～6 割だが、「30～39 歳」では約 4 割。
- ・「知っている機関・事業はない」者では、「ウェブ検索」の割合が最も高く約 8 割、次いで「テレビ」が約 6 割、「Twitter」、「YouTube」がそれぞれ約 5 割。

■40～64 歳について

- ・「テレビ」、「新聞・雑誌」の割合は、年齢が上がるにつれて上昇。
- ・「ウェブ検索」、「LINE」、「Twitter」、「Instagram」、「YouTube」の割合は、概ね年齢が上がるにつれて低下する傾向。
- ・「ニュースアプリ」の割合は、年齢によらず 3～4 割。
- ・「知っている機関・事業はない」者では、「テレビ」、「ウェブ検索」の割合が最も高くそれぞれ約 8 割。次いで「新聞・雑誌」、「ニュースアプリ」、「YouTube」がそれぞれ約 3 割。

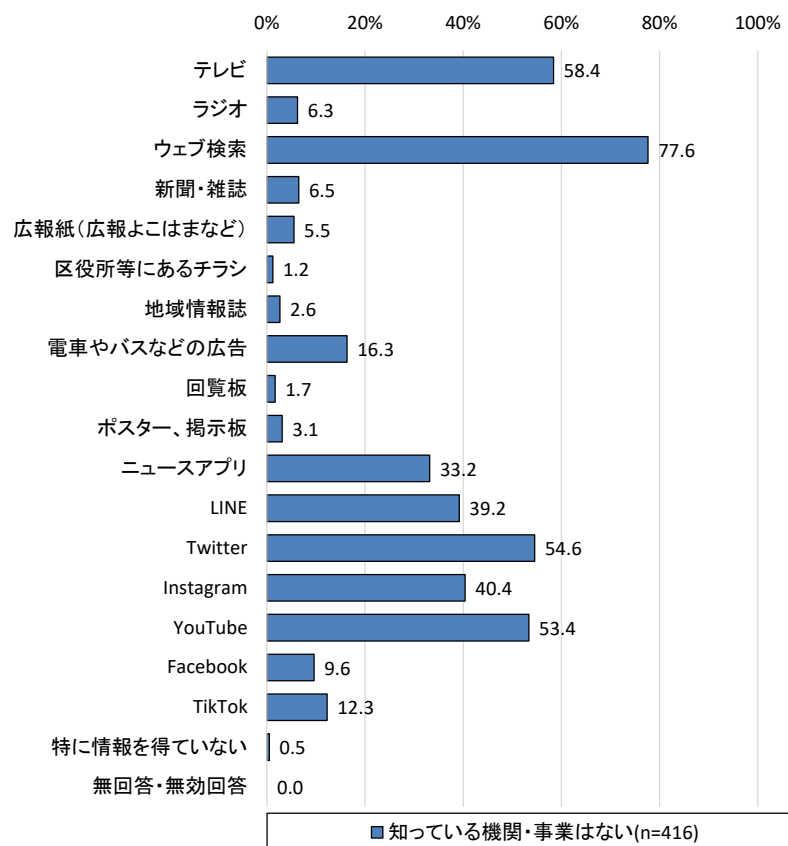
Q9 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。(複数回答)

図表 3-3-1-3 【15~39歳】 年齢別 情報の入手先



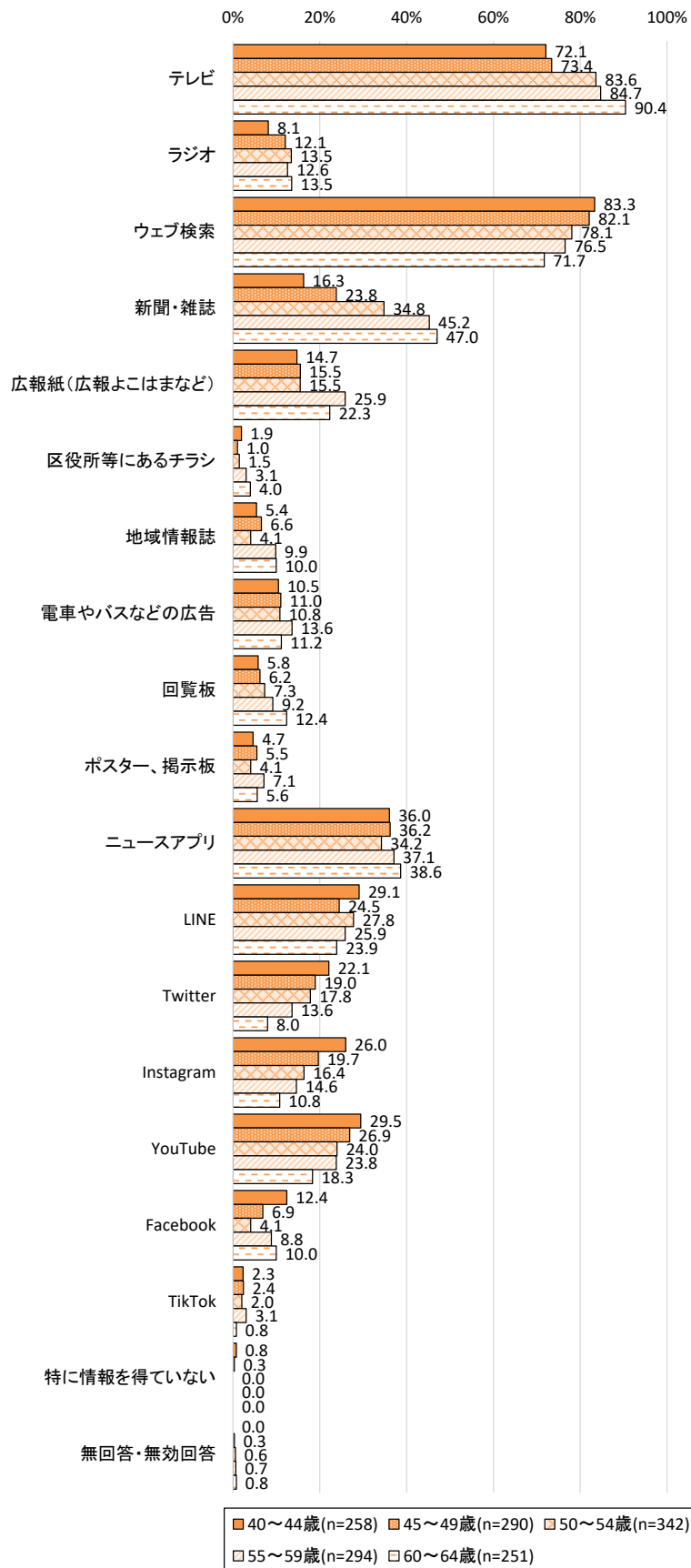
図表 3-3-1-4 【15~39歳】 情報の入手先

(知っている機関・事業はない者⁹¹)



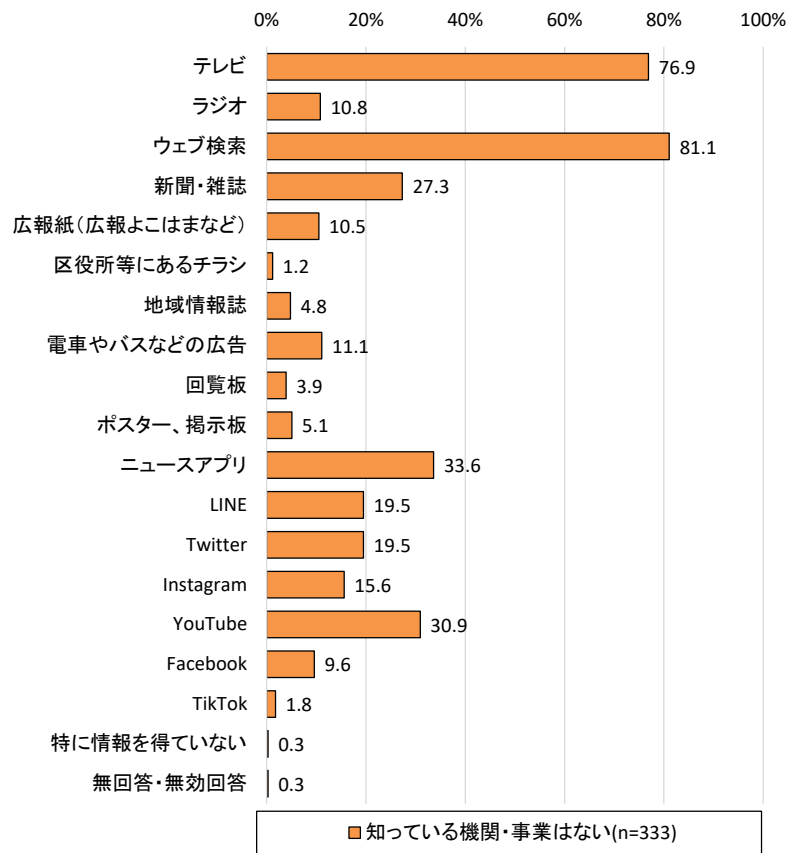
⁹¹ 集計対象は、「Q22 あなたは次の機関や事業を知っていますか。知っているものに○をつけてください。」で、「知っている機関・事業はない」を選択した者。

図表 3-3-1-5 【40～64歳】 年齢別 情報の入手先



図表 3-3-1-6 【40~64歳】 情報の入手先

(知っている機関・事業はない者⁹²)



⁹² 集計対象は、「Q22 あなたは次の機関や事業を知っていますか。知っているものに○をつけてください。」で、「知っている機関・事業はない」を選択した者。

(2) 公的機関の利用経験別の相談意向等に関する状況

ア 公的機関の利用経験別 公的な相談機関・専門機関の利用意向

■15～39歳について

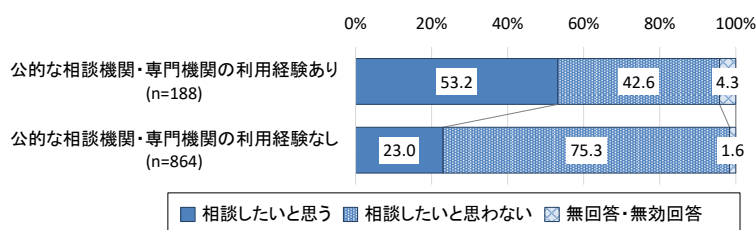
- ・公的な相談機関・専門機関の利用経験がある者⁹³では、「相談したいと思う」が約5割、「相談したいと思わない」が約4割。
- ・公的な相談機関・専門機関の利用経験がない者では、「相談したいと思う」が約2割、「相談したいと思わない」が約8割。

■40～64歳について

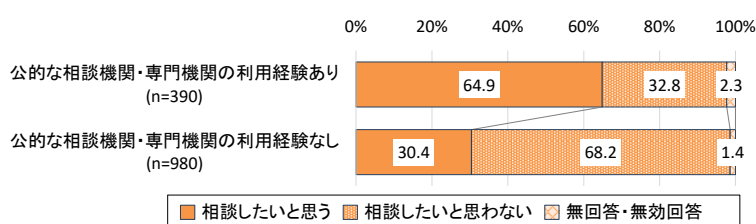
- ・公的な相談機関・専門機関の利用経験がある者では、「相談したいと思う」が約6割、「相談したいと思わない」が約3割。
- ・公的な相談機関・専門機関の利用経験がない者では、「相談したいと思う」が約3割、「相談したいと思わない」が約7割。

Q21 あなたは悩みごとや困りごとについて、公的な相談機関・専門機関に相談したいと思いませんか。
(単一回答)

図表 3-3-2-1 【15～39歳】 公的な相談機関・専門機関の利用経験の有無別
公的な相談機関・専門機関の利用意向



図表 3-3-2-2 【40～64歳】 公的な相談機関・専門機関の利用経験の有無別
公的な相談機関・専門機関の利用意向



⁹³ 「Q20 あなたはこれまで公的な相談機関・専門機関に相談したことがありますか。」で、「区役所・福祉保健センター」、「横浜市青少年相談センター」、「地域ユースプラザ」、「若者サポートステーション」、「児童相談所」、「教育総合相談センター」、「学校・スクールカウンセラー」、「地域ケアプラザ」、「社会福祉協議会」、「こころの健康相談センター（精神保健福祉センター）」、「基幹相談支援センター」、「精神障害者生活支援センター」、「発達障害者支援センター」、「ハローワーク・ジョブカフェなどの就労支援機関」、「警察・ユーステレホン」、「その他の施設・機関」のいずれかを選択した者を「公的な相談機関の利用経験あり」に該当する者、「相談したことがない」を選択した者を「公的な相談機関の利用経験なし」に該当する者と定義した（以下同様）。

イ 公的機関の利用経験別 公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由

■15～39 歳について

- ・公的な相談機関・専門機関の利用経験がある者では、「相談しても解決できないと思う」が最も多く約4割。次いで「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」、「相手にうまく話せないと思う」がそれぞれ約3割。
- ・公的な相談機関・専門機関の利用経験がない者では、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が最も多く約4割、次いで「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談しても解決できないと思う」がそれぞれ約3割。
- ・公的機関の利用経験別で比較すると、利用経験がある者は、「相談しても解決できないと思う」、「相手にうまく話せないと思う」、「相談したい曜日・時間帯に公的な機関が対応していない」、「過去に相談して嫌な思いをした」の割合が高く、「特に理由はない」の割合が低い。

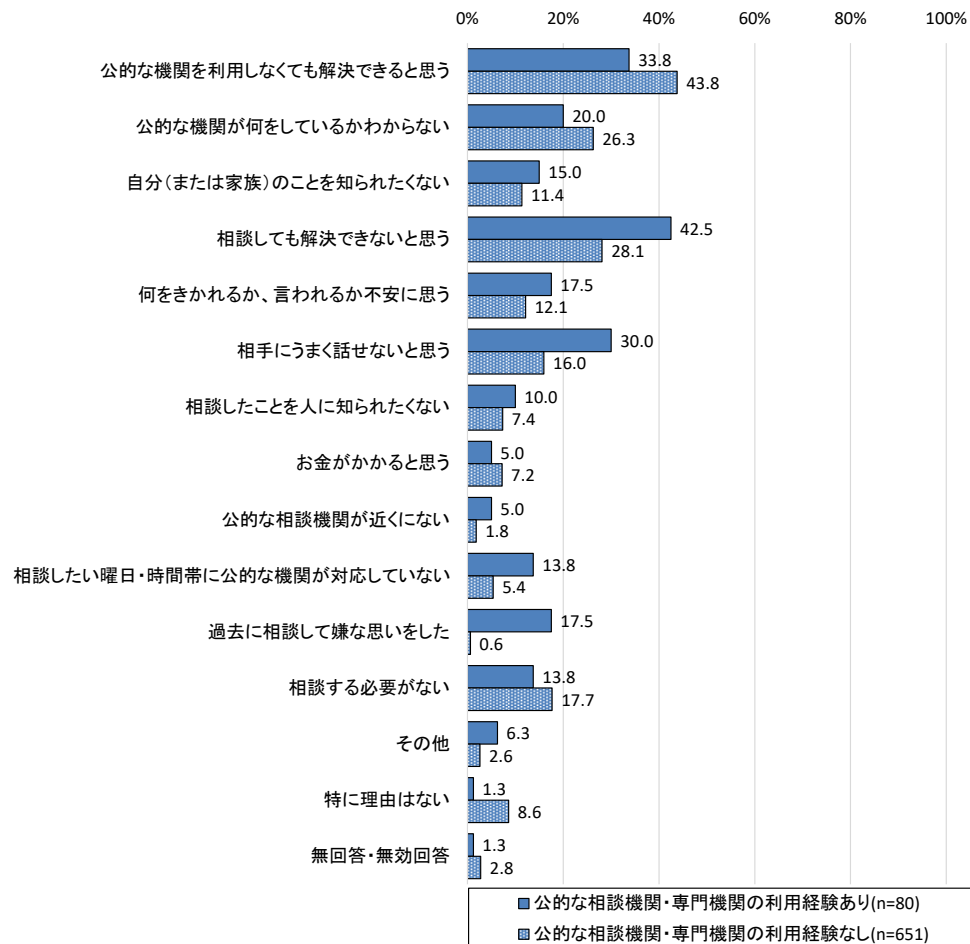
■40～64 歳について

- ・公的な相談機関・専門機関の利用経験がある者では、「相談しても解決できないと思う」が最も多く約5割。次いで「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が約3割、「公的な機関が何をしているかわからない」、「過去に相談して嫌な思いをした」がそれぞれ約2割。
- ・公的な相談機関・専門機関の利用経験がない者では、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」が最も多く約4割、次いで「公的な機関が何をしているかわからない」、「相談しても解決できないと思う」がそれぞれ約3割。
- ・公的機関の利用経験別で比較すると、利用経験がある者は、「相談しても解決できないと思う」、「お金がかかると思う」、「過去に相談して嫌な思いをした」の割合が高く、「公的な機関を利用しなくても解決できると思う」、「相談する必要がない」の割合が低い。

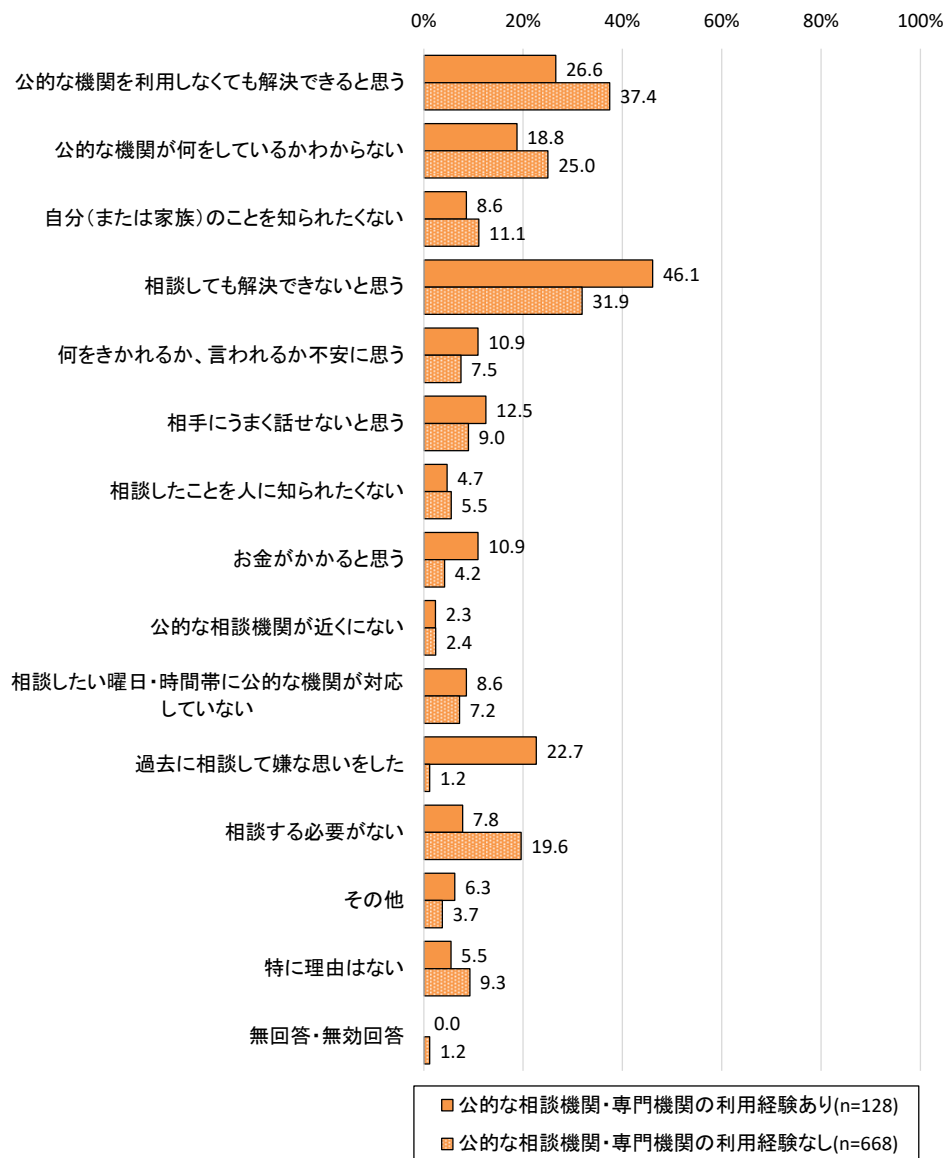
【Q21で「相談したいと思わない」に○をつけた方のみ】

Q21-1 あなたが相談したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

図表 3-3-2-3 【15~39歳】 公的な相談機関・専門機関の利用経験の有無別
公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由



図表 3-3-2-4 【40～64歳】 公的な相談機関・専門機関の利用経験の有無別
公的な相談機関・専門機関に相談したいと思わない理由



参考資料

1 横浜市及び内閣府過年度調査におけるひきこもり群の定義

(1) 横浜市平成 24 年度調査におけるひきこもり群の定義

Q16 「あなたはふだんのくらい外出しますか」について、下記の 5～8 に当てはまる者

- ・「5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」
- ・「6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」
- ・「7 自室からは出るが、家からは出ない」
- ・「8 自室からはほとんど出ない」

かつ

Q18 「あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか」について、6 か月以上（選択肢 2～6）と回答した者

であって、

Q19 「あなたが現在の状態となったきっかけは何ですか」で、

- ・「7 病気（病名： ）」を選択し、病名に統合失調症又は身体的な病気を記入した者、
- ・「8 妊娠した」を選択した者、
- ・「9 その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨や出産・育児をしている旨を記入した者

又は

Q13 「あなたがふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください」で、

- ・「9 家事をする」を選択した者
- ・「10 育児をする」を選択した者

を除いた人数

※平成 24 年度 横浜市「横浜市子ども・若者実態調査」より抜粋

※設問番号及び選択肢は、上記調査のもの

(2) 横浜市平成 29 年度調査におけるひきこもり群の定義

Q14 「あなたはふだんのくらい外出しますか」について、下記の 5～8 に当てはまる者

- ・「5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」
- ・「6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」
- ・「7 自室からは出るが、家からは出ない」
- ・「8 自室からはほとんど出ない」

かつ

Q16 「あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか」について、6 か月以上（選択肢 2～9）と回答した者

であって、

Q17 「あなたが現在の状態となったきっかけは何ですか」で、

- ・「7 病気（病名： ）」を選択し、病名に統合失調症又は身体的な病気を記入した者、
- ・「8 妊娠した」を選択した者、
- ・「10 その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨や出産・育児をしている旨を記入した者

又は

Q8 「あなたは現在働いていますか」で、

- ・「10 専業主婦・主夫」
- ・「12 家事手伝いをしている」と回答した者

Q13 「あなたがふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください」で、
「8 家事・育児をする」を選択した者

を除いた人数

※平成 29 年度 横浜市「横浜市子ども・若者実態調査 市民生活実態調査」より抜粋

※設問番号及び選択肢は、上記調査のもの

(3) 内閣府平成 21 年度調査におけるひきこもり群の定義

「Q20 ふだんどのくらい外出しますか。」について、下記の 5～8 に当てはまる者

5. 趣味の用事の時だけ外出する
6. 近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

かつ

「Q22 現在の状態となってどのくらい経ちますか。」について、6ヶ月以上と回答した者

であって、

「Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、

- ①「病気（病名： ）」を選択し、病名に統合失調症又は身体的な病気を記入した者、
- ②「妊娠した」を選択した者、
- ③「その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨や出産・育児をしている旨を記入した者

又は

「Q18 ふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。」で、「家事・育児をする」と回答した者

を除いた人数

※平成 22 年度 内閣府政策統括官「若者の意識に関する調査(ひきこもりに関する実態調査)報告書(概要版)」より抜粋

※設問番号及び選択肢は、上記調査のもの

※上記定義は、「広義のひきこもり」のもの

※「Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。」の条件③において、上記報告書(概要版)では、「『その他()』を選択肢、」となっているが、「『その他()』を選択し、」と修正している。

(4) 内閣府平成 27 年度調査におけるひきこもり群の定義

「Q20 ふだんどのくらい外出しますか。」について、下記の 5～8 に当てはまる者

5. 趣味の用事の時だけ外出する
6. 近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

かつ

「Q22 現在の状態となってどのくらい経ちますか。」について、6 か月以上と回答した者

であって、

「Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、

- ①「病気（病名： ）」を選択し、病名に統合失調症又は身体的な病気を記入した者、
- ②「妊娠した」を選択した者、
- ③「その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨や出産・育児をしている旨を記入した者

又は

「Q13 あなたは現在働いておられますか。」で、「専業主婦・主夫又は家事手伝い」と回答した者
(注 1) (注 2)

「Q18 ふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。」で、「家事・育児をする」と回答した者

を除いた人数

(注 1) 今回調査より Q18 の除外項目を補完する目的で追加している。なお、前回調査時はひきこもり群の者で本項目の該当者はいなかった。

(注 2) 広義のひきこもり群の中には「勤めている」と回答した者も含まれているが、回答状況や自由記述の内容をふまえて判断した。

※平成 28 年度 内閣府政策統括官「若者の生活に関する調査報告書」より抜粋

※設問番号及び選択肢は、上記調査のもの

※上記定義は、「広義のひきこもり」のもの

(5) 内閣府平成30年度調査におけるひきこもり群の定義

「Q19 ふだんどのくらい外出しますか。」について、下記の5～8に当てはまる者

5. 趣味の用事の時だけ外出する
6. 近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

かつ

「Q20 現在の状態となってどのくらい経ちますか。」について、6か月以上と回答した者

であって、次の3類型のいずれにも該当しない者。

①

「Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「病気（病名： ）」を選択し、身体的病気の病名を記入した者（注1）

②

「Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、
①「妊娠した」を選択した者、
②「介護・看護を担うことになった」を選択した者
③「その他（ ）」を選択し、（ ）に出産・育児をしている旨を記入した者

「Q12 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、「専業主婦・主夫」又は「家事手伝い」と回答した者

又は

「Q17 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」で、「家事をする」、「育児をする」又は「介護・看護をする」と回答した者

のいずれかで、かつ、

「Q22 最近6ヶ月間に家族以外の人と会話しましたか。」で、「よく会話した」又は「ときどき会話した」を選択した者

③

「Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨を記入した者
「Q12 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。」で、「勤めている」又は「自営業・自由業」と回答した者
又は
「Q17 ふだんご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。」で、「仕事をする」と回答した者

(注 1) 「Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、「その他（ ）」を選択し、外出が困難となる身体的理由を記入した者等についても、「病気(病名：)」を選択し、身体的病気の病名を記入した者と同様に判断した。

(注 2) 広義のひきこもり群の者の中には、上記③の該当者も含まれているが、回答状況や自由記述等の内容をふまえて判断した。

※平成 31 年度 内閣府政策統括官「生活状況に関する調査報告書」より抜粋

※設問番号及び選択肢は、上記調査のもの

※上記定義は、「広義のひきこもり」のもの

2 調査票



このアンケートへの回答は、1人1回までです。郵送かインターネットのどちらか一方でのみご回答ください。



上記事項を確認しました。

あなたや、あなたの家族のことについて

Q1 あなたの性別をお答えください。(○はひとつだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 男性 |
| 2. 女性 |
| 3. その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない） |

Q2 あなたの年齢をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 15～19 歳 | 5. 35～39 歳 | 9. 55～59 歳 |
| 2. 20～24 歳 | 6. 40～44 歳 | 10. 60～64 歳 |
| 3. 25～29 歳 | 7. 45～49 歳 | |
| 4. 30～34 歳 | 8. 50～54 歳 | |

Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 親 | 5. 子 |
| 2. きょうだい | 6. その他の人 |
| 3. 祖父母 | 7. 同居家族はいない（単身世帯） |
| 4. 配偶者・パートナー | |

Q4 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしていてくれる人をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. あなた自身 | 5. 子 |
| 2. 親 | 6. 他の家族や親戚 |
| 3. きょうだい | 7. その他の人 |
| 4. 配偶者・パートナー | 8. 生活保護などを受けている |

就労・就学等の状況について

Q5 あなたは現在、学校に通っていますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 在学中 | 3. 中退した |
| 2. 卒業した | 4. 休学中 |

Q6 あなたが最後に卒業（もしくは中退）した、または在学中の学校はどれですか。(○はひとつだけ)

- | | |
|---------|----------------|
| 1. 中学校 | 4. 高等専門学校・短期大学 |
| 2. 高等学校 | 5. 大学・大学院 |
| 3. 専門学校 | 6. その他 |

Q7 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。(○はひとつだけ)

- | |
|--|
| 1. 勤めている（正社員・正規職員） |
| 2. 勤めている（契約社員、派遣社員またはパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）） |
| 3. 自営業・フリーランス |
| 4. その他の形態で働いている |
| 5. 学生（予備校生を含む） |
| 6. 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない |
| 7. 専業主婦・主夫 |
| 8. 家事手伝い |
| 9. 無職 |

この設問で、1～5に○をつけた方（就労または就学している方）は、
Q8（4ページ）に進んでください。

この設問で、6～9に○をつけた方（就労しておらず、学生でない方）は、
Q7-1（3ページ）に進んでください。

【Q7で、6～9に○をつけた方（就労しておらず、学生でない方）のみ、Q7-1～Q7-4にお答えください】

【それ以外の方はQ8（4ページ）に進んでください】

Q7-1 あなたは今までに働いていたことはありますか。（○はいくつでも）

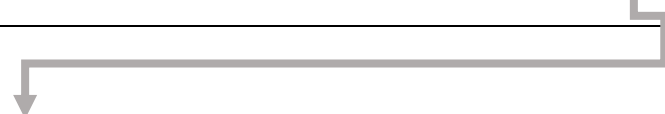
1. 正社員・正規職員として働いたことがある
2. 契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある
（学生時代の経験は含めません）
3. 自営業・フリーランスをしたことがある
4. その他の形態で働いたことがある
5. 今まで働いたことはない

Q7-2 あなたは現在、就職を希望していますか。（○はひとつだけ）

1. 就職を希望している
2. 就職を希望していない

Q7-3 あなたは現在、就職活動をしていますか。（○はひとつだけ）

1. 就職活動をしている
2. 就職活動をしていない



【Q7-3で「2. 就職活動をしていない」に○をつけた方のみ、Q7-4にお答えください】

Q7-4 あなたが就職活動をしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 進学を希望しているため
2. 資格試験・就職等の準備のため
3. からだやこころの不調のため
4. 身体的な病気・障害のため
5. 精神的な病気・障害のため
6. 自分に合う仕事が見つからない
7. 知識・能力に自信がない
8. 就職活動（面接等）に不安がある
9. 人間関係に不安がある
10. 責任を負うことへの不安がある
11. 長時間働くことが難しい
12. 家族からの経済的支援がある
13. 意欲がわからない
14. 妊娠・出産・育児のため
15. 介護・看護のため
16. 定年（早期）退職したため
17. その他

ふだんの生活の状況について

【Q8～Q11 はすべての方がお答えください。】

Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. テレビを見る	7. 仕事をする
2. ラジオを聴く	8. 家事をする
3. 本を読む	9. 育児をする
4. 新聞を読む	10. 介護・看護をする
5. ゲームをする	11. ウェブ閲覧や SNS をする
6. 勉強をする	12. その他

Q9 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。(○はいくつでも)

1. テレビ	7. 地域情報誌	13. Twitter
2. ラジオ	8. 電車やバスなどの広告	14. Instagram
3. ウェブ検索	9. 回覧板	15. YouTube
4. 新聞・雑誌	10. ポスター、掲示板	16. Facebook
5. 広報紙（広報よこはまなど）	11. ニュースアプリ	17. TikTok
6. 区役所等にあるチラシ	12. LINE	18. 特に情報を得ていない

Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

(○は各項目につきひとつ)

	はい	はい どちらか といえ ば	いいえ どちらか といえ ば	いいえ
① 食事の準備や掃除は自分でしている	1	2	3	4
② 身の回りにかかる費用は、自分で負担している	1	2	3	4
③ 規則正しい生活をしている	1	2	3	4
④ 健康のために身体を動かしている	1	2	3	4
⑤ 具合が悪いときは、病院や診療所に行っている	1	2	3	4

Q11 あなたはふだんどのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。

(○はひとつだけ)

1. 仕事や学校で週5日ほど外出する
2. 仕事や学校で週に何日か外出する
3. 趣味や遊び等のために頻繁に外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する
5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からはほとんど出ない

この設問で、1～4に○をつけた方は、**Q12 (6ページ)に進んでください。**

【この設問で、5～8に○をつけた方のみ、Q11-1～Q11-3にお答えください】

Q11-1 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 6か月未満 | 6. 7年以上～10年未満 |
| 2. 6か月以上～1年未満 | 7. 10年以上～20年未満 |
| 3. 1年以上～3年未満 | 8. 20年以上～30年未満 |
| 4. 3年以上～5年未満 | 9. 30年以上 |
| 5. 5年以上～7年未満 | |

Q11-2 最近6か月間に家族以外の人と会話しましたか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. よく会話した | 3. ほとんど会話しなかった |
| 2. ときどき会話した | 4. まったく会話しなかった |

【Q11で、5～8に○をつけた方のみ、Q11-3にお答えください】

Q11-3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1. 学校が合わなかった	10. 身体的な病気・障害 (病名等：)
2. 受験に失敗した	11. 精神的な病気・障害 (病名等：)
3. 就職活動がうまくいかなかった	12. 妊娠・出産・育児
4. 職場が合わなかった	13. 介護・看護を担うことになった
5. 家族関係がうまくいかなかった	14. 失業・退職した
6. 家族以外との人間関係がうまくいかなかった	15. 気力が低下した
7. 自宅で仕事をするようになった	16. 特にない・覚えていない
8. 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛	17. その他
9. からだやこころの不調	

周囲の人とのかかわり方について

【この設問以降はすべての方がお答えください】

Q12 あなたは小学校や中学校(部活動も含む)の頃に、家庭以外で次のような経験をしたことがありますか。
(○はいくつでも)

1. 困ったときに、親身に話を聞き、助言してくれる大人との出会い
2. 日々、あいさつなど、声をかけてくれる近所の大人との出会い
3. 地域の運動会やお祭り、清掃活動、防災訓練への参加
4. ボランティアや就労体験などの社会体験
5. キャンプやハイキングなどの自然体験活動
6. 将来や進路を考えるうえで参考になる大人との出会い
7. 異年齢の人(先輩・後輩)との交流
8. あてはまるものはない

Q13 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。
それぞれお答えください。(○は各項目につきひとつ)

	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
① 家族とのかかわり方	1	2	3	4	5
② 家族以外の人とのかかわり方	1	2	3	4	5
③ 社会とのかかわり方	1	2	3	4	5

Q14 **同居している人**とのコミュニケーション頻度について、お答えください。(○はひとつだけ)
<同居している人がいる場合にお答えください。>

1. ほぼ毎日	3. 月に数回程度	5. まったくない
2. 週に数回程度	4. 年に数回程度	

Q15 **同居している人**とのコミュニケーションの内容について、お答えください。(○はひとつだけ)
<同居している人がいる場合にお答えください。>

1. 何でも話せる	3. 必要最低限のことだけ話す
2. 雑談程度を話す	4. 一切話さない

Q16 **同居していない人**とのコミュニケーションについて、それぞれお答えください。
(○は各項目につきひとつ)

	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	まったくくない
① 直接会って話す	1	2	3	4	5
② 電話（ビデオ通話含む）	1	2	3	4	5
③ SNS（LINEによるチャットなど） ・電子メール・オンラインゲーム	1	2	3	4	5

あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について

Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

	はい	はい どちらか といえ ば	いい え どちらか といえ ば	いい え
① 今の自分が好きだ	1	2	3	4
② どこにも居場所がないと感じることがある	1	2	3	4
③ 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる	1	2	3	4
④ 家や自室に閉じこもりたいと思うことがある	1	2	3	4
⑤ 嫌な出来事があると、外に出たくなる	1	2	3	4
⑥ 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う	1	2	3	4

Q18 あなたは現在、悩んでいることや困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. 自分のからだのこと	9. 仕事や職場のこと
2. 自分のこころの健康のこと	10. 仕事探し、就職のこと
3. 性格のこと	11. 家族関係
4. 家族の健康のこと	12. 家族以外との人間関係
5. 子育てのこと	13. 収入、生活資金のこと
6. 介護や看護のこと	14. はっきりした悩みはないがなんとなく不安
7. 学校での勉強や成績のこと	15. その他
8. 進学のこと	16. 特に悩んでいることや困っていることはない

Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 家族 | 7. 近所の人 |
| 2. 友人・知人・交際相手 | 8. 民間団体・サークルなど |
| 3. 学校の先生 | 9. 当事者会・家族会 |
| 4. 職場の同僚・上司 | 10. 悩みを相談できるウェブサイト・SNS |
| 5. 病院、診療所 | 11. その他 |
| 6. カウンセラー | 12. 誰にも相談しない |

Q20 あなたはこれまでに公的な相談機関・専門機関に相談したことがありますか。

ある場合は、相談したことのある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| 1. 相談したことがない | 10. 社会福祉協議会 |
| 2. 区役所・福祉保健センター | 11. こころの健康相談センター
(精神保健福祉センター) |
| 3. 横浜市青少年相談センター | 12. 基幹相談支援センター |
| 4. 地域ユースプラザ | 13. 精神障害者生活支援センター |
| 5. 若者サポートステーション | 14. 発達障害者支援センター |
| 6. 児童相談所 | 15. ハローワーク・ジョブカフェなどの
就労支援機関 |
| 7. 教育総合相談センター | 16. 警察・ユーステレホン |
| 8. 学校・スクールカウンセラー | 17. その他の施設・機関 |
| 9. 地域ケアプラザ | |

Q21 あなたは悩みごとや困りごとについて、公的な相談機関・専門機関に相談したいと思いますか。

(○はひとつだけ)

1. 相談したいと思う	2. 相談したいと思わない
-------------	---------------

【Q21で「2. 相談したいと思わない」に○をつけた方のみ、Q21-1にお答えください】

Q21-1 あなたが相談したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 公的な機関を利用しなくても解決できると思う	8. お金がかかると思う
2. 公的な機関が何をしているかわからない	9. 公的な相談機関が近くにない
3. 自分（または家族）のことを知られたくない	10. 相談したい曜日・時間帯に公的な機関が対応していない
4. 相談しても解決できないと思う	11. 過去に相談して嫌な思いをした
5. 何をきかれるか、言われるか不安に思う	12. 相談する必要がない
6. 相手にうまく話せないと思う	13. その他
7. 相談したことを人に知られたくない	14. 特に理由はない

【すべての方がお答えください】

Q22 あなたは次の機関や事業（別紙参照）を知っていますか。知っているものに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. 地域ケアプラザ	7. 青少年交流・活動支援スペース
2. 横浜市青少年相談センター	8. 生活困窮者自立相談支援機関 (区役所生活支援課)
3. 地域ユースプラザ	9. ひきこもり相談専用ダイヤル
4. 若者サポートステーション	10. 知っている機関・事業はない
5. よこはま型若者自立塾	
6. 青少年の地域活動拠点	

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

3 集計表

3-1 子ども・若者実態調査(15~39歳)における集計表

あなたや、あなたの家族のことについて

Q1 あなたの性別をお答えください。

	件数			割合		
	15~39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15~39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
男性	442	6	436	40.1	40.0	40.1
女性	651	9	642	59.1	60.0	59.1
その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)	9	0	9	0.8	0.0	0.8
無回答・無効回答	0	0	0	0.0	0.0	0.0
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	X	p値:	1.00000		

Q2 あなたの年齢をお答えください。

	件数			割合		
	15~39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15~39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
15~19歳	169	0	169	15.3	0.0	15.5
20~24歳	175	4	171	15.9	26.7	15.7
25~29歳	204	3	201	18.5	20.0	18.5
30~34歳	252	4	248	22.9	26.7	22.8
35~39歳	302	4	298	27.4	26.7	27.4
無回答・無効回答	0	0	0	0.0	0.0	0.0
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位検定結果	有意差:	X	p値:	0.61631		

Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。(複数回答)

	件数			割合			検定結果	
	15~39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15~39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087	有意差	p値
親	475	9	466	43.1	60.0	42.9	X	0.18548
きょうだい	288	4	284	26.1	26.7	26.1	X	1.00000
祖父母	56	0	56	5.1	0.0	5.2	X	1.00000
配偶者・パートナー	483	6	477	43.8	40.0	43.9	X	0.75871
子	343	5	338	31.1	33.3	31.1	X	0.78729
その他の人	18	0	18	1.6	0.0	1.7	X	1.00000
同居家族はいない(単身世帯)	132	1	131	12.0	6.7	12.1	X	1.00000
無回答・無効回答	2	0	2	0.2	0.0	0.2	-	-
全体	1,102	15	1,087	-	-	-		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q4 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
あなた自身	374	1	373	33.9	6.7	34.3
親	419	6	413	38.0	40.0	38.0
きょうだい	4	1	3	0.4	6.7	0.3
配偶者・パートナー	274	6	268	24.9	40.0	24.7
子	1	0	1	0.1	0.0	0.1
他の家族や親戚	6	0	6	0.5	0.0	0.6
その他の人	3	0	3	0.3	0.0	0.3
生活保護などを受けている	2	0	2	0.2	0.0	0.2
無回答・無効回答	19	1	18	1.7	6.7	1.7
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	**	p値:	0.03398		

就労・就学等の状況について

Q5 あなたは現在、学校に通っていますか。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
在学中	250	1	249	22.7	6.7	22.9
卒業した	816	11	805	74.0	73.3	74.1
中退した	24	3	21	2.2	20.0	1.9
休学中	0	0	0	0.0	0.0	0.0
無回答・無効回答	12	0	12	1.1	0.0	1.1
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	***	p値:	0.00350		

Q6 あなたが最後に卒業(もしくは中退)した、または在学中の学校はどれですか。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
中学校	39	0	39	3.5	0.0	3.6
高等学校	229	5	224	20.8	33.3	20.6
専門学校	145	3	142	13.2	20.0	13.1
高等専門学校・短期大学	57	0	57	5.2	0.0	5.2
大学・大学院	618	6	612	56.1	40.0	56.3
その他	6	0	6	0.5	0.0	0.6
無回答・無効回答	8	1	7	0.7	6.7	0.6
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	X	p値:	0.51574		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q7 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
勤めている(正社員・正規職員)	565	0	565	51.3	0.0	52.0
勤めている(契約社員、派遣社員またはパート・アルバイト(学生のアルバイトは除く))	142	0	142	12.9	0.0	13.1
自営業・フリーランス	24	0	24	2.2	0.0	2.2
その他の形態で働いている	11	0	11	1.0	0.0	1.0
学生(予備校生を含む)	240	2	238	21.8	13.3	21.9
派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない	5	1	4	0.5	6.7	0.4
専業主婦・主夫	73	6	67	6.6	40.0	6.2
家事手伝い	6	0	6	0.5	0.0	0.6
無職	25	6	19	2.3	40.0	1.7
無回答・無効回答	11	0	11	1.0	0.0	1.0
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	***	p値:	0.00050		

【Q7で、6～9に○をつけた方(就労しておらず、学生でない方)のみ、Q7-1～Q7-4にお答えください】

Q7.1 あなたは今までに働いていたことはありますか。(複数回答)

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=109	ひきこもり群 n=13	ひきこもり群以外 n=96	有意差	p値
正社員・正規職員として働いたことがある	69	7	62	63.3	53.8	64.6	X	0.36123
契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある(学生時代の経験は含めません)	54	7	47	49.5	53.8	49.0	X	0.85219
自営業・フリーランスをしたことがある	12	3	9	11.0	23.1	9.4	X	0.16786
その他の形態で働いたことがある	2	0	2	1.8	0.0	2.1	X	1.00000
今まで働いたことはない	6	1	5	5.5	7.7	5.2	X	0.55692
無回答・無効回答	4	0	4	3.7	0.0	4.2	-	-
全体	109	13	96	-	-	-		

Q7.2 あなたは現在、就職を希望していますか。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=109	ひきこもり群 n=13	ひきこもり群以外 n=96
就職を希望している	43	7	36	39.4	53.8	37.5
就職を希望していない	63	6	57	57.8	46.2	59.4
無回答・無効回答	3	0	3	2.8	0.0	3.1
全体	109	13	96	100.0	100.0	100.0
カイ2乗検定結果	有意差:	X	p値:	0.29784		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q7.3 あなたは現在、就職活動をしていますか。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=109	ひきこもり群 n=13	ひきこもり群以外 n=96
就職活動をしている	14	1	13	12.8	7.7	13.5
就職活動をしていない	93	12	81	85.3	92.3	84.4
無回答・無効回答	2	0	2	1.8	0.0	2.1
全体	109	13	96	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	X	p値:	1.00000		

【Q7-3で「2. 就職活動をしていない」に○をつけた方のみ、Q7-4にお答えください】

Q7.4 あなたが就職活動をしていない理由は何ですか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=93	ひきこもり群 n=12	ひきこもり群以外 n=81	有意差	p値
進学を希望しているため	2	0	2	2.2	0.0	2.5	X	1.00000
資格試験・就職等の準備のため	2	0	2	2.2	0.0	2.5	X	1.00000
からだやこころの不調のため	11	4	7	11.8	33.3	8.6	**	0.03286
身体的な病気・障害のため	8	1	7	8.6	8.3	8.6	X	1.00000
精神的な病気・障害のため	6	1	5	6.5	8.3	6.2	X	0.57423
自分に合う仕事が見つからない	5	0	5	5.4	0.0	6.2	X	1.00000
知識・能力に自信がない	10	1	9	10.8	8.3	11.1	X	1.00000
就職活動（面接等）に不安がある	6	1	5	6.5	8.3	6.2	X	0.57423
人間関係に不安がある	7	2	5	7.5	16.7	6.2	X	0.22187
責任を負うことへの不安がある	3	1	2	3.2	8.3	2.5	X	0.34251
長時間働くことが難しい	17	1	16	18.3	8.3	19.8	X	0.68838
家族からの経済的支援がある	4	1	3	4.3	8.3	3.7	X	0.43017
意欲がわかない	7	2	5	7.5	16.7	6.2	X	0.22187
妊娠・出産・育児のため	65	5	60	69.9	41.7	74.1	**	0.03899
介護・看護のため	0	0	0	0.0	0.0	0.0	-	-
定年（早期）退職したため	0	0	0	0.0	0.0	0.0	-	-
その他	5	1	4	5.4	8.3	4.9	X	0.50700
無回答・無効回答	0	0	0	0.0	0.0	0.0	-	-
全体	93	12	81	-	-	-		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

ふだんの生活の状況について

【Q8～Q11はすべての方がお答えください。】

Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087	有意差	p値
テレビを見る	627	8	619	56.9	53.3	56.9	X	0.77272
ラジオを聴く	79	0	79	7.2	0.0	7.3	X	0.61810
本を読む	238	2	236	21.6	13.3	21.7	X	0.75130
新聞を読む	34	1	33	3.1	6.7	3.0	X	0.37751
ゲームをする	473	7	466	42.9	46.7	42.9	X	0.77272
勉強をする	281	4	277	25.5	26.7	25.5	X	1.00000
仕事をする	221	2	219	20.1	13.3	20.1	X	0.74816
家事をする	559	9	550	50.7	60.0	50.6	X	0.47386
育児をする	297	5	292	27.0	33.3	26.9	X	0.56511
介護・看護をする	5	0	5	0.5	0.0	0.5	X	1.00000
ウェブ閲覧やSNSをする	812	11	801	73.7	73.3	73.7	X	1.00000
その他	106	2	104	9.6	13.3	9.6	X	0.64875
無回答・無効回答	2	0	2	0.2	0.0	0.2	-	-
全体	1,102	15	1,087	-	-	-		

Q9 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087	有意差	p値
テレビ	705	8	697	64.0	53.3	64.1	X	0.38187
ラジオ	72	0	72	6.5	0.0	6.6	X	0.61677
ウェブ検索	842	11	831	76.4	73.3	76.4	X	0.76116
新聞・雑誌	97	0	97	8.8	0.0	8.9	X	0.63504
広報紙(広報よこはまなど)	67	0	67	6.1	0.0	6.2	X	1.00000
区役所等にあるチラシ	13	1	12	1.2	6.7	1.1	X	0.16430
地域情報誌	34	0	34	3.1	0.0	3.1	X	1.00000
電車やバスなどの広告	178	1	177	16.2	6.7	16.3	X	0.48797
回覧板	34	3	31	3.1	20.0	2.9	***	0.00953
ポスター、掲示板	46	2	44	4.2	13.3	4.0	X	0.12722
ニュースアプリ	365	4	361	33.1	26.7	33.2	X	0.78423
LINE	471	1	470	42.7	6.7	43.2	***	0.00438
Twitter	555	6	549	50.4	40.0	50.5	X	0.41483
Instagram	487	5	482	44.2	33.3	44.3	X	0.39042
YouTube	539	8	531	48.9	53.3	48.9	X	0.73533
Facebook	95	2	93	8.6	13.3	8.6	X	0.37674
TikTok	135	0	135	12.3	0.0	12.4	X	0.23928
特に情報を得ていない	3	0	3	0.3	0.0	0.3	X	1.00000
無回答・無効回答	2	0	2	0.2	0.0	0.2	-	-
全体	1,102	15	1,087	-	-	-		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

Q10.1 食事の準備や掃除は自分でしている

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	448	8	440	40.7	53.3	40.5
どちらかといえば はい	253	7	246	23.0	46.7	22.6
どちらかといえば いいえ	236	0	236	21.4	0.0	21.7
いいえ	162	0	162	14.7	0.0	14.9
無回答・無効回答	3	0	3	0.3	0.0	0.3
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位検定結果	有意差:	**	p値:	0.03669		

Q10.2 身の回りにかかる費用は、自分で負担している

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	493	3	490	44.7	20.0	45.1
どちらかといえば はい	226	3	223	20.5	20.0	20.5
どちらかといえば いいえ	161	2	159	14.6	13.3	14.6
いいえ	218	7	211	19.8	46.7	19.4
無回答・無効回答	4	0	4	0.4	0.0	0.4
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位検定結果	有意差:	**	p値:	0.01343		

Q10.3 規則正しい生活をしている

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	469	8	461	42.6	53.3	42.4
どちらかといえば はい	379	3	376	34.4	20.0	34.6
どちらかといえば いいえ	168	2	166	15.2	13.3	15.3
いいえ	80	2	78	7.3	13.3	7.2
無回答・無効回答	6	0	6	0.5	0.0	0.6
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位検定結果	有意差:	X	p値:	0.73056		

Q10.4 健康のために身体を動かしている

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	284	5	279	25.8	33.3	25.7
どちらかといえば はい	313	5	308	28.4	33.3	28.3
どちらかといえば いいえ	330	1	329	29.9	6.7	30.3
いいえ	162	3	159	14.7	20.0	14.6
無回答・無効回答	13	1	12	1.2	6.7	1.1
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位検定結果	有意差:	X	p値:	0.41160		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q10.5 具合が悪いときは、病院や診療所に行っている

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	560	3	557	50.8	20.0	51.2
どちらかといえば はい	333	7	326	30.2	46.7	30.0
どちらかといえば いいえ	141	3	138	12.8	20.0	12.7
いいえ	65	2	63	5.9	13.3	5.8
無回答・無効回答	3	0	3	0.3	0.0	0.3
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位検定結果	有意差:	**	p値:	0.01542		

Q11 あなたはふだんのくらい外出しますか。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
仕事や学校で週5日ほど外出する	726	0	726	65.9	0.0	66.8
仕事や学校で週に何日か外出する	172	0	172	15.6	0.0	15.8
趣味や遊び等のために頻繁に外出する	42	0	42	3.8	0.0	3.9
人づきあいのためにときどき外出する	36	0	36	3.3	0.0	3.3
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	45	5	40	4.1	33.3	3.7
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	55	8	47	5.0	53.3	4.3
自室からは出るが、家からは出ない	8	2	6	0.7	13.3	0.6
自室からはほとんど出ない	1	0	1	0.1	0.0	0.1
無回答・無効回答	17	0	17	1.5	0.0	1.6
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	***	p値:	0.00050		

【Q11で、5～8に○をつけた方のみ、Q11-1～Q11-3にお答えください】

Q11_1 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=109	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=94
6か月未満	10	0	10	9.2	0.0	10.6
6か月以上～1年未満	9	2	7	8.3	13.3	7.4
1年以上～3年未満	57	6	51	52.3	40.0	54.3
3年以上～5年未満	10	3	7	9.2	20.0	7.4
5年以上～7年未満	5	2	3	4.6	13.3	3.2
7年以上～10年未満	10	2	8	9.2	13.3	8.5
10年以上～20年未満	4	0	4	3.7	0.0	4.3
20年以上～30年未満	1	0	1	0.9	0.0	1.1
30年以上	1	0	1	0.9	0.0	1.1
無回答・無効回答	2	0	2	1.8	0.0	2.1
全体	109	15	94	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位検定結果	有意差:	X	p値:	0.22819		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q11_2 最近6か月間に家族以外の人と会話をしましたか。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=109	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=94
よく会話をした	39	1	38	35.8	6.7	40.4
ときどき会話をした	49	3	46	45.0	20.0	48.9
ほとんど会話をしなかった	16	9	7	14.7	60.0	7.4
まったく会話をしなかった	4	2	2	3.7	13.3	2.1
無回答・無効回答	1	0	1	0.9	0.0	1.1
全体	109	15	94	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位検定結果	有意差:	***	p値:	0.00000		

Q11_3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。(複数回答)

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=109	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=94	有意差	p値
学校が合わなかった	5	0	5	4.6	0.0	5.3	X	1.00000
受験に失敗した	3	2	1	2.8	13.3	1.1	**	0.04697
就職活動がうまくいかなかった	5	2	3	4.6	13.3	3.2	X	0.13310
職場が合わなかった	6	2	4	5.5	13.3	4.3	X	0.18418
家族関係がうまくいかなかった	4	0	4	3.7	0.0	4.3	X	1.00000
家族以外との人間関係がうまくいかなかった	7	0	7	6.4	0.0	7.4	X	0.58968
自宅で仕事をするようになった	32	1	31	29.4	6.7	33.0	*	0.05884
新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛	40	7	33	36.7	46.7	35.1	X	0.34011
からだやこころの不調	18	4	14	16.5	26.7	14.9	X	0.25771
身体的な病気・障害	6	0	6	5.5	0.0	6.4	X	1.00000
精神的な病気・障害	10	1	9	9.2	6.7	9.6	X	1.00000
妊娠・出産・育児	31	5	26	28.4	33.3	27.7	X	0.75414
介護・看護を担うことになった	1	0	1	0.9	0.0	1.1	X	1.00000
失業・退職した	5	2	3	4.6	13.3	3.2	X	0.13310
気力が低下した	18	4	14	16.5	26.7	14.9	X	0.25771
特にない・覚えていない	7	1	6	6.4	6.7	6.4	X	1.00000
その他	5	2	3	4.6	13.3	3.2	X	0.13310
無回答・無効回答	5	1	4	4.6	6.7	4.3	-	-
全体	109	15	94	-	-	-		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

周囲の人とのかかわり方について

【この設問以降はすべての方がお答えください】

Q12 あなたは小学校や中学校（部活動も含む）の頃に、家庭以外で次のような経験をしたことがありますか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087	有意差	p値
困ったときに、親身に話を聞き、助言してくれる大人との出会い	419	2	417	38.0	13.3	38.4	**	0.04283
日々、あいさつなど、声をかけてくれる近所の大人との出会い	527	4	523	47.8	26.7	48.1	*	0.08740
地域の運動会やお祭り、清掃活動、防災訓練への参加	561	8	553	50.9	53.3	50.9	X	0.89888
ボランティアや就労体験などの社会体験	318	5	313	28.9	33.3	28.8	X	0.77672
キャンプやハイキングなどの自然体験活動	371	3	368	33.7	20.0	33.9	X	0.24323
将来や進路を考えるうえで参考になる大人との出会い	272	3	269	24.7	20.0	24.7	X	0.77299
異年齢の人（先輩・後輩）との交流	639	5	634	58.0	33.3	58.3	**	0.04276
あてはまるものはない	122	5	117	11.1	33.3	10.8	**	0.01966
無回答・無効回答	17	0	17	1.5	0.0	1.6	-	-
全体	1,102	15	1,087	-	-	-		

Q13 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

Q13.1 家族とのかかわり方

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
満足している	606	4	602	55.0	26.7	55.4
まあ満足している	355	10	345	32.2	66.7	31.7
どちらともいえない	77	0	77	7.0	0.0	7.1
やや不満である	44	1	43	4.0	6.7	4.0
不満である	17	0	17	1.5	0.0	1.6
無回答・無効回答	3	0	3	0.3	0.0	0.3
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	*	p値:	0.08738		

Q13.2 家族以外の人とのかかわり方

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
満足している	342	1	341	31.0	6.7	31.4
まあ満足している	482	3	479	43.7	20.0	44.1
どちらともいえない	207	5	202	18.8	33.3	18.6
やや不満である	44	4	40	4.0	26.7	3.7
不満である	20	2	18	1.8	13.3	1.7
無回答・無効回答	7	0	7	0.6	0.0	0.6
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	***	p値:	0.00003		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q13.3 社会とのかかわり方

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
満足している	209	1	208	19.0	6.7	19.1
まあ満足している	448	5	443	40.7	33.3	40.8
どちらともいえない	329	3	326	29.9	20.0	30.0
やや不満である	74	3	71	6.7	20.0	6.5
不満である	34	3	31	3.1	20.0	2.9
無回答・無効回答	8	0	8	0.7	0.0	0.7
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	**	p値:	0.01397		

【同居している人がいる場合にお答えください。】

Q14 同居している人とのコミュニケーション頻度について、お答えください。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=970	ひきこもり群 n=14	ひきこもり群以外 n=956
ほぼ毎日	931	14	917	96.0	100.0	95.9
週に数回程度	26	0	26	2.7	0.0	2.7
月に数回程度	3	0	3	0.3	0.0	0.3
年に数回程度	1	0	1	0.1	0.0	0.1
まったくない	3	0	3	0.3	0.0	0.3
無回答・無効回答	6	0	6	0.6	0.0	0.6
全体	970	14	956	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.47822		

【同居している人がいる場合にお答えください。】

Q15 同居している人とのコミュニケーションの内容について、お答えください。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=970	ひきこもり群 n=14	ひきこもり群以外 n=956
何でも話せる	692	8	684	71.3	57.1	71.5
雑談程度を話す	217	6	211	22.4	42.9	22.1
必要最低限のことだけ話す	52	0	52	5.4	0.0	5.4
一切話さない	4	0	4	0.4	0.0	0.4
無回答・無効回答	5	0	5	0.5	0.0	0.5
全体	970	14	956	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.31671		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q16 同居していない人とのコミュニケーションについて、それぞれお答えください。

Q16.1 直接会って話す

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
ほぼ毎日	393	1	392	35.7	6.7	36.1
週に数回程度	284	1	283	25.8	6.7	26.0
月に数回程度	217	7	210	19.7	46.7	19.3
年に数回程度	145	3	142	13.2	20.0	13.1
まったくない	34	2	32	3.1	13.3	2.9
無回答・無効回答	29	1	28	2.6	6.7	2.6
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	***	p値:	0.00074		

Q16.2 電話(ビデオ通話含む)

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
ほぼ毎日	112	2	110	10.2	13.3	10.1
週に数回程度	272	2	270	24.7	13.3	24.8
月に数回程度	373	3	370	33.8	20.0	34.0
年に数回程度	184	4	180	16.7	26.7	16.6
まったくない	132	3	129	12.0	20.0	11.9
無回答・無効回答	29	1	28	2.6	6.7	2.6
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.27089		

Q16.3 SNS(LINEによるチャットなど)・電子メール・オンラインゲーム

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
ほぼ毎日	481	3	478	43.6	20.0	44.0
週に数回程度	324	3	321	29.4	20.0	29.5
月に数回程度	159	3	156	14.4	20.0	14.4
年に数回程度	37	3	34	3.4	20.0	3.1
まったくない	68	2	66	6.2	13.3	6.1
無回答・無効回答	33	1	32	3.0	6.7	2.9
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	***	p値:	0.00828		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について

Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

Q17.1 今の自分が好きだ

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	264	2	262	24.0	13.3	24.1
どちらかといえば はい	536	6	530	48.6	40.0	48.8
どちらかといえば いいえ	212	3	209	19.2	20.0	19.2
いいえ	89	4	85	8.1	26.7	7.8
無回答・無効回答	1	0	1	0.1	0.0	0.1
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	*	p値:	0.05937		

Q17.2 どこにも居場所がないと感じることがある

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	74	4	70	6.7	26.7	6.4
どちらかといえば はい	145	3	142	13.2	20.0	13.1
どちらかといえば いいえ	334	3	331	30.3	20.0	30.5
いいえ	546	5	541	49.5	33.3	49.8
無回答・無効回答	3	0	3	0.3	0.0	0.3
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	**	p値:	0.03512		

Q17.3 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	299	2	297	27.1	13.3	27.3
どちらかといえば はい	391	8	383	35.5	53.3	35.2
どちらかといえば いいえ	231	3	228	21.0	20.0	21.0
いいえ	176	2	174	16.0	13.3	16.0
無回答・無効回答	5	0	5	0.5	0.0	0.5
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.69281		

Q17.4 家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	272	4	268	24.7	26.7	24.7
どちらかといえば はい	279	5	274	25.3	33.3	25.2
どちらかといえば いいえ	229	0	229	20.8	0.0	21.1
いいえ	316	6	310	28.7	40.0	28.5
無回答・無効回答	6	0	6	0.5	0.0	0.6
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.99356		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q17.5 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	268	5	263	24.3	33.3	24.2
どちらかといえば はい	259	3	256	23.5	20.0	23.6
どちらかといえば いいえ	275	5	270	25.0	33.3	24.8
いいえ	297	2	295	27.0	13.3	27.1
無回答・無効回答	3	0	3	0.3	0.0	0.3
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.32777		

Q17.6 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
はい	425	8	417	38.6	53.3	38.4
どちらかといえば はい	476	3	473	43.2	20.0	43.5
どちらかといえば いいえ	131	2	129	11.9	13.3	11.9
いいえ	64	2	62	5.8	13.3	5.7
無回答・無効回答	6	0	6	0.5	0.0	0.6
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.67683		

Q18 あなたは現在、悩んでいることや困っていることがありますか。(複数回答)

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087	有意差	p値
自分のからだのこと	359	9	350	32.6	60.0	32.2	**	0.04788
自分のこころの健康のこと	269	6	263	24.4	40.0	24.2	X	0.22266
性格のこと	209	0	209	19.0	0.0	19.2	*	0.08988
家族の健康のこと	220	3	217	20.0	20.0	20.0	X	1.00000
子育てのこと	211	3	208	19.1	20.0	19.1	X	1.00000
介護や看護のこと	39	0	39	3.5	0.0	3.6	X	1.00000
学校での勉強や成績のこと	123	0	123	11.2	0.0	11.3	X	0.39858
進学のこと	99	1	98	9.0	6.7	9.0	X	1.00000
仕事や職場のこと	358	0	358	32.5	0.0	32.9	***	0.00390
仕事探し、就職のこと	216	5	211	19.6	33.3	19.4	X	0.19364
家族関係	122	1	121	11.1	6.7	11.1	X	1.00000
家族以外との人間関係	145	4	141	13.2	26.7	13.0	X	0.12697
収入、生活資金のこと	436	7	429	39.6	46.7	39.5	X	0.59562
はっきりした悩みはないがなんとなく不安	180	2	178	16.3	13.3	16.4	X	1.00000
その他	52	0	52	4.7	0.0	4.8	X	1.00000
特に悩んでいることや困っていることはない	131	1	130	11.9	6.7	12.0	X	1.00000
無回答・無効回答	12	0	12	1.1	0.0	1.1	-	-
全体	1,102	15	1,087	-	-	-		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087	有意差	p値
家族	821	7	814	74.5	46.7	74.9	**	0.01645
友人・知人・交際相手	699	5	694	63.4	33.3	63.8	**	0.01309
学校の先生	55	0	55	5.0	0.0	5.1	X	1.00000
職場の同僚・上司	222	0	222	20.1	0.0	20.4	*	0.05127
病院、診療所	51	1	50	4.6	6.7	4.6	X	0.51365
カウンセラー	32	1	31	2.9	6.7	2.9	X	0.36124
近所の人	10	1	9	0.9	6.7	0.8	X	0.12945
民間団体・サークルなど	6	0	6	0.5	0.0	0.6	X	1.00000
当事者会・家族会	4	0	4	0.4	0.0	0.4	X	1.00000
悩みを相談できるウェブサイト・SNS	35	0	35	3.2	0.0	3.2	X	1.00000
その他	17	1	16	1.5	6.7	1.5	X	0.21057
誰にも相談しない	133	4	129	12.1	26.7	11.9	*	0.09812
無回答・無効回答	8	0	8	0.7	0.0	0.7	-	-
全体	1,102	15	1,087	-	-	-		

Q20 あなたはこれまでに公的な相談機関・専門機関に相談したことがありますか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087	有意差	p値
相談したことがない	864	12	852	78.4	80.0	78.4	X	1.00000
区役所・福祉保健センター	67	0	67	6.1	0.0	6.2	X	1.00000
横浜市青少年相談センター	3	0	3	0.3	0.0	0.3	X	1.00000
地域ユースプラザ	2	0	2	0.2	0.0	0.2	X	1.00000
若者サポートステーション	1	0	1	0.1	0.0	0.1	X	1.00000
児童相談所	10	0	10	0.9	0.0	0.9	X	1.00000
教育総合相談センター	6	0	6	0.5	0.0	0.6	X	1.00000
学校・スクールカウンセラー	49	0	49	4.4	0.0	4.5	X	1.00000
地域ケアプラザ	7	0	7	0.6	0.0	0.6	X	1.00000
社会福祉協議会	4	0	4	0.4	0.0	0.4	X	1.00000
こころの健康相談センター（精神保健福祉センター）	7	0	7	0.6	0.0	0.6	X	1.00000
基幹相談支援センター	3	0	3	0.3	0.0	0.3	X	1.00000
精神障害者生活支援センター	1	0	1	0.1	0.0	0.1	X	1.00000
発達障害者支援センター	18	0	18	1.6	0.0	1.7	X	1.00000
ハローワーク・ジョブカフェなどの就労支援機関	49	2	47	4.4	13.3	4.3	X	0.13547
警察・ユーステレホン	15	0	15	1.4	0.0	1.4	X	1.00000
その他の施設・機関	29	1	28	2.6	6.7	2.6	X	0.32553
無回答・無効回答	50	1	49	4.5	6.7	4.5	-	-
全体	1,102	15	1,087	-	-	-		

参考資料 3-1 子ども・若者実態調査（15～39歳）における集計表

Q21 あなたは悩みごとや困りごとについて、公的な相談機関・専門機関に相談したいと思いますか。

	件数			割合		
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087
相談したいと思う	309	2	307	28.0	13.3	28.2
相談したいと思わない	763	13	750	69.2	86.7	69.0
無回答・無効回答	30	0	30	2.7	0.0	2.8
全体	1,102	15	1,087	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差: X		p値: 0.25469			

【Q21で「2. 相談したいと思わない」に○をつけた方のみ、Q21-1にお答えください】

Q21_1 あなたが相談したいと思わない理由は何ですか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=763	ひきこもり群 n=13	ひきこもり群以外 n=750	有意差	p値
公的な機関を利用しなくても解決できると思う	322	4	318	42.2	30.8	42.4	X	0.47826
公的な機関が何をしているかわからない	193	2	191	25.3	15.4	25.5	X	0.74069
自分(または家族)のことを知られたくない	89	0	89	11.7	0.0	11.9	X	0.37836
相談しても解決できないと思う	230	2	228	30.1	15.4	30.4	X	0.35994
何をきかれるか、言われるか不安に思う	98	1	97	12.8	7.7	12.9	X	1.00000
相手にうまく話せないと思う	133	3	130	17.4	23.1	17.3	X	0.45906
相談したことを人に知られたくない	58	1	57	7.6	7.7	7.6	X	1.00000
お金がかかると思う	54	0	54	7.1	0.0	7.2	X	1.00000
公的な相談機関が近くにない	17	1	16	2.2	7.7	2.1	X	0.24440
相談したい曜日・時間帯に公的な機関が対応していない	51	1	50	6.7	7.7	6.7	X	0.57732
過去に相談して嫌な思いをした	18	1	17	2.4	7.7	2.3	X	0.25690
相談する必要がある	135	2	133	17.7	15.4	17.7	X	1.00000
その他	24	0	24	3.1	0.0	3.2	X	1.00000
特に理由はない	62	1	61	8.1	7.7	8.1	X	1.00000
無回答・無効回答	21	1	20	2.8	7.7	2.7	-	-
全体	763	13	750	-	-	-		

【すべての方がお答えください】

Q22 あなたは次の機関や事業（別紙参照）を知っていますか。知っているものに○をつけてください。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	15～39歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	15～39歳全体 n=1,102	ひきこもり群 n=15	ひきこもり群以外 n=1,087	有意差	p値
地域ケアプラザ	515	4	511	46.7	26.7	47.0	*	0.06865
横浜市青少年相談センター	193	2	191	17.5	13.3	17.6	X	0.74989
地域ユースプラザ	25	0	25	2.3	0.0	2.3	X	1.00000
若者サポートステーション	26	0	26	2.4	0.0	2.4	X	1.00000
よこはま型若者自立塾	14	0	14	1.3	0.0	1.3	X	1.00000
青少年の地域活動拠点	25	0	25	2.3	0.0	2.3	X	1.00000
青少年交流・活動支援スペース	50	0	50	4.5	0.0	4.6	X	1.00000
生活困窮者自立相談支援機関（区役所生活支援課）	100	2	98	9.1	13.3	9.0	X	0.65000
ひきこもり相談専用ダイヤル	150	1	149	13.6	6.7	13.7	X	0.71027
知っている機関・事業はない	416	7	409	37.7	46.7	37.6	X	0.61763
無回答・無効回答	72	0	72	6.5	0.0	6.6	-	-
全体	1,102	15	1,087	-	-	-		

3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

あなたや、あなたの家族のことについて

Q1 あなたの性別をお答えください。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
男性	611	8	603	42.6	36.4	42.7
女性	817	14	803	56.9	63.6	56.8
その他(どちらともいえない・わからない・答えたくない)	5	0	5	0.3	0.0	0.4
無回答・無効回答	2	0	2	0.1	0.0	0.1
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	X	p値:	0.70365		

Q2 あなたの年齢をお答えください。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
40～44歳	258	4	254	18.0	18.2	18.0
45～49歳	290	3	287	20.2	13.6	20.3
50～54歳	342	3	339	23.8	13.6	24.0
55～59歳	294	8	286	20.5	36.4	20.2
60～64歳	251	4	247	17.5	18.2	17.5
無回答・無効回答	0	0	0	0.0	0.0	0.0
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.38771		

Q3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。(複数回答)

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413	有意差	p値
親	193	3	190	13.4	13.6	13.4	X	1.00000
きょうだい	47	1	46	3.3	4.5	3.3	X	0.52224
祖父母	9	0	9	0.6	0.0	0.6	X	1.00000
配偶者・パートナー	1,126	13	1,113	78.5	59.1	78.8	**	0.03482
子	862	9	853	60.1	40.9	60.4	*	0.06379
その他の人	17	1	16	1.2	4.5	1.1	X	0.23227
同居家族はいない(単身世帯)	126	4	122	8.8	18.2	8.6	X	0.12060
無回答・無効回答	1	0	1	0.1	0.0	0.1	-	-
全体	1,435	22	1,413	-	-	-		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q4 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
あなた自身	694	5	689	48.4	22.7	48.8
親	46	2	44	3.2	9.1	3.1
きょうだい	14	0	14	1.0	0.0	1.0
配偶者・パートナー	623	10	613	43.4	45.5	43.4
子	2	0	2	0.1	0.0	0.1
他の家族や親戚	0	0	0	0.0	0.0	0.0
その他の人	0	0	0	0.0	0.0	0.0
生活保護などを受けている	12	5	7	0.8	22.7	0.5
無回答・無効回答	44	0	44	3.1	0.0	3.1
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	***	p値:	0.00050		

就労・就学等の状況について

Q5 あなたは現在、学校に通っていますか。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
在学中	10	1	9	0.7	4.5	0.6
卒業した	1,365	20	1,345	95.1	90.9	95.2
中退した	27	1	26	1.9	4.5	1.8
休学中	0	0	0	0.0	0.0	0.0
無回答・無効回答	33	0	33	2.3	0.0	2.3
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	*	p値:	0.06397		

Q6 あなたが最後に卒業(もしくは中退)した、または在学中の学校はどれですか。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
中学校	10	2	8	0.7	9.1	0.6
高等学校	285	3	282	19.9	13.6	20.0
専門学校	201	6	195	14.0	27.3	13.8
高等専門学校・短期大学	232	1	231	16.2	4.5	16.3
大学・大学院	697	10	687	48.6	45.5	48.6
その他	3	0	3	0.2	0.0	0.2
無回答・無効回答	7	0	7	0.5	0.0	0.5
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	**	p値:	0.01199		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q7 あなたの現在の就労・就学等の状況についてお答えください。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
勤めている(正社員・正規職員)	685	0	685	47.7	0.0	48.5
勤めている(契約社員、派遣社員またはパート・アルバイト(学生のアルバイトは除く))	375	0	375	26.1	0.0	26.5
自営業・フリーランス	102	0	102	7.1	0.0	7.2
その他の形態で働いている	18	0	18	1.3	0.0	1.3
学生(予備校生を含む)	1	1	0	0.1	4.5	0.0
派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない	4	0	4	0.3	0.0	0.3
専業主婦・主夫	177	8	169	12.3	36.4	12.0
家事手伝い	6	0	6	0.4	0.0	0.4
無職	60	12	48	4.2	54.5	3.4
無回答・無効回答	7	1	6	0.5	4.5	0.4
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	***	p値:	0.00050		

【Q7で、6～9に○をつけた方(就労しておらず、学生でない方)のみ、Q7-1～Q7-4にお答えください】

Q7.1 あなたは今までに働いていたことはありますか。(複数回答)

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=247	ひきこもり群 n=20	ひきこもり群以外 n=227	有意差	p値
正社員・正規職員として働いたことがある	217	16	201	87.9	80.0	88.5	X	0.12269
契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いたことがある(学生時代の経験は含めません)	131	12	119	53.0	60.0	52.4	X	0.59674
自営業・フリーランスをしたことがある	16	1	15	6.5	5.0	6.6	X	1.00000
その他の形態で働いたことがある	4	1	3	1.6	5.0	1.3	X	0.29447
今まで働いたことはない	3	1	2	1.2	5.0	0.9	X	0.22975
無回答・無効回答	6	0	6	2.4	0.0	2.6	-	-
全体	247	20	227	-	-	-		

Q7.2 あなたは現在、就職を希望していますか。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=247	ひきこもり群 n=20	ひきこもり群以外 n=227
就職を希望している	75	6	69	30.4	30.0	30.4
就職を希望していない	162	14	148	65.6	70.0	65.2
無回答・無効回答	10	0	10	4.0	0.0	4.4
全体	247	20	227	100.0	100.0	100.0
カイ2乗検定結果	有意差:	X	p値:	0.86866		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q7.3 あなたは現在、就職活動をしていますか。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=247	ひきこもり群 n=20	ひきこもり群以外 n=227
就職活動をしている	24	3	21	9.7	15.0	9.3
就職活動をしていない	217	17	200	87.9	85.0	88.1
無回答・無効回答	6	0	6	2.4	0.0	2.6
全体	247	20	227	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差: X		p値: 0.43107			

【Q7-3で「2. 就職活動をしていない」に○をつけた方のみ、Q7-4にお答えください】

Q7.4 あなたが就職活動をしていない理由は何ですか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=217	ひきこもり群 n=17	ひきこもり群以外 n=200	有意差	p値
進学を希望しているため	0	0	0	0.0	0.0	0.0	-	-
資格試験・就職等の準備のため	4	0	4	1.8	0.0	2.0	X	1.00000
からだやこころの不調のため	34	4	30	15.7	23.5	15.0	X	0.30035
身体的な病気・障害のため	27	2	25	12.4	11.8	12.5	X	1.00000
精神的な病気・障害のため	8	2	6	3.7	11.8	3.0	X	0.11645
自分に合う仕事が見つからない	20	2	18	9.2	11.8	9.0	X	0.65398
知識・能力に自信がない	15	1	14	6.9	5.9	7.0	X	1.00000
就職活動（面接等）に不安がある	16	3	13	7.4	17.6	6.5	X	0.10997
人間関係に不安がある	18	3	15	8.3	17.6	7.5	X	0.14550
責任を負うことへの不安がある	11	2	9	5.1	11.8	4.5	X	0.19985
長時間働くことが難しい	49	4	45	22.6	23.5	22.5	X	1.00000
家族からの経済的支援がある	36	3	33	16.6	17.6	16.5	X	0.74118
意欲がわかない	17	3	14	7.8	17.6	7.0	X	0.12725
妊娠・出産・育児のため	29	0	29	13.4	0.0	14.5	X	0.13569
介護・看護のため	32	1	31	14.7	5.9	15.5	X	0.47576
定年（早期）退職したため	24	2	22	11.1	11.8	11.0	X	1.00000
その他	48	3	45	22.1	17.6	22.5	X	1.00000
無回答・無効回答	7	1	6	3.2	5.9	3.0	-	-
全体	217	17	200	-	-	-		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

ふだんの生活の状況について

【Q8～Q11はすべての方がお答えください。】

Q8 ふだん自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413	有意差	p値
テレビを見る	1,055	12	1,043	73.5	54.5	73.8	**	0.03749
ラジオを聴く	132	2	130	9.2	9.1	9.2	X	1.00000
本を読む	374	8	366	26.1	36.4	25.9	X	0.27407
新聞を読む	270	0	270	18.8	0.0	19.1	**	0.01332
ゲームをする	281	3	278	19.6	13.6	19.7	X	0.59732
勉強をする	138	1	137	9.6	4.5	9.7	X	0.71536
仕事をする	363	0	363	25.3	0.0	25.7	***	0.00579
家事をする	993	9	984	69.2	40.9	69.6	***	0.00328
育児をする	236	3	233	16.4	13.6	16.5	X	1.00000
介護・看護をする	52	2	50	3.6	9.1	3.5	X	0.18954
ウェブ閲覧やSNSをする	851	11	840	59.3	50.0	59.4	X	0.35540
その他	174	4	170	12.1	18.2	12.0	X	0.33185
無回答・無効回答	7	0	7	0.5	0.0	0.5	-	-
全体	1,435	22	1,413	-	-	-		

Q9 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413	有意差	p値
テレビ	1,161	17	1,144	80.9	77.3	81.0	X	0.58517
ラジオ	173	3	170	12.1	13.6	12.0	X	0.74263
ウェブ検索	1,125	17	1,108	78.4	77.3	78.4	X	0.79615
新聞・雑誌	481	7	474	33.5	31.8	33.5	X	0.85201
広報紙(広報よこはまなど)	268	7	261	18.7	31.8	18.5	X	0.16190
区役所等にあるチラシ	32	2	30	2.2	9.1	2.1	*	0.08508
地域情報誌	101	3	98	7.0	13.6	6.9	X	0.19991
電車やバスなどの広告	164	1	163	11.4	4.5	11.5	X	0.50134
回覧板	116	2	114	8.1	9.1	8.1	X	0.69787
ポスター、掲示板	77	1	76	5.4	4.5	5.4	X	1.00000
ニュースアプリ	521	5	516	36.3	22.7	36.5	X	0.17673
LINE	377	3	374	26.3	13.6	26.5	X	0.17107
Twitter	233	6	227	16.2	27.3	16.1	X	0.15388
Instagram	250	3	247	17.4	13.6	17.5	X	0.78322
YouTube	352	8	344	24.5	36.4	24.3	X	0.19887
Facebook	117	0	117	8.2	0.0	8.3	X	0.24936
TikTok	31	1	30	2.2	4.5	2.1	X	0.38521
特に情報を得ていない	3	0	3	0.2	0.0	0.2	X	1.00000
無回答・無効回答	7	0	7	0.5	0.0	0.5	-	-
全体	1,435	22	1,413	-	-	-		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q10 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

Q10.1 食事の準備や掃除は自分でしている

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	831	13	818	57.9	59.1	57.9
どちらかといえば はい	212	4	208	14.8	18.2	14.7
どちらかといえば いいえ	231	2	229	16.1	9.1	16.2
いいえ	154	3	151	10.7	13.6	10.7
無回答・無効回答	7	0	7	0.5	0.0	0.5
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.91224		

Q10.2 身の回りにかかる費用は、自分で負担している

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	762	7	755	53.1	31.8	53.4
どちらかといえば はい	284	5	279	19.8	22.7	19.7
どちらかといえば いいえ	204	4	200	14.2	18.2	14.2
いいえ	175	6	169	12.2	27.3	12.0
無回答・無効回答	10	0	10	0.7	0.0	0.7
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	**	p値:	0.01826		

Q10.3 規則正しい生活をしている

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	837	11	826	58.3	50.0	58.5
どちらかといえば はい	469	8	461	32.7	36.4	32.6
どちらかといえば いいえ	89	1	88	6.2	4.5	6.2
いいえ	30	2	28	2.1	9.1	2.0
無回答・無効回答	10	0	10	0.7	0.0	0.7
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.31737		

Q10.4 健康のために身体を動かしている

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	451	5	446	31.4	22.7	31.6
どちらかといえば はい	378	2	376	26.3	9.1	26.6
どちらかといえば いいえ	426	9	417	29.7	40.9	29.5
いいえ	166	6	160	11.6	27.3	11.3
無回答・無効回答	14	0	14	1.0	0.0	1.0
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	**	p値:	0.02246		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q10.5 具合が悪いときは、病院や診療所に行っている

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	777	14	763	54.1	63.6	54.0
どちらかといえば はい	440	6	434	30.7	27.3	30.7
どちらかといえば いいえ	165	2	163	11.5	9.1	11.5
いいえ	46	0	46	3.2	0.0	3.3
無回答・無効回答	7	0	7	0.5	0.0	0.5
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.32788		

Q11 あなたはふだんのくらい外出しますか。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
仕事や学校で週5日ほど外出する	818	0	818	57.0	0.0	57.9
仕事や学校で週に何日か外出する	279	0	279	19.4	0.0	19.7
趣味や遊び等のために頻繁に外出する	82	0	82	5.7	0.0	5.8
人づきあいのためにときどき外出する	74	0	74	5.2	0.0	5.2
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	65	12	53	4.5	54.5	3.8
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	78	9	69	5.4	40.9	4.9
自室からは出るが、家からは出ない	7	1	6	0.5	4.5	0.4
自室からはほとんど出ない	2	0	2	0.1	0.0	0.1
無回答・無効回答	30	0	30	2.1	0.0	2.1
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
フィッシャーの正確検定結果	有意差:	***	p値:	0.00050		

【Q11で、5～8に○をつけた方のみ、Q11-1～Q11-3にお答えください】

Q11_1 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=152	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=130
6か月未満	11	0	11	7.2	0.0	8.5
6か月以上～1年未満	12	2	10	7.9	9.1	7.7
1年以上～3年未満	63	10	53	41.4	45.5	40.8
3年以上～5年未満	15	2	13	9.9	9.1	10.0
5年以上～7年未満	6	1	5	3.9	4.5	3.8
7年以上～10年未満	13	3	10	8.6	13.6	7.7
10年以上～20年未満	18	2	16	11.8	9.1	12.3
20年以上～30年未満	6	2	4	3.9	9.1	3.1
30年以上	3	0	3	2.0	0.0	2.3
無回答・無効回答	5	0	5	3.3	0.0	3.8
全体	152	22	130	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.44896		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q11_2 最近6か月間に家族以外の人と会話しましたか。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=152	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=130
よく会話をした	46	3	43	30.3	13.6	33.1
ときどき会話をした	76	5	71	50.0	22.7	54.6
ほとんど会話をしなかった	26	13	13	17.1	59.1	10.0
まったく会話をしなかった	3	1	2	2.0	4.5	1.5
無回答・無効回答	1	0	1	0.7	0.0	0.8
全体	152	22	130	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位と検定結果	有意差:	***	p値:	0.00002		

Q11_3 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。(複数回答)

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=152	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=130	有意差	p値
学校が合わなかった	0	0	0	0.0	0.0	0.0	-	-
受験に失敗した	0	0	0	0.0	0.0	0.0	-	-
就職活動がうまくいかなかった	2	1	1	1.3	4.5	0.8	X	0.26783
職場が合わなかった	8	2	6	5.3	9.1	4.6	X	0.32328
家族関係がうまくいかなかった	3	0	3	2.0	0.0	2.3	X	1.00000
家族以外との人間関係がうまくいかなかった	2	1	1	1.3	4.5	0.8	X	0.26783
自宅で仕事をするようになった	33	2	31	21.7	9.1	23.8	X	0.16203
新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛	53	8	45	34.9	36.4	34.6	X	0.85342
からだやこころの不調	21	4	17	13.8	18.2	13.1	X	0.50686
身体的な病気・障害	27	0	27	17.8	0.0	20.8	**	0.01397
精神的な病気・障害	16	4	12	10.5	18.2	9.2	X	0.25006
妊娠・出産・育児	14	3	11	9.2	13.6	8.5	X	0.42629
介護・看護を担うことになった	19	1	18	12.5	4.5	13.8	X	0.31055
失業・退職した	33	5	28	21.7	22.7	21.5	X	1.00000
気力が低下した	15	6	9	9.9	27.3	6.9	***	0.00928
特にない・覚えていない	8	0	8	5.3	0.0	6.2	X	0.60249
その他	18	4	14	11.8	18.2	10.8	X	0.29537
無回答・無効回答	6	1	5	3.9	4.5	3.8	-	-
全体	152	22	130	-	-	-		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

周囲の人とのかかわり方について

【この設問以降はすべての方がお答えください】

Q12 あなたは小学校や中学校（部活動も含む）の頃に、家庭以外で次のような経験をしたことがありますか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413	有意差	p値
困ったときに、親身に話を聞き、助言してくれる大人との出会い	368	5	363	25.6	22.7	25.7	X	0.81270
日々、あいさつなど、声をかけてくれる近所の大人との出会い	688	7	681	47.9	31.8	48.2	X	0.15510
地域の運動会やお祭り、清掃活動、防災訓練への参加	581	7	574	40.5	31.8	40.6	X	0.46348
ボランティアや就労体験などの社会体験	140	3	137	9.8	13.6	9.7	X	0.45624
キャンプやハイキングなどの自然体験活動	463	6	457	32.3	27.3	32.3	X	0.67819
将来や進路を考えるうえで参考になる大人との出会い	234	2	232	16.3	9.1	16.4	X	0.55751
異年齢の人（先輩・後輩）との交流	656	6	650	45.7	27.3	46.0	*	0.09774
あてはまるものはない	239	8	231	16.7	36.4	16.3	**	0.01629
無回答・無効回答	23	1	22	1.6	4.5	1.6	-	-
全体	1,435	22	1,413	-	-	-		

Q13 あなたは現在、家族や家族以外の人、社会とのかかわり方にどのくらい満足していますか。

Q13.1 家族とのかかわり方

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
満足している	699	11	688	48.7	50.0	48.7
まあ満足している	524	8	516	36.5	36.4	36.5
どちらともいえない	119	2	117	8.3	9.1	8.3
やや不満である	48	1	47	3.3	4.5	3.3
不満である	25	0	25	1.7	0.0	1.8
無回答・無効回答	20	0	20	1.4	0.0	1.4
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.95323		

Q13.2 家族以外の人とのかかわり方

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
満足している	308	4	304	21.5	18.2	21.5
まあ満足している	700	3	697	48.8	13.6	49.3
どちらともいえない	332	10	322	23.1	45.5	22.8
やや不満である	64	4	60	4.5	18.2	4.2
不満である	15	1	14	1.0	4.5	1.0
無回答・無効回答	16	0	16	1.1	0.0	1.1
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	***	p値:	0.00145		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q13.3 社会とのかかわり方

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
満足している	250	4	246	17.4	18.2	17.4
まあ満足している	611	2	609	42.6	9.1	43.1
どちらともいえない	444	9	435	30.9	40.9	30.8
やや不満である	81	6	75	5.6	27.3	5.3
不満である	25	1	24	1.7	4.5	1.7
無回答・無効回答	24	0	24	1.7	0.0	1.7
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	***	p値:	0.00287		

【同居している人がいる場合にお答えください。】

Q14 同居している人とのコミュニケーション頻度について、お答えください。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,309	ひきこもり群 n=18	ひきこもり群以外 n=1,291
ほぼ毎日	1,229	17	1,212	93.9	94.4	93.9
週に数回程度	53	0	53	4.0	0.0	4.1
月に数回程度	8	0	8	0.6	0.0	0.6
年に数回程度	0	0	0	0.0	0.0	0.0
まったくない	4	1	3	0.3	5.6	0.2
無回答・無効回答	15	0	15	1.1	0.0	1.2
全体	1,309	18	1,291	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.87661		

【同居している人がいる場合にお答えください。】

Q15 同居している人とのコミュニケーションの内容について、お答えください。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,309	ひきこもり群 n=18	ひきこもり群以外 n=1,291
何でも話せる	962	12	950	73.5	66.7	73.6
雑談程度を話す	254	5	249	19.4	27.8	19.3
必要最低限のことだけ話す	68	0	68	5.2	0.0	5.3
一切話さない	3	1	2	0.2	5.6	0.2
無回答・無効回答	22	0	22	1.7	0.0	1.7
全体	1,309	18	1,291	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.43849		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q16 同居していない人とのコミュニケーションについて、それぞれお答えください。

Q16.1 直接会って話す

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
ほぼ毎日	303	0	303	21.1	0.0	21.4
週に数回程度	332	1	331	23.1	4.5	23.4
月に数回程度	351	5	346	24.5	22.7	24.5
年に数回程度	317	11	306	22.1	50.0	21.7
まったくない	58	4	54	4.0	18.2	3.8
無回答・無効回答	74	1	73	5.2	4.5	5.2
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	***	p値:	0.00000		

Q16.2 電話(ビデオ通話含む)

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
ほぼ毎日	136	2	134	9.5	9.1	9.5
週に数回程度	296	1	295	20.6	4.5	20.9
月に数回程度	457	5	452	31.8	22.7	32.0
年に数回程度	319	10	309	22.2	45.5	21.9
まったくない	146	4	142	10.2	18.2	10.0
無回答・無効回答	81	0	81	5.6	0.0	5.7
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	**	p値:	0.01167		

Q16.3 SNS(LINEによるチャットなど)・電子メール・オンラインゲーム

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
ほぼ毎日	337	1	336	23.5	4.5	23.8
週に数回程度	438	4	434	30.5	18.2	30.7
月に数回程度	336	6	330	23.4	27.3	23.4
年に数回程度	126	6	120	8.8	27.3	8.5
まったくない	120	4	116	8.4	18.2	8.2
無回答・無効回答	78	1	77	5.4	4.5	5.4
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	***	p値:	0.00046		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

あなたの考えや悩んでいること、困っていること等について

Q17 次の項目について、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

Q17.1 今の自分が好きだ

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	318	2	316	22.2	9.1	22.4
どちらかといえば はい	799	10	789	55.7	45.5	55.8
どちらかといえば いいえ	235	9	226	16.4	40.9	16.0
いいえ	71	1	70	4.9	4.5	5.0
無回答・無効回答	12	0	12	0.8	0.0	0.8
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	**	p値:	0.01158		

Q17.2 どこにも居場所がないと感じることがある

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	43	3	40	3.0	13.6	2.8
どちらかといえば はい	137	3	134	9.5	13.6	9.5
どちらかといえば いいえ	422	5	417	29.4	22.7	29.5
いいえ	818	11	807	57.0	50.0	57.1
無回答・無効回答	15	0	15	1.0	0.0	1.1
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.20363		

Q17.3 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	161	7	154	11.2	31.8	10.9
どちらかといえば はい	558	9	549	38.9	40.9	38.9
どちらかといえば いいえ	439	3	436	30.6	13.6	30.9
いいえ	258	3	255	18.0	13.6	18.0
無回答・無効回答	19	0	19	1.3	0.0	1.3
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	**	p値:	0.01544		

Q17.4 家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	110	3	107	7.7	13.6	7.6
どちらかといえば はい	260	5	255	18.1	22.7	18.0
どちらかといえば いいえ	393	5	388	27.4	22.7	27.5
いいえ	648	9	639	45.2	40.9	45.2
無回答・無効回答	24	0	24	1.7	0.0	1.7
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.38507		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q17.5 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	163	5	158	11.4	22.7	11.2
どちらかといえば はい	363	5	358	25.3	22.7	25.3
どちらかといえば いいえ	403	4	399	28.1	18.2	28.2
いいえ	489	8	481	34.1	36.4	34.0
無回答・無効回答	17	0	17	1.2	0.0	1.2
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	X	p値:	0.52161		

Q17.6 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
はい	290	11	279	20.2	50.0	19.7
どちらかといえば はい	706	8	698	49.2	36.4	49.4
どちらかといえば いいえ	272	3	269	19.0	13.6	19.0
いいえ	150	0	150	10.5	0.0	10.6
無回答・無効回答	17	0	17	1.2	0.0	1.2
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
ウィルコクソンの順位和検定結果	有意差:	***	p値:	0.00199		

Q18 あなたは現在、悩んでいることや困っていることがありますか。(複数回答)

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413	有意差	p値
自分のからだのこと	514	6	508	35.8	27.3	36.0	X	0.38519
自分のこころの健康のこと	284	6	278	19.8	27.3	19.7	X	0.41786
性格のこと	128	5	123	8.9	22.7	8.7	**	0.04099
家族の健康のこと	392	5	387	27.3	22.7	27.4	X	0.61140
子育てのこと	260	2	258	18.1	9.1	18.3	X	0.40363
介護や看護のこと	238	6	232	16.6	27.3	16.4	X	0.24193
学校での勉強や成績のこと	16	0	16	1.1	0.0	1.1	X	1.00000
進学のこと	16	0	16	1.1	0.0	1.1	X	1.00000
仕事や職場のこと	435	0	435	30.3	0.0	30.8	***	0.00172
仕事探し、就職のこと	120	6	114	8.4	27.3	8.1	***	0.00766
家族関係	221	1	220	15.4	4.5	15.6	X	0.23329
家族以外との人間関係	106	2	104	7.4	9.1	7.4	X	0.67642
収入、生活資金のこと	471	7	464	32.8	31.8	32.8	X	0.89945
はっきりした悩みはないがなんとなく不安	232	5	227	16.2	22.7	16.1	X	0.38545
その他	84	1	83	5.9	4.5	5.9	X	1.00000
特に悩んでいることや困っていることはない	225	4	221	15.7	18.2	15.6	X	0.76711
無回答・無効回答	11	0	11	0.8	0.0	0.8	-	-
全体	1,435	22	1,413	-	-	-		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q19 あなたは悩みごとや困りごとがあったとき、誰に相談しますか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413	有意差	p値
家族	1,093	12	1,081	76.2	54.5	76.5	**	0.01153
友人・知人・交際相手	695	5	690	48.4	22.7	48.8	**	0.01305
学校の先生	7	0	7	0.5	0.0	0.5	X	1.00000
職場の同僚・上司	299	1	298	20.8	4.5	21.1	*	0.06345
病院、診療所	111	2	109	7.7	9.1	7.7	X	0.68821
カウンセラー	35	1	34	2.4	4.5	2.4	X	0.42512
近所の人	26	1	25	1.8	4.5	1.8	X	0.33629
民間団体・サークルなど	13	0	13	0.9	0.0	0.9	X	1.00000
当事者会・家族会	3	0	3	0.2	0.0	0.2	X	1.00000
悩みを相談できるウェブサイト・SNS	27	0	27	1.9	0.0	1.9	X	1.00000
その他	42	3	39	2.9	13.6	2.8	**	0.02511
誰にも相談しない	179	5	174	12.5	22.7	12.3	X	0.18382
無回答・無効回答	16	0	16	1.1	0.0	1.1	-	-
全体	1,435	22	1,413	-	-	-		

Q20 あなたはこれまでに公的な相談機関・専門機関に相談したことがありますか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413	有意差	p値
相談したことがない	980	12	968	68.3	54.5	68.5	X	0.41528
区役所・福祉保健センター	165	5	160	11.5	22.7	11.3	*	0.06806
横浜市青少年相談センター	9	1	8	0.6	4.5	0.6	X	0.11844
地域ユースプラザ	1	0	1	0.1	0.0	0.1	X	1.00000
若者サポートステーション	3	0	3	0.2	0.0	0.2	X	1.00000
児童相談所	24	0	24	1.7	0.0	1.7	X	1.00000
教育総合相談センター	14	0	14	1.0	0.0	1.0	X	1.00000
学校・スクールカウンセラー	79	1	78	5.5	4.5	5.5	X	1.00000
地域ケアプラザ	62	0	62	4.3	0.0	4.4	X	1.00000
社会福祉協議会	14	1	13	1.0	4.5	0.9	X	0.17837
こころの健康相談センター（精神保健福祉センター）	10	0	10	0.7	0.0	0.7	X	1.00000
基幹相談支援センター	4	0	4	0.3	0.0	0.3	X	1.00000
精神障害者生活支援センター	7	1	6	0.5	4.5	0.4	*	0.09333
発達障害者支援センター	15	0	15	1.0	0.0	1.1	X	1.00000
ハローワーク・ジョブカフェなどの就労支援機関	118	1	117	8.2	4.5	8.3	X	1.00000
警察・ユーステレホン	20	0	20	1.4	0.0	1.4	X	1.00000
その他の施設・機関	93	0	93	6.5	0.0	6.6	X	0.63427
無回答・無効回答	65	3	62	4.5	13.6	4.4	-	-
全体	1,435	22	1,413	-	-	-		

参考資料 3-2 市民生活実態調査（40～64歳）における集計表

Q21 あなたは悩みごとや困りごとについて、公的な相談機関・専門機関に相談したいと思いますか。

	件数			割合		
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413
相談したいと思う	569	9	560	39.7	40.9	39.6
相談したいと思わない	832	13	819	58.0	59.1	58.0
無回答・無効回答	34	0	34	2.4	0.0	2.4
全体	1,435	22	1,413	100.0	100.0	100.0
カイ2乗検定結果	有意差:	X	p値:	0.97733		

【Q21で「2. 相談したいと思わない」に○をつけた方のみ、Q21-1にお答えください】

Q21_1 あなたが相談したいと思わない理由は何ですか。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=832	ひきこもり群 n=13	ひきこもり群以外 n=819	有意差	p値
公的な機関を利用しなくても解決できと思う	295	2	293	35.5	15.4	35.8	X	0.15153
公的な機関が何をしているかわからない	198	0	198	23.8	0.0	24.2	**	0.04600
自分(または家族)のことを知られたくない	90	3	87	10.8	23.1	10.6	X	0.16161
相談しても解決できないと思う	282	4	278	33.9	30.8	33.9	X	1.00000
何をきかれるか、言われるか不安に思う	66	3	63	7.9	23.1	7.7	*	0.07881
相手にうまく話せないと思う	79	5	74	9.5	38.5	9.0	***	0.00500
相談したことを人に知られたくない	45	3	42	5.4	23.1	5.1	**	0.02973
お金がかかると思う	43	1	42	5.2	7.7	5.1	X	0.50485
公的な相談機関が近くにない	19	0	19	2.3	0.0	2.3	X	1.00000
相談したい曜日・時間帯に公的な機関が対応していない	61	0	61	7.3	0.0	7.4	X	0.61443
過去に相談して嫌な思いをした	38	1	37	4.6	7.7	4.5	X	0.46161
相談する必要がある	148	3	145	17.8	23.1	17.7	X	0.71318
その他	33	0	33	4.0	0.0	4.0	X	1.00000
特に理由はない	77	2	75	9.3	15.4	9.2	X	0.34730
無回答・無効回答	9	0	9	1.1	0.0	1.1	-	-
全体	832	13	819	-	-	-		

【すべての方がお答えください】

Q22 あなたは次の機関や事業(別紙参照)を知っていますか。知っているものに○をつけてください。（複数回答）

	件数			割合			検定結果	
	40～64歳全体	ひきこもり群	ひきこもり群以外	40～64歳全体 n=1,435	ひきこもり群 n=22	ひきこもり群以外 n=1,413	有意差	p値
地域ケアプラザ	990	14	976	69.0	63.6	69.1	X	0.51709
横浜市青少年相談センター	251	4	247	17.5	18.2	17.5	X	1.00000
地域ユースプラザ	41	0	41	2.9	0.0	2.9	X	1.00000
若者サポートステーション	44	1	43	3.1	4.5	3.0	X	0.50188
よこはま型若者自立塾	25	1	24	1.7	4.5	1.7	X	0.32506
青少年の地域活動拠点	35	0	35	2.4	0.0	2.5	X	1.00000
青少年交流・活動支援スペース	58	1	57	4.0	4.5	4.0	X	0.60291
生活困窮者自立相談支援機関(区役所生活支援課)	222	7	215	15.5	31.8	15.2	*	0.06527
ひきこもり相談専用ダイヤル	167	6	161	11.6	27.3	11.4	**	0.03530
知っている機関・事業はない	333	7	326	23.2	31.8	23.1	X	0.34416
無回答・無効回答	77	1	76	5.4	4.5	5.4	-	-
全体	1,435	22	1,413	-	-	-		

発行：横浜市こども青少年局青少年育成課
横浜市中区本町6丁目50番地10
電話：045-671-2324 FAX：045-663-1926
横浜市健康福祉局ひきこもり支援課
横浜市保土ヶ谷区川辺町5番地10
電話：045-752-8463 FAX：045-664-0403
発行年：令和5年1月